

平成30年度

飯田市公民館活動記録



ふるさとめぐり三穂
～親子で発見 地域の魅力～ (三穂公民館)



ふるさと再発見「ずんずんず～ん隊」
～宅地化が進む中で～ (県公民館)



運動会新種目 大玉送り
～みんなが楽しめるように～ (竜丘公民館)



乳幼児学級ちよっ子クラブ
～毎回楽しみな絵本の時間～ (千代公民館)



遠山霜月祭り横笛教室
～伝統の音色を響かせよう～ (上村公民館)



高校生講座カンボジア・スタディツアー
～伝統の森の取組みを学ぶ～ (飯田市公民館)

飯田市公民館

平成30年度 飯田市公民館活動記録

目 次

平成30年度飯田市公民館基本方針	1
平成30年度飯田市公民館の事業計画	3
飯田市公民館のあゆみ・運営組織	5
飯田市公民館の活動・事業	6
飯田市公民館の運営組織図	7
地区公民館の専門委員会設置状況	8
飯田市の分館	9
公民館の予算及び施設の現状一覧表	10
飯田市各地区公民館利用状況	11
学級・講座実施状況一覧表	12
専門委員会等事業一覧表	16
各公民館事業報告	20
飯田市公民館	20
橋北公民館	29
橋南公民館	36
羽場公民館	45
丸山公民館	51
東野公民館	60
座光寺公民館	68
松尾公民館	75
下久堅公民館	81
上久堅公民館	87
千代公民館	94
龍江公民館	99
竜丘公民館	105
川路公民館	110
三穂公民館	116
山本公民館	121
伊賀良公民館	126
鼎公民館	131
上郷公民館	138
上村公民館	145
南信濃公民館	149
Aブロック事業	154
Bブロック事業	155
Cブロック事業	155
Dブロック事業	156
飯田市の公民館略年表	157
飯田市公民館大会の経過	164

平成30年度 飯田市の公民館活動 基本方針

1 目指す都市像の実現に向けて公民館が果たすべきこと

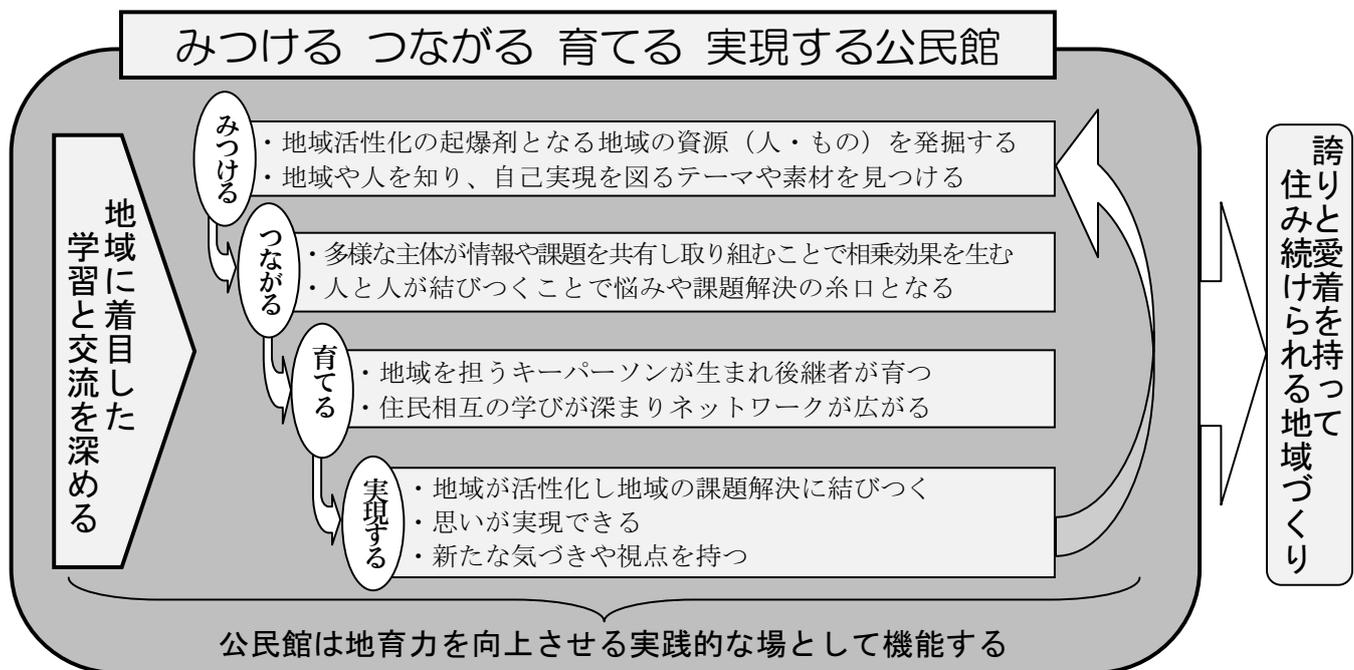
飯田市では、人口減少、少子・高齢化が進行し、地域活力の維持・向上が持続的な地域づくりにおける大きな課題となっています。また、近い将来には、リニア中央新幹線の開通や三遠南信自動車道の全通の時代を迎え、地域の大きな変貌が予想されます。こうした状況をとらえて、飯田市では、平成29年度から、新たな総合計画に位置づけられる「いいだ未来デザイン2028」を、教育委員会においても「地育力による 未来をひらく心豊かな人づくり」を教育ビジョンとした「第2次飯田市教育振興基本計画」をスタートさせました。

戦後まもなく発足した公民館は、地域に密着して市民の自由で主体的な文化学習活動を支援し、地域づくりの基盤である人づくりに大きな役割を果たしてきました。

地域を取り巻く状況が大きく変容してきている今日、地域住民が学びあいを通して、地域の課題と向き合い、「私たちの地域は私たちの手でつくる」という住民自治の意識を高め合い、「結の心」でつながって、心豊かに暮らせる地域をつくっていくことがますます重要となっています。

飯田市の公民館は、社会教育法に基づく教育機関であるとともに、地域自治組織の構成団体であるという2面性を持ち、地域の諸団体と連携協力を図りつつ、住民の自由で主体的な学習活動の支援を通して、地域づくりを担う人材を育む地育力向上の拠点となっています。

そこで、公民館は、住民による自立した地域経営をめざして、今後も引き続き地域に着目した学習と交流を深める役割を担い、「みつける つながる 育てる 実現する場」として誇りと愛着を持って住み続けられる地域づくり、人づくりを担っていきます。



2 公民館の具体的な役割

公民館は、地育力向上と住民自治の意識と力を育む拠点として、地域の特色ある自然や文化を基底にした地域住民の学習と交流を図ります。少子高齢化や地域への帰属意識の希薄化など様々な地域の課題解決に向けた学習を支援することで、コミュニティ意識の醸成や地域の担い手づくりを目指します。公民館の具体的な役割は次のとおりです。

- (1) だれもが気軽に利用し活動できる「自由なたまり場」
- (2) 参加者の自主性・創造性を活かし仲間づくりを図る「集団的な活動と交流の場」
- (3) 先人が築いた歴史・文化を大切に今に活かす「歴史を伝え文化を創造する場」
- (4) 住民の生涯にわたる学習や学習のグループ化を支援し様々な地域の課題に対応できる「学習の場」
- (5) 人が人として尊ばれ差別なく暮らせる「人間尊重の精神を学びあう場」
- (6) 地域の絆を深め健康で心豊かな人づくりを図る「スポーツ・レクリエーションの場」
- (7) 子どもたちが健やかに育つとともに故郷に誇りと愛着を持てる「地域の良さを再発見する場」
- (8) 地域のさまざまな出来事を記録し情報や地域の課題を提供・発信する「情報収集と発信の場」

3 飯田市の公民館活動の基本理念「4つの運営原則」

昭和48年、飯田市は文部省の委嘱を受けて、「管理運営に関する事項および運営の指針に関する事項」をまとめました。昭和46年から2年間かけて実施したこの公民館運営基準の研究の中で、次に掲げる「公民館運営の4原則」が確認されました。時代は変化してもこの理念を尊重しつつ、公民館が果たすべき役割を担っていきます。

(1) 地域中心の原則

まちづくりを考えると、日常的に身近な地域から出発することが大切である。地域ごとに設置された公民館は常に地域を中心としてとらえた学びの場であるべきである。

(2) 並立配置の原則

地域の規模や特徴は異なっても、公民館は20地区に対等に配置され、それぞれの活動が等しく尊重される。この原則は地域中心の原則を保障するものである。

(3) 住民参画の原則

公民館を設置し、そこに職員を配置することは行政の役割であるが、公民館の事業の企画運営は、地域住民によって組織された専門委員会や運営委員会、より身近な住民の単位である分館活動など、それぞれの事業が自発的な住民の意思に基づいて行われることが大切である。このような組織や活動は、飯田市の公民館活動の原動力になっている。

(4) 機関自立の原則

教育行政が一般行政から一定の独立性、中立性を保っていることに鑑み、公民館が地域の社会教育機関として住民の主体的な学習活動を保証することは大切である。その意味で公民館が自立した体制をもっていることは重要である。

4 「4つの運営原則」に基づく主体的な公民館活動の展開に向けて

地域自治組織のまちづくり委員会で各地区の公民館は、引き続き学習と交流を起点に地域内の連携協力を図り、住民自治の充実に必要な地域の社会教育機関として地育力向上の拠点を担います。

- (1) 各地区の公民館が設置する専門委員会は、「住民参画の原則」に基づいて地域を素材に学習と交流を促進する事業を主体的に企画立案し運営します。
- (2) 分館は、最も身近なコミュニティ形成の場であり日常のたまり場として、身近な課題の解決に取り組むなど住民同士のふれあいを大切にしながら主体的な活動を展開します。

5 重点目標

以上を踏まえ、以下の事項を平成30年度の重点目標として取り組みます。

- (1) リニア時代を迎え、今後、大きく変貌することが予想される地域にあって、地域の独自性や価値を見出し、魅力を再認識できる人を育てるための学習活動を進めます。
- (2) 各地区の地域づくりの担い手を育てるために、小・中・高校生・若者と地域を結ぶ学びの場を提供します。
 - ① 地域と学校が協働して子どもを育てるしくみとしての飯田コミュニティスクールを地域から支えるとともに、地域での子どもたちの豊かな学びの機会を充実させ、大人の学びと子どもの育ちをつなげる地域学校協働活動を進めます。
 - ② 地域を愛し、理解し、地域に貢献する人材を育てる「地域人教育」及び「高校生講座」に取り組むとともに、各地区における高校生との連携事業を、LG飯田教育の視点で展開します。※注1
 - ③ 青壮年世代が地域の将来を考え、切り拓いていくための自治の意識と力を育む学習活動に取り組みます。
- (3) 40年の歴史を引き継ぐいいだ人形劇フェスタを、人とのつながりやふるさと意識の醸成、地域資源の保存継承など様々な可能性をもつ場としてとらえ、地域づくりを担う人づくりにつなげるとともに、10年に一度の「世界人形劇フェスティバル」を国際理解や多文化共生の機会として取り組みます。
- (4) 各地区に内在する様々な地域の課題解決のために次の事業に取り組みます。
 - ① 親子を対象に仲間づくりを図るとともに、子どもが健やかに育ち、発達段階に応じた基本的な生活習慣の習得を支援する継続的な学習機会を提供します。
 - ② 国籍にかかわらず住民が相互に理解し合える関係をつくるために、多文化交流や日本語および外国語の学習の機会を提供します。また、一人ひとりの人権や平和について考える機会を提供します。
 - ③ 身近なところで様々な芸術文化に触れ、創造する機会を提供するとともに、地域独自の伝統文化の保存・継承活動に取り組みます。
 - ④ 住民が郷土への関心を高め、誇りと愛着を育む多彩な学習の機会を提供します。
 - ⑤ 誰もが気軽にできるウォーキングやスポーツ活動の機会を提供するなど、栄養と健康、生活習慣病予防、運動習慣の必要性など自身の健康についての学習を深めます。
 - ⑥ 身近な自然体験型活動から世界規模の地球温暖化防止まで多彩な環境学習の機会を提供します。
- (5) 地域で活動する地縁団体やNPO法人を始めとした志縁団体などへの支援を行うとともに、こうした団体と地域を結ぶ機能の構築を目指します。

※1 「LG(地域・地球)飯田教育」とは・・・Local(地域)とGlobal(地球)を一体的、系統的に学ぶ、飯田市独自の教育実践。

Think Global, Act Local. Think Local, Act Global「地球規模で考え地域で実践し、地域を想い、地球規模で活躍」できる人材を育てる。

平成30年度 飯田市の公民館活動 事業計画

平成30年度飯田市の公民館活動基本方針に基づいて、飯田市公民館（連絡調整を担う飯田市公民館〈以下「市公民館」という。〉と20地区公民館）が展開する主な事業を次のとおり計画します。

1 20地区公民館と市公民館は合同して以下の事業を展開します。

(1) 第56回飯田市公民館大会

公民館関係者や広く市民を対象にして、1年間の公民館活動を総括して更なるステップアップを図る機会として、平成31年2月17日（日）に開催します。

(2) いいだ人形劇フェスタ2018

今年度のいいだ人形劇フェスタは、世界人形劇フェスティバルとして8月3日（金）～12日（日）に開催します。地区実行委員会の充実を図って地区からフェスタを盛り上げるとともに、国際理解や多文化共生の意識を醸成する機会として各地区の特色を生かして展開します。

(3) 飯田市成人式

飯田市成人式は、平成31年1月13日（日）に新成人の一番身近な居住地域・出身地域を単位に全市一斉で開催します。各地区では、新成人を含めた成人式実行委員会を組織し、新成人が多様な活動を通じて地域を知り、地域との関わりを持てる学習を深めることで、地域に誇りと愛着を持ち、将来における自己のあり方を見つめる機会とします。

(4) 地域学校協働活動と飯田コミュニティスクール

地域学校協働活動を推進するしくみとしての飯田コミュニティスクールを地域から支えるとともに、地域における子どもの活動を充実させ、地域と学校をつなぐ取り組みをします。

(5) 高校生と地域を結ぶ事業

飯田OIDE長姫高校、松本大学、飯田市の3者が平成24年度に締結した「地域人教育パートナーシップ協定」に基づき、地域を愛し、理解し、地域に貢献する人材育成に取り組みます。さらに、他の高校との連携を図ったり新たな地区での取り組みを進めて、地域での高校生の豊かな学びを支えます。

2 20地区公民館は、専門委員会が主体的に事業を企画して展開するほか、多様な分野で学びの機会を設けることで、地域で学習と交流を深めます。（カッコ内は例示）

- | | |
|----------------------------------|------------|
| (1) 乳幼児親子が学ぶ（乳幼児学級など） | …重点目標(4)-① |
| (2) 学齢期親子が学ぶ（家庭教育講座・講演会など） | …重点目標(4)-① |
| (3) 人権平和や多文化を学ぶ（人権講座、多文化共生事業など） | …重点目標(4)-② |
| (4) 地域で芸術文化に触れる（人形劇地区公演、コンサートなど） | …重点目標(4)-③ |
| (5) 身近な地域を素材に学ぶ（ふるさと学習、歴史学習会など） | …重点目標(4)-④ |
| (6) 健康で生き生き暮せる学び（健康教室、料理教室など） | …重点目標(4)-⑤ |
| (7) 身近に環境を学ぶ（環境学習講座、生物観察会など） | …重点目標(4)-⑥ |
| (8) 多彩な学びと交流（女性学級、高齢者学級など） | …重点目標全て |

3 市公民館は、市民の学習と交流を深めるために以下の事業を主管して展開します。

(1) 高校生講座

海外との比較の中でふるさと飯田の魅力を再認識することを通して、地域に誇りと愛着を持ち、グローバルな視点で地域の将来ビジョンをデザインし、自身の将来を切り拓くことのできる人材を育成します。

(2) 青年層と地域を結ぶ事業

高校卒業後の青年層が、自身の生き方を考える機会を提供するとともに、仲間や地域とつながり、この地域の将来を考えることのできる人材を育成します。

(3) 飯田市民大学講座

「伊那谷の自然と文化」をテーマにして第42回飯田市民大学講座を開講します。講座の内容等は運営委員会で企画します。

(4) 飯田市女性バレーボール大会

バレーボール連盟の協力を得て、参加チームの主体的な運営参加により開催します。会場は上郷体育館と高陵中学校体育館で、11月11日（日）に開催します。

(5) 第43回公民館コーラスグループ発表会

各公民館を拠点に活動するコーラスグループが実行委員会を組織し、自主運営方式で開催します。会場は飯田市公民館で、平成31年2月24日（日）に開催します。

(6) 人権平和・多文化共生事業

地域の国際化に対応するために、平和学習を通じた人権・平和の意識向上を図るとともに、外国人住民への日本語教育を柱とした多文化共生事業を展開します。

(7) 子育てサークル支援事業

子育てリーダーグループ「トライアングル」の支援を軸とした子育てネットワークの充実を図ります。

(8) 国内外の都市との交流・支援事業

住民リーダーの育成や職員の力量形成を図るために、フィリピン・レガスピ市における公民館を中心とした住民自治活動を支援するとともに、国内外の住民自治活動に熱心な自治体との交流を通じて、互いの地域づくりについて学びあう事業を展開します。

4 その他

(1) 第66回天龍峡夏期大学講座

社会課題や地域課題を考える契機とするとともに、地域への誇りと愛着を醸成することを目的として、川路公民館が主管します。

(2) ブロック公民館事業

20地区の公民館を4つに編成したブロック公民館では、スポーツ行事等を通じた他地域との交流や、公民館役員対象の研修会及び情報交換会を実施します。

(3) 主事会プロジェクト事業

公民館主事会ではプロジェクトチームを編成して、公民館を取り巻く様々な課題解決のために実践的な学習や研究に取り組みます。

(4) 大学と連携した地域課題解決の実践的展開

東京大学大学院との共同調査・学習をはじめとした高等教育機関等と連携して、地域に内在する課題解決に向けて実践的に取り組みます。

(5) 館長会・主事会

地域住民の学習活動を支える職員が、定期的な情報交換や研修会を開催して連携を深めるとともに、その力量形成に努めます。

飯田市公民館のあゆみ

この地域は、大正期の自由画教育や青年運動から生まれた伊那自由大学などに代表される歴史的・風土的な教育の土壌や、戦後直後からの青年会や婦人会の自主的な学習活動などを背景に、全国に先駆けて公民館が設置されました。

飯田市は、昭和12年に飯田町と上飯田町が合併し誕生しました。以来6回にわたり町村合併が行われましたが、そのつど旧町村単位に独立公民館（以下「地区公民館」）と職員を配置してきました。旧飯田地区（橋北・橋南・羽場・丸山・東野）は、昭和43年に1館制から5館に分離し、それぞれ地区公民館として位置づけられました。その後も平成5年7月1日に上郷町、平成17年10月1日に上村、南信濃村と合併し、現在は中央館の役割を担う飯田市公民館（以下「市公民館」）と、20の地区公民館が独立、並列方式により配置されています。

市公民館は、全市民を対象とした事業や地区公民館相互の連絡調整を図る機関として、また地区公民館は住民の身近な公民館として、地域課題や生活課題に対する学習や交流などを通じて住民の主体的な活動を支援し、地域の特色を生かした個性豊かで魅力ある地域づくりの一端を担ってきました。

昭和48年に文部省の委嘱を受け、公民館の運営基準について自ら研究し導き出した4つの運営原則「地域中心」「住民参画」「並列配置」「機関自立」の考え方は、飯田市の地域づくりに対する公民館の姿勢を反映したものであり、今も活動の基本方針となっています。

なお飯田市は、平成19年4月に新たな住民自治の仕組みとして「地域自治組織」を導入しました。これにより公民館は、社会教育法にも基づき市が設置する社会教育機関であるとともに、地域自治組織を構成するまちづくり委員会の1委員会に位置付けられました。

飯田市公民館の運営組織

市公民館には、館長会の互選で選出された市公民館長（非常勤特別職）、市公民館長を補佐する副館長（課長職）、学習支援係（係長、主事、学習支援係、社会教育コーディネーター）、管理係（係長、管理係）が職員として配置されています。また、市内全ての地区公民館の館長・主事で構成される館長会及び主事会が置かれ、公民館職員の相互研鑽の場になっています。

地区公民館には、非常勤特別職の館長と常勤専任の公民館主事が配置されています。また、人口規模の大きな地区である松尾・竜丘・伊賀良・鼎・上郷公民館、自治振興センターが併設されていない旧市5地区の公民館及び南信濃公民館には、管理係が配置されています。

地区公民館には、飯田市の公民館活動の4つの運営原則の一つである住民参画の原則を保障し、住民主体の公民館活動を展開するため「専門委員会」が設置されています。専門委員会の設置状況は地区によって異なりますが、主に文化委員会、体育委員会、広報委員会、青少年育成委員会などが組織されています。専門委員会の名称、人数、役職、任期は公民館長が定めることとなっており、町内あるいは分館からの推薦や地区内全域から適任者を選び、公民館長が委嘱します。（詳細は、P8「専門委員会の設置状況」を参照）

多くの地区公民館のもとに、集落単位を基本とする「分館」が組織されています。現在飯田市には103の分館（休館を除く）があり、住民に最も身近な公民館として、住民の手によって主体的に運営されています。

また地区公民館は、隣接する地域や中学校区などつながりの強い地域同士で「ブロック」を組織しています。現在は20の地区公民館で4つのブロックを組織し、ブロック内で連携しながら事業を展開しています。

飯田市公民館の活動

飯田市の公民館は、地域住民の学習、交流の場として、住民自らが自由闊達な学習活動やグループ活動を展開しています。

公民館が実施する学級や講座は、乳幼児やその保護者を対象としたものから高齢者の生き甲斐づくりまで全ての世代を対象にしたものであり、学習内容も個人的な教養を高めるものから地域課題や生活課題を捉えた組織的な学習活動まで、幅広い学習を展開しています。実施にあたっては、公民館職員が中心となって開催するものや、運営委員会や実行委員会などを組織し市民参画のもと開催するものなど形態は様々ですが、学習や交流の機会を通じて主体的な人材の育成に寄与しています。

専門委員会の活動は、住民自らがアイデアを出し合い、それぞれの地域の特色を活かした様々な事業を展開しています。専門委員会は公民館運営の母体であり、住民が事業の企画段階から主体的に関わることにより地域を知り、地域を担う人材育成の場として機能しています。

(詳細は、P16「専門委員会等事業一覧表」を参照)

分館は、住民の生活に一番身近な公民館であり、子どもから高齢者まで日常的な学習や交流の場になっています。分館では、なによりも住民同士のふれあいや交流を大切にし、分館独自の事業を主体的に展開しています。また、地区公民館と密接につながり、一体となって公民館の活動を支えています。

飯田市公民館の事業

市公民館事業

- ・全市民を対象とした事業
- ・新たな地域課題、生活課題に対応し、地区公民館に波及することをねらったモデル的な事業の実施やそのための指導者の育成
- ・地区公民館活動が円滑に展開されるためのネットワーク事業

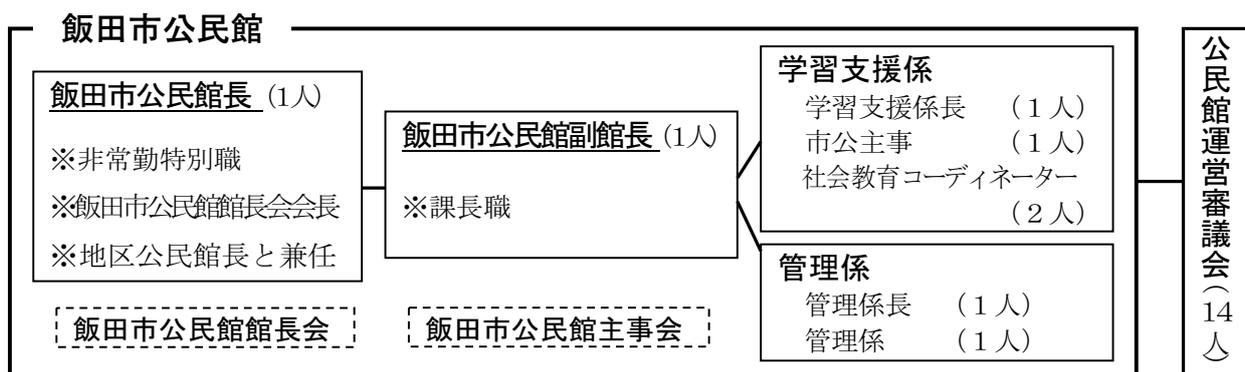
ブロック事業

- ・地区公民館単独では実施困難な事業
- ・地区公民館事業の継続発展した事業
- ・ブロック内での情報交換、相互研鑽

地区公民館事業

- ・住民要望に基づく学級講座
- ・専門委員会が企画する地区独自の事業
- ・コミュニティを醸成する各種の事業
- ・学習相談、学習情報の提供及び施設設備の提供

飯田市公民館の運営組織図



地区公民館

(人口は平成30年9月末現在)

公民館名	ブロック体制	人口(人)	職員体制 (人)			
			公民館長※1	副館長補※2	公民館主事※3	管理係
橋北公民館	A ブロック	3,049	1	—	1	1
橋南公民館		2,712	1	—	1	1
羽場公民館		4,820	1	—	1	1
丸山公民館		3,456	1	—	1	1
東野公民館		2,936	1	—	1	1
座光寺公民館	B ブロック	4,488	1	1	1	—
山本公民館		4,823	1	1	1	—
伊賀良公民館		14,516	1	1	1	1
鼎公民館		13,201	1	1	1	2 ※4
上郷公民館		14,001	1	1	1	1
松尾公民館	C ブロック	13,026	1	1	1	1
下久堅公民館		2,904	1	1	1	—
竜丘公民館		6,851	1	1	1	1
上村公民館		415	1	1	1	—
南信濃公民館		1,396	1	1	1	1
上久堅公民館	D ブロック	1,297	1	1	1	—
千代公民館		1,676	1	1	1	—
龍江公民館		2,826	1	1	1	—
川路公民館		1,992	1	1	1	—
三穂公民館		1,434	1	1	1	—
計		101,819	20人	15人	20人	12人

専門委員会の設置

※委員は館長が委嘱。名称、委員数、役職及び任期は館長が定める。
～住民参加による主体的な企画・運営～ (20館共通)

- ※1 公民館長は地域協議会が推薦し教育委員会が任命する。(非常勤特別職)
- ※2 副館長補佐は自治振興センター所長が任命され、センター業務と公民館業務の連係調整を図る役割を担っている。(旧市5地区は除く)
- ※3 公民館主事は常勤専任。自治振興センター職員の兼務辞令を受けている。
- ※4 うち1名は社会教育コーディネーター。

分館

現在、102の分館が、市民の手によって自主的に運営されている。

地区公民館の専門委員会設置状況

公民館名	名称	人数	任期 (年)	公民館名	名称	人数	任期 (年)
橋北公民館	文化部	10	2	龍江公民館	文化部	7	2
	体育部	10	2		体育部	8	2
	広報部	10	2		青少年健全育成部	6	2
	育成部	10	2		新聞部	12	2
橋南公民館	文化委員会	11	2	竜丘公民館	文化委員会	15	2
	体育委員会	12	2		体育委員会	24	2
羽場公民館	文化委員会	12	2		広報委員会	11	2
	体育委員会	13	2		民俗資料保存委員会	10	2
	広報委員会	9	2	育成委員会	7	2	
	育成委員会	11	2	川路公民館	文化部会	10	2
丸山公民館	文化部会	11	2		体育部会	14	2
	体育部会	12	2		広報部会	9	2
	広報部会	5	2	三穂公民館	文化委員会	14	2
	青少年健全育成部会	14	2		体育委員会	15	2
東野公民館	文化部	10	2		女性委員会	14	2
	体育部	15	2		広報委員会	8	2
	広報部	8	2	山本公民館	文化委員会	18	2
	育成部	15	2		体育委員会	20	2
座光寺公民館	文化部	17	2	伊賀良公民館	文化部	23	2
	体育部	12	2		体育部	27	2
	広報部	12	2		広報部	21	2
	健全育成部	18	2	鼎公民館	文化委員会	13	2
松尾公民館	文化委員会	19	2		体育委員会	17	2
	スポーツ委員会	22	2		広報委員会	12	2
	広報委員会	19	2	上郷公民館	文化部会	12	2
	総務企画委員会	8	2		スポーツ部会	13	2
下久堅公民館	文化部	15	2		広報部会	11	2
	体育部	20	2		青少年健全育成部会	12	2
	広報部	11	2	地域を育む委員会	3	2	
	育成部	15	2	上村公民館	文化委員会	4	2
上久堅公民館	文化委員会	11	2		体育委員会	4	2
	体育委員会	12	2		広報委員会	4	2
	広報委員会	10	2	南信濃公民館	文化委員会	9	2
千代公民館	文化委員会	13	2		体育委員会	11	2
	体育委員会	16	2		広報委員会	7	2
	広報委員会	11	2	計	895		
	青少年育成委員会	11	2				

飯田市の分館

地区名	分館名	分館世帯数	地区名	分館名	分館世帯数	地区名	分館名	分館世帯数
橋北	★江戸浜	122	千代	法山	78	県	★東鼎	166
橋南	なし			大郡	58		★西鼎	133
羽場	なし			米峰	28		★下茶屋	212
丸山	なし			毛呂窪	68		★中平	640
東野	吾妻町南	49	八ノ倉	19	★上茶屋		152	
	東新町1	46	下村	81	★切石		880	
	錦町	69	龍江	第一	262		★上山	1149
	高羽町東	195		第二	287		★一色	476
	宮の前	休館		第三	314		★名古屋	766
	宮ノ上	220		第四	157		★上黒田	665
	諏訪町	67	竜丘	駄科	992	★下黒田北	1021	
座光寺	なし	長野原		465	★下黒田南	802		
松尾	上溝	334		★時又	395	★下黒田東	681	
	久井	186		桐林	575	★丹保	360	
	★水城	330	上川路	131	★北条	409		
	★新井	445	川路	2	52	★飯沼南	350	
	寺所	242		3	49	★南条	293	
	★明	558		4	110	★別府上	382	
	★清水	215		5	45	★別府下	591	
	城	519		6	112	上村	上町	63
	八幡町	382		7	114		中郷	40
	代田	752		8	180		程野	51
	毛賀	677		三穂	なし		下栗	42
	常盤台	394	山本	東平	447		和田橋北	155
	下久堅	知久平		245	大明神	146	和田橋南	342
★虎岩		139		北平	309	八重河内	47	
柿野沢		87		中平	102	木沢	94	
稲葉		休館		西平	71	南和田	70	
小林		46		南湯川	145	以下102分館（休館を除く） ※うち条例分館は27館 （★の印） ※世帯数は、平成30年度分館 世帯数（平成30年9月末時点）		
南原		156		竹佐	186			
下虎岩		296		箱川	80			
上久堅	1	105	久米	111				
	2	74	二ツ山	休館				
	3	101	下殿岡	382				
	4	89	上殿岡	476				
	5	80	三日市場	386				
	6	51	伊賀良	北	2015			
千代	北部	44	県	大瀬木	1378			
	野池	95		中村	664			
	<small>*芋平区と野池区 の合区(2018.4)</small>			三尋石	157			
	米川	116		★下山	801			

公民館の予算及び施設の現状一覧表

公民館名	平成30年度当初予算 (単位:円)				施設の現状		
	公 費		地区費	総 計	面積 (㎡)	建設年月	構造
	管理費	事業費					
橋北公民館	84,000	272,000	2,123,000	2,479,000	594.6	S55. 3	鉄骨3
橋南公民館	206,000	261,000	1,699,000	2,166,000	550.9	S59. 3	鉄骨3
羽場公民館	404,000	323,000	2,459,000	3,186,000	937.2	S54. 3	鉄骨2
丸山公民館	282,000	284,000	2,272,246	2,838,246	896.0	S55. 3	鉄骨2
東野公民館	132,000	269,000	1,936,000	2,337,000	644.9	S60. 3	鉄骨2
座光寺公民館	370,000	312,000	4,955,700	5,637,700	901.6	S61. 4	鉄骨2
松尾公民館	546,000	560,000	7,487,000	8,593,000	2114.7	H 2. 3	鉄骨2
下久堅公民館	81,000	268,000	2,972,000	3,321,000	993.1	H26.12	鉄骨2
上久堅公民館	111,000	220,000	2,481,000	2,812,000	952.2	S56. 3	鉄骨2
千代公民館	47,000	231,000	2,360,000	2,638,000	797.1	H26.7	木造2
龍江公民館	164,000	265,000	5,422,000	5,851,000	912.7	S59. 3	鉄骨2
竜丘公民館	185,000	382,000	7,577,000	8,144,000	1699.1	H13. 5	鉄骨2
川路公民館	144,000	240,000	2,853,000	3,237,000	777.0	S57. 3	鉄骨2
三穂公民館	184,000	224,000	2,423,000	2,831,000	731.7	S59. 1	鉄骨2
山本公民館	261,000	322,000	3,547,000	4,130,000	1263.6	H 6. 3	鉄骨2
伊賀良公民館	375,000	601,000	8,169,441	9,145,441	1697.4	S63. 3	鉄骨2
鼎公民館	2,748,000	566,000	3,723,000	7,037,000	3678.7	S55. 2	鉄筋4
上郷公民館	172,000	591,000	59,792,025	60,555,025	耐震整備化工事中 平成31年3月まで		
上村公民館	0	193,000	730,000	923,000	582.95	H1.12 H29.3改修	鉄筋2 鉄骨2
南信濃公民館	0	223,000	2,257,000	2,480,000	1,548.4	H19.11	鉄筋2
小計	6,496,000	6,607,000	127,238,412	140,341,412	22273.9		
飯田市民公民館	2,806,000	7,693,000	—	10,499,000	3,059.80	S51.11	鉄筋4
合計	9,302,000	14,300,000	127,238,412	150,840,412	25333.7		

(説明)

- ・ブロック事業分の予算はブロック幹事の館へ配分している
- ・「公費」は地区へ配分している金額のみで飯田市民公民館で一括管理の予算(人件費、修繕費等)は含まれない
- ・「地区費」は地区内における振興交付金からの配分額等であるため地区毎に積算根拠が異なる
- ・上郷公民館地区費は、公民館建設関係経費含む金額。

飯田市各地区公民館利用状況

(平成29年度)

	有料団体			減免団体			無料団体			合計		
	件数	回数	人員	件数	回数	人員	件数	回数	人員	件数	回数	人員
飯田市公民館	89	275	12,108	60	273	32,040	420	1,763	41,054	569	2,311	85,202
ホール	25	152	8,230	30	94	21,286	58	273	19,814	113	519	49,330
会議室	64	123	3,878	30	179	10,754	362	1,490	21,240	456	1,792	35,872
橋北公民館	135	229	3,035	78	186	3,209	1721	1,832	22,736	1,934	2,247	28,980
橋南公民館	10	11	80	77	80	1,343	581	641	5,948	668	732	7,371
羽場公民館	166	166	2,383	292	292	5,444	2203	2,237	31,267	2,661	2,695	39,094
丸山公民館	73	80	1,339	507	597	8,267	1047	1,116	13,278	1,627	1,793	22,884
東野公民館	41	45	662	104	151	2,210	673	1,709	21,672	818	1,905	24,544
座光寺公民館	41	58	1,139	808	1,495	16,826	457	822	8,610	1,306	2,375	26,575
松尾公民館	155	312	6,809	611	890	27,490	1006	2,520	36,614	1,772	3,722	70,913
下久堅公民館	43	43	727	698	741	12,987	170	382	6,846	911	1,166	20,560
上久堅公民館	7	7	94	110	265	3,529	172	269	3,917	289	541	7,540
千代公民館	31	31	411	140	140	2,801	411	411	5,101	582	582	8,313
龍江公民館	32	32	624	495	631	5,744	754	1,021	16,799	1,281	1,684	23,167
竜丘公民館	97	144	3,308	313	405	6,912	1863	2,227	31,787	2,273	2,776	42,007
川路公民館	9	11	320	435	468	6,204	359	372	3,648	803	851	10,172
三穂公民館	26	26	330	186	251	3,413	422	561	10,310	634	838	14,053
山本公民館	35	35	925	173	204	6,540	895	992	11,976	1,103	1,231	19,441
伊賀良公民館	182	232	4,905	436	591	11,702	1520	2,019	30,858	2,138	2,842	47,465
鼎公民館	133	246	9,083	119	273	22,228	1,385	2,886	56,211	1,637	3,405	87,522
ホール	15	27	5,059	51	172	18,224	28	129	10,153	94	328	33,436
会議室	118	219	4,024	68	101	4,004	1357	2,757	46,058	1,543	3,077	54,086
上郷公民館	0	0	0	92	173	3,378	376	706	16,239	468	879	19,617
上村公民館	2	3	70	15	82	1,170	1	2	20	18	87	1,260
南信濃公民館	11	11	307	172	172	2,769	252	252	6,176	435	435	9,252
南信濃学習 交流センター	2	2	75	106	106	1,528	153	153	5,681	261	261	7,284
地区館計	1,231	1,724	36,626	5,967	8,193	155,694	16,421	23,130	345,694	23,619	33,047	538,014
合計	1,320	1,999	48,734	6,027	8,466	187,734	16,841	24,893	386,748	24,188	35,358	623,216

平成30年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

公民館名	乳幼児教育支援事業	家庭教育支援事業	多文化共生事業	地域芸術文化振興事業
飯田市民館 (P20～28参照)	○子育てネットワークライアングルの活動支援 - フリーマーケット - 子育て情報誌編集、発行 - 妊婦さん向け講座 - 子育て講座 - 子育てサークルリーダー育成		○わいわいサロン ○わいわいサロンⅡ - 鼎教室・松尾教室(夜間) - 出張講座 ○日本語教室シンポジウム	
橋北公民館 (P29～35参照)	○0歳児学級 (橋北・橋南・東野地区合同) ○2歳児学級「おさひま」 (橋北・橋南・東野地区合同)	○和菓子づくり体験講座 ○新春書き初め大会		○3館合同文化講演会 (橋北・橋南・東野地区合同) ○橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト(橋北屋台囃子保存会支援事業)
橋南公民館 (P36～44参照)	○1歳児学級「ひよこ」 (橋北・橋南・東野地区合同)	○親子パン作り講座 ○放課後子ども教室 ○夏休み子ども教室	○人権講演会	○ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野地区合同) ○飯田人形劇フェスタ2017 橋南地区公演 ○第23回橋南文化祭 ○3館合同文化講演会 (橋北・橋南・東野地区合同) ○伝統文化教室 - 天龍太鼓子ども教室 - - 松一獅子舞教室 -
羽場公民館 (P45～50参照)	○0～1歳児学級 ○2～3歳児学級	○家庭教育講演会 「子どもってね…」 (羽場・丸山・東野地区合同) ○夏休み子ども寺子屋	○日本語講座	
丸山公民館 (P51～59参照)	○0・1歳児学級(すくすく学級) ○2・3歳児学級(まるやまっこ学級)	○家庭教育講演会 「子どもってね…」 (羽場・丸山・東野地区合同) ○MARUYAMA FAMILY DAY ○夏休み子ども寺子屋	○丸山○○プロジェクト	
東野公民館 (P60～67参照)	○3歳児学級「ぶどう」 (橋北・橋南・東野地区合同)	○家庭教育講演会 「子どもって…」 (羽場・丸山・東野地区合同) ○お正月行事 ○夏休み子ども寺子屋 ○春休み寺子屋ひがしの		○ふるさとコンサート (橋北・橋南・東野地区合同) ○いいだ人形劇フェスタ2018 東野地区公演、東中学校区講演(橋北・橋南・東野地区合同) ○第46回東野区民文化祭
座光寺公民館 (P68～74参照)	○びよびよ教室 ○2歳児学級 ○アンパンマンの会	○子育て応援講座		
松尾公民館 (P75～80参照)	○0歳児学級 ○1歳児学級 ○2歳児学級 ○3歳児学級	○遊休農地活用事業 ○ラフティング体験教室 ○親子パン作り教室	○多文化交流会	○探勝会
下久堅公民館 (P81～86参照)	○乳幼児学級ほっかほかいちご ○乳幼児学級ほっかほかあひる	○親子体験学習 ○親子書き初め教室		○ふるさとコンサート
上久堅公民館 (P87～93参照)	○乳幼児学級「わくわくキッズ」	○上久堅小学校・PTA・公民館 共催講演会 ○図書館・公民館共催冬のお楽しみ会(クリスマス会)		○人形劇フェスタ 「市内観劇バスツアー」 ○書初め教室

平成30年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

学習交流推進事業	郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業
<ul style="list-style-type: none"> ○第56回飯田市公民館大会 ○第42回飯田市市民大学講座 ○第43回公民館コーラスグループ発表会 ○第37回飯田市女性バレーボール大会 ○飯田市成人式 ○JICA草の根技術協力事業「レガスピプロジェクト」 ○若者講座 	<ul style="list-style-type: none"> ○高校生講座「カンボジア・スタディツアー」 ○地域人教育 		
<ul style="list-style-type: none"> ○北斗のまち・さわやか講座 ○しめ飾り講習会・もちつき交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ○橋北まるごと博物館研究会事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○マレットゴルフ教室 ○ウォーキング講座 	
<ul style="list-style-type: none"> ○伝統・文化継承講座「手の芸の会」 ○おひまち ○しめ縄づくり講習会 ○もちつき大会 ○飯ごう炊さん ○追手町小学校科学実験教室 ○防災講座 	<ul style="list-style-type: none"> ○橋南史跡めぐり ○橋南史跡ウォーキング ○第33回橋南ウォークラリー大会 	<ul style="list-style-type: none"> ○いきいき講座 	<ul style="list-style-type: none"> ○ラベンダー講座 ○環境講座
<ul style="list-style-type: none"> ○曙の里講座「お正月のお花を生けましょう」 ○曙の里講座「書初め大会」 ○図書館お楽しみ会 	<ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ標語・ポスターコンクール ○曙の里講座「年越しそば打ち体験」 ○曙の里学習会 		<ul style="list-style-type: none"> ○探鳥会
<ul style="list-style-type: none"> ○観月の夕べ 	<ul style="list-style-type: none"> ○かざこしタイム 		<ul style="list-style-type: none"> ○探鳥会
<ul style="list-style-type: none"> ○独居高齢者学級「五福の会」 ○女性学級「めだかの学校」 ○若草の里東野講座「そば打ち体験」 ○文化講座 ○しめ縄作り ○書初め書道教室 ○三館合同文化講演会(橋北・橋南・東野) ○明日の東野をつくる集い 	<ul style="list-style-type: none"> ○東野文化の路探訪会 ○若草の里東野講座「日本の日本の伝統文化“のし”のお話を聞く会」 	<ul style="list-style-type: none"> ○みんなで歩かまい!めざせ1万歩!! 	<ul style="list-style-type: none"> ○山菜採り勉強会
<ul style="list-style-type: none"> ○麻績いきいき大学 ○麻績の里体験学校 ○科学実験教室 	<ul style="list-style-type: none"> ○座光寺探訪 		
<ul style="list-style-type: none"> ○松尾サイエンススクール ○男踊り教室 ○地域いきいきセミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ○水引教室 ○松尾探検隊 		
<ul style="list-style-type: none"> ○ひさかた村塾 ○図書館お楽しみ会 ○クリスマスお楽しみ会 	<ul style="list-style-type: none"> ○ひさかた和紙講座 ○下久堅地区新年の会 ○ひさかたウォーキング 	<ul style="list-style-type: none"> ○からだケア教室 ○ヨガ・ストレッチ教室 	
<ul style="list-style-type: none"> ○弓道体験会 	<ul style="list-style-type: none"> ○上久堅を学ぶ会 ○ふるさと自然体験2018 ○南信州狼煙リレー ○小学生への方言人形劇指導 	<ul style="list-style-type: none"> ○男性料理教室「男子厨房に入る」 ○十三の郷ウォーキング事業 	

平成30年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

公民館名	乳幼児教育支援事業	家庭教育支援事業	多文化共生事業	地域芸術文化振興事業
千代公民館 (P94～98参照)	○乳幼児学級「ちよっ子クラブ」	○親子料理教室	○ラオスのオブジェクトシアター ワークショップ	○新春書初め教室
龍江公民館 (P99～104参照)	○乳幼児学級0～1歳(りす) ○乳幼児学級2～3歳 (ぞう&うさぎ)	○食育体験教室 －季節の野菜づくり－ －大豆・豆腐づくり体験－ ○親子人形劇の会 ○図書館お楽しみ会 ○和紙作り ○地域クラブ ○小学校お助け隊		○人形劇フェスタ 観劇バスツアー ○今田人形浄瑠璃の保存と継承
竜丘公民館 (P105～109参照)	○0歳児学校 ○1歳児学級 ○2歳・3歳児学級	○家庭教育講演会 ○竜丘あいさつ運動	○中国帰国者支援事業 「好友会」(日本語教室)	○ふるさとコンサート ○いいだ人形劇フェスタ2018 竜丘地区公演 ○ニューイヤークンサート ○竜丘地区文化祭
川路公民館 (P110～115参照)	○乳幼児学級「すくすく学級」		○人権教育講座	○かるた会
三穂公民館 (P116～120参照)	○乳幼児学級 ○乳幼児のひろば		○文化セミナー	○いいだ人形劇フェスタ 三穂地区公演 ○人形劇フェスタ 観劇バスツアー
山本公民館 (P121～125参照)	○乳幼児学級(なかよし広場) ○乳幼児学級(ちびっこ広場)	○親子deクッキング ○児童センターおやつ作り	○ニッ山国際サロン	
伊賀良公民館 (P126～130参照)	○乳幼児学級(0歳児、1歳児)			
鼎公民館 (P131～137参照)	○つくし学級(3歳児学級) ○たんぼ学級(2歳児学級) ○いちご学級・りんご学級 (1歳児学級)	○家庭教育講座(かなえ子育て ネットワーク「すくすくの樹」) ○かなえっこ どんきどきスクール ○保育園・幼稚園・小学校との連 携による子育て支援事業	○平和・人権学習 「清水まなぶ講演会」	○鼎の景観写真コンテスト ○ふるさと鼎コマースヤル ○ふるさと鼎ふれあい広場・文化 祭 ○いいだ人形劇フェスタ2018 鼎地区公演
上郷公民館 (P138～144参照)	○乳幼児学級	○子ども(親子)そば打ち教室 ○子ども料理教室		
上村公民館 (P145～148参照)	○乳幼児学級「ひよこちゃん」	○小学校PTA共催講演会	高齢者福祉講座(健康フェス)	○人形劇フェスタ・ 観劇バスツアー ○しゃくなげ祭(文化祭)
南信濃公民館 (P149～153参照)	○乳幼児学級「すこやか学級」	○小学校PTA共催講演会 ○親子映画のタバ	○高齢者福祉学級 ○高齢者学級「いこいの広場」	○ふるさとコンサート ○人形劇団育成事業 ○南信濃地区芸術祭

平成30年度 公民館学級・講座実施状況一覧表

学習交流推進事業	郷土学習支援事業	健康学習推進事業	環境学習支援事業
○地域づくり講演会 ○どんぐりの会読み聞かせ	○千代の古道歩き		
○ストレッチ体操教室(のびのび元気体操) ○シェイプアップ体操(しなやかシェイプアップ体操)	○郷土を学ぶ学習会 ○龍江ふるさと探検 ○武田信玄狼煙リレー	○健康測定	○水辺の楽校活用・整備
○大人の学校	○竜丘市民大学講座 ○竜丘自由画保存顕彰委員会 ○竜丘古墳の会 ○民俗資料保存事業 ○古墳まつり	○夏季スポーツ大会 ○冬季スポーツフェスティバル ○竜丘市民運動会	○川で遊ぼう
○川路通学合宿 ○第66回天龍峡夏期大学 ○第30回川路の明日を考える研究集会 ○若者講座	○歴史文化セミナー ○世代間交流事業	○さわやか健康教室	
○高齢者学級 ○ほっとけない楽習会 ○ふるさとコンサートin三穂 ○ふれあい夏祭り ○三穂文化祭	○伊豆木人形の継承 ○ふるさとめぐり三穂 ○小学生農業宿泊体験	○ワンバウンドふらば～るバレー大会 ○お盆ソフトボール大会 ○女性交流スポーツ大会 ○三穂市民運動会 ○ニュースポーツ大会 ○体育施設整備作業	
○高齢者学級 ○メンズクッキング	○山本学講座 ○ふるさとクッキング		
○かさまつ大学 ○伊賀良みらいセミナー準備会	○伊賀良を学ぼう～歴史・文化・自然～ ○伊賀良を学ぼう～郷土料理教室～	○初心者向け料理教室	
○華甲大学(高齢者学級) ○鼎小中PTA公民館合同講演会	○地育力向上講座「ずんずんず～ん隊」 ○ふるさと再発見ワンデーマーチ ○古文書講座	○料理教室 ○ふるさと再発見ワンデーマーチ ○鼎地区体育祭(ペタンク大会) ○鼎地区縦断駅伝大会 ○鼎地区女性バレーボール大会 ○冬季スポーツ大会(ワンバウンドふらば～るバレーボール) ○ニュースポーツ講習会	○地育力向上講座「ずんずんず～ん隊」 ○鼎打ち水大作戦
○高齢者学級	○郷土料理教室 ○地域を知る会 ○郷土料理を考える会		○農作業体験教室
○若い衆で地域を語らまいか ○世代間交流事業 ○かみっこお楽しみ会	○小学生霜月祭横笛教室	○ニュースポーツ講習会 ○マレットゴルフ大会 ○かみむら大運動会 ○卓球大会 ○春季スポーツ大会	○自然環境講座
○女性学級 ○図書分館との合同事業 ○遠山郷学び隊	○夏休み連続子ども講座 ○春休み連続子ども講座	○南信濃地区野球大会 ○南信濃ソフトボール大会 ○南信濃地区市民運動会 ○南信濃健康まつり	○ブッポウソウの保護活動

平成30年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業			
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業
橋北公民館 (P29～35参照)	<ul style="list-style-type: none"> 橋北地区文化祭 いっぴだ人形劇フェスタ2018橋北地区公演 文化研修旅行(中止) しめ飾り講習会もちつき交流会 	<ul style="list-style-type: none"> ワンバウンドふらば～るバレー大会 第41回 橋北市民運動会 ウォーキング講座 橋北地区ボウリング大会 橋北地区囲碁ボール大会 	<ul style="list-style-type: none"> 館報橋北発行 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭における工作コーナー ほしぞら観測会 第41回橋北再発見ウォーキング「すたてくさっさ」 新春書き初め大会 和菓子づくり体験講座
橋南公民館 (P36～44参照)	<ul style="list-style-type: none"> いっぴだ人形劇フェスタ2018橋南地区公演 第23回橋南文化祭 橋南史跡めぐり 橋南史跡ウォーキング 	<ul style="list-style-type: none"> 第33回橋南ウォークラリー大会 橋南ソフトボール大会 第31回橋南連合大運動会 		<ul style="list-style-type: none"> 橋北・橋南・東野地区成人式 ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野3館合同) 三館合同文化講演会(橋北、橋南、東野合同) 橋北・橋南・東野地区成人式 ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野3館合同) 三館合同文化講演会(橋北、橋南、東野合同) 放課後子ども教室 夏休み子ども教室 しめ縄作り講習会 おひま もちつき大会 飯ごう炊さん 第15回橋南夏まつり 書き初め 天龍太鼓子ども教室 松一獅子舞教室 館報橋南の編集
羽場公民館 (P45～50参照)	<ul style="list-style-type: none"> 夜の講座 かざこしふれあいコンサート いっぴだ人形劇フェスタ2018羽場地区公演 羽場地区文化祭 第41回羽場ふれあいウォークラリー大会 	<ul style="list-style-type: none"> ワンバウンドふらば～るバレー大会 ソフトボール大会 ふれあいスポーツ祭 囲碁ボール大会 	<ul style="list-style-type: none"> 館報「あけぼの」発行 	<ul style="list-style-type: none"> 魚のつみかみ取り きのこ山保全活動 おやすしめ縄作り交流会 新春お楽しみ会
丸山公民館 (P51～59参照)	<ul style="list-style-type: none"> 人形劇フェスタ2018丸山地区公演 かざこしふれあいコンサート 丸山地区文化祭 おどなのサロン 丸山くらす 	<ul style="list-style-type: none"> ソフトボール大会 ワンバウンドふらば～るバレー大会 丸山地区市民大運動会 囲碁ボール大会 健康講座 	<ul style="list-style-type: none"> 広報まるやまの編集 	<ul style="list-style-type: none"> 丸山羽場地区成人式 丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール) 風越山を愛する会 丸山の歌をつくろう！プロジェクト 風越山麓わくわくプロジェクト まるやま石窯部
東野公民館 (P60～67参照)	<ul style="list-style-type: none"> 山菜採り勉強会 文化講座 いっぴだ人形劇フェスタ2018東野地区公演 第46回東野区民文化祭 東野文化の略探訪会 しめ縄作り お正月行事 	<ul style="list-style-type: none"> ラージソフトボール大会 ファミリーバレーボール大会 ペタタック大会 ワンバウンドふらば～るバレー大会 囲碁ボール大会 	<ul style="list-style-type: none"> 親子のスポーツ交流会 いっぴだ人形劇フェスタ2018東野地区公演 第46回東野区民文化祭 キッズチャレンジシリーズ お正月行事 子どもお楽しみ会 小、中学校卒業記念品の贈呈 	<ul style="list-style-type: none"> みんなまで歩かまいめざせ1万歩!! 橋北・橋南、東野地区成人式 ふるさとコンサート(橋北、橋南、東野合同) 三館合同文化講演会(橋北、橋南、東野合同) 丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)

平成30年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業			
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業
座光寺公民館 (P68～74参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・座光寺人形劇まつり ・座光寺地域文化祭 ・麻績の里種まき大賞 ・座光寺地域成人式 ・大人の体験教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・春季スポーツ大会 ・高陵地区体力測定会 ・座光寺野球大会 ・座光寺地域市民運動会 ・地区スポーツ交流月間 ・健康測定会 ・冬季スポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報座光寺発行 ・広報座光寺お知らせ版発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・もちつき体験 ・子ども桜ガイド ・お茶摘み体験学習 ・ホテルを見る会 ・水辺の広場で遊ぼう ・星空観察会 ・ふるさと探検 ・子ども科学教室 ・体験学校まとめの会
松尾公民館 (P75～80参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・親子映画鑑賞会 ・いっぴだ人形劇フェスタ2018 ・第16回松尾餅つてみよう会 ・松尾地区文化祭 ・松尾地区落語会 ・松尾地区成人式 ・お手軽カメラで写真展 	<ul style="list-style-type: none"> ・松尾地区市民運動会 ・ニューススポーツ講習会 ・分館交流ニューススポーツ大会 ・分館交流ふらば～るバレー大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・「まつお新聞」の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・松尾地区学習会 ・公民館役員研修会 ・松尾地区選歴の会
下久堅公民館 (P81～86参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとコンサート ・いっぴだ人形劇フェスタ2015 ・ひさかたウォーキング ・下久堅地区成人式 ・ひさかた和紙の里づくり ・下久堅地区文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ体験会、分館対抗クラブ大会 ・分館対抗ソフトボール大会 ・レデ イーストスバレーボール大会 ・常会対抗盆野球大会 ・下久堅地区市民運動会 ・囲基ボール大会 ・冬季スポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ひさかた」の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・下久堅地区成人式 ・下久堅放課後子ども教室 ・ひさかた村塾 ・ひさかた和紙保存会
上久堅公民館 (P87～93参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・いっぴだ人形劇フェスタに向けた学習会 ・人形劇フェスタ2018 上久堅地区公演 ・上久堅地区文化展 ・上久堅地区文化展 ・上久堅つたの祭典 ・上久堅を知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・竜東中学校区交流球技大会 ・分館対抗女性スポーツ大会 ・分館対抗ソフトボール大会 ・上久堅地区運動会 ・冬季スポーツ大会 ・囲基ボールリーグ戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・館報「かみひさかた」発行 ・館報編集学習会 ・館報発送サービス事業 ・第9回上久堅写真展 	<ul style="list-style-type: none"> ・分館自主活動 ・世代交流しめ縄飾り講習会 ・第26回ひさかたの火まつり ・上久堅地区成人式 ・小学校クラブ活動・総合学習の支援
千代公民館 (P94～98参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・いっぴだ人形劇フェスタ2018 千代地区公演 ・フェスタかんげきバスツアー ・千代峠交流会 ・千代地区文化祭 ・千代地区成人式 ・ふるさと講演会 	<ul style="list-style-type: none"> ・第9回ワンふらバレー大会 ・千代地区市民運動会 ・第5回囲基ボール大会 	<ul style="list-style-type: none"> ・館報千代の発行(6回) ・ふるさとの便り発送事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・竜東中学校区交流スポーツ大会 ・万古溪谷橋の木ツアー ・ウォークラリー大会 ・創作教室
その他				<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりフォーラム ・座光寺の名物をつくろうコンテスト ・公民館女性委員の会 ・座光寺の子どもを語る会 ・座光寺の子どもを語る会推進委員会

平成30年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
龍江公民館 (P99～104参照)	<ul style="list-style-type: none"> いっぴだ人形劇フェスタ2018 龍江地区公演 地区文化祭、芸能祭 ふるさと探訪 	<ul style="list-style-type: none"> 地区市民運動会 さくらまつりペタンク大会 龍江料亭伝 	<ul style="list-style-type: none"> 龍江新聞の発行(毎月) 龍江新聞地区外発送 	<ul style="list-style-type: none"> 龍江ふるさと探検 百人一首大会、龍江かるた会 水辺の楽校魚釣り、魚つかみ大会 食育体験 アップルキッズの森活動 	<ul style="list-style-type: none"> 武田信玄狼煙リレー 龍江地区成人式 和紙作り 地域クラブ活動 小学校お助け隊 郷土を学ぶ講演会 龍江ホームページ運営
竜丘公民館 (P105～109参照)	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとコンサート いっぴだ人形劇フェスタ2018 竜丘地区公演 ニューイヤークンサート 竜丘地区文化祭 竜丘市民大学講座 成人式 	<ul style="list-style-type: none"> 夏季スポーツ大会 冬季スポーツフェスティバル 竜丘市民運動会 	<ul style="list-style-type: none"> 館報たつおか発行 	<ul style="list-style-type: none"> 水辺の楽校整備作業 川で遊ぼう 竜丘あいさつ運動 古墳まつり 	<ul style="list-style-type: none"> 専門委員会 民俗資料保存委員会 特別委員会 竜丘古墳の会 竜丘児童自由画保存顕彰委員会
川路公民館 (P110～115参照)	<ul style="list-style-type: none"> オーケストラと友に音楽祭川路地区公演 いっぴだ人形劇フェスタ2018 川路地区公演 第66回天龍峽夏期大学 川路地区文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> 分館対抗ペルーボール大会 分館対抗ソフトボール大会 ニュースポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> 館報かわじ発行 		<ul style="list-style-type: none"> 川路地区成人式 川路の明日を考える研究集会
三穂公民館 (P116～120参照)	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとコンサート三穂 いっぴだ人形劇フェスタ 三穂地区公演 ふれあい夏祭り ふるさとめぐり三穂 三穂文化祭 文化セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> ワンパウンドふらぼ～るペルー大会 お盆ソフトボール大会 三穂市民運動会 ニュースポーツ大会 体育施設整備作業 	<ul style="list-style-type: none"> 館報「みほ」の発行 新春放談会 三穂地区ホームページ、ブログの更新 		<ul style="list-style-type: none"> 女性委員会 ほっとけない楽習会 女性交流スポーツ大会 企画委員会 公民館委員研修視察旅行 その他 伊豆木人形の継承 いっぴだ人形劇フェスタ 観劇バスツアー 三穂地区成人式 小学生農業宿泊体験
山本公民館 (P121～125参照)	<ul style="list-style-type: none"> ウォークキングで山本地区を学ぼう！！ いっぴだ人形劇フェスタ2018 山本地区公演 山本地区文化祭 国際ふれあい交流会 	<ul style="list-style-type: none"> 分館対抗スポーツ大会 体力促進会 山本地区市民大運動会2018 軽スポーツフェスティバル 			<ul style="list-style-type: none"> 企画委員会 やまびこマーチおもてなし 山本夏祭り 武田信玄狼煙リレー 山本地区成人式
伊賀良公民館 (P126～130参照)	<ul style="list-style-type: none"> いっぴだ人形劇フェスタ2018 伊賀良地区公演 ふるさとゲームウォークキング～大瀬木の巻～ 伊賀良地区文化祭 伊賀良地区成人式 	<ul style="list-style-type: none"> 伊賀良地区交流ペタンク大会 分館対抗夏季スポーツ大会 山本地区との交流会 伊賀良地区大運動会 分館対抗冬季スポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> 館報いから発行 米寿記念写真撮影、贈呈 		<ul style="list-style-type: none"> 学校体育施設運営委員会、調整会議 展示コーナー運営委員会

平成30年度 専門委員会等事業一覧表

公民館名	専門委員会事業				その他
	文化事業	体育事業	広報事業	育成事業	
県公民館 (P131～137参照)	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと再発見アンデューマーチ いっぴだ人形劇フェスタ2018 県打ち水大作戦 ふるさと県ふれあい広場・文化祭 県の景観写真コンテスト 県地区成人式 ふるさと県コミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> 県地区体育祭(ベタング大会) 県地区絶断駅伝大会 県地区女性バレーボール大会 県公民館長杯冬季スポーツ大会 ニューススポーツ講習会 	<ul style="list-style-type: none"> 「公民館報かなえ」の発行 	<ul style="list-style-type: none"> 婦人団体連絡協議会の活動支援 県の子どもを語る会 	
上郷公民館 (P138～144参照)	<ul style="list-style-type: none"> 上郷地区文化祭 いっぴだ人形劇フェスタ上郷地区公演 	<ul style="list-style-type: none"> 春季スポーツ交流会 夏季スポーツ交流会 上郷地区大運動会 冬季スポーツ交流会 高陵地区体力測定会 	<ul style="list-style-type: none"> 「広報かみさと」発刊事業 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ運動 野底山森林公園祭りへの参加 高松の丘音楽会 ペントボールロケットを打ち上げよう! 	<ul style="list-style-type: none"> 分館役員研修会 上郷歩こう会 久遠の会 上郷地区成人式 地域づくりフォーラム
上村公民館 (P145～148参照)	<ul style="list-style-type: none"> いっぴだ人形劇フェスタ2018 しゃくなげ祭(文化祭) 遠山地区成人式 	<ul style="list-style-type: none"> ニューススポーツ講習会 マレットゴルフ大会 かみむら大運動会 第25回小学生、公民館卓球大会 春季スポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> 「館報かみむら」発行 	<ul style="list-style-type: none"> 若い衆で地域を語らまいか PTA共催講演会 霜月祭横笛教室 	
南信濃公民館 (P149～153参照)	<ul style="list-style-type: none"> ふるさとコンサート2018in遠山郷 子供映画の夕べ いっぴだ人形劇フェスタ2018 遠山地区成人式 生活改善 盆の取り決め 	<ul style="list-style-type: none"> 南信濃地区市民運動会 南信濃地区野球大会 南信濃ソフトボール大会 南信濃健康まつり 	<ul style="list-style-type: none"> 「公民館報「やまなみ」」の発行 	<ul style="list-style-type: none"> 若者の思い実現プロジェクト 「遠山郷学び隊」 第21回南信濃芸術祭 遠山未来フォーラム 	
Aブロック公民館 (P154参照)	<ul style="list-style-type: none"> Aブロック芸能祭 	<ul style="list-style-type: none"> 旧市5地区野球大会 Aブロックシニア・レディースソフトボール大会 Aブロック女性バレーボール大会 旧市5地区少年野球大会 丘の上5地区囲碁ソフトボール大会 	<ul style="list-style-type: none"> Aブロック広報・館報研修会 		
Bブロック公民館 (P155参照)				<ul style="list-style-type: none"> わたしだけのワッペンケースをつくろう Bブロック館長・主事学習会 	
Cブロック公民館 (P155参照)				<ul style="list-style-type: none"> Cブロック情報交換会 	
Dブロック公民館 (P156参照)		<ul style="list-style-type: none"> Dブロックバドミントン大会 Dブロック公民館 運動会情報交換会 Dブロック交流スポーツ大会 	<ul style="list-style-type: none"> Dブロック小学生交流会 		

飯田市公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	トライアングルフリーマーケット	市費	継続	2	500	250	3,400	5月31日・10月24日	飯田市運動公園
	主に子育てに関するアイテム(衣料・靴・おもちゃ等)のリユース・リサイクルをはかる。	【総括と今後の方向付け】 子育てネットワークトライアングルが毎年春・秋の2回行うフリーマーケット。子育て世帯のリサイクル・リユースを推進するとともに、交流の場となることを目的としている。公民館では、出店申し込みの受付、当日の会場準備等をサポートしている。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	トライアングル妊婦さん向け講座	市費	継続	6	22	6	3,400	【初夏】6月～7月【初冬】11月～12月	羽場公会堂
	3回連続講座を夏1回・秋1回開催。どちらもママの為にストレッチ、ベビーズ製作、助産師さんや他の参加者との交流の相談や出産後の子育てなどについて話し合う機会とした。 【開催概要】 【初夏】「赤ちゃんやさんと私の時間」 ①6月25日「マタニティストレッチ」講師：宮澤恵子氏(助産師) ②7月2日「スタイ作り」講師：本村綾子氏 ③7月9日「おしゃべりしましょ」講師：松原千尋氏(助産師) 松村由美子氏(子育てアドバイザー) 【初冬】「赤ちゃんやさんと私の時間」 ①11月19日「マタニティストレッチ」講師：宮澤恵子氏(助産師) ②11月26日「スタイ作り」講師：本村綾子氏 ③12月3日「おしゃべりしましょ」講師：松原千尋氏(助産師) 松村由美子氏(子育てアドバイザー)	【総括と今後の方向付け】 毎年変わらず人気の講座となっており、出産の度にリピーターで受講している方もいる。 初冬の会では参加2組となったが、受講したいがお産に重なったなどの意見もあったが、お産のタイミングと開催期間が合わないこともある。アンケートでは、「2回目の参加だが、1回目と違う悩みも多発散出来で良かった」といった声が寄せられた。 妊婦さんが抱える出産・育児への漠然とした不安を少しでも解消し、安心して出産・育児に向かえるよう、今後も継続して支援したい。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	トライアングル子育て講座	市費	継続	3	27	9	3,400	9月3日・9月11日・10月1日	県公民館 他
	乳幼児を持つ親に対して3回連続講座を開催。心とからだをリフレッシュし、明日からの子育てをもっと楽しく、やりがいを感じてもらおう機会とする。 【開催概要】 「子育てエッセンス」 ①9月3日「巻き寿司に挑戦…行事に心をこめて」 講師：湯沢美鈴氏(自宅カフェ「鈴々舎」店主) ②9月11日「ネイチャージャーゲーム…自然の中で遊びを楽しむ」 講師：飯田ネイチャージャーゲームの会の皆さん ③10月1日「乳幼児期に大切にしたいこと」 講師：鈴木栄子氏(県みつば保育園園長)	【総括と今後の方向付け】 参加者それぞれが自分と子育てを見つめる機会となった。受講者からは、「子育ての色々なヒントになった」「不安などお互いに共有しながら解決できた」「皆さんと話せてなだんだんホッと安心できた」といった感想が寄せられた。 トライアングルでは、今後特に保育園・幼稚園以下の子どもをもつ親を対象にした講座を展開する。							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	子育てサークルリーダー交流会	市費	継続	1	10	10	3,400	3月4日	県公民館
	自主子育てサークルのリーダーが一同に会い、交流や情報交換をする中で、各サークルの活動を活性化し、市全体の子育て環境の改善を図る。	【総括と今後の方向付け】 今年度はおしゃべり会を実施した。交流会には市内で活動する自主子育てサークル3団体の参加があり、他のサークルとの交流を通じて、活発なおしゃべりの中から多くのことを吸収していただけたと感じる。 自主活動を行う子育てサークルは減少傾向にあるが、自主的に活動するからこそ得られるもの、子どもに伝えられることがあるとして、今後も支援が必要だが、内容については検討が必要である。							

飯田市公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	子育て情報誌「おひさま」の編集・発行	事業区分	継続	4	24	1回1059部発行	3,400	5月・7月・10月・3月	飯田市公民館
	目的 子育てに関する情報を発信する。	<p>“子育て中だからこそできること”をキーワードに、子育てネットワークライブラリーのメンバーが2ヶ月に1回手書きで編集・発行している。今年度は105号～108号を発行。毎回1059部印刷し、市内の公共施設や病院、つどいの広場などへ設置している。</p> <p>105号特集「ちよっとおでかけ」 106号特集「前向きにサボろう!!」 107号特集「2018我が家の3大ニュース」 108号特集「2018子育ての都市伝説うそ?ほんど?」</p>							
区分	事業名	事業区分	継続	43	344	8	2,154	毎週木曜10:00～12:00(通年)	飯田市公民館
学級・講座	日本語教室わいわいサロン	事業区分	継続	43	344	8	2,154	毎週木曜10:00～12:00(通年)	飯田市公民館
	目的 日本語を母語としない人が、日本語を学び、地域の人が交流する	<p>飯田下伊那地域に暮らす外国人が日本語を学び、地域の人の交流する場所として開催。いつでもだれでも気軽に参加でき、日本語の学習を柱としている。</p> <p>外国人がこの地域で暮らすために必要な教育、就労、生活全般に欠かせない情報を日本語を学びながら提供している。</p>							
区分	事業名	事業区分	他会計	16	295	20	2,154	6月～11月	開催会場 県公民館 他
学級・講座	日本語教室わいわいサロンⅢ(文化庁委託事業)	事業区分	継続	16	295	20	2,154	6月～11月	開催会場 県公民館 他
	目的 日本語を母語としない人が、日本語を学び、地域の人が交流する	<p>“地域との協働”を目標に掲げて事業を実施。外国人の地域参画を原据え、学習テーマには、生活に必要な情報などを取り入れた。</p> <p>◆鼎教室「いいだのいろ」6月～7月(全8回) ①6月4日「いいだで買物」②6月11日「いいだの人形劇」講師 今田人形座③6月18日「いいだの絵手紙」講師 鈴木伸治氏④6月25日「いいだで手続き」講師 市役所市民課⑤7月2日「いいだの七夕」⑥7月9日「いいだの水引」講師 飯田水引協同組合⑦7月16日「研修旅行 遠山郷」⑧7月23日「いいだの料理」</p> <p>◆松尾教室「フォトムービー作品をつくろう」9月～11月(全8回) ①～⑧9月19日～11月14日「フォトムービー作品の制作」 テーマ:わたしのふるさと</p>							
区分	事業名	事業区分	新規	16	80	5	2,154	7月～11月	開催会場 飯田市松尾
学級・講座	日本語教室わいわいカフェ(文化庁委託事業)	事業区分	新規	16	80	5	2,154	7月～11月	開催会場 飯田市松尾
	目的 日本語を母語としない人が、日本語を学び、地域の人が交流する	<p>公民館よりも外国人にとって身近な場所(例えば中華料理の店や、ブラジル料理の店など)でのサロンの教室を複数開設し、日本語学習の輪を広げることを目標にした。今年度はフィリピン人の自宅を開放し、日常生活や職場で必要な日本語学習の講座を実施した。</p> <p>◆中島アパート①～⑩7月29日～11月25日</p>							

飯田市公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	丸山〇〇(まるまる)プロジェクト(文化庁委託事業)	他会計	新規	1	30	30	3,456	7月1日	丸山公民館
	目的	丸山地区の水引の会社の方を講師に水引について話を聞き作品を作った。その後丸山石窯部の方とピザづくりをし、交流会をした。他にゲームや太鼓演奏などをして外国人と地区住民との交流を図った。昨年度の事業で集まって下さった日本語支援ボランティアの方に支援活動の機会を提供する狙いもあった。							
学級・講座	学習成果発表会(文化庁委託事業)	他会計	継続	1	40	40	101,819	2月3日	飯田市役所
	目的	DVD上映会をし、それぞれに作成者が壇上に登り、ムービー作成で苦労したところや「ふるさと」について話してもらった。次に他の日本語教室や国際交流団体の活動紹介を代表者に発表。館内にも団体の展示、チラシも設置した。その後持ち寄っていた各国の料理を食べながらグループトーク。終盤は豆まきと●×クイズを行ない、盛況のうちに閉会した。							
学級・講座	JICA草の根支援事業「レガスピプロジェクト」	他会計	継続	26	300	49	—	通年	飯田市公民館他
	目的	<p>JICA研修受入およびフィリピン・レガスピ市との交流を行っている住民組織「交流と学びの会」の事務局として、年間を通して支援を実施。</p> <p>【打合せ・会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三役会(計7回)、運営委員会(計6回)、総会(計2回) <p>【事業活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 8/19～24 JICA中部主催PLSD飯田研修受入れ 11/17～24 フィリピン・レガスピ市訪問 12/1 JICA PLSD研修20周年記念講演会・祝賀会 講師 大濱裕氏(日本福祉大学教授) *20周年記念誌制作(元気づくり支援金申請中) 12/9 国際交流のタペパナル展示参加 12/1 レガスピ訪問報告会 2/15 上久堅公民館 レガスピ訪問報告会 <p>JICAから委託された草の根技術協力事業によって進める途上国での住民自治の仕組みづくりを支援する取組を通じて、飯田の地域づくりに共通する課題と解決の方策を学ぶ。</p>							
学級・講座	若者講座	市費	継続	5	31	7	—	5月～8月	飯田市公民館他
	目的	<p>5/14 打合せ会①</p> <p>アドバイザーと打ち合わせ。</p> <p>6/1 第一回</p> <p>昨年度の振り返り。今年度について</p> <p>6/11第二回</p> <p>「基地づくり」について</p> <p>7月 三穂にて現地草刈り</p> <p>8月 三穂にて現地草刈り</p> <p>若者が自分たちの生活や生き方を見つめ直し、お互いの考えを深め合う機会として、また自身の暮らしから地域に目を向け、これからの生き方を考えながら自分たちにできることを考え、実践する</p>							

飯田市公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	事業区分	事業区分	1回参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	第56回飯田市公民館大会	市費	継続	1	541	541	101,819	2月17日	飯田市公民館	
	<p>1年間の公民館活動の成果を確認し、自分たちのくらしや生き方について考える機会として、また現在の社会状況に対しての公民館のあり方について考える機会として、開催する。</p> <p>テーマ「“関わり”つながり 学びあう”心豊かな暮らし・地域をめざして”ここからの社会に求められる公民館とは～”併催：第34回ムトス飯田学習会</p> <p>1 開会行事 教育功労者表彰、第34回ムトス飯田賞表彰ほか</p> <p>2 全体会 基調講演 講師 白戸洋氏(松本大学教授) 演題 ““関わり”つながり 学びあう”心豊かな暮らし・地域をめざして</p> <p>3 分科会 ・第1分科会 「人形劇フェスタの可能性」 ・第2分科会 「成人式のあり方について考えてみよう」 ・第3分科会 「スポーツが地域にもたらす力」 ・第4分科会 「あなたにとっての分館とは。」 ・第5分科会 「いってみよう・やってみよう そこからつながる」 ・第6分科会 「ムトスの心で、地域に活動の輪を広げよう！」</p> <p>～地域づくりというけれど～</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 今年度は、私たちの日頃の活動を振り返り、地域の人々とつながりながら自分らの地域づくりの取組とその可能性について考えることを目的に開催した。基調講演では、地域づくりの原点は、一人ひとりが自らの生き方を考えることであり、議論を重ねる事や実践を通してつながりをつくることとそれぞれがそれぞれの活動の充実につながることを理解するとともに、公民館は、そのプロセスを大切に学習の場、自治の拠点である場であることを改めて確認した。また、分科会では、全体の課題となっている6つのテーマで情報交換をした。企画にあたっては、主事・館長会で目的を常に共有しながら進めることに努めた。その結果、各分科会とも活発な議論がなされ、参加者にとって自身のあり方や今後の活動に活かすヒントが得られるものとなった。 今回のテーマ・基調講演・分科会の組立は、今後の地域づくり・人づくりに必要なことのできない重要な視点であることから、今後の大会もこの視点を取り入れていきたい。 また、ムトス飯田学習会との併催を考慮し、全体会場や分科会会場のあり方についての検討が必要である。</p>								
学級・講座	第42回飯田市民大学講座	市費	継続	8	771	144	101,819	9月～11月	飯田市公民館ほか	
	<p>市民を対象に、郷土の歴史や自然・風土を始め幅広く学習することでも、教養を得るとともに、ふるさと飯田のすばらしさを再認識し、この地域の将来展望について考える機会とする。</p>	<p>昭和52年に開講して以来40年目を迎えた。昭和60年度から「伊那谷の自然と文化」シリーズが始まり、今年度も、伊那谷をエリアに自然・文化・歴史・人物など幅広く取り上げ8講座を開講した。講座の企画・運営は12名で構成する運営委員が担っている。</p> <p>＜開催概要＞ テーマ：伊那谷の自然と文化Vol33 ～郷土の先人に学ぶ～</p> <p>①9/13「蘭と生糸に生きた人々の地域史」 飯田市歴史研究所 田中雅孝 氏 ②9/18「地質時代に日本の地名が刻まれるのか？」 国立極地研究所 菅沼悠介 氏 ③10/1 オケケ友10周年記念 『私たちの音楽祭』～このふさふさに宿り続ける(たい)もの～ オケケトラと友に音楽祭 企画委員長 井坪隆 氏 ソノール・ワリネットアンサンブルのみなさん ④10/11「日本人はなぜ山が好きか？学問として考える」 アラスカ大学 マッキンリー・プロジェクトリサーチリーダー 大蔵喜福氏 ⑤10/17 風越山開山1300年記念シリーズ①「風越山ー白山信仰の聖地」 飯田市美術博物館 学芸係長 櫻井弘人 氏、学芸員 織田顕行氏 ⑥10/23 風越山開山1300年記念シリーズ②「風越山と人の暮らし」 伊那谷自然友の会 会員 寺岡義治 氏 未来へつなげよう風越山麓わくわくプロジェクト委員長 細沢勝義氏 ⑦10/29 明治150年記念「水戸浪士通過後の飯田藩と下伊那」 飯田市美術博物館 客員研究員 鈴木博 氏 ⑧11/6 生誕150年記念「今こそ考えたい 人間 大江礒吉」 元緑ヶ丘中学校校長 郷土史研究者 平田正宏氏</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 今年度は、明治150年、風越山開山1300年等の節目の年としてのテーマを多く設定し、この地域の独自性を学ぶ講座として計画した。 登録会員およびのべ参加者数は昨年度より増加した。要因として、特にシニア大生等の関係者の登録が増えたと思われ、中高年の学習ニーズの高さがうかがえる。受講生の高齢化、若年層への働きかけが課題としてあげられる。 今年度は校長会で紹介したり地元高校へのチラシを配布することで、参加者の拡大に努めたが、この地域のふるさと学習を推進していく上でも、学校との連携が必要である。 受講生を対象に行ったアンケートでは、講座内容、講師についても好評である。 受講生の約7割のリピーターの存在は大変貴重であり、今後も受講生の希望に沿いながら、また新たな層への働き掛けに努めたい。 シニア時代を迎え地域の大きな変貌が予測される今こそ、この地域のもつ独自性や潜在力を明らかにし、その価値を再認識する学習は重要であると考える。次年度以降も引き続きこの講座の主旨を確認しながら内容を充実させていきたい。 受講者の有志12名で組織されている運営委員会は、講座の企画立案から各講座の運営まで主体的に活動されており、企画立案までの過程が学習の場となつている。長年関わってくださっている意識を次の世代へつなげていきたいと考える。</p>							

飯田市公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学区	高校生講座「カンボジア・スタディツアー」	市費	継続	8	120	15	3,000	10月～6月	飯田市公民館他
学級・講座	<p>目的 飯田・下伊那在住の高校生を対象に、ふるさと飯田を知る学習会やカンボジアでの学びを通じて、地域資源・魅力について改めて考え、進路選択の岐路にある高校生が、ふるさと飯田を意識し愛着が持てるようになる機会とする。</p> <p>実施内容 平成25年度から海外への派遣研修を実施し今年で6年目の取組。ふるさと飯田を知り、海外に学び、将来を考えると一連の学習活動を通して、地域に誇りと愛着を持ち、グローバルな視点で飯田をとらえ、地域の将来ビジョンを描けるような人材の育成を目指し実施。見聞き体験したことを、「自分にとって」引き付けて考えることを大切に企画した。</p> <p>■全体学習会 ①10/6～7 参加者及び保護者説明会、親睦合宿(第1回) カンボジア調べ学習一発表・前年度参加者との交流 「カンボジア支援について」講師:伊澤宏爾さん・橋本義哉さん ②11/4 「飯田市長から学ぶ」講師:牧野光朗飯田市長 ④12/2 「KTT(クメール織物研究所)の取組みについて学ぶ」講師:KTTジャパン代表 西川潤 ③12/23 「カンボジアの現状を知る」講師:中居美穂子さん(株式会社ピース・イン・ツアー職員) ⑤1/20 「『発展途上国』という言葉について考えてみよう」グループディスカッション ⑥2/10 「カンボジアに行く前に ～支援について考えよう～」講師:代田昭久飯田市教育長 ⑦3/3 地域学習活動成果発表(和菓子・祭り・ジビエ) ⑧3/10 「旅行の準備について」「緑の基金のみなさんとの顔合わせ」</p> <p>■グループ学習(地区公民館主事がコーディネーター) ・高校生の興味に応じて3グループに分かれ、地域に出向き、地元飯田を知るためのフィールド学習を行う。 ■現地研修 3/22～3/28 カンボジア スタディツアー ■振り返り～報告会 4～6月に振り返りを行い、6月に報告会を予定。 ■高校生講座アンケート実施(過去の参加者73名中51名から回答)</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 事前学習は、全員で共通の学習を進める全体学習会(月1回程度)と、全体学習会での話を受け、3グループにわかれて地域の現場に出るグループ学習(月数回程度)を実施。 全体学習では、現地を知る講師の皆さんや支援活動を行っている皆さんからの具体的な話と、「支援とは何か」「発展途上国という言葉は何を指すのか」といった抽象的・観念的なことを考える時間の双方を織り交ぜ、メンバーがお互いに意見交換しながら具体と抽象を結び付け、「自分にとって」に引き付ける時間を大切にしました。 グループ学習は、地域の物事の裏側にある「人」に焦点をあてて、地区公民館主事がコーディネーター。現地に出向くことで得られた多様な情報を整理し、この経験が自分たちにとってどういう意味があったのか、自分たちがどう変わったかを見出していくための寄り添いを行った。(テーマ:和菓子 第2班…祭り 第3班…ジビエ)</p> <p>現地研修前の3月に事前学習のまとめを兼ねて「学習成果発表会」を実施。それまでチームとして活動してきた高校生が、グループの中で自らの役割を再出し、仲間に向けていきなすことを実感。発表後には、カンボジア現地研修および振り返りに向け、自分たちが「チーム」としてよりよい状態になるにはどうしたらいいかを考える時間をつくった。</p> <p>また、昨年度、一昨年度の高校生講座に参加したOB、OGを発表会に招き、情報交換やアドバイスを、先輩からのエール・メッセージを送ってもらった。高校生講座を経験し成長した姿や、この経験が今どのように活かしているのかを肌感覚で伝えてくれ、今年度参加者にとっても刺激的な時間となった。</p> <p>3月下旬実施予定のカンボジア現地研修は、参加する高校生にとって体験する全てのことが刺激的で、これまでの価値観を大きく揺り動かす貴重な経験になると思われる。報告会や発表会等を通じて高校生が感じることや、その後の将来にどう生かしていきたいと感じたのかを広く発信していきたい。</p>	<p>評価</p>						
学区	第43回公民館コーラスグループ発表会	市費	継続	1	378	18グループ	1	2月24日	飯田市公民館
文化事業	<p>目的 各地区のコーラスグループを対象に、日頃の練習を対等に、日頃の成果発表と交流の機会をつくる</p> <p>実施内容 各地区公民館で活動しているコーラスグループが一宮に合し、日頃の練習の成果を発表する機会。参加グループで実行委員会を組織し、計画段階から当日の運営まで実行委員会の主体性を大切にしながら実施する。 第1回実行委員会で、運営体制、役割、日程等について確認する。 第2回実行委員会で、プログラム内容、練習日程等最終的な調整を行う。 第3回実行委員会で、反省と総括をし、次年度の方向性を確認する。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 実行委員会の主体的な運営も定着している。参加グループが成果を発表しあう機会としてこの会を目標としているグループも多く、他グループの発表を聞き刺激を受け、さらなる向上を目指す場となっている。飯田在住の外国籍の方とその支援者が実施している日本語教室のメンバーや、新たにコーラスを始めたグループの参加等、少しずつ変化しながらの継続できている。</p>	<p>評価</p>						

飯田市公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	定例館長会及び幹事会	市費	継続	24	360	22	22	毎月1回	飯田市公民館他
その他	<p>20 地区公民館の館長が、飯田市の公民館事業の企画・運営・調整を図る</p> <p>＜定例館長会＞ ① 公民館の役割、館長の職責について議論し整理する ② 全市共同事業の組立てや情報共有を図る ③ 地区館事業の情報交換を行う</p> <p>＜幹事会＞ ① 定例館長会の議題を協議、整理し方向付けを行う</p>								<p>【総括と今後の方向付け】 連絡調整や意思決定の機会として毎月半日開催を原則としている。今年度も館長会における研修テーマを設定し、各地区の取組の話題提供による研修・協議や関係団体との懇談を通じて、改めて社会教育機関としての公民館の役割や館長の職責について認識を深めることができた。今年度は、昨年度からスタートしたコミュニティスクールの各地区での取組の情報交換や先進地視察を通じて、地域学校協働活動を充実するための公民館の役割について考えあう研修に努めた。 また、国の社会教育の係の組織改編にともない、社会教育をめぐる動向について、教育委員はじめ社会教育関係者と合同で学ぶ機会を設定した。</p>
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	幹事会及び主事会	市費	継続	24	372	25	25	幹事会、定例主事会ともに毎月1回	飯田市公民館 他
その他	<p>飯田市公民館事業の企画・運営・調整を図る</p> <p>＜幹事会＞ ① 定例主事会の議題の組立てを行う ② 定例主事会で決まらなかったことに関して検討を行う ③ フロント主事会やプロジェクトへの情報提供及び意見集約を行う</p> <p>＜定例主事会＞ ① 業務に必要な情報の共有を図る ② 研修等を通じて主事としての専門性を高める ③ 各館の情報共有を行う</p>								<p>【総括と今後の方向付け】 幹事会で話し合われたことがPJ・ブロックに伝わらない、また伝わっても話し合われないなど、うまく連携が取れない場面が見られた。また人形劇PJ、井戸端PJは幹事が1名しかおらず負担も大きかった。来年は、主事会⇨幹事会⇨ブロックの連携を意識して進めていきたい。 ＜定例主事会＞ 主事会研修については、あえてブロックやPJの担当月を割り振らなかつたが、一度も研修に関わらない方が出てしまったので、ブロック研修を必須とするなどして全員が関わられるようにしたい。 ＜今後の方向付け＞ みんなが良い仕事を出来るように主事会がある。今年度は「チーム主事会」のイメージが薄かった。来年度は、他のプロジェクト活動にも関心を持ち意見を言うなど、みんなが考えるプロセスも大切にしていきたい。「私たちの主事会」を私たちの努力でより良いものにしていくイメージをみんなと共有したい。</p>

飯田市公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	人形劇プロジェクト	他会計	継続	25	250	10	10	通年	地区公民館
その他	<p>プロジェクト会議：25回 (1)前期(フェスタまで)：『飯田に住んでいる人が人形劇やフェスタに誇りをもつにはどうしたらいいか。プロセスの中でどう育めるか』を考え、以下に掲げる事業を実施。 ・地区公演プログラム編成 ・地区公演会場責任者会 ・プレフェスタ ・地区オリジナル企画・電車バスツアーとりまとめ ・地区公演調整委員会の実施 ・中学校区公演・保育園公演にかかるとりまとめ ・プール跡地フラワーイルミネーションの検討・実施 ・拡大スタンブラリーの実施 ・主事会ポロシヤツ作成、夜のサロン実施 (2)後期：世界フェスを振り返り、総括する中で「10年後、こんな人形劇フェスタになってほしい!」という絵を描きながら、今後につなげられるような取組を行う。 ・Lienの作成</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 今年度のいい人形劇フェスタは、飯田で人形劇がはじまって40周年を記念し、世界人形劇フェスタとしても実施された。昨年度行った取り組みから良い部分を継続しつつ、“今年ならではの”取り組みも行った。 今年度特に力を入れたのは、各中学校区で行われた海外劇団公演にかかるとり組みの支援と、プール跡地フラワーイルミネーションの実施である。各中学校区の海外劇団公演をよりよくするために各中学校区で行われている事前学習内容の共有や実施後の振り返りの共有を行った。プール跡地では、下農生による花の設置とともに、橋北面白倶楽部の皆さんにご協力いただき、イルミネーションを合わせて実施した。 後期は、PJ会議の中で、「10年後のフェスタ、こうなっていてほしい」というところから議論した。我々が目指すべきところは、『人形劇・フェスタにはこんな魅力があるから、あの人のために、地区の為に、今後もフェスタを盛り上げたい!』という人でも多く増やす』ところである。そのためには、今年達成感やどんな思いでやったのかを共有し、その想いを広げて行くことが大切、ということから冊子“Lien”を作成した。 今後も、各取組の中での大切な部分を共有しながら、事業展開を図っていきたい。</p>								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	主事会井戸端から地域課題を考えるプロジェクト	市・地	新規	20	155	8	9	通年	地区公民館
その他	<p>地域の方が話し合う場 =“井戸端”(講座、会議、少数での集まり)から多様な活動が生まれる。この井戸端をつくるために、また、井戸端を活性化させるために主事ができることを探っていく。</p> <p>評価 【成果】 ミニPJで3つのグループに分かれて活動し、聞き取りを行ったり、実際の事業に一緒に参加したり、共通の資料を作成する中でそれぞれ担当主事が抱える悩みに対して複数の主事で視点を出し合い、共有し、次の一歩を踏み出すことができた。 【総括と今後の方向付け】 今年度PJで取り組んだことが目的にある地域の井戸端を作ったり、活性化につなげることはなかなかできなかつたが、目録での悩みを出し合い、他主事と共有し視点を話し合うことで次の一歩が踏み出せることができ、主事同士によるケース検討の必要性を実感した。 しかし、他地区の事業であるがゆえの難しさは当然ある。今回はPJとして実際に他地域へ入って活動できる時間を設けることができたので、共有できた部分が大きい。しかし、日常的に他地区に入ってケース検討する時間は通常はない。あらためて主事会の中で自館の話を整理し伝えという訓練、相手の話をしっかり聴く姿勢が必要であると感じる。</p>								

飯田市公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
	地域×高校生共育プロジェクト	市費	継続				7	【総括と今後の方向付け】 高校教育改革が進められる中で、社会教育が高校に関わる意義を地域人教育の実践から整理してきた。これからの変化の激しい社会を生きていくには、高い志や意欲を持つ自立した人間として他者と協働しながら未来を創り出し、課題を解決する力が求められていく。そのような「生きる力」は学校だけでなく育まれるものではなく、色んな世代、仕事、考えの大人と様々な経験を積み重ねることで育まれ、地域社会とのつながりや信頼できる人と人との関わりを通して、高校生は成長していく。運った考えや価値観を取り込むからこそ、学校と地域が単独ではなしえない教育効果が生まれる。活動の中では、意見の衝突や対立が起こることも考えられるが、そのような異質な他者をつなぎ、学びの循環を促し、支援していくことが公民館の役割の一つである。		各公民館 他
その他	<p>①飯田OIDE長姫高校地域人教育3年生授業の実施 以下、地区名、主な実施事業・参加事業、関わった地域団体など 【橋北】高校生スペース 橋北店…橋北まちづくり委員会、春草公園を愛する会他 【橋南】空き家問題を高校生なりに考える…まちづくりカンパニー、在来屋他 【東野】CONNECT～東野地区の仲間になろう～…JAさくら会他 【松尾】商店街に灯りを！元気を！！…マルブン、シュエーズのキタハラ他 【竜丘】交流の場を考える…鶴流峡復活PJ、ぬくぬくの会他 【鼎】子どもたちの居場所づくり…関島水引店、鼎安全委員会他 【座光寺】リニア開通に伴う座光寺の魅力の再発見と発信…元善光寺、吉丸屋他 その他、随時授業へ参加。 2/22 以上の取組みについて、教頭、担当教諭、松本大学白戸教授・向井専任講師、りんご並木まちづくりネットワーク桑原氏、担当主事で年間総括を実施。 ②飯田高校1年生地元調べ校外活動の支援(6月6日) ③飯田OIDE長姫高校地域人教育1年生フィールドスタディの支援(12/4、5) ④地域人教育推進委員会への参加 飯田OIDE長姫高校、松本大学、飯田市(公民館)による情報交換、各学年の予定のすり合わせ、育てたい人物像・地域人教育の方向性の確認を目的に組織された上記委員会へ参加。 4/4、5/25、9/21、11/15、12/14の計5回会議へ参加 ④その他 9/27 第2回教育再生実行会議 新時代に対応した高等学校改革ワーキンググループ市長随員…副館長、國松先生、熊谷(東野) 10/20 地方創生実践塾in長野県飯田市対応…熊谷(東野) 2/14 飯田風越高校課題研究発表会…小島(市公)、熊谷(鼎)、三ツ井(座光寺) ⑤主な協議事項 ・各地区の地域人教育を通して、それぞれの主事が感じたこと、高校生や地域の方の様子、取り組みの意図や課題などを共有し、主事(公民館)の役割を考えたい。 ・地域人教育をより円滑かつ効果的に継続していく仕組みづくりについて意見交換を行った。</p>									
	目的	地域と高校生が共に学び、育ち、より良い地域を創造していくために、公民館ができることを、地域人教育を中心に研究する。								
	評価	<p>【総括と今後の方向付け】 高校教育改革が進められる中で、社会教育が高校に関わる意義を地域人教育の実践から整理してきた。これからの変化の激しい社会を生きていくには、高い志や意欲を持つ自立した人間として他者と協働しながら未来を創り出し、課題を解決する力が求められていく。そのような「生きる力」は学校だけでなく育まれるものではなく、色んな世代、仕事、考えの大人と様々な経験を積み重ねることで育まれ、地域社会とのつながりや信頼できる人と人との関わりを通して、高校生は成長していく。運った考えや価値観を取り込むからこそ、学校と地域が単独ではなしえない教育効果が生まれる。活動の中では、意見の衝突や対立が起こることも考えられるが、そのような異質な他者をつなぎ、学びの循環を促し、支援していくことが公民館の役割の一つである。</p> <p>高校と地域が協働し、より教育効果の高い活動にしたいためには、関わる大人たちが高校生の成長を軸として話し合い、ビジョンを共有し進めていかなければならない。注意すべきことは、このような取組みが単なる高校生を頼りにした地域振興、課題解決であってはならず、あくまで教育であるということである。高校生と地域住民が相互に学び合い、高め合っていくことが、結果として地域課題の解決へとつながっていく。高校生との活動を通して、若者を育てる当事者、これからの地域を創っていく当事者としての意識が再認識されるだけでなく、高校生を中心として地域のつながり・絆が強化され、学びも深まっていく。そのためにも、地域と学校が協働し、高校生の教育や地域課題の解決に関して、共に学び続けることが必要であり、学校と地域が相互補完的に連携・協働していく関係づくりをしていかなければならない。一年間の活動では深く関わることでできる住民は限られているが、地道に積み重ねていくことで地区内に少しずつ波及していくと考えられる。このような考え方は地域人教育に限らず、すべての地域学校協働活動に共通したものである。他校への展開を見据え、高校と地域が連携・協働していく取組みについて支援体制を含め、検証していく必要がある。</p>								

橋北公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	(橋北・橋南・東野)3館合同乳幼児(0歳児)学級	市・地	継続	8	38	7	42	実施内容参照	橋北公民館ほか
	0歳児とその保護者を対象に、親子、子ども同士との触れ合いの場、親子の交流の場を作り、子どもたちの健全な成長を図る	【総括と今後の方向付け】 公民館、保健師、保育士の運営側3者でしっかりと打ち合わせをして講座の目的を共有し、開講式では受講者の親子と一緒に約束事などを確認してスタートできたことはよかった。また、3地区での合同開催であることを意識し、異年齢の乳幼児学級との合同開催も多く盛り込み、交流を図った。しかし、少子化が進む中で、3地区での合同開催にもかかわらず、年々対象者が減少しているため、今後のあり方の検討も必要である。							
学級・講座	(橋北・橋南・東野)3館合同乳幼児(2歳児)学級	市・地	継続	18	236	24	96	実施内容参照	橋北公民館ほか
	2歳児とその保護者を対象に、親子、子ども同士の触れ合いの場、親子の交流の場を作り、子どもたちの健全な成長を図る	【総括と今後の方向付け】 公民館、保健師、保育士の運営側3者でしっかりと打ち合わせをして講座の目的を共有し、開講式では受講者の親子と一緒に約束事などを確認してスタートできたことはよかった。また、3地区での合同開催であることを意識し、異年齢の乳幼児学級との合同開催も多く盛り込み、交流を図った。しかし、少子化が進む中で、3地区での合同開催にもかかわらず、年々対象者が減少しているため、今後のあり方の検討も必要である。							
学級・講座	北斗のまちさわやか講座	市・地	継続	12	230	25	3,049	実施内容参照	橋北公民館ほか
	地域住民を対象に連帯意識、仲間作り、交流と学習の場づくりを目指す	【総括と今後の方向付け】 「地元を知ること」を大切にし、地区に密着したテーマや地区に関係する方々に講師になってもらう講座を多く設けた。また、健康推進部と共催で、健康をテーマにした講座を3回実施したが、受講者の感想から、高齢化が進む地域において健康への関心が高いことがわかり、今後も地域のニーズに合った講座が開催できるよう、連携を検討していきたい。							

橋北公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	マレットゴルフ教室	他会計	継続	9	235	44	3,049	実施内容参照	実施内容参照
	実施内容		開講式: 4/11 定例会: 5/9, 6/13, 8/8, 10/10 大会: 7/11(懇親会も開催)、9/12, 11/14 閉講式・懇親会: 12/5 運営委員会: 4/9, 6/6, 11/5 会場: 下久堅親水公園マレットゴルフ場、松尾マレットゴルフ場、豊丘村アカシアマレットゴルフ場、マレットゴルフ場、	【総括と今後の方向付け】 自主的に開催する懇親会などを通して、会員同士が交流を深めている。また、開講前には、運営委員が講師となり、新会員に対して競技規則やマナーなどの講習を実施している。このように、運営委員を中心として教室を自主運営していく雰囲気もあるため、そうした意識を大切にしていきたい。					
文化事業	橋北地区文化祭	市・地	継続	1	600	600	3,049	6月23日、24日	浜井場小学校
	実施内容		地区住民による地区住民のための文化祭として実施した。公民館の教室、グループを中心に、地元保育園・幼稚園、小中学校、まちづくり委員会や地区の団体などによる展示や芸能発表が行われたほか、子ども向けの工作コーナー、体力測定コーナー、姿勢計測器等を使った体測定コーナー、屋台やバザーなども設けられた。さらに、今年度は「橋北人」をテーマとして、地区にお住いの方や地区内で働いている方で、知られていない「すごい人」をもっと知ってもらおうということで、様々な特技を持つ「橋北人」の方々が展示や芸能発表に参加した。地区住民である「橋北人」の絵画や書道の展示、大道芸・手品や歌の芸能発表のほか、地区内にある企業や公共施設で働く「橋北人」による芸能発表や子ども向け紙しばい等が行われた。	【総括と今後の方向付け】 全体テーマが「橋北人」ということで、地区内交流に特に力を入れて取り組み、地区住民の知られざる一面や地区内で働く方を知るいい機会となった。さらに、文化祭への出演をきっかけとして、地区内他のイベントに出演団体が増えるなど、地区内の交流がより促進された。「橋北人」と設定した全体テーマにより、催し物、発表、展示の方向性が明確になり、スタッフも新たな企画を提案できたため、来年度以降も地区住民と文化祭のねらいを共有できる全体テーマの設定を行いたい。					
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2018橋北地区公演	他会計	継続	7	945	945	3,049	実施内容参照	橋北公民館ほか
	実施内容		橋北地区内7会場にて以下の通り実施。 8/3 会場: 橋北公民館3階大会議室 スタッフ: 橋北公民館文化部 8/4 会場: おさひめチャイルドキャンプ スタッフ: 当該施設職員及び入居児童 8/6 会場: 慈光幼稚園 スタッフ: 当該園職員及び中学生ボランティア 8/7 会場: 子供の園保育園 スタッフ: 当該園職員 8/8 会場: 飯田ルーテル幼稚園 スタッフ: 当該園職員 8/9 会場: 橋北公民館1階会議室 スタッフ: 橋北男塾 8/11 会場: 信販販売(株)飯田支店 スタッフ: 江戸浜分館	【総括と今後の方向付け】 今年度はカーニバルから40年、フェスタ20周年という記念の年で、例年の地区公演4会場にプラスして、保育園公演3会場が加わり、計7会場で開催された。今年度は、地区内交流を促進し、地区住民の知らない「すごい人」をもっと知ってもらおうということで、様々な特技を持つ「橋北人」の方々が展示や芸能発表に参加した。地区住民である「橋北人」の絵画や書道の展示、大道芸・手品や歌の芸能発表のほか、地区内にある企業や公共施設で働く「橋北人」による芸能発表や子ども向け紙しばい等が行われた。					
文化事業	文化研修旅行	地区費	継続	1			3,049	11月19日	沼津市
	実施内容		文化部員が企画運営し、参加者が事前学習会をして、単なる旅行ではなく研修旅行として計画したが、参加者が定員に達しなかったため中止。 【総括と今後の方向付け】 開催時期、研修旅行の内容等、様々な要因により、参加者が定員に達しなかったため、中止することとした。来年度は開催時期や研修先等、地区の方の声を多く聞き、計画していきたい。また、多世代の方々が参加し、地区内住民の交流の場にもなるよう、内容を検討することも必要である。						

橋北公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ワンバウンドふらばーるバレーボール大会	地区費	継続	1	100	100	3,049	7月8日	浜井場小学校体育館
	目的 地域住民を対象に、日頃の運動不足解消と交流を図る								
評価	【総括と今後の方向付け】 参加チームの募集は基本的には町内単位で行なったが、今年度は個人やサークル単位での参加も可能とし、計10チームの参加があった。浜井場小学校PTAチームの親子参加や、20代の野球チームなど幅広い年齢層の参加により、全体の参加人数も例年より多くなった。今後もしこうした工夫をしながら、実施していきたい。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ウォーキング講座	市・地	継続	1	25	25	3,049	9月30日	浜井場小学校体育館
	目的 地域住民を対象に、冬場の運動不足の解消とウォーキングのモデルコースの創設を目指す								
評価	【総括と今後の方向付け】 今年度は保健課との共催で実施し、姿勢計測を取り入れたウォーキング講座とした。姿勢計測という新しい取組により、地区住民の関心も高まり、例年より多い参加者であった。天候が悪かったこともあるが、歩き方中心の講座になってしまい、参加者とその後に実施する橋北再発見ウォーキング「すたてくさっさ」へとつなげる事ができなかった。その点は、今後、実施内容を考える際に検討したい。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	橋北市民運動会	地区費	継続	1	535	535	3,049	10月7日	浜井場小学校校庭
	目的 地域住民を対象に、レクリエーションスポーツを通じた住民相互の交流を図る								
評価	【総括と今後の方向付け】 今年度で41回目を迎えた運動会は、公民館委員のみならず、まちづくり委員会役員や各種サークル等も協力して運営にあたった。種目はレクリエーション要素を多く取り入れ、子どもから高齢者まで多くの方が参加しやすいものとしたが、継続されてきた競技性、勝負性のある種目も引き続き行った。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ボウリング大会	地区費	継続	1	27	27	3,049	1月20日	アストロポウル
	目的 地域住民を対象に、冬場の運動不足と住民間の親睦交流を図る。								
評価	【総括と今後の方向付け】 運動不足に足りないがちな冬季のスポーツ事業として、橋北地区に近いアストロポウルで実施。子どもから大人まで多くの方に参加してもらい、世代間交流の場ともなるよう、参加費の半額を公民館が負担した。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	囲碁ボール大会	地区費	継続	1	35	35	3,049	3月3日	浜井場小学校体育館
	目的 地域住民を対象に、レクリエーションスポーツを通じた住民相互の交流を図る								
評価	【総括と今後の方向付け】 誰でも楽しめるニュースポーツということで、高齢者から小学生まで、幅広い世代の参加があり、囲碁ボールを通じた世代間交流の場ともなった。参加者からは、地区区内に囲碁ボールがまだよく知られていないことを残念がる声も聞かれており、次年度はより積極的に広報を行い、囲碁ボール大会の定着を図っていきたい。								

橋北公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報橋北	地区費	継続	年5回発行				3,049	実施内容参照	
	実施内容								【総括と今後の方向付け】 「館報橋北」は橋北まちづくり委員会が発行する「まちづくり便り」との差別化を図り、地域を深く掘り下げる、地域課題を提起する記事を中心として、地域内に情報発信を行った。また、浜井場小学校での取組も取り上げ、地域に小学校の取組を知ってもらうような情報発信も行っている。	
育成事業	橋北地区文化祭での工作コーナー	市・地	継続	1	50	50	50	3,049	6月23日、24日	浜井場小学校
	実施内容								【総括と今後の方向付け】 橋北地区文化祭で、「文化祭だからこそ楽しめる工作」に重点を置いた「工作コーナー」を公民館部員で運営でき、参加した子どもたちも楽しさ、おもいも楽しさを感じて運営でき、参加した子どもたちも楽しさ、おもいも楽しさを感じて運営できた。また、巨大新聞ドームは、育成部員だけでなく、公民館部員全体で試行錯誤しながら作成し、文化祭で実際に膨らませて子どもたちが中に入る際に、部員全体で達成感を持つことができた。 新聞ドームを膨らませる過程では多くの大人が関わり、子どもと一緒に工作・実験の楽しさ、おもしろさを共有することで、子どもだけでではなく大人からも「またやりたい」という声があり、今後につなげていきたい。	
育成事業	ほしぞら観測会	新規	新規	1	30	30	30	3,049	10月20日	旧飯田測候所
	実施内容								【総括と今後の方向付け】 当初は7月28日に開催予定であったが、台風接近のため、10月20日に変更して実施した。高校生と地域住民と一緒に企画運営する、地元施設を活用した事業という点で、一昨年実施した内容を引き継ぎ、公民館育成部側からの呼びかけに飯田高校天文班が応えてくれる形で実現した。高校生の説明に小学生はもちろんだら、大人たちも聞き入っており、終了後、高校生たちから「次はこうしたい」という声も聞かれたため、このつながりをぜひ来年度につなげていきたい。	
育成事業	橋北再発見ウォーキング「すたてくささ」	継続	継続	1	50	50	50	3,049	11月4日	橋北地区
	実施内容								【総括と今後の方向付け】 今年度は、橋北三大災害の記録集を作成している橋北まるごと博物館研究会と一緒にコースづくりから行った。普段見慣れている野底川沿いを三六災害時の説明を見ながら歩くことで、参加者同士で当時の話をすると光景も見られ、改めて地区を見つめ直すいい機会となった。また、地区住民であったりもなかなか知らないような地区の北限や碑などの説明もあり、参加者はもちろん、企画した公民館部員にとっても地区を知るよい機会となった。今後は、地区住民が改めて地区を知る機会となることに加え、多くの子どもたちが事業へ参加できるよう働きかけを考えていきたい。	

橋北公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	しめ飾り講習会、もちつき交流会	市・地	継続	1	70	70	3,049	12月3日	浜井場小学校
	実施内容 地域住民を対象に、3世代交流の場、伝統行事の継承を目指す 【総括と今後の方向付け】 しめ飾りづくりでは、使用するわらに浜井場小学校3年生が育てた稲のものも加えたことで、小学生親子の参加が多かった。また、地区住民が同じ場所で行う作業も増え、同じものを食べるため、隣あった人たち同士で聞きあう、話し合う様子も見られ、住民交流の場としてもいい機会となった。今後も、小学校と連携した事業展開できるように計画していきたい。	市・地	継続	1	70	70	3,049	12月3日	浜井場小学校
育成事業	新春書初め大会・正月遊びの会	市・地	継続	1	40	40	3,049	1月5日	橋北公民館
	実施内容 小学生児童と一般を対象に、書初めを通じ世代間交流と正月行事の大切さに触れることを目指す 【総括と今後の方向付け】 例年は1月3日に開催しているが、今年度は曜日の関係で1月5日に開催したところ、小学生だけでなく、中学生の参加も多かった。また、書初めには地区内の社会教育団体が協力し、正月遊びにもけん玉や折り紙が加わったことで、よりよい地区内の世代交流の場となった。	市・地	継続	1	40	40	3,049	1月5日	橋北公民館
育成事業	和菓子づくり体験講座	市・地	継続	1	33	33	3,049	2月3日	浜井場小学校
	実施内容 小学生児童とその保護者、児童とその保護者と共に実際に季節の和菓子(いちご大福、桜もち、チョコの焼ドーナツ)を製作した。 講師:城田茂さん(佃田月)	市・地	継続	1	33	33	3,049	2月3日	浜井場小学校
合同事業	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)	市・地	継続	1	180	180	8,697	7月15日	川本喜八郎人形美術館前広場
	実施内容 地域住民を対象に、身近な場所ですべの高音楽を楽しめる機会を図る 【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き実施。橋南夏祭りコラボでの開催により、多くの方に身近な場所ですべの高音楽を楽しめる機会となった。川本喜八郎人形美術館前という屋根下の演奏の演奏者にとってはあまりいい環境とは言えなかったが、演奏会を目的に来た人はもちろん、夏祭りの会場へ音楽が聞こえてきたことで来た方もおり、多くの観客に音楽に親しんでもらえた点ではよかった。	市・地	継続	1	180	180	8,697	7月15日	川本喜八郎人形美術館前広場
合同事業	三館合同文化講演会(橋北・橋南・東野)	地区費	継続	1	51	51	8,697	3月2日	東野公民館
	実施内容 地域住民を対象に、地域を知り愛着を深めることを目指す。 【総括と今後の方向付け】 身の回りにあるものを見直す視点で見ると、自分自身のありのままを受け入れる事など、今後の生き方について一石を投じる貴重なお話を聞くことができ良かった。参加者が、この講演会が自分自身について振り返るきっかけとなるといい。当日は、3館の住民を中心に大勢の参加者があった。今後も、三館で文化講演会で行う意味を確認しながら、参加したいと思える題材を選び心がけていきたい。	地区費	継続	1	51	51	8,697	3月2日	東野公民館

橋北公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	橋北・橋南・東野地区成人式	他会計	継続	1	67	67	67	102	1月13日	飯田市公民館
	目的	新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持てるような機会とする	成人該当者を中心に、公民館委員、職員から組織する実行委員会で計画し実施。 ・成人式実行委員会の開催 ・実行委員による地域学習の実施 (学習テーマを「りんご並木と丘の上のパン屋さん」とした) ・式典の実施 ・祝賀会の実施	【総括と今後の方向付け】 新成人実行委員に事前作業等も積極的に参加してもらったほか、当日も主体的に運営に関わってもらったことができた。新成人実行委員による地域学習では、対象となる新成人全員が中学生時代に摘花や収穫の作業を経験したりご並木と、実行委員の実家がパン屋さんを営んでいることからそれを組み合わせたテーマとし、式典でも学習成果を披露した。今年度は、第1回の会議から新成人実行委員が多く参加してくれたことで、話し合いもスムーズに行うことができた。終了後も、公民館事業に参加してもらおうなどの成人式以降のつながりも持てるように心がけた。	評価					
その他	情報モラル・ネットトラブル防止学習会	地区費	新規	1	20	20	20	3,049	6月28日	浜井場小学校
	目的	小学生保護者を中心とする地区住民を対象に、子どもたちをネットトラブルから守るための学習の機会創出を図る。	浜井場小学校と共催で実施。保護者、地区住民を対象に、SNSの危険性、安全なインターネットの使用方法等について講演を聞き、子どもたちをSNSの危険から守る方法を学んだ。 講師：南澤信之氏（一般社団法人 セーフティネット総合研究所専務理事）	【総括と今後の方向付け】 浜井場小学校からの呼びかけで共催した学習会であったが、公民館では扱う機会の少ないテーマであるSNSの危険性や、その危険から子どもたちを守る方法を聞ける良い機会となった。しかし、平日の日の中の開催であったため、保護者の参加が少なく、今後も小学校と共催していく場合は、子どもに身近な大人が参加しやすい工夫をする必要がある。	評価					
その他	浜井場小学校の池の水ぜんぶぬく大作戦	地区費	新規	1	80	80	80	3,049	11月19日	浜井場小学校
	目的	地域住民を対象に、浜井場小学校の池を掃除して、地区の小学校の環境整備を図る	浜井場小学校昇降口前の池の掃除を、公民館委員、PTA、地域住民が中心となり実施。池の水抜き、水入れには、飯田市消防団第2分団の協力があり、また、池の生物観察会は、講師をかわらんべスタッフの中村貴俊先生に依頼した。	【総括と今後の方向付け】 年度当初の予定にはない事業であったが、公民館委員からの「小学校の池が汚いのでなんとかしたい」という声から、様々な協力を得て実現した事業であった。小学生、保護者、地区住民が一つのことを協力して行う経験、そして池がきれいになるという結果は、三者にとっても満足度の高いものとなった。この活動から、「次はあの草をなんとかしたい」という声も聞かれるようになっており、次の活動につなげられるように、今後も小学校、PTA等との連携を深めていきたい。	評価					
その他	橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト	0円	継続	24	1,000	35	35	3,049	実施内容参照	橋北公民館ほか
	目的	地域住民を対象に、横笛等の練習をしてお囃子復活を目指す。	橋北地区伝統文化保存継承プロジェクト(橋北屋台囃子保存会)、橋北まちづくり委員会が主体となって運営している。公民館はプロジェクトへの側面的支援という形で関わっている。 橋北地区文化祭出演：6月24日 各種イベントの出演、福祉施設等の訪問：随時	【総括と今後の方向付け】 平成28年3月のお練りまつりへの参加後は、橋北屋台囃子が橋北地区に文化として根付き、地区住民にとって誇れるものとなるよう、継続して活動を行っていくことを重視している。昨年度から始まった浜井場小学校4年生の「生活・総合的な学習の時間」でのお囃子練習は、今年度の4年生にも引き継がれた。今後は、授業でお囃子に接した児童たちが、授業以外でもお囃子を続けていけるような働きかけも検討する必要がある。	評価					

橋北公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	橋北まるごと博物館研究会事業		0円	継続	10	180	20	3,049	実施内容参照	橋北公民館ほか
	<p>地区内の資源について知っていても語れない。そんな資源を光らせ誇りを 持って語れるように学習やイベントを開催する。研究会に所属する地域住民 に対する更なる意識啓発も図る。</p> <p>6月23、24日：文化祭にて橋北3大災害(飯田大火、内山花火工場爆発、三 大災害)に関するパネル展示</p> <p>8月24日：さわやか講座にて「三六災害体験談から学ぶ豪雨への備え」の講 座実施</p> <p>11月4日：橋北再発見ウオーキング「すたてくさっさ」での解説 年間を通して：橋北3大災害の記憶を後世に伝えるための記録集作成 随時：会議、学習会を実施</p>								【総括と今後の方向付け】 橋北3大災害(飯田大火、内山花火工場爆発、三六災害)の記憶を後世に伝える 記録集の作成にあたり、今年度は公民館での講座や事業で講師や解説を務めて いただいた。地区の方々には地域の歴史を伝える点では協力しての活動が多くでき た。自主的な活動であるため、公民館側は側面的なサポートがメインにはなるが、 来年度は、作成した記録集を活用した事業等も協力して実施していきたい。	
その他	地域教育		他会計	継続	32	1,000	8	3,049	実施内容参照	橋北地区内
	<p>今年度は、地区住民へのインタビュー等から買い物困難者を助けたいという ことで、「高校生スーパースター橋北店～買う人から売る人になりませんか?～」を 主テーマに活動に取り組んだ。</p> <p>4～7月：橋北地区内散策、市政懇談会への参加、文化祭での紹介展示、夏 祭りでのブース出店</p> <p>8～10月：高校生スーパースター開店準備</p> <p>10～12月：高校生スーパースター営業(計11日)</p> <p>12月28日：北斗のまち・さわやか講座にて発表</p> <p>1月：総括</p> <p>3月15日：高校生スーパースター特別営業</p>								【総括と今後の方向付け】 今年度の高校生の活動は、これまでの取組の方向性とは違い、地区住民の生活 の一部となるような内容であった。そのため、当初は戸惑う地区住民もいたが、継 続してスーパースターを営業するうちに、高校生との関係性が築かれ、理解が広がって いった。地区住民からもスーパースター継続を望む声も多く、今後は、高校生が目指した 「地区住民も売り手側になる」スーパースター運営に向けて、地区でもこの取組を生かし た買い物困難者への対応策を検討していく必要がある。	

橋南公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	1歳児学級「ひよこ」(橋南・橋北・東野地区合同)	市・地	継続	18	257	29	117	原則第2、第4火曜日	保健センター	
学級・講座	1歳児とその親を対象とした、子どもの健全な成長をはかるための遊び、活動を行うほか、親の知識習得、親同士の交流の場とする	東中学校区三館合同で、橋南地区は1歳児を担当。内容については、お母さん方の学習と交流を重点に保育士、保健師、主事で行い決定。 ＜開催概要＞①5/22開講式 仲良しゲーム②6/12親子で楽しく遊ぼう、足形をとろう③6/26布・紙で遊ぼう④7/10わらべうたで触れ合おう⑤7/24助産師さんへ聞いてみよう⑥8/28子どもの言葉を育てよう⑦9/11離乳食についてお話ししよう⑧9/25いざという時に備えよう⑨10/9ミニ運動会⑩10/23動物に会いに行こう⑪11/13みんなでお身体を動かそう⑫11/27親子で一緒にリトミック、みんなどのお話をしよう⑬12/11クリスマス準備(簡単なおもちゃ作り)⑭12/19クリスマス会⑮1/29絵本で子どもの心を育てよう⑯2/12親子でリトミック、みんなどのお話をしよう⑰2/26記念品作り(1年の成長記録を残そう)、足形をとろう⑱3/12開講式	継続	24	480	20	2,712	原則毎月第1、第3木曜日	橋南公民館	
学級・講座	伝統・文化継承講座「手の芸の会」	地区費	継続	1	20	20	2,712	6月26日	橋南公民館	
学級・講座	地区住民を対象に地域の伝統、文化の継承と、それらを通じた仲間づくりの場を設ける	地域の伝統工芸である水引を使った「ものづくり」と、それを通じた「仲間づくり」の場とする。また、学級で作成した水引ストラップの人形劇フェスタ橋南地区公演での配布や、水引ブローチの追手町小学校の新入生や卒業生へ贈呈を行った。加えて、夏休み子供教室への講師、小学校のクラブ活動への講師として参画した。 ①春の花を作ろう②季節の花を作ろう③水引で「根付(ねつけ)」を作ろう④ラベンダー入りの「根付(ねつけ)」を作ろう⑤綺麗なアクセサリを作ろう(1)⑥綺麗なアクセサリを作ろう(2)⑦文化祭に向けているいろいろな作品を作ろう⑧お正月飾りや小物を作ろう(1)⑨お正月飾りを作ろう(2)⑩干支の「亥(い)」を作ろう⑪花のブローチを作ろう⑫アクセサリやペンダントを作ろう	継続	1	20	20	2,712	6月26日	橋南公民館	
学級・講座	橋南地区で取り組んでいるラベンダーを使った講座を開催。 ・「ラベンダーステイックを作ろう」 講師 松下 啓子氏 ラベンダーの花を利用したクラフト作りの1つとして、ラベンダーステイックを作る講座を実施した。	市費	継続	1	20	20	2,712	6月26日	橋南公民館	
学級・講座	市民を対象に、環境に関する意識の向上、知識の習得を図る	橋南地区で取り組んでいるラベンダーを使った講座を開催。 ・「ラベンダーステイックを作ろう」 講師 松下 啓子氏 ラベンダーの花を利用したクラフト作りの1つとして、ラベンダーステイックを作る講座を実施した。	継続	1	20	20	2,712	6月26日	橋南公民館	
学級・講座	親子を対象に共同作業を行うことで、親子間のコミュニケーションを図る機会とする	「アリアヌス会(「飯田米穀」「タイホーパン」「補助製パン」「ボンジュール」「カンバーニュー」の製パン店で作られている会)と共催で、親子で作るパン教室を開催。 材料をこねる、成形、発酵、焼き上げまでを行った。	市費	継続	1	25	25	150	7月22日	飯田卸売団地内「コア」
学級・講座	親子を対象に共同作業を行うことで、親子間のコミュニケーションを図る機会とする	【総括と今後の方向付け】 今年度も、地区内の製パン店に協力していただき、親子で協力し合って楽しくパン作りができた。出来上がったパンはきれいに焼き上がり、参加者とも満足していた。パン作りは1日の作業になるので、親子でゆくりと話し合いながらの共同作業を行える良い機会になったと思う。加えて、親同士、子供同士、親子間の交流の場にもなっていた。来年度も継続していきたい。	継続	1	25	25	150	7月22日	飯田卸売団地内「コア」	

橋南公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	人権講演会	市費	継続	1	200	200	2,712	7月17日	追手町小学校
	実施内容	<p>追手町小学校と追手町小学校PTA共催で、スマートフォンやインターネットに潜む危険性と親(大人)の関わり方についての講演会を開催した。<PTA講習会に併せて開催></p> <p>・「ネットワーク社会に生きる皆さんへ ～これからの時代に生きる上で大切な事～」</p> <p>講師:有賀 大 氏</p>							
学級・講座	いさいき講座	0円	継続	2	40	20	2,712	8月22日、1月23日	橋南公民館
	実施内容	<p>住民の方と共に企画を一緒に考え2回開催</p> <p>8/22 ニュースポーツを体験してみよう</p> <p>1/23 防災クイズをやってみよう、最近のことをお話ししてみよう</p>							
学級・講座	環境講座	市費	新規	1	30	30	2,712	9月20日	橋南公民館 他
	実施内容	<p>橋南まちづくり委員会環境委員会と共催し、開催</p> <p>・環境委員会からごみについてのお話</p> <p>・稲葉クリーンセンター、グリーンハレ千代の見学</p>							
学級・講座	防災講座	市費	新規	1	35	35	2,712	9月19日	橋南公民館
	実施内容	<p>日赤奉仕団橋南分団と共催し、開催</p> <p>・橋南地区の地盤、防災について</p> <p>・いざという時に簡単にできる応急処置</p> <p>講師:後藤武志氏(飯田市危機管理室) 堀口美鈴氏、熊谷フミ子氏(赤十字奉仕団)</p>							

橋南公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	飯田人形劇フェスタ2018 橋南地区公演	市・地	継続	2	569	569	2,712	8月4日、8月6日	追手町小、仏教保育園
	<p>地区実行委員会で実施。市内のプロ劇団と地元小学生劇団とのジョイント公演を行い、公演終了後には交流会を行った。また、橋南地区のPRと来場者へのおもてなしを目的に、橋南地区で育てたラベンダーを使った水引プロローグを公民館の学級講座で作成配布した。オリジナル企画も実施し、地元企業とコラボレーションで「ハルーンアートを楽しもう！」を行った。</p> <p>＜追手町小学校 上演作品＞ 追手町小学校3年生マルゲリータ 「とんとんとめて くださいな」 劇団にんぎょう畑 「だいきちの『Nora-show』」 ＜仏教保育園 上演作品＞ 劇団とんがらし 「まいごのおまわりさん」</p>	<p>数量的成果 (項目名と数値) 大変満足163、満足51、普通21、少し物足りない3</p> <p>【総括と今後の方向付け】 今年度は、地区公演をひとつ増やして実施。追手町小公演では、追手町小3年生が学習の中で人形劇に取り組み、プロ劇団とジョイント公演を行った。地元劇団が上演することで、地区公演としての立場が明確になっていると感じる。また、昨年度に引き続き、来場者全員にラベンダープロローグを配布し、とても喜ばれた。人形劇をみるだけでなく「+α」を目指してオリジナル企画も実施し、地元企業にハルーンアートの講師を依頼した。日頃できない体験を親子一緒に行う機会となった。来年度も、地元小学校劇団とともに地区公演を盛り上げていきたい。</p> <p>仏教保育園公演では、数年ぶりの実施ということで、計画団体から保育園との打ち合わせを重ね、保護者にも協力を依頼して行った。非常に人気がある劇団が来たという事もあり、多くの参加者が来場し、会場も大いに盛り上がった。次年度以降も、2会場を中心に検討していきたい。</p>							
文化事業	橋南史跡めぐり	市・地	継続	2	62	31	2,712	6月10日、12月2日	福井市、明智町
文化事業	<p>飯田とつながりのある史跡、街並みを見学し、その文化や歴史について学ぶ</p>	<p>・6月10日「越前の旅、「傘松山永平寺」に白山を訪ねる」 風越山、白山にゆかりのある、永平寺など見学した。 ・12月2日「半分青い」の舞台、岩村と明智の町巡り 飯田とは縁の深い場所で、岩村や明智の街並みなどを巡った。 (ともに講師は今村光利氏)</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 橋南地区外での現地学習の機会として、夏と冬の2回実施した。どちらも講師の分かれやすい解説と現地研修が好評で、リピーターを含む多くの参加者を得られた。委員会や講師との打ち合わせにて訪問地を決定する際は、飯田下伊那との繋がりを重要視し、単に観光するだけではなく自分たちが住んでいる地域の歴史と併せて説明してもらうことで、参加者がイメージしやすい学習機会となるように心がけている。来年度も現地で学んだものを自分の地域に生かせるような学習題材を提案しつつ、継続して実施していきたい。</p>						
文化事業	第23回橋南文化祭	地区費	継続	1	700	700	2,712	11月10日、11日	追手町小学校講堂
文化事業	<p>地区住民を対象に、公民館活動の学習成果の発表と地域学習の場を提供することを目的とする</p>	<p>・展示発表:グループ・各種団体・一般 ・地元クリエイターによる体験ブース設置 ・まちづくり委員会各種団体の事業報告 ・橋南子ども商店街・橋南児童クラブ ・小学生の学校生活での作品発表 ・中学生のまちづくりの関する学びの成果発表 ・地域の歴史、文化に関する特別企画 屋台等 ・小学校人形劇発表、小学校合唱団・中学校吹奏楽部の合同発表会 ・芸能発表:各種グループ・保育園 橋南まちづくり委員会健康福祉委員会の協力により、地区内のお年寄りに参加を呼びかけ、橋南地区敬老会としての役割も含めて開催する。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 文化祭会場を追手町小学校1会場とし、芸能発表会も合わせて行った。展示スペースには、講座の開催や憩いのスペース設置など、空間をうまく活用し、「より多くの来場者に楽しんでもらえる文化祭」を目指して開催している。地域で活動されているクラフト作家さんや、水引作品を作っている団体に声をかけをし、体験ブースも設置。また、学校の日頃の成果を地域の方に知ってもらう機会とするために、学校の成果物も展示をした。空き時間となってしまいう2日目の午前中には、人形劇のフェスタでも上演した追手町小3年生の人形劇や小学校合唱団・中学校吹奏楽部の合同発表会などを行った。学校と一緒にコミュニケーションを意識した取り組みにもなったと思う。次年度以降も、文化祭での小中学校と連携した取り組みを進めていきたい。 毎年参加者が少しずつ減少しているように感じる。文化祭が地区住民の方にとつてどのような物にできるのかも考えていきたい。</p>						

橋南公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	橋南史跡ウォーキング	市費	継続	1	20	20	2,712	4月8日	橋南地区内
	実施内容 地区住民を対象に、飯田街の街の作りや史跡を実際に歩いて見学し、先人達がまちづくりに込めた考え方や知恵を学ぶ	「橋南桜ウォーキング」ガイド：大野 英夫氏 橋南地区内に残る桜の銘木について、周辺史跡などの見学、解説を交えてウォーキングを行った。	【総括と今後の方向付け】 桜の時期に合わせて開催をしているが、桜前線の進行が早く、散りかけでの開催となった。桜だけでなく、周辺の史跡や歴史も同時に説明してもらい学ぶことができた。今年度は、橋南だけに焦点を絞り、その分一つの場所を丁寧に説明するよう講師と打ち合わせを行って実施した。次年度以降も、講師と相談しながら実施していきたい。また、これまでに参加していない層にも参加を働き掛けたい。	評価					
体育事業	第33回橋南ウォークラリー大会	地区費	継続	1	70	70	2,712	5月27日	橋南地区内
	実施内容 地区住民を対象に、ウォーキングでの体力増進および、橋南地区の街並み・歴史・文化を再発見する機会とする	設定されたコースを、交差点の路図のみが書かれた地図を頼りに、コース上の各所に地域の歴史や文化に因んだ問題を設定し、解きながら歩くようにしている。 またスタート・ゴール地点の追手町小学校講堂では、橋南まちづくり委員会育成部、日赤奉仕団、商店などの協力も得て、お楽しみ企画を行った。	【総括と今後の方向付け】 普段の生活の中では見落としがちなのが、問題を解きながら歩くことで見えてきて、地域を再発見できる行事となっている。ゲーム性のおもしろさと共に、問題の中には防火・防災関連の施設や歴史的な建造物も出題されており、たのしみながら学べる機会となっている。参加者の中心は小学生となっているが、子ども達が地域の歴史を学ぶ貴重な機会となっているため、継続して実施していきたい。コース作りや問題作りを行う際に、公民館委員で下原や打ち合わせなどを重ねて制作することで、委員さんの学習の機会にもなっていると感じているので、今後も大切にしていきたい。	評価					
体育事業	橋南ソフトボール大会	地区費	継続	1	60	60	2,712	11月18日	飯田東中学校
	実施内容 地区住民を対象に、日頃の運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る	地区内回覧にて募集したチームによるソフトボール大会。今年度は5チームが参加し開催した。シニアソフトボールチーム、近隣地区チーム、地元企業がチームに加え、公民館も体育委員を中心にチームを組み、大会に参加した。	【総括と今後の方向付け】 企業や地区の青壮年会など多くのチームが参加してくれたこともあり、賑やかに大会を開催することができた。日頃あまり公民館と関りが無い若い世代も声かけによって参加してくれ、公民館委員との良い交流の機会にもなったと感じる。例年、どうしても人が出てしまう。日常的に運動していない人も多く参加するため、事前の準備体操を入念に行うなどの注意喚起を続けていく必要を感じる。	評価					
体育事業	第31回橋南連合大運動会	地区費	継続	1	680	680	2,712	10月7日	追手町小学校校庭
	実施内容 地区住民を対象に、各町総参加で健康の増進と住民相互の交流を図り、もって当地区の活性化を推進することを目的とする	橋南地区全体で取り組む年一度の一大事業として実施。単独町内、または近隣町内でチームを組み、41ある全町内が参加する。子どもからお年寄りまで参加できる各種競技、いくつかの町内で組んだチーム対抗の競技で構成した。まちづくり委員会が主催し、公民館が主幹する。体育委員が主幹し、公民館、育成部、各町内選出の運営委員が運営にあたった。今年度も晴天となったため、2年連続で校庭にて実施することができた。	【総括と今後の方向付け】 晴天に恵まれ、2年連続で校庭にて実施できた。多くの地区住民が集まり、盛大に開催することができた。内容の決定から、事前の準備まで、公民館委員が中心になって行ってきたこともあり、当日はスムーズに運営ができたと思う。 昨年度末の会議にて、「地区のみんなが集まる唯一の行事を無くしたくない」との意見が多く出て、今年度の実施となったが、運動会を捉えなおす良い機会になったと感じる。今後についても、チーム編成や競技内容など、住民の方が楽しく参加できる運動会の在り方を考えていく必要がある。	評価					

橋南公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)	市・地	継続	1	180	180	8,697	7月15日	川本喜八郎人形美術館前広場
	実施内容 地域住民を対象に、身近な場所での高レベルの音楽を楽しめる機会を図る	市・地	継続	1	180	180	8,697	7月15日	川本喜八郎人形美術館前広場
合同事業	橋北・橋南・東野地区の公民館が共催で開催し、各公民館の文化委員を中心とした専門委員が協力し合い実施した。演奏者：弦楽五重奏団「アンサンブル錦」	市・地	継続	1	67	67	102	1月13日	飯田市公民館
合同事業	橋北・橋南・東野地区成人式	他会計	継続	1	67	67	102	1月13日	飯田市公民館
	実施内容 新成人を対象に、学習の場をつくり、活動を通じて地域への愛着、誇りを持てるような機会とす	他会計	継続	1	67	67	102	1月13日	飯田市公民館
合同事業	東中学校区三館合同事業として実施予定。悲観的に捉えがちな「若い」について、見方を少し変えるだけで、楽しく素敵に年齢を重ねられるという内容を予定。また、講演会後、「残したいステキな写真撮影会」も予定している。演題：「老いを笑いに変える ～豊かな人生を送るために～」講師：瀧本慈宗氏(天台宗大嶋山瑠璃寺住職)	地区費	継続	1	51	51	8,697	3月2日	東野公民館
	実施内容 地域住民を対象に、地域を知り愛着を深めることを目指す	地区費	継続	1	51	51	8,697	3月2日	東野公民館
合同事業	館報橋南の編集	地区費	継続	年3回発行	3	45	2,712	実施内容参照	橋南公民館 ほか
	実施内容 地区住民を対象に、地域を知り、考えをきっかけ作りを目指す	地区費	継続	年3回発行	3	45	2,712	実施内容参照	橋南公民館 ほか
その他	現在の公民館の体制では広報委員が不在なため、館長と企画委員を中心に企画や編集作業を行った。単なる広報でなく、地域の課題に目を向けた紙面作りを中心に掛けた。10号(6/29)、11号(12/21)、12号(2/22)	地区費	継続	年3回発行	3	45	2,712	実施内容参照	橋南公民館 ほか
その他	実施内容 地区住民を対象に、地域を知り、考えをきっかけ作りを目指す	地区費	継続	年3回発行	3	45	2,712	実施内容参照	橋南公民館 ほか

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	放課後子ども教室	市・地	継続	17	510	30	152	原則第1、第3水曜日	追手町小学校
	放課後子どもたちを対象に、安全・安心な活動拠点を創るとともに、異世代との活動の中で社会的性、協調性を育む	【総括と今後の方向付け】 他の学校での教室とは異なり、登録制は取らず、毎回申込制としている。参加者は低学年中心であり、高学年の参加については毎年スタッフで検討するが、なかなか参加者は増えないのが現状である。ただし、企画によっては高学年も参加することもあるので、前例踏襲ではなく今後も粘り強くスタッフと知恵を出し合う必要がある。スタッフは民生児童委員とその経験者が多いという現状は変わらないが、30代のスタッフも数人協力頂いており、新しい企画が出てきたりと、活性化が図られていると感じる。参加する子ども達については、人の話を聞けない、集中して物事に取り組めない子が目立ち始めるため、そのような子ども達への対応についてスタッフと検討していく必要性を感じる。							
その他	夏休み子ども教室	市・地	継続	9	320	320	152	夏休み期間の月曜、水曜、金曜(お盆は除く)	橋南公民館 他
	夏休み中の子どもの居場所づくりを行い、あわせて、異年齢の子ども達が団結、協力して取り組むことのできるさまざまな企画を行う。 ・開催日:夏休み期間の月、水、金曜日(お盆などは除く) ・開催時間:9時から11時30分まで ・スタッフ:放課後子ども教室スタッフ及びまちづくり委員会各部の委員。毎日開始から1時間は夏休み課題学習(自主学習)の時間を設けた。 追手町小学校から毎日1名、先生が参加し子ども達の学習の補助を行った。	【総括と今後の方向付け】 長期休暇中の放課後子ども教室として実施し、連日多くの児童の参加が得られた。子ども達の「居場所」づくりの一端を担っていることがわかると共に、楽しみにして来てくれることがわかる。上級生が下級生の面倒を戻している姿も見受けられ、子供たちの縦のつながりができてきている。今年度についても、公民館で活動しているの社会教育関係団体の方に講師を、まちづくり委員会からスタッフをお願いし、地域の子どもの様子を感じてもらったことのできたので、次年度以降も継続して行っていきたい。来年度以降、小学校の夏休みが延長となること、学校のプールの午前中開催になることも踏まえ、スタッフの方や学校側との打ち合わせを綿密に行う必要がある。							
その他	子どもたちを考える研修会	0円	新規	1	25	25	2,712	11月12日	橋南公民館
	日頃から子供に接している大人を対象に、今の子供達について考えることで、接し方や対応の仕方を考える機会として開催 講師:養和先生 (こども家庭応援センター所長)	【総括と今後の方向付け】 子供と定期的に触れ合う機会がある住民の方からの「子ども達への接し方で悩んでいる。みんな得意見を出しあって話が出来ないか」という思いから、放課後子供教室のスタッフと協力して実施。様々な子供たちと関わりのある養和さんに、参加者が悩んでいる事や疑問に思っている事に答える形で実際の現場から感じている事をお話いただいた。講師の話から、自分たちはどうしていいかを積極的に話し合う姿が見受けられた。この課題は1回だけ実施して解決するものではないので、次年度以降も話し合いながら実施していきたい。							
その他	伝統文化教室「天龍太鼓子ども教室」	地区費	継続	12	108	9	152	原則第3金曜日	追手町小学校講堂 ほか
	青少年を対象に、地区に伝わる伝統文化・芸能の継承を目指すと共に、郷土への愛情を育み、健全育成を図る	【総括と今後の方向付け】 今年度も、月1〜2回の稽古を積み、各種行事にて発表をしてきた。子ども達は楽しそうに行っている中で、この気持ちをはかんに保って継続していくかを考えていく必要がある。伝統文化の継承という点からみると、中学生になると卒業してしまう子供が多くなるので、長い目で見ていく必要がある。天龍太鼓の打ち手の方も高齢化や人数の減少という課題を持っており、話し合いを重ねてどのようなやり方がいいのか考えていきたい。							

橋南公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	伝統文化教室「松一獅子舞教室」	地区費	継続	25	275	11	2,712	原則第2金曜、第4火曜日	橋南公民館 ほか	
	地区住民を対象に、地区に伝わる伝統文化・芸能の継承を旨として、共に、郷土への愛情を有む機会とする	松尾町1丁目伝わる伝統芸能の「松一獅子舞」を復活させ、後世に伝えていくため、地元自治会と協力しながら、獅子舞を学び、技を継承していく。小学生から一般を対象に参加者を募集し、毎月第2金曜日に練習を実施、地域の各種行事等へ参加、出演した。 7/15橋南夏まつり、9/22追手町小運動会アトラクション、10/21南信州獅子舞フェスティバル、11/11橋南芸能発表会 講師：松尾町1丁目自治会、森田梅泉氏	【総括と今後の方向付け】 年々部員も少しずつ加入し、各種行事に積極的に参加して発表をしてきた。これまでの取り組みが地区内外で知られるようになり、声がかかってくるようになってきた。様々な行事への参加は、子ども達にも大きな自信になっており、その後の練習にも一層力が入っている。子ども達の中では小学校や中学校を卒業しても続けてくれる子がおり、伝統文化継承に向けて少しずつ進んでいると思う。高齢化などにより伝統を伝える側の体制の不安定さは変わって来ず、今後長く活動を継続していくための方法を引き続き考えていく必要がある。							
その他	おひま	地区費	継続	1	80	80	2,712	4月15日	橋南地区区内	
	地区住民を対象に、飯田の大火を忘れず、日々の生活の中でも防火の意識を高める	防火に関する標語の募集 追手町小学校児童を対象に防火標語を募集、防火標語を読み上げながら橋南地区区内を広報 追手町小学校児童、PTA、橋南連合青壮年会、まちづくり委員会防火防犯部、まちづくり委員会育成部、公民館、飯田市消防団第1分団からの参加者で地区内の広報活動を実施。	【総括と今後の方向付け】 毎年、飯田大火が発生したこの時期に地区内の各種団体が協力して、防火啓発活動を実施している。また、小学校を通じて防火標語も募集しており、小学生が地域の歴史について考える良い機会ともなっている。年度当初の事業のため準備等が慌ただしいが、長い年月がたち経験を伝えられる方が少なくなっている中で、この事業により大火の学習をするひとつの機会となればと考えている。							
その他	飯ごう炊さん	地区費	継続	1	98	98	2,712	8月18日	追手町小学校	
	小学校児童を対象に、多様な体験活動を提供し、児童の協調性を育む	ボーイスカウトの方に講師を依頼し、現在では小学校で行われなくなった飯ごう炊さんを行った。 講師：福澤勝氏(ボーイスカウト飯田第一団 団員長) 公民館委員だけでなく、放課後子ども教室のスタッフやまちづくり委員会の役員も運営に携わった。ボーイスカウトに所属する中学生もリーダーとして入ってもらい、小学生の指導をお願いした。	【総括と今後の方向付け】 今年度も、夏休み中の活動として多くの参加者を得て開催した。マッチを擦れない子供たちが多くいる中で、学校・家庭ではなかなかできない体験をさせてあげることが非常に重要だと感じている。今年は、昨年まで公民館委員が作っていたカレーについても子供たちに作ってもらい、自分でごはんを作ることの大変さを知ってもらえるようにした。それぞれの役割の中で主体的に動いていく姿が多く見受けられた。中学生がリーダーとしてグループに入って指導したことも、良かったと思う。スタッフもこの事業の持つ意味・目的を共有できるようにする必要がある。							
その他	追手町小学校科学実験教室	地区費	継続	2	77	77	77	7月5日、11月22日	追手町小学校	
	子どもたちを対象に科学教室を行い、科学を身近に感じてもらうだけでなく地域の様々な人々ととの交流を通じて、ふるさとへの愛情や生かせる力を育む。	小学6年生 「モデルロケット制作と仕上げ」 小学5年生 「ホバークラフト制作」 小学4年生 「リニア実験と超低温の不思議な世界」 共催：追手町小学校、おもしろ科学工房、橋南公民館・育成委員会 講師：おもしろ科学工房	【総括と今後の方向付け】 昨年度から取り組み。コミュニケーションの一環として学校、地域、地域指導者、保護者の4者が連携した事業としている。公民館・育成委員会では各種団体の調整、実験費用の補助を担当。当日の子どもの見守りやサポートは育成部員と保護者が担当した。 子ども達は初めに体験する授業のため興味津々で講師の話を聞いており、実際に体験しながら学ぶことは非常に良いことだとの意見も聞かれた。また、下級生の子供が「来年になったらあれができるんだ！」と楽しみにしている様子も見ることができた。保護者からも引き続き実施したいという意見が出ているので、4者の連携を意識しながら、引き続き事業の展開していきたい。							

橋南公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第15回橋南夏まつり	地区費	継続	1	4,300	4,300	2,712	7月15日	りんご並木周辺
その他	<p>地区住民を対象に、地域に暮らす、すべての住民が幅広く気軽に参加し、夏の一夜を楽しむ、ふれあい、交際する機会とする。併せて橋南地域の活性化の一助とする。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 数年前から実行委員会形式での実施を行っているが、各担当のブースで自主的に進めている姿が見られた。「ふるさとコンサート」とコラボレーションをし、参加者増加のシナジー効果を狙った。当日は、参加者が夏祭りと共に楽しむこと姿が見られた。今後も、地区内で活躍している団体とも積極的に関わり、協働し、協働してお祭りを盛り上げていきたい。</p>	地区費	継続	1	4,300	4,300	2,712	7月15日	りんご並木周辺
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地域人教育	他会計	継続	45	360	8	2,712	4月～12月	飯田OIDE長姫高校 ほか
その他	<p>4月～6月 橋南地区を実際に歩いて、橋南地区を調べる。体験する。 7月 「空き家」を、高校生らしい発想で「お化け屋敷」にするために、準備。 8月～10月 「空き家」についての調べ学習、お化け屋敷の準備。 10月21日 りんご並木天国に参加し、空き家を使用したお化け屋敷を開催。 11月2日 丘の上フェスタに参加し、2回目のお化け屋敷を開催。 この活動には、ムトスまちづくり推進課、飯田まちづくりカンパニー、在来屋さんなどの協力を得て行った。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 「空き家」というマイナスなイメージが強い課題に対して、高校生らしい発想で「お化け屋敷」というプラスなイメージに変えたい！をコンセプトに1年間活動を行った。高校生が地域の大人と関わりながら活動していく中で、楽しみながら学校では学ぶことのできない様々な経験をしていく姿を見ることができた。 次年度は、「地域の方との繋がりを多く持つて進める」「振り返り」を大切に、事業を実施していきたい。</p>	他会計	継続	45	360	8	2,712	4月～12月	飯田OIDE長姫高校 ほか
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	しめ縄づくり講習会	地区費	継続	1	20	20	2,712	12月9日	橋南公民館
その他	<p>地元住民の方を講師に迎え、伝統的な正月行事の一つであるしめ縄づくりを行う。参加対象を幼児から高齢者までとすることで、地域の中での生活の技の伝承と、世代間交流の場とした。</p> <p>講師 林 清實さん</p> <p>【総括と今後の方向付け】 若い世代がほとんどできなくなっている「しめ縄」を伝える機会として実施している。幅広い年代の参加があり、世代間交流の面からも良い機会となっている。正月の伝統を子供達に伝えていくことは大切なことだと感じるので、育成部と相談をしながら実施していきたい。</p>	地区費	継続	1	20	20	2,712	12月9日	橋南公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	もちつき大会	地区費	継続	1	100	100	2,712	12月16日	橋南公民館
その他	<p>地域住民、特に青少年を対象に、伝統的な行事であるもちつきを体験し異年齢間の交流、健全育成を図る</p> <p>家庭では行わなくなったりと杵を使ってもちつきを実施した。もち米も釜とセロイを使い薪の火で蒸すことで、昔ながらのもちつきを体験。つきあげたもちには保護者の協力も得ながら成形し、その場で食べるほか、自らの手で正月のお供えもちを作り各家庭へ持ち帰った。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 例年小学生を中心に多くの参加者があり、12月の行事として定着している。未就学の親子で参加する家庭も多く、子供から大人まで家族みんなで楽しむことのできる行事となっている。橋南地区は土地柄もあり、各家庭でもちつきを行わない世帯も多い。家庭で難しくなっている体験を地域が担うことは非常に重要だと考える。次年度も継続して行っていきたい。</p>	地区費	継続	1	100	100	2,712	12月16日	橋南公民館

橋南公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	書き初め	地区費	継続	1	40	40	2,712	1月4日	橋南公民館
	実施内容 小学生から高齢者を対象に、正月行事である書き初めを行った。社会教育団体の書道グループの方に講師として参加してもらい、書き初めが終わった後はゲームをし、おしるこやお雑煮を食べて交流した。完成した書き初めは、1枚を公民館に展示し、地域の人に見て頂いた。								
その他	将来構想策定	地区費	継続	15	150	10	2,712	年間を通じて延べ15回	橋南公民館
	実施内容 地区の子供たち、親、住民が10年後を考えることで、今後の橋南を学習する機会とする								

【総括と今後の方向付け】
例年、多くの小中学生の参加があり、学校の先生もお呼びしている。子供達は真剣な表情で行っており、張り詰めた空気が流れる。大勢集まってもそれぞれ集中して行うことは非常に素晴らしい事だと、参加した大人も驚いている場面があった。「宿題を片づける場」としてだけでなく、年中行事としての意味も考える場として行えると良い。

【総括と今後の方向付け】
選ばれた役員だけでなく、様々な立場の住民から意見を聞くために、消防団員や子育て世代の方も参加してもらい、皆で議論を重ねた。
この計画が完成した際は、公民館が何ができて議論する中で、活動に繋げていきたい。

羽場公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	0-1歳児学級	市・地	継続	19	166	8	35	月2回 実施内容参照	羽場公民館、中央公会堂
学級・講座	<p>【総括と今後の方向付け】 保育士と保健師と幼児の発達段階に合わせた体を使った遊びや、保護者の悩みを解決できる講座・学習の実施について協議をして組み立ててきている。転入者が多い地区であるので、地域の歴史や資源を学ぶ機会をもてることも心掛けていく。今後子ども達の健やかな成長の推進と保護者同士の交流の機会のなるよう実施してまいりたい。</p> <p>保育士、保健師と連携して実施。 常任講師：松村由美子先生 (実施内容)①5/23開講式、羽場図書館の紹介②6/13親子でふれあい遊び③6/27七夕飾り制作④7/4(0～3歳合同)プラネタリウム見学⑤7/25防災学習⑥8/22おしゃべりタイム⑦9/12栄養士の話⑧9/26地区内散歩(協力：羽場の音を学ぶ会)⑨10/14ファミリー企画⑩10/31絵本を楽しむ(講師：下沢洋子さん)⑪小児科医の話(講師：和田先生)⑫11/28おもしろく(講師：森っこ)⑬12/12(0～3歳合同)クリスマス会⑭12/26おしゃべりタイム⑮1/9親子体操⑯1/23栄養士の話⑰2/13アロマ講座⑱2/27手型・足型⑲3/13開講式</p>	市・地	継続	19	110	6	79	月2回 実施内容参照	羽場公民館、中央公会堂
学級・講座	<p>【総括と今後の方向付け】 保育士と保健師と幼児の発達段階に合わせた体を使った遊びや、保護者の悩みを解決できる講座・学習の実施について協議をして組み立ててきている。親子での畑作りでは、時期を迫って栽培する楽しさを親で感じられたと思う。また、入園への準備期間として、丸山保育園、丸山地区との合同事業を大事にしていきたい。今後子ども達の健やかな成長の推進と保護者同士の交流の機会のなるよう実施してまいりたい。</p> <p>保育士、保健師と連携して実施。 常任講師：上沼和子先生 (実施内容)①5/30開講式、畑づくり、羽場図書館の紹介②6/14丸山保育園で親子体操③6/20親子遊び、ミニマトの世話(47/4(0～3歳合同)プラネタリウム見学⑤7/18丸山保育園で水遊び⑥8/1栄養士の話⑦9/5消防署見学⑧9/27(丸山公合同)親子体操⑨10/3手型作品づくり⑩10/14ファミリー企画⑪10/25絵本を楽しむ(講師：下沢洋子さん)⑫11/7地区内散歩⑬11/21収穫祭⑭12/12(0～3歳合同)クリスマス会⑮12/19サツマイモ調理(協力：食改)⑯1/18丸山公民館で交流⑰2/6防災の話(市/危機管理)⑱2/20おもしろく(講師：森っこ)⑲3/13開講式、カレー作り</p>	市・地	継続	10	70	7	4,824	6月28日～9月14日	羽場公民館
学級・講座	<p>毎週水曜日から午後7時から2時間実施。日常会話の向上とともに生活の中での悩みを解決する場としても実施した。 (実施内容) 講師：NPO法人共に歩む会、地区内ボランティア</p>	市・地	継続	2	70	35	4,824	9月27日、2月17日	羽場公民館 他
学級・講座	<p>歴史サークル「羽場の昔を学ぶ会」と共催で、地区内にある文化財や史跡などを中心に地域の歴史について学ぶ講座を実施。 (実施内容) 第1回 日時：9月27日 「松川水系の電気事業史」 講師：岡部忠美さん(市/小水力発電推進コーディネーター) 第2回 日時：2月17日 「多摩川精機(歴史館)見学」</p>	市・地	新規	2	70	35	4,824	9月27日、2月17日	羽場公民館 他

羽場公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	曙の里講座「お正月の花を生けよう」	市・地	継続	2	22	11	4,824	12月28日	羽場公民館
	実施内容 地区住民を対象に、交流する機会を設けることにより新たな人とのつながりや文化継承を図る	【総括と今後の方向付け】 子どもの部では、花のわ生け花教室に通う児童が講師の補佐に入って、生け方を教える場面があり、習得したのじごころの成果を出す機会になっている。大人の部でも毎年楽しみに参加される方が多い。今後も継続していきたい。							
学級・講座	曙の里講座「年越しそば打ち体験」	市・地	継続	1	18	18	4,824	12月29日	羽場公民館
	実施内容 地区住民を対象に、交流する機会を設けることにより新たな人とのつながりや文化継承を図る	【総括と今後の方向付け】 遊休農地利活用としてそばの栽培をして4年目となる。講座の中でそばの会の方たちの活動紹介を設けられず残念であった。老若男女参加があり、楽しそうに参加されていた。次年度は栽培からそば打ちまでの一連の通した事業としてできるように考えていきたい。							
学級・講座	曙の里講座「新春初め大会」	市・地	継続	1	18	18	4,824	1月4日	羽場公民館
	実施内容 小学生、一般を対象に、お正月の行事を大切に、し、地域の方、親子のふれあいの機会とする	【総括と今後の方向付け】 書初めを書くだけでなく、講師の先生から書初めの由来や力の入れ方など教えてもらった。最後には書いた字を發表し感想も出し合い、お互いの作品について認め合い、全体での交流の機会になった。							
文化事業	夜の講座	市・地	継続	1	20	20	4,824	6月8日	羽場公民館
	実施内容 地域課題にアプローチする講座を通して地区住民の交流を図り、地域への関心を高める	【総括と今後の方向付け】 食生活全般についてや男性が積極的に料理に関わる機会を作りたいとの要望により実施した。参加された方は男性が中心であるが、女性の皆さんにも参加いただき、サポートいただいた。食事を作ってくれたありがたみがわかる、時間があるときは手伝ってみたいなどの感想があった。今後も楽しく課題を見つめられるような講座を展開していきたい。							
文化事業	かざこしふれあいコンサート	市・地	継続	1	325	325	8,304	9月1日	丸山小学校体育館
	実施内容 市民を対象に、地元で活躍されている音楽家による生の演奏を楽しむ機会を提供し、芸術文化の向上を図る	【総括と今後の方向付け】 小学生は中学生の、中学生は高校生の音楽を聴くことにより、将来なりたい自分を思い考える機会も大切にしよう、本年度は高校生をゲストに招き、お互いの音楽を聴く機会とした。また、昨年度に引き続き飯田西中のOBOG楽団にも演奏していただき、会の最後には、小学生から大人まで一斉合唱でふささを合奏し会場での一体感をもてた。次年度も小中連携の一環として子ども達が将来を考えられ、地域が一つと感ぜられる機会にしていきたい。							

羽場公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	飯田人形劇フェスタ2018羽場地区公演	地区費	継続	9	937	100	4,824	8月5日～12日	羽場地区内
	<p>地区民を対象に、人形劇のすばらしさを体験してもらい、演じる側、支える側としても楽しめるフェスタとする</p> <p>文化委員を中心とした実行委員会体制で実施。会場は地区内9会場。羽場地区オリジナル企画「羽場地区縦断スタンブラリー公演」を8月11日公演と同時間開催。</p> <p>8/5 飯田西中学校 丸山小学校、飯田西中学校、台湾の小学生劇団 8/10 羽場赤坂デイ シアター☆エパット、人形劇チーム青空共和国 8/11 羽場地区内集会所7か所 パネルジャム、人形劇団しかばぶ、他 8/12 飯田病院 ポポルの一団</p>	地区費	継続	9	937	100	4,824	8月5日～12日	羽場地区内
文化事業	羽場地区文化祭	地区費	継続	1	1,051	500	4,824	11月3日、4日	羽場公民館・中央公会堂
文化事業	<p>地区民を対象に文化、芸術を通して、日ごろの成果の発表と多様な人との交流を図る</p> <p>様々な芸能分野で活躍する地域の方の発表の場、様々な団体・個人が活躍できる展示の場の他、中学生とまちづくり委員会が意見交換するまちづくり座談会、日赤による炊き出し訓練など多岐にわたるイベントを開催。2日目は町内対抗駅伝大会も実施。</p> <p>(実施内容) 主催：羽場地区実行委員会、公民館、連合青壮年会、各種サークル 催し：猿庫の泉呈茶席、出店、健康測定、ポップコーン無料配布 芸能発表：17団体、作品展示：丸山小学校、飯田西中学校校</p>	地区費	継続	1	1,051	500	4,824	11月3日、4日	羽場公民館・中央公会堂
文化事業	第4回羽場ふれあいウォークラリー大会	地区費	継続	1	100	100	4,824	12月2日	羽場地区内
文化事業	<p>地区住民を対象にウォークラリーをとおして地区の文化、魅力を再発見し誇り意識の醸成を図る</p> <p>文化委員会・育成委員会を中心として、公民館委員が実施。</p> <p>(実施内容) テーマ：羽場かるためぐり 距離：4.3km 参加チーム：16組(68名)</p>	地区費	継続	1	100	100	4,824	12月2日	羽場地区内
体育事業	ワンバウンドふらば～るバレー大会	地区費	継続	1	109	109	4,824	6月24日	丸山小学校体育館
体育事業	<p>地区住民を対象に、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツを通して健康増進と交流を図る</p> <p>ワンバウンドふらば～るバレーを使ったトーナメント戦を実施。</p> <p>(実施内容) 参加チーム：12チーム 優勝：松川町 準優勝：白山通りB セカンドクラス1位：羽場町2丁目 サードクラス1位：正永町2丁目</p>	地区費	継続	1	109	109	4,824	6月24日	丸山小学校体育館
体育事業	ソフトボール大会	地区費	新規	1	0	0	4,824	7月22日	押洞運動場
体育事業	<p>地区住民を対象にスポーツ活動推進と親睦を図る</p> <p>夜間ソフトボール運営委員会と羽場連合青壮年会と協力して、新しい層の開拓と地域が一丸となれる行事の促進のため実施計画。</p> <p>異例の猛暑の為、中止。</p>	地区費	新規	1	0	0	4,824	7月22日	押洞運動場

羽場公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ふれあいスポーツ祭 地区住民が一堂に集い、健康的に交流することを図る	地区費	継続	1	800	800	800	4,824	10月7日	飯田西中学校校庭
体育事業	囲碁ボール大会 地区住民を対象に、運動不足解消と住民同士の親睦を図る	地区費	継続	1	55	55	55	4,824	1月27日	羽場公民館
広報事業	広報あけぼの 羽場の人々の紹介や事業報告、呼びかけをして、地区に対して興味を持ってもらう。また、課題を掲載することで地区の課題解決に向けた意識の高揚を図る	地区費	継続	6	240	10	10	4,824	通年	-
育成事業	魚のつかみ取り 中学生以下の子供を対象に、自然に触れ合い命の大切さや自然への関心を持ってもらうきっかけとする	地区費	継続	1	146	146	146	4,824	7月8日	円悟沢川、羽場公民館
育成事業	きのこ山保全活動 親子を対象に地域の山の保全の大切さを学び、自然を考える機会とする	地区費	継続	2	100	50	50	4,824	5月13日・10月21日	風越山麓、妙琴公園ほか

羽場公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	おやす、しめ縄作り交流会	地区費	継続	1	50	50	4,824	12月16日	羽場公民館
			内容	<p>地元の方を講師にしめ縄とおやすを作成。育成委員は、前日からわらの下処理、事前に作り方を学び、当日は子ども達に指導した。 (実施内容) 講師:栗林一彦さん、羽場の昔を学ぶ会の皆さん</p>					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	新春お楽しみ会	市・地	継続	1	112	112	4,824	1月14日	羽場公民館
			内容	<p>正月の伝統行事であるお餅つきを体験するために実施。待ち時間を、体育委員会が伝統的な遊び、羽場文化・スポーツクラブが囲碁ボードで子どもたちと楽しんだ。 (実施内容) 餅つき、伝統的な遊び(カルタ取り、けん玉)、囲碁ボード体験 共催:羽場文化・スポーツクラブ</p>					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	あいさつ標語・ポスターコンクール	地区費	継続	1	119	119	770	8～10月	羽場公民館
			内容	<p>丸山地区まちづくり委員会と合同実施 各地区ごと選考し、羽場地区では公民館専門委員会が優秀作品を選定。文化祭オープニングで表彰式を実施した。 (実施内容) 対象:丸山小学校児童、飯田西中学校生徒 あいさつ標語応募:74作品 ポスターコンクール応募:45作品</p>					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	図書館お楽しみ会	市・地	継続	1	90	90	4,824	12月1日	羽場公民館
			内容	<p>図書館職員と協議して、地域にとって図書館がより身近になる機会として計画、実施した。 (実施内容) テックレンジャーショー、絵本の読み聞かせ、館長サンタからのプレゼント</p>					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)	他会計	継続	40	2,720	68	533	4月～3月	丸山小学校
			内容	<p>放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。 活動日:毎週水曜日 学期に1回の土曜日または日曜日に参観日。 各地区の文化祭での作品の展示。 学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催。 丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区の合同事業。</p>					

羽場公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	探鳥会 中学生・地区住民を対象に、探鳥会を通して風越山麓の自然に触れることにより、環境意識の高揚を図る	市費	継続	3	300	100	300	5月9日、5月19日、12月8日	風越山麓周辺
			【総括と今後の方向付け】 飯田西中学校の伝統ある事業であり、主に中学生が地元山に登り、自然や野鳥に親しみをもち、探鳥会を通して、環境意識の高揚を図る。今後、探鳥会を通して、環境意識の高揚を図る。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	夏休み子ども寺屋 丸山小学校児童を対象に、夏休みの支援と地域を学ぶ活動を通して誇りと愛着の醸成を図る	市・地	継続	3	271	89	533	8月1日～3日	羽場公民館他
			【総括と今後の方向付け】 丸山小学校放課後子ども教室のスタッフの皆さんを中心に地域の方々に協力していただき、計画実施してきた。3地区で関わるので3地区それぞれの特徴を活かし、地域を感じられる内容を意識した。当初の見込み以上に参加者が集まり、また異例の猛暑の為、一部内容を変更したり、臨時打合せを行ったりしてきた。保護者や参加する子ども達からも好評であるので、子ども達に体験から学んでほしいことを話し合いながら次年度も3地区で行ってほしい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	家庭教育講演会(羽場・丸山・東野) 丸山小学校PTA及び一般を対象に、子育てについて考える機会を設け家庭教育の推進を図る	市費	継続	1	100	100	11,212	11月22日	丸山小学校
			【総括と今後の方向付け】 丸山小学校、PTA、羽場、丸山、東野公民館の共催事業である。昨年度から公民館がテーマ、講師選定の段階から関わり、学校、家庭、地域の大人たちが子ども達の現状と課題について共有したうえで講師選定を行っている。今度も、学校教育・家庭教育側だけでなく、家庭教育側の観点も取り入れながら、事業展開を行いたい。						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山・羽場地区成人式 新成人を対象に「地域に誇りと愛着を持ち、将来における自己のあり方を見つめる」を目的に実施する	市・地	継続	1	145	145	159	1月13日	丸山公民館
			【総括と今後の方向付け】 丸山地区、羽場地区で各種団体の代表と新成人有志により実行委員会を組織し、年ごと順番で担当館を持ち回り開催。今年度は丸山公民館長が実行委員長として実施。 ・地域学習in大平宿 ・新成人の小学生時の思い出から、大平宿について、現地に昔行った困難体験とともに、大平宿を大切に、保全している方の想いを聞いた。 ・式典、祝賀会の企画運営 ・西中3年生へ「未来の自分と地域を考える会」の実施						

丸山公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0.1歳児学級「すくすく学級」	市・地	継続	20	174	20	60	5月10日～3月7日	丸山公民館 ほか
	0・1歳児とその親を対象にした交流の場、育児学習を図る。	5/10開講式 お友達を作ろう・図書館丸山分館の紹介、5/24ふれあい遊び・手遊びとおんぶ紐の使い方、6/7おしゃべりパーティータイム、6/21離乳食について、栄養士のお話、7/5七夕飾りをつくろう、7/19西中の学生との交流、8/30おっぱいのお話と骨盤ケア、9/6かざこし子どもの森公園スタンプとのおもちゃづくり、9/21お散歩にでかけよう、10/4防災の話、10/18文化祭の作製、11/15みんなで運動会、11/18 MARUYAMA FAMILY DAY、11/29絵本の読み聞かせ、12/5クリスマス会、12/21保健師の話、1/17おしゃべりパーティータイム、2/7離乳食とおやつのお話、2/21ふれあい遊びと手形・足形をとろう、3/7閉講式 常任講師：松村由美子氏	市・地	継続	20	118	19	60	5月17日～3月14日
学級・講座	2.3歳児学級「まるやまっこ学級」	市・地	継続	20	118	19	60	5月17日～3月14日	丸山公民館ほか
	2.3歳児とその親を対象に発達段階に応じた遊び・学習と交流の場、育児学習を図る	5/17開講式・図書館の紹介、5/31お散歩とさつまいもの苗を植えよう、6/14としこ先生の親子体操、6/28手形・足形をとろう 大きい布・小さい布遊び、7/12子どもの森公園で遊ぼう、もりっこへ行こう、7/26指えのぐで大きな絵を書こう、8/23歯科衛生士さんのお話とおしゃべりタイム、9/13お店屋さんごっこ、9/27みんなで作ろう大運動会、10/11さつまいも掘りお伊モを食べよう、10/25絵本の読み聞かせ 下沢洋子先生、11/8飯田動物園に行こう・四季の広場で遊ぼう、11/18 MARUYAMA FAMILY DAY、11/22手作りおもちゃを作ろう、12/5クリスマス会、12/20からだを使ってお遊ぼう、1/24豆まきと新聞紙あそび、2/14おしゃべりタイムおやつ作り、2/28手形・足形をとろう 思い出カード作り、3/14閉講式カレーパーティー 常任講師：塩沢敏子 氏	市・地	継続	1	20	20	3,456	11月18日
学級・講座	MARUYAMA FAMILY DAY	市・地	継続	1	20	20	3,456	11月18日	丸山公民館
	丸山地区で0～3歳児の子育てをしている家庭のみなさんの交流や仲間づくりの場	丸山地区の乳幼児学級の対象者すべてを対象に開催。丸山まちづくり委員会健康福祉委員会共催。参加者が交流し、地区内で子育て仲間をつくること、子育てしやすい環境づくりや雰囲気作りが目的。 今年度は、「A:パパとおやこ体操、B:ママの癒しタイム ハーバリウム、C:あつちパパ's」による歌と読み聞かせの3本立てで開催。 講師：A:塩沢敏子氏、B:宮下身佳氏、C:あつちパパ's	市・地	継続	1	20	20	3,456	11月18日

丸山公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	観月の夕べ	他会計	継続	1	120	120	3,456	9月22日	かざこし子どもの森公園・城山佐倉神社
	実施内容 市民を対象に、月を眺めながらお茶や音楽などの芸術文化に親しむ	他会計	継続	1	120	120	3,456	9月22日	かざこし子どもの森公園・城山佐倉神社
学級・講座	丸山〇〇(まるまる)プロジェクト(文化庁委託事業)	他会計	新規	1	30	30	3,456	7月1日	丸山公民館
学級・講座	丸山〇〇(まるまる)プロジェクト(文化庁委託事業) 飯田市公民館との共催事業。 丸山地区の「田中宗吉商店」の田中秀明さんを講師に、水引について話を聞き作品を作った。その後まるやま石窯の方とどざぐくりをし、交流会をした。他にゲームや太鼓演奏などをして外国人と地区住民との交流を図った。昨年度の事業で集まって下さった日本語支援ボランティアの方に支援活動の機会を提供する狙いもあった。	他会計	新規	1	30	30	3,456	7月1日	丸山公民館
学級・講座	外国人集住地域である丸山地区の外国人親子が、地区住民と交流し豊かな多文化共生社会を目指す。	他会計	新規	1	30	30	3,456	7月1日	丸山公民館
文化事業	かざこしふれあいコンサート	市・地	継続	1	325	325	8,304	9月1日	丸山小学校
文化事業	丸山公民館と合同で実施。両地区文化委員会が中心になり、地区の住民が身近な地元で音楽を楽しめる場、また子ども達の成果発表の場として行った。 (実施内容) 出演楽団：丸山小学校金管バンド、丸山小学校合唱アンサンブル部・羽場懐かしい歌を歌う会、飯田西中学校吹奏楽部、飯田高校合唱班、愉快的仲間たち	市・地	継続	1	325	325	8,304	9月1日	丸山小学校
文化事業	市民を対象に、地元で活躍されている音楽家による生の演奏を楽しむ機会を提供し、芸術文化の向上を図る	市・地	継続	1	325	325	8,304	9月1日	丸山小学校

【総括と今後の方向付け】
継続して6回目の開催。大勢の参加があり、名月もきれいに見られたため、好評を博した。多くの実行委員から聞いた「この地区にはこんないい財産がある。それを知ってもらい、楽しんでもらうために、この事業をさらに広げていきたい」という言葉の端々に、この事業の魅力を感じる。なお、ここで催される音楽は「屋外で奏でられる和楽」であり、他の演奏会とは大きく異なる雰囲気の中で行われる。「和楽」、「中秋の名月」、「抹茶」とともに感じる子どもの森公園と佐倉神社のロケーションは、非常に趣深い。
今後の開催に向けては、「この事業を大きくし、さらに多くの方に想いを広げたい」という意見もあるため、実行委員会で検討していきたい。

【総括と今後の方向付け】
左記の丸山公民館での交流会に続き、第2弾として大平宿へ1泊2日の宿泊体験を予定していたが、悪天候によりアクセス道路の通行が出来なくなる恐れがあったためやむなく中止となった。来年度以降も学校・公民館・地域住民・地域団体が輪になって活動が続けられるようにしたい。
なお、まるやま石窯部のメンバーからは「今までにない取組で大変楽しかった」という声が多数聞かれた。今後も、丸山在住の外国人がより良い生活ができるよう、また地域の中でのつながりができるようにサポートしていきたい。

数量的成果
(項目名と数値)
参加者の9割が「大変よかった」「よかった」
【総括と今後の方向付け】
小学生は中学生の、中学生は高校生の音楽を聴くことにより、将来に自らの音楽を思い考える機会を大切にしよう、本年度は高校生をゲストに招き、お互いの音楽を聴く機会とした。また、昨年度に引き続き飯田西中のOBOG楽団にも演奏していただき、会の最後には、小学生から大人まで一斉合唱でふるさとを合唱し会場での一体感をもてた。次年度も小中連携の一環として子ども達も将来を考えられ、地域が一つと感じられる機会にしていきたい。

丸山公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	人形劇フェスタ丸山地区公演	市・地	継続	3	343	100	3,456	8/5、8/7、8/10	丸山公民館
	<p>今年度は、ここ数年行っている「学生交流公演」、新規の「保育園公演」、羽場地区との共催による「西中学校区公演」の3本立てで行った。</p> <p>【8/5 西中学校区公演】丸山小学校人形劇クラブ「つばさ」、飯田西中学校人形劇部「The World」、台湾の桃園市文山小学校創作劇団の3劇団連続公演。中学生実行委員を募り、台湾のことを学びながら主体的に組み立てをし、地区の大人はそれをサポートする形をとった。</p> <p>【8/7 丸山保育園公演】人形劇団ちんどんによる公演。大学生・地区・保護者のそれぞれのボランティアによる企画運営。園児との昼食会の後、大人のみで茶話会を実施。</p> <p>【8/10 丸山公民館公演 学生交流公演】くらしき作陽大学はれつとによる公演。公民館部員と一般ボランティア、学生交流公演参加大学により運営。終了後は地区実行委員と大学生との「大人の交流会」を実施。</p>	<p>市民を対象に、身近なところで人形劇に親しむ機会をつくる</p>	<p>【総括と今後の方向付け】8/5の西中学校区公演は、事前学習から力を入れ、飯田市在住の酒井ホランさんや講師に、中学生・大人がそれぞれ台湾のことを事前学習し、相手方を想像して、よりよい機会となるよう、取り組みを考えることができた。今後に活かせる内容になった。</p> <p>8/7の丸山保育園公演は、今年度初めて行ったものであるが、大好評だった。来年度も継続していきたい。</p> <p>8/10の学生交流公演はここ数年連続して行っているもので、「学生と地区住民との交流」という観点を重視して行っている。リンゴンへの丸山連での参加も引き続き行った。当地域で大学生との交流をもてる機会は少ないため、公民館部員さん達にも大きな刺激になっている。</p> <p>こういった「フェスタならではの交流」の場は引き続き行っていきたい。</p>	<p>評価</p>					
文化事業	おとなのサロン	市・地	継続	1	80	80	3,456	12月16日	丸山公民館
	<p>地区住民を対象に、連合青年会とタイアップし一般成人の学習の機会とする。</p>	<p>連合青年会と共催で企画運営。大人がひとつのことをじっくり学ぶ機会として毎年テーマを決めて開催。</p> <p>今年度は、風越山開山1,300年を記念し、『白山信仰と風越山～先人たちが風越山に寄せた思いに迫る～』と題し、信州大学特任教授の牛山佳幸氏、飯田市美術博物館の織田顕行氏を講師に招いて講演会を行った。</p> <p>今年度の事業目的は下記の通り。 「風越山開山1,300年」の年にあたり、丸山地区のシンボルである風越山がなぜ「信仰の山」とされてきたのか、白山信仰を含む、日本の山岳信仰の歴史もふまえて、学ぶ機会としたい。また、先人達が風越山をどんな思いで見ているのか、現代に生きる我々が思いをはせる機会としたい。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】地区の現状からも、「なぜ風越山が信仰の対象とされてきたのか」地区の歴史・および日本の山岳信仰の歴史から学ぶことは、今後に向けて大変重要な機会であった。</p> <p>風越山とともにもある丸山地区にとって、風越山をめぐる信仰の歴史などについては、地域のアイデンティティーに触れるテーマであり、丸山公民館として、今後もしっかりと心を持ち続けていきたい。</p> <p>来年度以降も連合青年会と協力しながら、「継続した学習の機会」を提供していきたい。</p>	<p>評価</p>					
文化事業	丸山くらす	地区費	継続	1	0	0	3,456	7月8日	丸山公民館ほか
	<p>地域住民を対象に、自分たちの住む地域を知り学ぶための体験型の講座</p>	<p>「地域で楽しく生き生きと暮らす」をコンセプトに自分たちの暮らしを衣・食・住など様々な観点から見つめなおすことで地域と人、人との結びつきの大切さにふれもらい地域の良さを再発見する。6年目の事業で、今年度は1回の開催だったが、講師の都合により直前で中止となってしまった。</p> <p>テーマ:『ジビエ料理を学ぶ～生まれた歴史や背景と共に～』 講師:片町 彰さん(飯田市南信濃 星野屋店主) 内容:「ジビエ料理」についての講演・「肉の解体」の体験・ジビエ(鹿)のもも・ロース)の簡単な調理体験・実食+交流会</p>	<p>【総括と今後の方向付け】丸山地区を楽しく学ぶ、知ることで地域の良さを人とのつながりに知ってもらうため、ジャンルを問わず様々な内容で体験型の講座となっている。「地域で楽しく暮らすために地域の良さを再発見する」という観点については、とても重要であり、来年度も開催したい。</p>	<p>評価</p>					

丸山公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	丸山地区文化祭	地区費	継続	1	1,577	1,577	3,456	11月11日、12日	丸山公民館
文化事業	<p>地区内の団体や教室・サークル活動の発表の場、住民の文化交流の場として開催。展示・催事・芸能発表の3部門で展開。文化部を中心に、まちづくり委員会や参加団体による実行委員体制で企画・運営。</p> <p>【特別企画①】 『人形劇まつりin丸山』 丸山保育園、丸山小学校人形劇クラブ「つばさ」、飯田西中学校人形劇部による連続公演を、丸山公民館文化部が支える。「保・小・中」の連携を地域が支える「人形劇文化の振興」を1つの企画で実施。</p> <p>【特別企画②】 昨年度完成した丸山の歌“ふるさと丸山～愛しきわが街～”のきっかけ～完成までを紹介するビデオを上映。 また、大会議室への歌詞表示パネルを開会セレモニーにて披露。</p> <p>【特別企画③】 今年度作成している二層式の新石窯を一般公開。</p> <p>【特別企画④】 風越山開山1,300年を記念し、美術博物館から展示物の提供を受け、『開山1,300年 風越山展』を行った。</p>	地区費	継続	1	100	100	3,456	6月10日	押洞グラウンド
体育事業	町内対抗ソフトボール大会	地区費	継続	1	100	100	3,456	6月10日	押洞グラウンド
	町内対抗ソフトボール大会	地区費	継続	1	100	100	3,456	6月10日	押洞グラウンド
体育事業	<p>地区住民を対象に、町内の親睦と交流を図る</p>	地区費	継続	1	480	480	3,456	10月15日	丸山小学校
	丸山地区市民大運動会	地区費	継続	1	480	480	3,456	10月15日	丸山小学校
体育事業	<p>地区住民を対象に、親睦と交流を地区の結びつきや活性化を図る</p>	地区費	継続	1	480	480	3,456	10月15日	丸山小学校

丸山公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ワンバウンドふらばーるバレー大会	地区費	継続	1	80	80	80	3,456	11月18日	丸山小学校
	目的	バレーボールをやったことのない方、また子どもや女性も気軽に参加できるニュースポーツである。地区内だけでなく、社教団体のスポーツ関係の団体にも参加を呼びかけている。リーグ戦で開催。								
体育事業	健康講座(体幹トレーニング)	市・地	継続	1	50	50	50	3,456	3月14日	丸山公民館
	目的	テーマは「誰でもできる体幹トレーニングを通して自身の健康について考えよう」というもの。今年度は、ここ数年大好評である「親子でできる」体幹トレーニングを実施。 講師: 嶽野英樹さん(飯田市スポーツ推進委員)								
体育事業	囲碁ボール大会	地区費	継続	1	50	50	50	3,456	2月24日	丸山公民館
	目的	高齢者でも気軽にできるニュースポーツのため、多くの参加者がある。自治会やサークル、個人など16チームが参加。町内や有志で囲碁ボール大会を開催する団体も増えており、囲碁ボールが地域で定着してきている。								
広報事業	広報まるやまの編集	地区費	継続	4	100	100	100	3,456	4月～3月	丸山公民館
	目的	32号(6月)、33号(9月)、34号(12月)、35号(3月)。まちづくり委員会と合同で発行。それぞれの広報部門で内容の検討を行いながら、合同の企画会議や編集会議も開催し紙面の充実を図っている。なお、昨年度から広報部で議論を重ね、「やったことの結果」だけでなく、「地域の現状や課題を踏まえて今後の地域のあり方を提案」するような記事も掲載。								

丸山公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	スポーツ・文化教室支援事業	地区費	継続	3	180	180	3,456	4月8日、9月25日、3月10日	丸山公民館
	目的	<p>4/8開講式(指導者紹介、あいさつ、各教室の事業計画についてほか) 9/25研修会「成長期の子どもの食事を学ぼう」 3/10開講式(各教室活動発表、修了証の授与、あいさつほか) 年2回、指導者・保護者代表打ち合わせ会の実施。 研修会の企画・運営 公民館事業への参加の呼びかけ。</p>							
育成事業	お正月飾り教室	市・地	継続	1	40	40	3,456	12月16日	丸山公民館
	目的	<p>日本のお正月の伝統文化であるしめ縄やおやすなどのお正月かざりを地元の方を講師に体験した。親子での参加を呼びかけた。 久保田浩史氏(丸山町3)</p>							
育成事業	正月あそび・もちつき体験	市・地	継続	1	130	130	3,456	1月20日	丸山公民館
	目的	<p>お正月の遊びやもちつきなどの伝統文化を地元の方を講師に全館を貸切って実施。飯田西中学校の生徒が凧作りを地域の講師から教えてもらい、当り参加した小学生や親子に教えた。 講師：風越察佐藤先生・中島美美子さん(滝の沢)・篠田啓子さん(丸山1)、豊口拓也さん(丸山4)、酒井美幸さん(白山3東)</p>							
育成事業	親子交流体験事業「子どもの森公園探検隊」	地区費	新規	1	50	50	3,456	7月29日	かざこし子どもの森公園
	目的	<p>子どもの森公園と協力し、育成部との合同事業として企画・実施。 便利な世の中になったことにより、大人が子どもにも「真剣に」向き合うこと、そして子どもが「人を見て育つ」ことが減ってきている。また、子どもの遊びはゲーム中心であり、自然と関わりながら遊ぶ機会が少なくなっている。親子で会話しながら「自然に夢中になる」経験をすることで、親子、また家庭内でのコミュニケーションを活発にしたいという育成部の思いから企画した。今年度で3年目の企画。 日時：7月29日(日) 場所：かざこし子どもの森公園 講師：育成部、子どもの森公園菅沼彦さん・熊谷康平さん 内容：「親子」をターゲットにした火起こし体験、飯ごう炊さん、川魚について知る(つかみどり、さばく、塩焼き)、会食</p>							

丸山公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山・羽場地区成人式	市・地	継続	1	145	145	159	1月13日	丸山公民館
	<p>【総括と今後の方向付け】 地区で実施する成人式として、新成人をお祝いするために地区の関係者、恩師を招いて開催した。準備会・実行委員会の中で成人式を開催する目的を共有し、ねらいを持った成人式、祝賀会として企画できたことが良かった。 祝賀会は新成人実行委員ができる機会となった。 ながるきっかけが利用できる機会となった。 次年度は羽場公民館を会場として実施するが、地区公民館で成人式をする意味や目的を実行委員の中で共有したうえで、事業内容を検討していきたい。</p>	<p>丸山・羽場地区合同で各種団体の代表と新成人有志により実行委員会を組織し、年ごと順番で担当館を持ち回り開催。今年度は丸山公民館長が実行委員長として実施。 ・地域学習in大平宿 新成人の小学生時の思い出から、大平宿について、現地にきて昔行った困り体験ととともに、大平宿を大切に、保全している方の想いを聞いた。 ・式典、祝賀会の企画運営 ・西中3年生へ「未来の自分と地域を考える会」の実施</p>	<p>丸山・羽場地区合同で各種団体の代表と新成人有志により実行委員会を組織し、年ごと順番で担当館を持ち回り開催。今年度は丸山公民館長が実行委員長として実施。 ・地域学習in大平宿 新成人の小学生時の思い出から、大平宿について、現地にきて昔行った困り体験ととともに、大平宿を大切に、保全している方の想いを聞いた。 ・式典、祝賀会の企画運営 ・西中3年生へ「未来の自分と地域を考える会」の実施</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 地区で実施する成人式として、新成人をお祝いするために地区の関係者、恩師を招いて開催した。準備会・実行委員会の中で成人式を開催する目的を共有し、ねらいを持った成人式、祝賀会として企画できたことが良かった。 祝賀会は新成人実行委員ができる機会となった。 ながるきっかけが利用できる機会となった。 次年度は羽場公民館を会場として実施するが、地区公民館で成人式をする意味や目的を実行委員の中で共有したうえで、事業内容を検討していきたい。</p>					
合同事業	丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)	他会計	継続	40	2,720	68	533	4月～3月	丸山小学校
	<p>放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。 活動日：毎週水曜日 学期に1回の土曜日または日曜日に参観日。 体育館・プレールーム・グラウンド・図工室に分かれて活動。 各地区の文化祭での作品の展示。 学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催。 丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区の合同事業。</p>	<p>放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。 活動日：毎週水曜日 学期に1回の土曜日または日曜日に参観日。 体育館・プレールーム・グラウンド・図工室に分かれて活動。 各地区の文化祭での作品の展示。 学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催。 丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区の合同事業。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 放課後の子ども達の安心、安全な居場所つくりのために、地域の大人がスタッフとして登録し実施している。異学年の児童同士の交流により自主性や協調性を高めることも目的とされている。地域のスタッフのもと様々な体験ができています。スタッフは研修会への参加などを積極的な取り組みをしている。 「飯田型コミュニケーションスクール」の基礎となる事業である。学校・PTA・地域とつかり連携をとりながら今後も展開していく。</p>						
合同事業	家庭教育講演会(羽場・丸山・東野)	市費	継続	1	100	100	11,212	11月22日	丸山小学校
	<p>丸山小学校PTA及び一般を対象に、子育てについて考える機会を設け家庭教育の推進を図る。</p>	<p>羽場・丸山・東野公民館共催。 テーマ：「子どももってね…」 ～子ども達が「もう1回読んで！」という本、子ども達の大好きな一冊から分かること～ 講師：下沢 洋子氏(ガンバの会主宰) 子ども達にとって大切な本を通して学びや思い、大人の関わり方等についてお話しいただいた。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 丸山小学校、PTA、羽場、丸山、東野公民館の共催事業である。昨年度から公民館がテーマ、講師選定の段階から関わり、学校、家庭、地域の大人たちが子ども達の現状と課題について共有したうえで講師選定を行っている。今後も、学校教育・家庭教育側だけでなく、社会教育側の観点も取り入れながら、事業展開を行いたい。</p>						
探鳥会	探鳥会	市費	継続	3	300	100	300	5月9日、5月19日、12月8日	風越山麓周辺
	<p>中学生・地区住民を対象に、探鳥会を通して風越山麓の自然に触れることにより、環境意識の高揚を図る</p>	<p>羽場公民館・丸山公民館・飯田西中学校共催事業 西中学校の生徒を中心に地元住民も参加し、探鳥会を行った。講師から鳥の観察や自然全般に対する説明を行ってもらった。 【春】飯田西中学校～石灯籠周辺まで 【冬】かさこ子ども森公園周辺</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 飯田西中学校の伝統ある事業であり、主に中学生が地元山に登り、自然や野鳥に親しみをもちもらう機会である。今後も中学校と連携を取りながら進めていきたい。</p>						

丸山公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	風越山麓わくわくプロジェクト	地区費	新規	15	150	15	3,456	通年	風越山麓周辺
合同事業	<p>一昨年度からまちづくり委員会と協力して行っている取り組み。今年度から、まちづくり委員会内の一委員会としても認められた。</p> <p>活動の目的は、地区の自然・歴史・文化等をはじめとする地域の宝を活かし、将来にわたりこの地区に住み続けたいまちにするための1つの事業として、山林整備や育苗、地区内の美化活動、郷土愛を育む各種イベント等を開催すること。</p> <p>実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①育苗管理：ヤマザクラ、ナデシコ、ベニマンサク(通年) ②夕源平の山林整備 11/16,11/18 ③ブルーベリー植栽 5/19,6/2,7/22,9/24 ④イベント企画・実施 樹木観察会・ツリークラミング10/21、きのこ菌打ち3/10 ⑤学習・交流 講演会11/22、視察研修(長野市戸隠)8/28 ⑥事業への参画 風越山麓公園で遊ぼう5/6、登山マラソンおもてなし9/19,10/4 ⑦風越山案内看板設置 12/25 <p>目的</p> <p>地区住民を対象に、地区のシンボル風越山を暮らしたの視点から見つめなおし心豊かな地域づくりを育むことを目的とする。</p>	地区費	新規	15	150	15	3,456	通年	風越山麓周辺
区分	丸山地区ウオーキング大会	市・地	新規	1	120	120	3,456	3月21日	丸山公民館 ほか
合同事業	<p>健康福祉委員会との共同事業として、「丸山地区ウオーキング大会」を実施。</p> <p>コースは2つ用意し、公民館主管の「みちくさウオーキングコース」、健康福祉委員会主管の「ポールウオーキング体験コース」を用意して実施。両コースも地元元風越山麓を一周し、阿弥陀寺や白山社など文化財を通るコースを設定している。自然や文化財に親しんでもらうとともに、左記の目的を達成できるように内容を充実した。全部会に協力いただく事業。ゴールで豚汁サービスを行う。</p> <p>実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ウオーキングで心も体も元気で長生きできるための健康づくり。 ②風越山麓を巡り、自然豊かな地域の良さにふれる。 ③親子や地域住民のふれあい・交流を深める。 <p>目的</p> <p>ウオーキング大会を通じて、親子や地域住民のふれあい・交流を深める。</p>	市・地	新規	1	120	120	3,456	3月21日	丸山公民館 ほか
区分	夏休み子ども寺子屋	市・地	継続	3	271	89	533	8月1日～3日	羽場公民館他
合同事業	<p>丸山小学校児童を対象に、夏休みの規則正しい生活の支援と地域を学ぶ活動を通じて誇りと愛着の醸成を図る</p> <p>実施内容</p> <p>丸山小学校児童を対象に、夏休みの規則正しい生活の支援と地域を学ぶ活動を通じて誇りと愛着の醸成を図る</p> <p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>丸山小学校放課後子ども教室のスタッフの皆さんを中心に地域の方々に協力していただき、計画実施してきた。3地区で関わるので3地区それぞれの特徴を活かし、地域を感じられる内容を意識した。当初の見込み以上に参加者が集まり、また異例の猛暑の為、一部内容を変更したり、臨時打合せを行ったりしてきた。保護者や参加する子ども達からも好評であるので、子ども達に体験から学んでほしいことを話し合いながら次年度も3地区で行っていききたい。</p>	市・地	継続	3	271	89	533	8月1日～3日	羽場公民館他

丸山公民館の事業報告

No.9

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	丸山小学校かざこしタイム	他会計	継続	5	1,390	278	278	6月～10月	丸山公民館・丸山小学校他
	丸山小学校と地域の連携を図る。	<p>【総括と今後の方向付け】 小学校のクラブ活動(かざこしタイム)を地域の方が講師となって指導する。小学生と地域の方との交流を深め、地域の行事に積極的に参加していく態度や郷土愛の育成につなげる。小学校から講師の希望があったクラブについて公民館が地域の人材を探す役割を行っている。</p>							
その他	風越山を愛する会事務局	他会計	継続	14	180	15	3,456	通年	丸山公民館、風越山等
	飯田市のシンボル「風越山」の自然・歴史・文化にふれる機会を通して、山の魅力を伝える機会をとおして、山の魅力を高め自然保護の意識を高める。	<p>【総括と今後の方向付け】 運営委員会を開催し企画運営。風のたよりの発行(年数回)。風越山のイラストマップを販売し、飯田市各地の小学校の登山・学習にも使用されている。年間を通して季節折々の登山や元日登山等を行い、自然観察登山や登山道整備登山、看板整備、登山ガイドなどを行う。また風越登山マラソンや地元神社の祭典、関係イベント等への協力もしている。風越山麓わくわくプロジェクトとも連携。</p>							
その他	丸山の歌をつくろう！プロジェクト	市・地	新規	15	7,500	12	3,456	通年	丸山公民館・文化会館等
	地区への「想い」や「誇り」を、老若男女誰でも表現できる”歌”で歌い続けよう。地域をつなぐがたりや元氣、絆を生み出すこと。	<p>【総括と今後の方向付け】 一昨年度からまちづくり委員会と協力している取り組み。昨年度完成した丸山の歌”ふるさと丸山～愛しき我が街～”について、作成までのプロセスを文化祭にて公開したり、丸山公民館大会議室や各自治会の集会所に歌詞表示パネルの展示を行うなど、「想いを広げる活動」に重点を置き、行った。</p>							
その他	まるやま石窯部	他会計	新規	10	150	30	3,456	通年	丸山公民館
	誰もが気軽に集えるスペース作りを通して、住民相互の学習・交流を深める	<p>組織を立ち上げて2年目。この組織は、石窯を活用しながら、「誰でも気軽に集まり、一緒に楽しく活動しながら、親睦を深められる場づくり」を目指している。公民館としては、石窯部の活動や関わる人の想いを広げられるように事業を援助。 (1)新石窯の築造 ・皆でアイデアを出し、意見を交わしながら、築造を行う。 (2)「リニア時代」を見据えた学習と交流 ・メンバーの交流だけでなく、地区内外の様々な方と交流する。今年度は在住外国人(丸山OOPプロジェクト)との交流を実施。 (3)石窯の活用 ・ピザ、パン、ローストキンをなどの料理等、石窯のさらなる活用を研究する。 ・丸山地区文化祭をはじめ、丸山地区の事業に協力する。</p>							
その他	丸山公民館の事業報告	他会計	継続	5	1,390	278	278	6月～10月	丸山公民館・丸山小学校他
	丸山公民館の事業報告	<p>【総括と今後の方向付け】 現メンバー約30名の中には老若男女幅広い世代が参画し、気軽に話ができる関係になっている。 ・新石窯の築造では、メンバー内の設計士や建築会社の人、“石”を職業とされている人、旧石窯を作った人など、メンバー内での知識や経験を総動員し、思いがこもった石窯を作ることが出来た。 ・在住外国人との交流事業を行った。今まで関わりがなかった方々との交流により、新たな発見・気づきや「人と話す・交流する」ことの楽しさを多くの方が感じるこゝとができた。 ・リニア時代に向け、さらに多くの方との交流をし、また石窯のさらなる活用について研究していく。また、より良い取組になるよう、メンバー内や地区区内での連携・情報交換を行っていききたい。</p>							

東野公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	三館合同乳幼児学級(橋北・橋南・東野) 乳幼児とその保護者を対象に、子ども同士や親子のふれあいの場、親同士の交流の場をつくり、子どもの健全な成長を図る。	市・地	継続	18	234	24	114	実施内容参照	東野公民館 他
				【総括と今後の方向付け】 橋北・橋南・東野地区の三館合同事業で、東野は3歳児を担当した。内容については、前年度の様子を踏まえ、保育士と保健師、主事が協議し決定した。 ①5/23開講式、②6/13ゲーム、トマトの苗植え③6/27動物園へ行こう、④7/11運動遊び⑤7/25楽しい人形劇、⑥8/22みんなの水遊び、⑦9/5ぶどう狩り(雨天中止)、⑧9/26ピザ作り挑戦！、⑨10/10ミニ運動会、⑩10/18消防見学、⑪11/7リトミック、⑫11/28絵本の読み聞かせ、⑬12/12クリスマスパーティーの準備、⑭12/19クリスマスパーティー、⑮1/23お正月遊び、豆まき「鬼は外！福は内！」、⑯2/13いちご狩り、⑰2/27「記念品づくり、カレーづくり」、⑱3/13閉講式	【総括と今後の方向付け】 親子のふれあいや子育ての知識を学ぶ内容が中心となった。親同士の交流、子育てに関する情報交換の場、また、子ども達が人との関わりから社会のルールを学ぶ場として機能していた。今後も成長段階に応じた必要な内容を提供できるように、保健師や保育士とともに計画を立て実施していきたい。				
学級・講座	独居高齢者学級「五福の会」 毎月第1・3月曜日に開催した。講師を招くなど主事が企画するもの自主活動として実施するもの、2通りで組み立てた。 ①5/21開講式、②6/4囲碁ボール、③6/21美術博物館見学、④7/2囲碁ボール、⑤8/20保健師さんのお話、⑥9/3健康運動、⑦10/1手芸、⑧10/15文化祭に向けて、⑨11/5自主開催、⑩11/26歌と楽器、⑪12/10折り紙に挑戦、⑫12/17囲碁ボール、⑬1/7お正月遊び、⑭1/21健康運動、⑮2/4自主開催、⑯2/18食事会、⑰3/4閉講式	市費	継続	17	90	8	170	実施内容参照	東野公民館
				【総括と今後の方向付け】 独居高齢者を対象としているところと特徴があり、会話をしたり運動したりすることから身ともに健康になるよう繋げた。減少傾向にあるため、民生委員とも連携しながら募集を行い、独居高齢者の生きがいづくりにつなげていきたい。					
学級・講座	女性学級「めだかの学校」 毎月第2火曜日に開催した。受講生の中から正副学級長を選出し、内容は館長、主事、学級生が話し合い考案した。 ①5/8開講式、②6/12囲碁ボール、③7/9満蒙開拓平和記念館見学、④9/11健康運動、⑤10/9手芸、⑥11/13研修旅行(サンリツ服部美術館、北澤美術館ほか)⑦12/11南信州新聞社見学、⑧1/8ニュースポーツ体験、⑨2/12童謡唱歌、⑩3/12閉講式	市費	継続	10	80	20	1,579	実施内容参照	東野公民館
				【総括と今後の方向付け】 参加者に自ら企画してもらうことで、積極的に参加してもらうことができた。他の学級同様に参加者が減少傾向にあるが、自主的に事業運営を行い活発的な事業に向け、参加者自身も周囲に呼びかけ誘い合う等女性らしい発想を地域活動を結び付けられるよう取り組んでいきたい。					
学級・講座	若草の里東野講座 地域住民からの要望や時勢に合った内容を設定して開催した。 ①7/27「りんごんの踊りを学ぼう」講師：村澤みよ子氏 ②12/22「そば打ち体験」講師：岡井武司氏 ③1/27「日本の伝統文化「のし」のお話を聞く会」講師：上田屋のし店 宮島源治氏	市費	継続	4	71	71	2,936	実施内容参照	東野公民館
				【総括と今後の方向付け】 地域住民からの要望や時勢に合ったもの、地域再発見に繋がるものが企画でき、参加者は身近な話題・課題として学習できた。今後も東野まちづくり会議各委員会等地域の団体と連携しながら認識、再認識すべきことをテーマとして企画していきたい。					

東野公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	書初め書道教室	市・地	継続	1	15	15	2,936	1月4日	東野公民館
	実施内容			小学校以上を対象とし、学校の書初めの手本を元に書道教室を開催した。 講師：志水順子氏	【総括と今後の方向付け】 時間をかけて個別指導できるよう定員を設けて募集し、参加した子どもたちが一生懸命集中して取り組むことができた。今後子どもを対象とした教室を開催していく。				
文化事業	山菜採り勉強会	市・地	継続	1	25	25	2,936	5月6日	高森研修センター森の家
	実施内容			昔から庶民の生活を支えていた山菜を自然の中で学習し、採れた山菜を料理し交流を深めた。 講師：牧内誠氏	【総括と今後の方向付け】 本来ならば地元での勉強会が望ましいが、山菜が採れる場所ではないと講師や部員で判断し、地区外で開催した。部員や参加者で、採れたての山菜を調理し、試食しながら交流することができ、山菜について一回で理解を深めることができた。				
文化事業	文化講座	市・地	継続	1	20	20	2,936	3月7日	東野公民館
	実施内容			地元のご住職を講師に、忙しい現代社会を生きている私たちが、一日一日を心穏やかに生きていくことを学ぶ機会として実施。 講師：長久寺住職 林寛山氏 内容：心静かに写経をしてみませんか	【総括と今後の方向付け】 普段の生活の喧騒から離れ、心を落ち着かせ、自分自身と向き合う機会として開催した。講師より、冒頭に「字の上手い下手、他人との比較ではなく、丁寧に書くこと」との話があり、参加者は非常に集中して取り組んでいた。今後もこのように地区内の技術や知識を持った住民を講師に講座を企画し、住民同士でともに学んでいく姿勢を育まれるものを継続したい。				
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2018東野地区公演	他会計	継続	5	452	452	2,936	実施内容参照	実施内容参照
	実施内容			①8/3高羽町南自治会館 「すー」のテューブルシアター→なにぬの屋 観劇者数：56人 ②8/4高羽町東公民館 風工場・手風琴 観劇者数：68人 ③8/9大宮諏訪神社事務所 飯田東中りんご劇団・人形劇ファミリーひみちやたい 観劇者数：80人 ④8/9慈光保育園 人形劇団クスクス 観劇者数：144人 ⑤8/12東野公民館 人形劇だん大福 観劇者数：104人	【総括と今後の方向付け】 運営は専門委員や自治会それぞれが主体的に取り組んでおり、今後も人形劇フェスタが地域の文化としてより強く根付くよう住民の関心を深められる取り組みをしていきたい。				
文化事業	第46回東野区民文化祭	市・地	継続	1	700	700	2,936	実施内容参照	東野公民館
	実施内容			芸能発表会、展示発表会ともに実行委員会を組織し、事前の準備から当日の運営まで、実行委員が主体的に関わった。 ◆開催概要 ◆芸能発表会 期日：10/21 参加団体：11団体 参加人数：400人 ◆展示発表会 期日：11/3～11/4 参加団体：23団体 参加人数：300人	【総括と今後の方向付け】 芸能発表会は、出演者の高齢化が進む中、入舟幼稚園、飯田東中学校有志合唱団、児童や生徒の作品を展示し、賑やかに行えた。展示発表会とも地域をあげての行事であるので、まちづくり会議と連携し、幅広い年齢層が参加する文化祭を目指していく。				

東野公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	東野文化の路探訪会	市・地	継続	1	13	1	13	13	2,936	11月18日	東野～橋南地区
	目的	旧市内に残る歴史素材を見ながら探訪した。 行程：東野公民館→長昌寺(桜井文七の墓)→長源寺(山口不二の墓)→柏心寺(日夏歌之助の墓、菱田春草の墓)→大宮諏訪神社	市・地	継続	1	13	13	13	2,936	11月18日	東野～橋南地区
文化事業	実施内容	旧市内に残る歴史素材を見ながら探訪した。 行程：東野公民館→長昌寺(桜井文七の墓)→長源寺(山口不二の墓)→柏心寺(日夏歌之助の墓、菱田春草の墓)→大宮諏訪神社	市・地	継続	1	30	30	30	2,936	12月9日	東野公民館
	目的	住民を迎えるにあたって、お正月飾りを自分の手で作ることに挑戦する機会として開催した。躰づくりから体験し、縄ない、飾りの作成までを行った。 内容：しめ縄、おやす作り 講師：久保田浩史氏、大木島勇司氏	市・地	継続	1	30	30	30	2,936	12月9日	東野公民館
文化事業	実施内容	年末年始を迎えるにあたって、お正月飾りを自分の手で作ることに挑戦する機会として開催した。躰づくりから体験し、縄ない、飾りの作成までを行った。 内容：しめ縄、おやす作り 講師：久保田浩史氏、大木島勇司氏	市・地	継続	1	70	70	70	2,936	1月20日	東野公民館
	目的	子どもを対象に、昔の遊び・餅つきなどを体験を通じて継承を図る。	市・地	継続	1	70	70	70	2,936	1月20日	東野公民館
体育事業	実施内容	近年、各家庭では実施されなくなった百人一首・カルタ・羽根つき・コマまわし等のお正月の遊びや、臼と杵を使ってのお餅つきを子ども達へ体験させる機会として開催した。 文化部、育成部、図書分館と健康福祉委員会による共催で実施した。	市・地	継続	1	150	150	150	2,936	5月14日～15日	飯田東中学校
	目的	女性の方にも参加できるように、ラージボールという通常より大きいボールを使用したソフトボール大会を実施した。 優勝：鈴木東新 準優勝：諏訪・東新・宮の前	市・地	継続	1	150	150	150	2,936	5月14日～15日	飯田東中学校
体育事業	実施内容	子どもから大人まで楽しめるソフトバレーボール大会として、男女比率自由の6人編成のチームによる町内対抗のトーナメント戦で、開催した。 優勝：諏訪・東新・宮の前 準優勝：宮ノ上B	市・地	継続	1	140	140	140	2,936	7月2日～4日	飯田東中学校体育館
	目的	地域住民を対象に、スポーツを通じて幅広い世代の交流を図る	市・地	継続	1	140	140	140	2,936	7月2日～4日	飯田東中学校体育館
体育事業	実施内容	子どもから大人まで楽しめるニュースポーツ大会として開催した。男女比率自由の5人以上で1チームとする町内対抗のトーナメント戦で行った。 優勝：吾妻町南 準優勝：錦町B	市・地	継続	1	160	160	160	2,936	9月10日～11日	飯田東中学校
	目的	地域住民を対象に、ニュースポーツを普及と交流の機会を図る	市・地	継続	1	160	160	160	2,936	9月10日～11日	飯田東中学校

東野公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第29回東野区民大運動会 実施内容 地域住民を対象に、運動を通じて親睦を深め、交流し、地域の連帯意識を高める		地区費 継続	1	0	0	2,936	9月30日	飯田東中学校
									【総括と今後の方向付け】 当日は雨天中止となつてしまつたが、実行委員会が主体的に携わり、スムーズに準備を進めることができた。今後も実行委員を選出する自治会やまちづくり会議と協力して内容を充実していきたい。
評価									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ベタング大会 実施内容 子どもから大人まで楽しめるニュースポーツ大会として開催した。男女比率自由の3人以上で1チームとする町内対抗のトーナメント戦で行つた。多くの人が参加しやすいように東野ルールを作成した。 優勝：錦町D 準優勝：錦町A		地区費 継続	1	150	24チーム	2,936	10月9日～12日	飯田東中学校
									【総括と今後の方向付け】 健康増進を図るとともに、地区内での交流ができた。今後も誰もが楽しめるニュースポーツ大会として継続して実施していきたい。
評価									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	囲碁ボール大会 実施内容 地域住民を対象に、ニュースポーツを普及と交流の機会を図る		地区費 継続	1	100	100	2,936	2月3日	飯田東中学校
									【総括と今後の方向付け】 健康増進を図るとともに、地区内での交流ができた。今後も誰もが楽しめるニュースポーツ大会として継続して実施する。
評価									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	まちづくり会報「東野」発行 実施内容 地域住民を対象に、地域由来事を伝え、地域の出来事や問題提起し、地域の問題を提起し考えをもちたい機会を図る		地区費 継続				2,936	実施内容参照	東野地区内
									【総括と今後の方向付け】 行事の実施報告だけに終わらないよう常に広報部で確認し合いながら編集することができた。今後も地域課題の発信と共有ができるものとして内容の更なる充実を目指して発行していきたい。
評価									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	ビデオ収録・編集 実施内容 地域住民を対象に、活動の記録を残す。		地区費 継続				2,936	実施内容参照	東野地区内
									【総括と今後の方向付け】 東野区民文化祭芸能発表会に採録された方々に当日の様子を伝えることができ、住民間の情報や話題の共有につながっている。
評価									

東野公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	親子のスポーツ交流会	地区費	継続	1	56	56	2,936	6月10日	浜井場小学校
	目的 親子(園児、小学生・中学生)を対象に、ニュースポーツを通じて交流を図る。								
育成事業	子どもお楽しみ会	市・地	継続	1	15	15	2,936	2月10日	東野公民館
	目的 子どもを対象に、観て、体験して、楽しむ機会を図る								
育成事業	キッズチャレンジ手作り体験	市・地	継続	1	33	33	2,936	11月25日	東野公民館
	目的 子どもを対象に、様々な体験をする機会を図る								
育成事業	小学校、中学校卒業生へ記念品の贈呈	地区費	継続	1	43	43	43	3月	東野地区内
	目的 小学生・中学生卒業生を対象に、記念品を贈る。								
その他	みんなで歩かまいめざせ1万歩!!	市・地	継続	1	26	26	2,936	11月18日	東野～上郷地区
	目的 地域住民を対象に、健康について考える機会を開催する。								

【総括と今後の方向付け】
町内によってはPTA事業としても位置づけ、大勢の参加があった。日頃は小学校単位で集まることが多い中、地区全体で親子の交流が図れた。今後も、ニュースポーツの普及も兼ねながら、親子誰もが気軽に参加し交流できるものにしていきたい。

【総括と今後の方向付け】
ものづくりは子ども達も楽しみながら、交流を深めることに最適であった。また地元企業を知る機会となった。次年度以降も子どもを対象とした同様の事業を展開していきたい。

【総括と今後の方向付け】
段ボールとアルミ箔でピザ窯を作り、手作りのピザを焼いた。講師に教わりながら、完成に向け周囲の人と協力しながら行うことが体験できた。定員を設けていたが、ピザ窯は比較的スムーズに作る事ができたため、材料を多めに用意しておけばもっと募集をかけたと思う。実施上の課題も検討しつつ、今後子ども達が積極的に関わられる事業を検討したい。

【総括と今後の方向付け】
記念品は、この事業の趣旨等を記載したのし紙を貼って贈呈したことにより、育成部の思いを伝えることが出来た。

【総括と今後の方向付け】
東野地区周辺を自分の足であることで地域再発見ができると共に、ウォーキングを推進して健康作りのきっかけの一助となるよう実施した。上郷黒田の八幡宮を目指すコースと文化部主催の「東野文化の踏探訪会」と同時開催で文化の踏コースの、2コースを設けた。

【総括と今後の方向付け】
みんなで歩かまい実行委員会を組織し、まちづくり会議や公民館委員会と連携して運営することができた。住民主体による健康作りと地域再発見のきっかけ作りとして継続していきたい。

東野公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	明日の東野をつくる集い	他会計	継続	11	120	20	2,936	実施内容参照	東野公民館
その他	<p>東京大学・飯田市民館共同調査・学習で行った「地域社会への参加に関するアンケート調査」の結果をもとに地区内で学習会を開催したことを契機に組織され、「合言葉は”なるほど”」いつでもみんなが楽しい集い」という理念のもと月1回活動している。今年度も世代間交流の事業として地区内でフリーマーケットを開催した。また、今年度より動き出した東野地区基本構想・基本計画の推進部会とも連携して活動している。</p> <p>4月8日：大宮通りフリーマーケット 11月18日：フリーマーケットin大宮神社</p>			5	213	213	2,936	実施内容参照	東野公民館
区分	図書館お楽しみ会	市・地	継続	5	213	213	2,936	実施内容参照	東野公民館
その他	<p>図書館との共催事業として実施 5月12日：おはなし会 7月21日：七夕会 10月20日：秋のお楽しみ会 12月15日：クリスマス会 1月20日：かるた会</p>			5	213	213	2,936	実施内容参照	東野公民館
区分	飯田OIDE長姫高校地域人教育	他会計	継続	40	1,000	8	2,936	通年	東野地区内
その他	<p>地域住民や高校生を対象に、図書館の利用促進を図るとともに、参加者同士の交流の場とする</p> <p>地域住民や高校生を対象に、多様な人との交流を通して地域を知り愛着を深めることを目指す。</p>			40	1,000	8	2,936	通年	東野地区内
区分	春休み寺子屋「ひがしの」	地区費	継続	1	132	33	2,936	3月19日、20日、22日、23日	東野地区内
その他	<p>東野地区居住の小学校児童を対象に、異なる小学校に通う子ども達の交流と学習支援をし、地域を学ぶ事で誇りと愛着の醸成を図る</p>			1	132	33	2,936	3月19日、20日、22日、23日	東野地区内

東野公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	ふるさとコンサート(橋北・橋南・東野三館合同)	市・地	継続	1	180	180	8,697	7月15日	川本喜八郎人形美術館前広場
			実施内容	橋北・橋南・東野地区の公民館が共催で開催し、各公民館の文化委員を中心とした専門委員が協力し合い実施した。 演奏者:弦楽五重奏団「アンサンブル錦」					
合同事業	家庭教育講演会(羽場・丸山・東野)	市費	継続	1	100	100	11,212	11月22日	丸山小学校
			実施内容	羽場・丸山・東野公民館共催。 テーマ:「こどもってね...」 ～子ども達が「もう1回読んで!」という本、子ども達の大好きな一冊から分る。~ 講師:下沢 洋子 氏(ガンバの会主宰) 子ども達にとって大切な本を通して学びや想い、大人の関わり方等についてお話しいただいた。					
合同事業	橋北・橋南・東野地区成人式	他会計	継続	1	67	67	102	1月13日	飯田市公民館
			実施内容	成人該当者を中心に、公民館委員、職員から組織する実行委員会で計画し実施。 ・成人式実行委員会の開催 ・実行委員による地域学習の実施 (学習テーマを「りんご並木と丘の上のパン屋さん」とした) ・式典の実施 ・祝賀会の実施					
合同事業	三館合同文化講演会(橋北・橋南・東野)	地区費	継続	1	1	51	8,697	3月2日	東野公民館
			実施内容	東中学校区三館合同事業として実施予定。悲観的に捉えがちな「老い」について、見方を少し変えるだけで、楽しく素敵に年齢を重ねられるという内容を予定。また、講演会後、「残したいステキな写真撮影会」も予定している。 演題:「老いを笑いに変える ～豊かな人生を送るために～」 講師:瀧本慈宗 氏(天台宗大嶋山瑠璃寺住職)					
合同事業	地域住民を対象に、地域を知り愛着を深めることを目指す。								【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き実施。橋南夏祭りコラボしての開催により、多くのの方に身近な場所でも高レベルの演奏の音楽を気軽に楽しむ機会となった。川本喜八郎人形美術館前という屋根下の屋外という場所は、弦楽の演奏者にとってはあまりいい環境とは言えなかったが、演奏会を目的に来た人はもちろん、音楽が聞こえてきたことで会場に来た方もおり、多くの観客に音楽に親しんでもらえた点ではよかった。
合同事業	地域住民を対象に、地域を知り愛着を深めることを目指す。								【総括と今後の方向付け】 身の回りにあるものを違う視点で見ると、自分自身のありのままを受け入れられる事など、今後の生き方について一石を投じる貴重なお話を聞くことができ良かった。参加者が、この講演会が自分自身について振り返るきっかけとなると良かった。当日は、3館の住民を中心に大勢の参加者があった。今後も、3館で文化講演会で行う意味を確認しながら、参加したいと思える題材選びを心がけていきたい。

東野公民館の事業報告

No.8

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
合同事業	丸山小学校放課後子ども教室(青空スクール)	他会計	継続	40	2,720	68	533	4月～3月	丸山小学校
	放課後の児童の居場所づくりとして地域ボランティアスタッフが指導と見守りを行う。 活動日:毎週水曜日 学期に1回の土曜日または日曜日に参観日。 体育館・プレールーム・グラウンド・図工室に分かれて活動。 各地区の文化祭での作品の展示。 学期ごとに運営委員会・スタッフ会を開催。 丸山小学校区の羽場・丸山・東野地区の合同事業。								
合同事業	夏休み子ども寺子屋	市・地	継続	3	271	89	533	8月1日～3日	羽場公民館他
	丸山小学校児童を対象に、夏休みの規則正しい生活の支援と地域を学ぶ活動を通して誇りと愛着の醸成を図る								
合同事業	丸山小学校区の羽場・丸山・東野公民館の合同事業。子ども達の規則正しい生活習慣と地域の方々や異年齢の児童で協力して行う体験を重視し、3日間通じた活動で顔の見える関係作りを目指した。 (実施内容) 午前中:宿題、囲碁ボール体験 午後:座禅体験(1日)、水引工作(2日)、飯盒・カレー作り、人形劇鑑賞(3日)								
合同事業	丸山小学校放課後子ども教室のスタッフの皆さんを中心に地域の方々に協力していただき、計画実施してきた。3地区で関わるので3地区それぞれの特徴を活かし、地域を感じられる内容を意識した。当初の見込み以上に参加者が集まり、また異例の猛暑の為、一部内容を変更したり、臨時打合せを行ったりしてきた。保護者や参加する子ども達からも好評であるので、子ども達に体験から学んでほしいことを話し合いながら次年度も3地区で行っていききたい。								

座光寺公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	びよびよ学級	市・地	継続	14	267	38	42	実施内容参照	座光寺公民館
	実施内容	<p>・保健師・保育士が中心となり、幼児の健康や発育指導、母親の子育てに関する相談を、保健面、保育面より実施。 ・開催日 5/18、6/1、6/15、7/6、8/31、9/21、10/5、10/19、11/16、12/7、12/21、2/1、2/22、3/1</p>							
学級・講座	2歳児学級	市・地	継続	9	71	11	37	実施内容参照	座光寺公民館
学級・講座	2歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するための学習」「子育てを支援する親を支援する」「仲間づくり」の場づくり。	<p>・保健師・保育士が中心となり、幼児の健康や発育指導、母親の子育てに関する相談を、保健面、保育面より実施。 ・開催日 5/22、6/26、7/24、9/25、10/23、11/15、12/11、2/19、3/5</p>							
学級・講座	アンパンマンの会	市・地	継続	10	67	9	44	実施内容参照	座光寺保育園
学級・講座	3歳児とその親を対象に「子供の成長発達について理解するための学習」「子育てを支援する親を支援する」「仲間づくり」の場づくり。	<p>・地元保育園長・保育士・保健師が中心となり、幼児の健康や発育指導、母親の子育てに関する相談を、保健面、保育面より実施。 ・開催日 5/22、6/12、7/13、8/4、9/29、10/4、11/6、11/15、12/11、1/16</p>							
学級・講座	麻績いきいき大学	市・地	継続	2	80	50	4,488	実施内容参照	実施内容参照
学級・講座	高齢者の生涯学習推進を目的に「ともに学び、ともに成長する」場とする。	<p>・陶芸部、合唱部、ハーモニカ部、水墨画部、詩吟部、キーボードアンサンブルに入学し、各部署で自主的な運営企画を随時行う。全体活動として一般教養講座を開催。 第1回 7/12 「元善光寺を訪ねる」会場：元善光寺 第2回 3/25 「エス・バードを訪ねる」会場：エス・バード</p>							
学級・講座	子育て応援講座	市・地	継続	2	100	58	123	実施内容参照	座光寺公民館
学級・講座	子育て世代の保護者を対象に学習会を開催し、子育ての悩みを解消するだけでなく子育て支援グループの発足を図る	<p>現在母親が抱えている悩みや課題を解決するための講座を2回開催した。0歳～3歳の子を持つ母親全員を対象に乳幼児学級等で周知を図り実施。 第1弾 9/11 秋の行事食「お月見だんご」をつくろう 講師：飯田市食生活改善推進協議会 会場：座光寺公民館 参加者：20組 第2弾 1/29 親子で作品づくりしよう 会場：座光寺公民館 参加者：31組</p>							

座光寺公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	座光寺小学校科学実験教室	地区費	継続	1	123	123	123	11月30日	座光寺小学校
	目的	<p>小学校6年生を対象に「モデルロケット制作と打上げ」、3年生を対象に「超低温の不思議な世界」、2年生を対象に「空気の実験」を行った。それぞれの実験に公民館健全育成部の部員がスタッフとして補助に入り、教室を行った。</p> <p>主催：座光寺小学校 共催：座光寺公民館 講師：おもしろ科学工房</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いい大人形劇フェスタ座光寺保育園公演	市・地	継続	1	155	155	112	8月7日	座光寺保育園
	目的	<p>保育園、保護者会、公民館が連携して開催。 「けきたんはてな」さんによる公演と園児との給食交流会、スタッフとの茶話会交流会を行い、劇人との交流を図ることができた。</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	座光寺人形劇まつり	市・地	継続	1	398	398	4,488	8月11日	座光寺公民館
	目的	<p>今年もローテーションを組み4劇団のリレー公演を実施することができた。また、全劇団の人形劇を見て欲しい、この会場で1日楽しんで欲しいという思いから、各劇団の公演後に「海老ケケケヨーン」や「ふれあいコーナー」を実施した。そのほか、誰でも利用可能な交流スペースを設け、ホットドッグや果物等を無料提供し公民館前の屋台設置などを行った。</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	座光寺地域文化祭	市・地	継続	1	800	800	4,488	2月2日、2月3日	座光寺公民館及び周辺施設
	目的	<p>地域の皆でつくる地域最大の文化の祭典として位置づけ多彩な催しを計画。今年度は「無限の可能性～みんなで創る新時代～」とテーマを設けた。 【麻績の里 音楽の集い】高陵中、女子高吹奏楽部・邦楽部、消防音楽隊 【風越高校書道部ハフォーマンス】 【飯田OIDE長婚高校テックレジャーショー】 【各種団体展示】個人団体各種ブースを設置 【芸能発表】コーラス、ダンス、大正琴、バンド等10団体が発表 【竹田人形館活用事業】小学校4年生と竹田人形座竹の子会公演、座光寺地域写真展 【各種イベント】地域づくりフォーラム、麻績の里種まき大賞授賞式、健康体験コーナー、もちつき体験、野点体験、そば打ち体験、住民交流会（ほか）</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	麻績の里地域づくり種まき大賞	地区費	継続	1	65	65	4,488	2月2日	座光寺公民館
	目的	<p>地域の中で温かな心の種を蒔いた個人や団体、地域の里に蒔かれた地域づくりの種を大きく育てていくことを主旨に、家庭（家族のふれあいへの提言・行為）・環境（環境美化・環境浄化への提案・行為）・地域（地域向上への提案・行為）の部門ごとに文化祭において表彰する。 受賞者：座光寺夜間ソフトボール連盟、女子バレーボールリーグ 2団体</p>							

座光寺公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	座光寺地域成人式	市・地	継続	1	46	46	60	1月13日	座光寺公民館
			実施内容	<p>地域の新成人を地域で祝いたいという声から、座光寺地域単独開催となつて4回目。今年度も座光寺の歌育唱、保護者からの一言、地域学習報告、地域からのプレゼントとしての参加者全員によるもちつきなど、地域らしさを出すことができた。また、今年度も式典の司会進行を新成人実行委員の4人が担い、より新成人が自ら創る成人式にすることができた。</p>					
文化事業	大人の体験教室	市・地	継続	2	53	53	4,488	実施内容参照	座光寺公民館
			実施内容	<p>大人が体験を通して、住民同士の交流が深まることをねがい開催。今年「そば打ち体験&そば粉クッキング」と「大人のテイステイング」の2回開催した。</p> <p>第1弾 9/15 そば打ち体験&そば粉クッキング 講師：パノラマファーム、座 女子力 会場：座光寺公民館 参加者：15名</p> <p>第2弾 3/2 大人のテイステイング 講師：浜島晃さん 会場：座光寺公民館 参加者：38名</p>					
体育事業	春季スポーツ大会	地区費	継続	1	500	500	4,488	6月3日	座光寺小学校他
			実施内容	<p>ソフトボール、ワンバウンドふらば〜るバレ、ペタングの3種目を地区対抗で行った。各競技を通じて、日頃の運動不足を解消し基礎体力の増加及び地区内の交流を図る。また幅広い年代で行えるニュースポーツの振興を図る。</p> <p>場所：座光寺小学校体育館、校庭、座光寺保育園園庭</p> <p>・ソフトボール 優勝：恒川清水、3位：高岡、宮崎</p> <p>・ふらば〜るバレ 優勝：恒川清水、準優勝：中・中・欠、3位：上野</p> <p>・ペタング 優勝：北市場、準優勝：恒川清水、3位：唐沢、下羽場</p>					
体育事業	高陵地区区体力測定会	地区費	継続	1	54	54	4,488	6月17日	小学校体育館
			実施内容	<p>高陵地区スポーツ推進委員主催、上郷・座光寺公民館と高陵わくわくが共催で行った。自身の体力測定や、保健課による健康企画などを通じて健康推進を図る。</p> <p><内容></p> <p>・文部科学省「新体力テスト実施要領」に基づいたメニューによる体力測定及び判定。</p> <p>・「ストレッチャ」スポーツ推進委員</p>					
体育事業	座光寺地域市民運動会	地区費	継続	1	1,700	1,700	4,488	10月7日	小学校校庭
			実施内容	<p>「地域の親睦を深め活力を高める」をスローガンに地区対抗で実施。各地区の取りまとめについては公民館委員ではない地区長及び地区体育係に依頼。全体の取りまとめは実行委員会体制を組織し運営する。</p>					
体育事業	大人の体験教室	市・地	継続	2	53	53	4,488	実施内容参照	座光寺公民館
			実施内容	<p>大人が体験を通して、住民同士の交流が深まることをねがい開催。今年「そば打ち体験&そば粉クッキング」と「大人のテイステイング」の2回開催した。</p> <p>第1弾 9/15 そば打ち体験&そば粉クッキング 講師：パノラマファーム、座 女子力 会場：座光寺公民館 参加者：15名</p> <p>第2弾 3/2 大人のテイステイング 講師：浜島晃さん 会場：座光寺公民館 参加者：38名</p>					
体育事業	春季スポーツ大会	地区費	継続	1	500	500	4,488	6月3日	座光寺小学校他
			実施内容	<p>ソフトボール、ワンバウンドふらば〜るバレ、ペタングの3種目を地区対抗で行った。各競技を通じて、日頃の運動不足を解消し基礎体力の増加及び地区内の交流を図る。また幅広い年代で行えるニュースポーツの振興を図る。</p> <p>場所：座光寺小学校体育館、校庭、座光寺保育園園庭</p> <p>・ソフトボール 優勝：恒川清水、3位：高岡、宮崎</p> <p>・ふらば〜るバレ 優勝：恒川清水、準優勝：中・中・欠、3位：上野</p> <p>・ペタング 優勝：北市場、準優勝：恒川清水、3位：唐沢、下羽場</p>					
体育事業	高陵地区区体力測定会	地区費	継続	1	54	54	4,488	6月17日	小学校体育館
			実施内容	<p>高陵地区スポーツ推進委員主催、上郷・座光寺公民館と高陵わくわくが共催で行った。自身の体力測定や、保健課による健康企画などを通じて健康推進を図る。</p> <p><内容></p> <p>・文部科学省「新体力テスト実施要領」に基づいたメニューによる体力測定及び判定。</p> <p>・「ストレッチャ」スポーツ推進委員</p>					
体育事業	座光寺地域市民運動会	地区費	継続	1	1,700	1,700	4,488	10月7日	小学校校庭
			実施内容	<p>「地域の親睦を深め活力を高める」をスローガンに地区対抗で実施。各地区の取りまとめについては公民館委員ではない地区長及び地区体育係に依頼。全体の取りまとめは実行委員会体制を組織し運営する。</p>					
文化事業	座光寺地域成人式	市・地	継続	1	46	46	60	1月13日	座光寺公民館
			実施内容	<p>地域の新成人を地域で祝いたいという声から、座光寺地域単独開催となつて4回目。今年度も座光寺の歌育唱、保護者からの一言、地域学習報告、地域からのプレゼントとしての参加者全員によるもちつきなど、地域らしさを出すことができた。また、今年度も式典の司会進行を新成人実行委員の4人が担い、より新成人が自ら創る成人式にすることができた。</p>					
文化事業	大人の体験教室	市・地	継続	2	53	53	4,488	実施内容参照	座光寺公民館
			実施内容	<p>大人が体験を通して、住民同士の交流が深まることをねがい開催。今年「そば打ち体験&そば粉クッキング」と「大人のテイステイング」の2回開催した。</p> <p>第1弾 9/15 そば打ち体験&そば粉クッキング 講師：パノラマファーム、座 女子力 会場：座光寺公民館 参加者：15名</p> <p>第2弾 3/2 大人のテイステイング 講師：浜島晃さん 会場：座光寺公民館 参加者：38名</p>					
体育事業	春季スポーツ大会	地区費	継続	1	500	500	4,488	6月3日	座光寺小学校他
			実施内容	<p>ソフトボール、ワンバウンドふらば〜るバレ、ペタングの3種目を地区対抗で行った。各競技を通じて、日頃の運動不足を解消し基礎体力の増加及び地区内の交流を図る。また幅広い年代で行えるニュースポーツの振興を図る。</p> <p>場所：座光寺小学校体育館、校庭、座光寺保育園園庭</p> <p>・ソフトボール 優勝：恒川清水、3位：高岡、宮崎</p> <p>・ふらば〜るバレ 優勝：恒川清水、準優勝：中・中・欠、3位：上野</p> <p>・ペタング 優勝：北市場、準優勝：恒川清水、3位：唐沢、下羽場</p>					
体育事業	高陵地区区体力測定会	地区費	継続	1	54	54	4,488	6月17日	小学校体育館
			実施内容	<p>高陵地区スポーツ推進委員主催、上郷・座光寺公民館と高陵わくわくが共催で行った。自身の体力測定や、保健課による健康企画などを通じて健康推進を図る。</p> <p><内容></p> <p>・文部科学省「新体力テスト実施要領」に基づいたメニューによる体力測定及び判定。</p> <p>・「ストレッチャ」スポーツ推進委員</p>					
体育事業	座光寺地域市民運動会	地区費	継続	1	1,700	1,700	4,488	10月7日	小学校校庭
			実施内容	<p>「地域の親睦を深め活力を高める」をスローガンに地区対抗で実施。各地区の取りまとめについては公民館委員ではない地区長及び地区体育係に依頼。全体の取りまとめは実行委員会体制を組織し運営する。</p>					

座光寺公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	地区交流月間	地区費	継続	1	500	500	4,488	実施内容参照	各地区
	実施内容	<p>「高齢者から子どもまで地区内大勢の皆さんで楽しく交流」をテーマに、スポーツに促われず地区住民が交流を図れる場として、各地区に実施を依頼。期間は7月～11月に各地区で開催日を決め企画運営を行う。</p>							
体育事業	冬季スポーツ大会	地区費	継続	1	300	300	4,488	3月3日	小学校体育館
	実施内容	<p>ソフトバレーボール、囲碁ボール、スローインボットの3種目を地区対抗で行った。幅広い年齢の方が楽しめる。地区内の交流を図るとともに、地区内の交流を深める。 ・ソフトバレーボール 優勝：共和、準優勝：上野、3位：中・中・欠 ・囲碁ボール 優勝：高岡、準優勝：宮の前、3位：中・中・欠、市場通り ・スローインボット 優勝：北市場、準優勝：恒川・清水、3位：市場通り</p>							
広報事業	広報座光寺	地区費	継続	14	136	14	4,488	実施内容参照	地区内
	実施内容	<p>公民館事業に限らず自治会や地域全体の事業や取り組みの紹介、座光寺に残っている遺跡や資源の説明を主に掲載。全戸配付 1700部発行 ◇年4発行(6月、9月、12月、3月)</p>							
広報事業	広報座光寺お知らせ版	地区費	継続	12	126	14	4,488	実施内容参照	地区内
	実施内容	<p>毎月月末に座光寺全体の次月の予定と、年4回発行の広報座光寺では記事に載らないものを紹介。全戸配付 1700部発行</p>							
広報事業	座光寺の次月の予定をお知らせ版として集約し配布すること、情報の一冊化だけでなく資源削減を図る。	地区費	継続	4	127	50	480	実施内容参照	実施内容参照
	実施内容	<p>座光寺の宝「舞台桜」や自然・史跡・施設について学習し観光客にガイドを行う。地域学習だけでなく、コミュニケーションの向上や地域貢献に対する意識化につなげる。また、小学校だけでなく中学生にも参加してもらうことで、参加者内で先生・生徒の関係を築きお互いの学習意欲を高める事業とする。 学習会 3/24、3/31 会場：公民館 内容：「舞台桜及び座光寺の自然・史跡・施設」について 講師：小林正明 手作り案内看板作製 3/31 会場：座光寺公民館 ガイド期間 4/7、4/8 会場：舞台桜前</p>							
育成事業	座光寺が誇る「舞台桜」「舞台校舎」の学習を子ども達が思い、桜の観光者にガイドすること、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。	地区費	継続	4	127	50	480	実施内容参照	実施内容参照
	実施内容	<p>座光寺の宝「舞台桜」や自然・史跡・施設について学習し観光客にガイドを行う。地域学習だけでなく、コミュニケーションの向上や地域貢献に対する意識化につなげる。また、小学校だけでなく中学生にも参加してもらうことで、参加者内で先生・生徒の関係を築きお互いの学習意欲を高める事業とする。 学習会 3/24、3/31 会場：公民館 内容：「舞台桜及び座光寺の自然・史跡・施設」について 講師：小林正明 手作り案内看板作製 3/31 会場：座光寺公民館 ガイド期間 4/7、4/8 会場：舞台桜前</p>							

座光寺公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 お茶摘み体験学習	市費	継続	1	79	79	4,488	5月6日	実施内容参照
	目的	<p>地域の農産物の1つであるお茶の摘み方と加工方法を学びお茶摘み作業を継承するとともに、農業の素晴らしさを知り農業への関心を持たせる。</p> <p>麻績の館周辺の茶葉を材料にしてのお茶づくり体験を、昨年度に引き続き、麻績の里体験学校として地区内全体を対象にして開催した。お茶を摘みホットプレートで焙り、お茶を飲んだ。 講師：増澤武雄(NPO法人日本茶の会副理事長) 会場：麻績の館及び周辺 参加者：子ども45名、大人24名</p>							
育成事業	麻績の里体験学校 ホタルを見る会	市・地	継続	1	56	56	4,488	6月16日	開催会場 中河原会所及び周辺
	目的	<p>子どもたちを対象に、地域の観察会を行い、地域の様々な人たちの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。</p> <p>座光寺のほたる分布状況、環境による繁殖状況の違いやほたるの生態を学習した。共催団体の水辺の広場委員会のホタル保護や地域の資源を活用した活動についても学習し、終了後に現地でもホタル観察を行った。 学習会 講師：小林正明、水辺の広場委員会 会場：中河原会所 ホタル観察 会場：白山下 参加者：子ども34名、大人22名</p>							
育成事業	麻績の里体験学校 水辺の広場で遊ぼう	地区費	継続	1	110	110	480	7月15日	開催会場 水辺の広場
	目的	<p>子どもたちを対象に開催し、親子のふれあいや地域内外の様々な人たちとの交流、愛着や生きる力を育む。</p> <p>水辺の広場委員会と共催で実施。午前中は水生生物学習会、飯盒体験、午後は魚掴み体験、流しうめん、川遊びを行った。また、小さな子供たちには小プーライスを用意し金魚のつかみどりをを行った。昼食に飯盒で炊いた米を力水生物学習会 講師：大原 均 先生 参加：子ども69名 大人41名</p>							
育成事業	麻績の里体験学校 星空観察会	市・地	継続	1	53	53	4,488	実施内容参照	開催会場 座光寺小学校体育館・校庭
	目的	<p>星空観察を通じて、科学に親しむ心や自然環境の素晴らしさを実感してもらう機会を提供。 1回目：9月1日 美術博物館でプラネタリウム鑑賞 子ども8名、大人4名 2回目：2月23日 第1部 美術博物館でプラネタリウム鑑賞 子ども11名、大人11名 第2部 冬の星空観察 子ども11名、大人8名</p>							
育成事業	麻績の里体験学校 子ども科学教室	市・地	継続	1	23	23	480	11月17日	開催会場 座光寺公民館
	目的	<p>子どもたちを対象に科学教室を行い、科学を身近に感じてもらうだけでなく、地域の様々な人たちとの交流を通じて、ふるさとへの愛着や生きる力を育む。</p> <p>牛乳パックを再利用することにより、森林資源の大切さやゴミの減量への理解を深める。また、箱カメラを作り、カメラの仕組みや写真の撮り方を学ぶ。「子ども科学教室～牛乳パックで箱カメラをつくり写真を撮ろう～」 指導者：湯澤真理子 先生 参加：子ども15名 大人8名</p>							

座光寺公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	麻績の里体験学校 まとめの会	地区費	継続	1	11	11	480	1月21日	座光寺公民館
	体験学校参加者を対象に一年間の体験の振り返りと感想をまとめ、次年度への展開につなげる。	体験学校参加者に集まってもらい、写真のスライドショーを見ながら一年間の活動を振り返り、反省や感想を出し合ってもらい、次年度への事業展開につなげていく。その後豚汁とおにぎりを併せて行った。 参加：子ども8名 大人3名	【総括と今後の方向付け】 体験学校の振り返りをスライドショーで行うだけでなく、体験時の写真を模造紙に張り感想発表を行った。併せて豚汁とおにぎりを作り、昼食会を行った。	評価					
育成事業	麻績の里体験学校 ふるさと探検	市・地	継続	1	51	51	480	11月4日	座光寺公民館
	子どもを対象に座光寺の歴史や文化や自然を学習し地域の愛着心を育む	地域の歴史・文化・自然を学ぶ機会の提供として開催。今年度は「舞台校舎のお話と火おこし体験」というテーマで実施した。麻績舞台校舎について学習し、昔の生活を体験し現在の生活を大切にしようという目的に、火おこし体験を行った。おこした火で焼き芋をし、焼き芋をみんなで食べた。 参加：子ども27名 大人15名	【総括と今後の方向付け】 座光寺の歴史や文化や自然を学習し地域の愛着心を育む。また、火おこし体験を行った。おこした火で焼き芋をし、焼き芋をみんなで食べた。	評価					
その他	座光寺の名物をつくろうコンテスト	地区費	継続	1	46	46	4,488	実施内容参照	座光寺公民館
	地区住民を対象に、地域の魅力の掘り起こしと、これからの地域のあり方について考え合う。	【食】を通じて、座光寺の魅力の再発見と地域の今後の可能性について考え話し合う場とする。実行委員会の体制で企画・運営を行う。 10/13 「座光寺の名物をつくろう！コンテスト」参加者：46名 【料理の部】大賞：かぼちゃの白玉クリームソース、準大賞：そばクリームコロッケ 【スイーツの部】大賞：座光寺の月灯り、りんごとスイートポテトパイ	【総括と今後の方向付け】 座光寺の名物のメニューを地域に募集し、応募された8品の中でコンテストを実施。当日は実際に応募者に試食を提供してもらい、作品への想いについて発表。試食後はグループごと、感想や今後の可能性について意見交換を行った。参加者が意見交換の中で、地域に目を向けて、これから「何が何ができるか」「自分もこんなことができるかも」と考える機会にできた。	評価					
その他	座光寺地域づくりフォーラム	地区費	継続	1	60	60	4,488	実施内容参照	座光寺公民館
	地区住民を対象に、地域の現状と課題を出し合い、より良くするにはどのようにすべきか意見交換する。	地域課題に対して地域全体で取組めるよう「知る」「考える」「実行する」に関する「座光寺の魅力を～」という主旨のもと、天ぶら万十や桃の講師も務めることになり、そば粉をつかった料理3品の提案を行った。引き続き積極的な活動展開を期待したい。	【総括と今後の方向付け】 「地域人教育」で座光寺をフィールドに地域学習を行ってきた高校生が、1年間の活動をまとめ報告会を実施。高校生の視点からみられてきた座光寺、取り組んできたことを、地域住民に報告をした。地域住民は報告を聞き、これからの座光寺のあり方について皆で考え、自分には何が何ができるかを考えるきっかけとなった。	評価					
その他	公民館女性委員の会	地区費	継続	9	98	27	27	実施内容参照	座光寺公民館
	女性の柔らかな視点で地域を見つめて、想いや願いを語り合うことで、共通の意識や新たな認識を共有し合いたい。	公民館に所属する女性委員が集まり、女性ならではの柔らかな目線で地域を知り、これからの地域の在り方を考える場として開催。 4/7、4/8 「天ぶら万十」販売 6/15 第1回女性委員の会 7/2 「桃のスムージー」販売 8/31 第2回女性委員の会 9/15 「そば粉クッキング」講師 10/13 「座光寺の名物をつくろうコンテスト」出品 2/2、2/3 「天ぶら万十」販売 3/8 第3回女性委員の会	【総括と今後の方向付け】 女性の目線で、住みよい座光寺の実現を目指して活躍し実践し活動することを目的に取り組みを行った。「座光寺の名物を作ろう」という主旨のもと、天ぶら万十や桃のスムージーを各種イベントで提供し、大成功に終わった。今年度は、料理教室の講師も務めることになり、そば粉をつかった料理3品の提案を行った。引き続き積極的な活動展開を期待したい。	評価					

座光寺公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	座光寺の子どもの健全育成に語る会推進委員会	地区費	継続	3	60	22	21		座光寺公民館
	座光寺の子どもの健全育成について小学校・PTA・地域の三者が連携し、現状の把握と課題に対する取り組み及び報告を行う。							【総括と今後の方向付け】 役職が集まっているためメンバーが毎年一新されてしまうため、委員会の主旨が理解されていないこともあり、各団体からの活動報告をする場と捉えているメンバーも少なくない。来年度も小学校、自治会と協議し、運営方法等検討する必要がある。	
その他	座光寺の子どもの健全育成に語る会	地区費	継続	1	50	50	4,488	10月26日	座光寺小学校
	座光寺の子どもの健全育成について小学校・PTA・地域の三者が集まり、事例発表と意見交換を行う。							【総括と今後の方向付け】 現在の子どもたちの生活や取り巻く環境においては、外で気軽に遊ぶ姿がなかなか見られないうつなぎといった意見が多くあがっていた。子どもたちのつなぎについて、大人同士のつなぎから生まれていることとあがられ、改めて、多くの大人が座光寺の子どもについて考えるいい機会となった。	

松尾公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0歳児学級	市・地	5	91組	34組	65組	10月12日～3月11日	松尾公民館他
	実施内容	開催期間：毎月1回実施(10月以降の開催) 内容：親子でのふれあい遊び、成長の記録～手型・足型～、歯、食事に関する話など 場所：松尾公民館他 運営：保健師、担当保育士主導						
学級・講座	1歳児学級	市・地	18	283組	62組	120組	5月10日～3月14日	松尾公民館他
	実施内容	開催期間：1歳児を2学級に分け、各学級毎月1回実施 内容：親子でのふれあい遊び、成長の記録～手型・足型～、歯、食事に関する話など 場所：松尾公民館他 運営：保健師、担当保育士主導						
学級・講座	2歳児学級	市・地	18	191組	49組	139組	5月15日～3月12日	松尾公民館他
	実施内容	開催期間：2歳児を2学級に分け、各学級毎月1回実施 内容：公園へお出かけ、いちご狩り、おもちゃ作りなど 場所：松尾公民館他 運営：保健師、担当保育士主導						
学級・講座	3歳児学級	市・地	9	71組	19組	105組	5月9日～3月6日	松尾公民館他
	実施内容	開催期間：毎月1回実施 内容：公園へお出かけ、運動会、消防署見学、おもちゃ作りなど 場所：松尾公民館他 運営：保健師、担当保育士主導						
学級・講座	親子パン作り教室	市・地	1	9組	9組	19組	12月5日	松尾公民館
	実施内容	内容：パン作り 講師：三浦宏子氏(八幡町在住)						
学級・講座	幼児とその親を対象に、料理の楽しさを知るとともに食事への関心向上を図る	市・地	5	200	40	13,026	6月15日、6月23日、7月1日、7月8日、11月17日	松尾公民館他
	実施内容	内容：文化講演会(代田・6/15) 講師：佐々木ハスゲレル氏 フラワーアレンジ講座(寺所・6/23) 講師：小畑孝子氏 認知症を知り、地域で支える(毛賀・7/1) 講師：かわじ地域包括支援センター おもしろ科学教室(上溝・7/8) 講師：塩澤一友氏 こども科学教室(新井・11/17) 講師：松原倫子氏						
学級・講座	地域いきいきセミナー	市・地	5	200	40	13,026	6月15日、6月23日、7月1日、7月8日、11月17日	松尾公民館他
	実施内容	内容：文化講演会(代田・6/15) 講師：佐々木ハスゲレル氏 フラワーアレンジ講座(寺所・6/23) 講師：小畑孝子氏 認知症を知り、地域で支える(毛賀・7/1) 講師：かわじ地域包括支援センター おもしろ科学教室(上溝・7/8) 講師：塩澤一友氏 こども科学教室(新井・11/17) 講師：松原倫子氏						

松尾公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	遊休農地活用「味噌作り講座」	市・地	継続	13	195	21	13,026	5月24日～2月16日	松尾明の遊休農地他
	実施内容	<p>内容：土起こしから大豆の栽培、手作り味噌の仕込み等を行う 場所：H30より借用した遊休農地(松尾明)、松尾公民館 運営：スタッフ体制</p> <p>【総括と今後の方向付け】 以前まで行っていた「まけなな農園」は、参加者数の減少や当初の目的が達成されたこともあり、事業の終了を迎えた。そこで、3年前から「味噌作り講座」を開講し、スタッフを公募し、公民館の講座として行った。今年度は収穫など多くの内容に關わっていただき、新たな方も参加いただくとできた。関係者と協議して、来年度のように進めていくか検討していきたい。</p>							
学級・講座	男踊り教室	市・地	継続	24	176	11	13,026	4月12日～3月28日	松尾公民館他
	実施内容	<p>内容：男踊り(佐渡おけさ、武田節) 踊ってみよう会、文化祭芸能発表会に出演 講師：池田悠貴鳳 氏</p> <p>【総括と今後の方向付け】 新たな参加者も加入し、年間を通じて踊りの技術を高めるとともに参加者の交流を深めることができた。文化祭や踊ってみよう会の参加により、地区内への周知が図られ参加者が増加するよう考えていきたい。来年度も初心者が踊りを始めるきっかけとして教室を開催していきたい。</p>							
学級・講座	松尾サイエンススクール	市・地	継続	15	948	130	13,026	4月16日～3月22日	松尾三ニ体育館他
	実施内容	<p>内容：サイエンスショー(風船・空気のサイエンスショー、静電気で遊ぼう) 製作(浮沈子、貯金箱、わっかとりパン、風船クラゲ、エレキテル、風船ロケット、マンボウ風船、リニアの実験、バルーンスライム、モデルロケットほか) 運営：松尾サイエンス スタッフ(22名) 場所：松尾公民館敷地内三ニ体育館他 協力：おもしろ科学工房(生涯学習・スポーツ課)、育成会</p> <p>【総括と今後の方向付け】 今年度も前館への出張スクールも行われ、活動が地区内全域に広がっている。スタッフも前向きに取り組む一方、積極的若手の方をスタッフに勧誘し、継続的な活動を可能にしている。また、松尾サイエンスにとどまらず、地域活動の担い手育成にもつながっている。来年度についてもスタッフ主体で計画し、公民館がサポートするよう体制で活動していきたい。</p>							
学級・講座	多文化交流会	市・地	継続	1	90	90	13,026	2月10日	常盤台集会所
	実施内容	<p>内容： ①アトラクション(常盤太鼓「心SHIN」による和太鼓演奏、テックレンジャーショー) ②食文化による交流 ③日中それぞれの踊りの披露、懇談会 運営：主催 松尾公民館及び常盤台分館 協力 飯田国際交流推進協会</p> <p>【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き開催した。今年度は、食文化による交流のほか、アトラクションとして常盤太鼓「心SHIN」の披露やテックレンジャーショーの披露を行った。日本と外国籍の区別をせずに料理を作るところから協力して取り組んだ。密度の高い交流会となっており、一方で、今回で10回目となるが、形が変わらず同じことの繰り返しで新しい発展がないのが現状であり、地区役員も関わることへの意識が低下している。どのようにしていけばいいか来年度、常盤台区と協議しながら、内容を検討し、公民館としても多くの部分で関わってきたい。</p>							
学級・講座	ラフティング体験教室	地区費	継続	1	16	16	13,026	7月14日	天竜川
	実施内容	<p>内容：ラフティング体験 講師：アルブスぼうけん倶楽部</p> <p>【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き今年度も実施した。当日は天候に恵まれたが、前日までの台風の影響もあり内容によっては実施できない部分もあった。講師の指導に従いながら、全員が無事にラフティングを楽しむことができた。普段とは違う地域の魅力を感じられ、身近にある天竜川を体感できる貴重な機会であるので次年度以降は、より一層の参加者の拡大を図りたい。</p>							

松尾公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	探勝会	地区費	継続	1	26	26	13,026	11月2日	京都
	実施内容 住民を対象に芸術・文化・歴史に触れ、文化意識の向上を図る	【総括と今後の方向付け】 地区の方の意向を聞きながら、内容を検討した。この事業の実施によって、地域住民の文化度の向上につながり、文化祭などの出展にもつながっている。今年度は参加者が少なかったが、内容を引き続き協議しながら、地域住民に芸術に触れる機会を提供していきたい。							
学級・講座	水引教室	市・地	継続	1	134	134	134	2月14日	松尾公民館
	実施内容 松尾小学校4年生を対象に郷土の伝統芸能の学習、体験を通じて、郷土産業への関心向上を図る	【総括と今後の方向付け】 今年度も小学校の地元産業を学ぶ授業のきっかけとして開催した。小学生、担任の先生からは非常に好評であり、地元産業を知ってもらえかけにもなっており、来年以降も引き続き開催していきたい。							
文化事業	親子映画鑑賞会	地区費	継続	1	208	208	13,026	6月30日	松尾公民館
	実施内容 親子を対象に、コミュニケーションの機会増加を図る	作品：カンフーパーパンダ3 内容：感動アニメ映画 運営：文化委員会 数量的成果：大要満足：74%、満足：14%、普通：11%、やや物足りない：1%、(項目名と数値)物足りない0% 【総括と今後の方向付け】 今年度も文化委員と内容をしっかり検討し、選定した。当日は、多くの親子連れが来場し、初夏の文化事業として定着してきた。来年度も内容を吟味して実施していきたい。							
文化事業	松尾地区文化祭	市・地	継続	1	1,300	1,300	13,026	2月2日～2月3日	松尾公民館
	実施内容 住民を対象に、芸能発表や文化展を通じて、住民相互の交流を図る	【総括と今後の方向付け】 今年度はミニ電車、高所作業車の展示、地域人教育活動展示、ポン菓子提供、バルーンアート提供を行った。また、芸能発表会を2日間の開催として、多くの芸能団体に余裕をもって発表できる機会を提供した。下伊那農業高校吹奏楽部にも出演いただき来場された方からは大変好評であった。来年度もこの形態で実施していききたい。OIDE長姫高校のテックレンジャーにも多くの来場者があり、子どもから高齢者まで多くの年代が集える文化祭を実施した。松尾小児童の作品展に加え、緑ヶ丘中生徒の作品展も実施し、若い世代の文化祭への参加を促進することができた。参加者の声も参考に、より地域が一体となる文化祭となるよう考えていきたい。							
文化事業	第16回松尾踊ってみよう会	地区費	継続	1	80	80	13,026	12月2日	松尾公民館
	実施内容 住民を対象に、相互の踊りを見ることにによる一層の技術向上を図る	【総括と今後の方向付け】 参加団体の当番制でプログラム編成等を行っている。当日は文化委員会の協力を得て開催している。今年度も、飯田女子短期大学よこい部にも参加いただいた。参加者からは好評であるが、参加される団体・個人が減少している現状にある。今一度関わりを検討する中で、多くの方が参加できるように検討していきたい。							

松尾公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2018	他会計	継続	7	1,097	240	13,026	8月3日～8月8日	松尾公民館他
	実施内容 住民を対象に、人形劇を通じて芸術の意識向上を図る	<p>会場：松尾公民館、新井コミュニティ消防センター、清水コミュニティ消防センター、毛賀区民会館、上溝集会所、慈光松尾保育園、松尾東保育園 運営：文化委員会、新井分館、清水分館、毛賀分館、上溝分館、慈光松尾保育園職員・保護者、松尾東保育園職員・保護者 上演劇団：Bタイプ5劇団、Cタイプ5劇団</p>							
文化事業	松尾地区落語会	地区費	新規	1	100	100	13,026	8月18日	松尾公民館
文化事業	実施内容 住民を対象に落語を身近に聞き、文化意識の向上を図る	<p>内容： ①開口一番 立川只四楼さん ②落語 立川談四楼師匠 ③仲入り (トイレ休憩) ④落語 立川談四楼師匠 運営：文化委員会</p>							
	目的 住民を対象に、松尾の魅力や地区内外に広めるとともに、文化意識の向上を図る	<p>【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き実施した。花と題して松尾地区の写真を募集し、多くの方に興味を持っていただけた。松尾の魅力や地区内外に発信できたと考えている。一方で、提出される作品が少なかつたこともあり、来年度実施するかどうかを文化委員会で検討し、見直しを行いたい。</p>							
文化事業	松尾地区成人式	市・地	継続	1	110	110	189	1月13日	松尾公民館他
文化事業	実施内容 新成人を対象に、式の企画・郷土の学習を通じて地元への愛着心の向上を図る	<p>内容：地域学習(天竜舟下りの取材・体験)式典(常盤太鼓「心SHIN」祝打ち、主催者あいさつ、祝辞、成人代表あいさつ等) 祝賀会(新成人実行委員による企画、進行) 運営：新成人実行委員 場所：松尾公民館、シルクホテル 協力：文化委員会</p>							
	目的 新成人を対象に、式の企画・郷土の学習を通じて地元への愛着心の向上を図る	<p>【総括と今後の方向付け】 新成人が主体的に計画し、当日は文化委員会の協力を得て運営されている。今年度は実行委員が3名集まり、会議を重ね、新成人の思い出に残る成人式になったのではと考えている。また、地域学習会では文化委員にも参加いただき、少しでも関わりを持つことができた。来年度も引き続き文化委員に加わってもらい、松尾ならではの地域学習、成人式が行えるようにしていきたい。</p>							
文化事業	ニュースポーツ講習会	市・地	継続	1	94	94	150	5月13日	松尾小学校体育館
体育事業	実施内容 公民館役員を対象に、ニュースポーツ普及と分館相互の情報交換を図る	<p>内容：ニュースポーツの体験会(ガラッキー、ラダーゲッター、キンボール) 講師：スポーツ推進委員、ニュースポーツ普及員 場所：松尾小学校体育館</p>							
	目的 公民館役員を対象に、ニュースポーツ普及と分館相互の情報交換を図る	<p>数量的成果(項目名と数値) 良かった：100%、改善点あり：0% 【総括と今後の方向付け】 今年度も引き続き、ガラッキー、ラダーゲッターを新しく取り組んだ。公民館役員の中にも初めて体験する方がおり、各種ニュースポーツを学習し、楽しむ機会となった。子供からお年寄りまで幅広い世代が気軽に実施できるニュースポーツを分館行事でも取り入れられるように、来年度も実施種目をスポーツ委員と検討していきたい。</p>							

松尾公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	松尾地区市民運動会	地区費	継続	1	3,000	3,000	13,026	10月7日	松尾小学校校庭
	実施内容	<p>内容：分館対抗による軽スポーツ、レクリエーションスポーツ他 運営：スポーツ委員会(主催：松尾地区まちづくり委員会) 協力：松尾地区文化体育振興会 結果：総合優勝 上溝分館 総合準優勝 上溝分館</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館交流ニュースポーツ大会	地区費	継続	1	300	300	13,026	6月17日	松尾小、松尾公民館
	実施内容	<p>内容：分館交流によるニュースポーツ大会(ベタンク、囲碁ボール、キンボール) 運営：スポーツ委員会 結果：総合優勝 明分館 準優勝 城分館、新井分館、寺所分館</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館交流ふらば～るバレー大会	地区費	継続	1	150	150	13,026	1月27日	飯田勤労者体育センター
	実施内容	<p>内容：分館交流によるふらば～るバレー大会 運営：スポーツ委員会 結果：分館交流ブロック 優勝 八幡町分館、城分館 準優勝 上溝分館、明分館 ふれあいブロック 優勝 レジエント、上溝ボンバーズ 準優勝 上溝フラー ル同好会、チーム仲良し</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	健康ウォーキング教室	地区費	新規	1	15	15	13,026	10月21日	城公園
	実施内容	<p>内容：歩き方の講習、ウォーキング 講師：スポーツ推進委員 運営：スポーツ委員会</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	「まつお新聞」の発行	地区費	継続	4	285	19	13,026	7月1日、10月1日、1月1日、3月31日	松尾公民館
	実施内容	<p>内容：まつお新聞を発行する(1回発行につき4回会議実施) 発行部数：4,700部 印刷会社：龍共印刷</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	住民を対象に、館報発行を通じて、地域課題等の掘り起こし、意識の醸成を図る	地区費	継続	4	285	19	13,026	7月1日、10月1日、1月1日、3月31日	松尾公民館
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】 台風が心配されたが、当日は晴天に恵まれ盛大に実施できた。昨年に引き続き、競技性よりも参加者が楽しめるようにと種目内容の変更を行った。その結果、地区民多くの参加があり盛大な運動会にすることができた。多くの住民が一気に会する事業なので、来年度以降も多くの参加者が参加しやすいように改善をしながら実施していきたい。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 3種目ともに大変盛り上がった。特に5年目を迎えたキンボールは、試合のレベルが上がり、応援にも熱が入ってきた。一方でキンボールへの女性参加が課題としてあがっている。今後も新たな種目を積極的に導入していき、地区内へのニュースポーツの普及を図る中で、来年はより多くの住民がニュースポーツに触れることができるように実施種目をスポーツ委員会と検討しながら実施していきたい。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 分館交流ニュースポーツ大会から独立して実施している。今年度は会場を変更し、新たにコートを増やすこととした。ブロックを分館交流、ふれあいと分けたことで、多くの方に参加いただけた。初参加の方もいて、分館だけでなく盛り上がりによってきた。冬の事業がなかったことから、開催を1月としたが、実施時期については多くの意見をいただいたので、来年度も、スポーツ委員会で検討しながら取り組む必要がある。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 松尾地区住民健康増進を目的に新たに企画した。参加者は少なかったが、ウォーキングはスポーツの一種であることを知ることができ、誰もが毎日の生活の中で正しい歩き方を会得して健康の維持につなげる機会となった。来年度も引き続き多くの方が参加できるように力を入れていきたい。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 公民館本館事業だけでなく、各分館での行事やまちづくり委員会事業についても取材を行った。来年度は「まつお新聞」の縮刷版およびまちづくり委員会における広報誌も検討していきたい。</p>							

松尾公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	松尾地区学習会	市・地	継続	1	38	38	13,026	9月21日	松尾公民館
	実施内容	<p>内容：第4回 八幡様を中心とした松尾の歴史 講師：飯田市美術博物館学芸係長 櫻井弘人氏</p> <p>【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き地域のことについて住民が学び、住民自身が語れるようになるように松尾地区学習会を企画した。来年度以降も継続して学習会を企画していきたい。あわせて、住民の皆さんが何を学びたいか把握し、住民とともに公民館が継続して関わる形で進めていきたい。</p>							
企画事業	公民館役員研修会	地区費	継続	1	45	45	48	6月18日	松尾公民館
	実施内容	<p>内容：いいだ未来デザイン2028における公民館(6/18) 講師：秦野高彦氏 (飯尾市公民館副館長)</p> <p>【総括と今後の方向付け】 今年度は学習会という形で1回実施し、公民館について学んでもらった。昨年度に引き続き公民館役員の方も多く、改めて活動を振り返る機会になった。来年度以降も様々な内容で地域における公民館の担う役割について研修を開催し、活発な分館活動に繋がるようにしていきたい。</p>							
合同事業	3地区合同女性バレーボール大会	地区費	継続	1			13,026	9月30日	勤労者体育館
	実施内容	<p>内容：各地区に登録するチームによるリーグ戦 参加チーム数：松尾3チーム、下久堅2チーム、竜丘2チーム 運営：実行委員会</p> <p>【総括と今後の方向付け】 今年度は、時期の再調整により中止となった。一方で参加者からも気楽に参加できる大会として継続を望んでいる。これらを踏まえて、来年度以降参加チームの増加、時期を検討しながら、開催していきたい。</p>							
その他	松尾還暦の会	地区費	継続	1	53	53	175	5月27日	鳩ヶ嶺八幡宮他
	実施内容	<p>内容：鳩ヶ嶺八幡宮での式典、記念写真撮影、祝賀会 運営：該当者による実行委員会 場所：鳩ヶ嶺八幡宮、シルクホテル</p> <p>【総括と今後の方向付け】 今年度は実行委員会での協議を重ね、還暦の結びつきを強める還暦の会を実施する事ができた。また、終了後には自発的に集まり、地区の行事などの盛り上げに尽力していただいている。還暦を機に同年代が集まり、再び繋がる良い機会であるので引き続き実行委員会体制で行っていただきたい。</p>							
その他	地域人教育	他会計	継続	30	800	8	13,026	実施内容参照	鳩ヶ嶺八幡宮他
	実施内容	<p>飯田OIDE長尾高校商業科の地域人教育として、松尾地区では6年目となる。 毎週金曜日の13:30～15:20を主な活動時間として、松尾地区内を知り、サ ンロード八幡の活動に取り組んだ。 主な内容 ・松尾地区を知る(講師：サンロード八幡の皆様) ・八幡商店街の活性化(ハロウィンイベントの企画) ・活動展示(松尾地区文化祭への参加)</p> <p>【総括と今後の方向付け】 松尾地区では継続して取り組んでおり、特にサンロード八幡の皆様には毎年関わっていただいている。そのため、地域内の認知度も高まってきて、地域の人からも気軽に声をかけていただく環境が整っている。松尾地区以外の生徒もいる中で、地域に親しみを持ってもらえればと考えている。地域側も高校生のアイデアを取り入れ、そこから自分たちの活動を工夫するなど、互いによい面が多くある。一方で、地域側の受け入れ態勢が万全とは言えず、今後の活動内容によっては、地域側がどのように関わっていくべきか考えていく必要がある。学校側と地域側にとって実りある事業なので、しっかりと協議をしながら進めていきたい。</p>							

下久堅公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級ほっかぼか(いちごグループ 0・1歳)	市・地	継続	11	121	13	21	実施内容参照	下久堅公民館
	目的 0・1歳児と親を対象に、子どもが基本的な生活習慣を身に付けられる事業展開を図る							数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 参加者同士の情報交換の場や育児の息抜きの場となれるように計画を行った。少しでも参加者の意見を取り入れて、主体的な学級となるように、話をする時間を設けた。今後とも地区内の託児指導者、保育士、保健師、公民館が連携して活動していきたい。	
学級・講座	乳幼児学級ほっかぼか(あひるグループ 2・3歳)	市・地	継続	11	103	12	34	実施内容参照	下久堅公民館
	目的 2・3歳児と親を対象に、子どもが基本的な生活習慣を身に付けられる事業展開を図る							数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 参加者同士の情報交換の場や育児の息抜きの場となれるように計画を行った。少しでも参加者の意見を取り入れて、主体的な学級となるように、話をする時間を設けた。今後とも地区内の託児指導者、保育士、保健師、公民館が連携して活動していきたい。	
学級・講座	親子体験学習	市・地	継続	1	330	330	330	6月2日(土)	下久堅小学校
	目的 子どもとその親を対象に、地域の人材や素材の大切さと地域を見つめ直す機会作りを図る							数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 各講座に分かれて、それぞれ興味のある講座に親子で参加する。どの講座も特徴的なもので、熱中する親子の姿が見受けられた。今後とも地域で子どもを育てるといふ視点を大切に継続していきたい。	
学級・講座	子ども料理教室 & 工作教室	地区費	継続	2	174	61	2,904	実施概要参照	下久堅公民館
	目的 小学生を対象に、普段あまり行わない料理や工作で交流を図る							数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 7月のお楽しみ会では、子どもたちと一緒に、装飾をする等、雰囲気づくりから参加者と一緒に取り組むことができた。 乳幼児から中学生まで、大勢の子どもたち、保護者に参加いただいた。	

下久堅公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	クリスマスお楽しみ会	地区費	継続	1	90	90	2,904	12月8日(土)	下久堅公民館
	<p>地区内住民を対象に、地区住民で構成する団体を知らせ、世代間の交流を図る</p> <p>図書分館との共催で企画実施。 紙芝居・人形劇・音楽など地区内の個人・団体の発表を通じて交流を図る。 【実施概要】おはなしサークル「紙芝居」「パネルシアター」、図書館大好き隊「大型絵本」、「マジック」、図書館協働隊「人形劇」</p>						<p>数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】</p>		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ひさかた村塾	市・地	継続	2	143	143	2,904	実施概要参照	下久堅公民館
	<p>地区内の人を対象に地域の課題、地域づくり、歴史文化といったその時々 の課題をテーマにした学習会や講演会を開催する。 具体的な内容は、公民館と地区内に識者からなる運営委員会が中心とな って企画、運営する。 【実施概要】 第1回 8/1 ひさかた和紙の歴史学習 第2回 10/28 下虎岩獅子舞保存会</p>						<p>数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】</p>		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ひさかた和紙講座	市・地	継続	12	270	30	2,904	実施内容参照	下久堅公民館 他
	<p>地区住民を対象に、ひさかた和紙の認知や担い手の発掘を図る</p> <p>この地の特色である「ひさかた和紙」を再認識し、保存会の活動を支援しながら、紙漉き技術の継承や、和紙の域内消費の拡大などにつながる講座等を実施し、新たな担い手の育成を図る。 【実施概要】 5/13、6/10、7/8、10/20 楳畑草刈り作業 11/24 楳取穫、11/25、11/26 楳蒸し・皮むき 12/5、12/12、12/19、1/9、1/12、1/16、1/23、1/30、2/6、2/13、2/20、2/27 たくり作業 8/1 ワークショップ「ランブシエード作り、しおり作り」 9/22 ワークショップ「ランブシエード作り」 9/小中学校連携事業 9/19 ひさかた和紙の歴史、紹介(緑ヶ丘中学校1年生) 5/25 トロアオイの種まき指導(下久堅小学校1年生) 7/2 トロアオイの間引き(下久堅小学校1年生) 10/22 トロアオイの収穫(下久堅小学校1年生) 11/26 楳の収穫、皮むき体験指導(下久堅小学校1・3・5年生) 2/27 紙漉き体験指導(下久堅小学校1・3・5年生)</p>						<p>数量的成果 (項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】</p>		

下久堅公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	からだケア教室	地区費	継続	24	343	24	2,904	毎月2回 第1・第3金曜日の午前中	下久堅公民館
	実施内容	<p>高齢者でも無理なく実施できるストレッチ体操を基本とする健康づくり教室。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 数量的成果 (項目名と数値) 24 下久堅は坂道が多いため、膝の痛みに悩んでいる方が多いという問題に対応するため、当番制で毎回の運営を行う。参加者同士の交流の場にもなっている。次年度以降も事業を継続していきたい。</p>							
学級・講座	ヨガ・ストレッチ教室	地区費	継続	24	200	21	2,904	毎月2回第2・4水曜日の夜間	下久堅公民館
学級・講座	実施内容	<p>自分の体力や柔軟性に合わせて誰でも無理なく参加できるような形で開講。ヨガ・ストレッチを通じて自分の心や体を見つめ、呼吸法により全身に気をめぐらすことにより、体の中から元気になっていく効果がある。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 数量的成果 (項目名と数値) 21 女性を中心として幅広い年代の参加があり、日常的な健康づくりだけでなく、仲間づくりの場としても効果的であり、参加者からの評価も高い。今後も、参加者の意向を確認しながら継続していきたいと考えている。</p>							
	目的	<p>地区住民を対象に、ヨガ・ストレッチを通じ、自身の心や体を見つめ、健康づくりを図る</p>							
文化事業	ふるさとコンサート	市・地	継続	1	120	120	2,904	7月14日(土)	下久堅公民館
文化事業	実施内容	<p>公民館委員会文化部が中心となり、地区住民がすばらしい音楽を身近に感じる機会として実施。演奏者は、aru企画を通じて依頼する。下久堅小学校金管バンドとの合同演奏も行う。なおコンサート終了後に、演奏者との交流の機会をつくる。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 数量的成果 (項目名と数値) 120 参加者が知っている曲を、選曲してくれたり、信濃の国を会場全体で歌ったりしたりしたため、会場が一体となって、音楽を楽しむことができた。交流会で行ったそば打ち体験が好評で、演奏者と地区住民が終始和やかに交流をすることができた。</p>							
	目的	<p>地区住民を対象に、すばらしい音楽を身近に感じることを図る</p>							
文化事業	いいた人形劇フェスタ2018	市・地	継続	1	683	683	2,904	8月3日(金)～8月12日(金)	下久堅公民館 他
文化事業	実施内容	<p>下久堅地区では、以下の6会場で公演する。 ①下久堅公民館 ②下虎岩コミュニティ消防センター ③虎岩交流センター ④知久平研修センター ⑤南原交流センター ⑥栢野沢区民センター</p> <p>【総括と今後の方向付け】 数量的成果 (項目名と数値) 683 各会場の運営は、保育園保護会、保育士や分館役員が担っており、会場運営なども会場関係者が主体的に関わっている。また、フェスタに併せて開催する催しや劇人を交えた交流会、会場の受付など各会場の特色がでていた。 今年度は暑さの影響により、冷房設備の無い会場では氷柱の設置などの工夫がされていたが、来年度からこの問題は予想されるため、検討が必要</p>							
	目的	<p>地区住民を対象に、人形劇人と交流しながら、地域文化の高まりを図る</p>							

下久堅公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	下久堅地区市民運動会	地区費	継続	1	600	600	2,904	10月14日(日)	下久堅小学校校庭		
	実施内容	<p>地区の住民が、楽しく気軽に参加することにより、今まで以上に多くの人とつながり、交流できる機会として、また健康推進の機会として地区運動会を実施する。</p> <p>地区住民を対象に、親睦交流・健康増進を図る。</p> <p>実行委員として中学生の協力を募り、競技企画や当日の担当を担ってもらおう。地域の一員として、意識の醸成を図る。</p>									
体育事業	冬季スポーツ大会	地区費	継続	1	128	128	2,904	1月27日(日)	下久堅小学校体育館		
	実施内容	<p>冬季の健康づくりと交流を目的に開催。誰でも楽しめる種目として、ワンバウンドふらばー、バレーボールを分館対抗で実施する。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 冬季の貴重なスポーツ大会になっている。この種目にして10年目ということもあり、ニュースポーツを楽しむと共に競技性もできた。今後も継続して事業を実施するが、ニュースポーツを楽しむサークルを作る動きの支援を行って行きたい。</p>									
体育事業	公民館長杯囲碁大会	地区費	継続	1	50	50	2,904	11月18日(日)	下久堅小学校体育館		
	実施内容	<p>誰でも身近に感じ楽しむことができる囲碁大会を開催する。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 体力差や技術に関係なく、誰でも気軽に楽しめる種目であり、大変良い機会になったと認識している。また、高齢者や子どもたちの参加も多く、異世代による交流も図れた。また、今年度は小学校の親子レクでの参加もあった。体育部と育成部が共催で開催しているが、公民館委員の交流の場にもなった。今後も目的や意図をしっかりと持ち、健康増進とスポーツに親しめる機会をつくって行きたい。</p>									
広報事業	「ひさかた」の発行	地区費	継続	4	1,000	1,000	2,904	実施内容参照	下久堅公民館		
	実施内容	<p>地域住民へ、地域課題や生活課題を提起するとともに、身近な話題をタイムリーに伝えることにより、地域に対する関心を高めるべく発行する。</p> <p>167号 6月30日発行 168号 9月30日発行 169号 12月28日発行 170号 3月30日発行</p> <p>【総括と今後の方向付け】 地区の時事広報として歴史を後世に残すとともに、地域住民の情報交換と文化意識の高揚の役割を果たすべく発行に努めてきた。公民館報の果たすべき役割を常に認識しながら、地域課題・生活課題の提起できる館報として発行を継続して行きたい。</p>									
育成事業	魚のつかみどり体験	市・地	継続	1	110	110	2,904	7月16日(月)	塩沢川(下虎岩)		
	実施内容	<p>親子が体験活動を通じて、ふれあう事を目的に開催する。今年度は希望により、育成部員の帽子を作成し、事業に取り組んだ。参加者との区別がしやすい、連帯感も生まれ、好評だった。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 親子で取り組み、子どもが普段、家では見せない一面を見られ、交流を図りながら楽しく実施できた。会場近くの飲食店などの協力も得られ、好評であったため次年度の企画を継続して行きたい。熱中症対策についても検討が必要。</p>									

下久堅公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	親子書き初め教室	地区費	継続	1	37	45	260	1月5日	下久堅公民館
	実施内容	<p>毎年実施している正月の恒例の行事。 新年を迎えるなか、昔からの伝統行事を親子で興じる機会になっている。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 地域の大人が講師となり、子どもたちに書道を教えてくれる。今年度は中学生の参加が多く、実施後の片付けを積極的に手伝ってくれ、年齢が異なる子どもたちが互いに教え合い、気遣いながら書き初めを行っていた。</p>							
その他	下久堅地区新年の会(ひさかた村塾)	市・地	継続	1	100	100	2,904	1月20日(日)	下久堅公民館
	実施内容	<p>地区内の成人を対象に地域の課題、地域づくり、歴史文化といったその時々 の課題をテーマにした学習会や講演会を開催する。</p> <p>具体的な内容は、公民館と地区内有識者からなる運営委員会が中心となっ て企画、運営する。下久堅地区まちづくり委員会と共催で開催している恒例 行事。 講師：上村公民館主事 野牧和将氏 講演：「ひさかた幸福論～若者×ばか者×よそ者で創るみらい～」</p>							
その他	下久堅地区成人式	市・地	継続	1	24	24	36	1月13日(日)	下久堅公民館
	実施内容	<p>成人式か開催に向け新成人の実行委員会を11月より6回開催し、祝賀会の 内容や記念品について検討した。当日の受付を新成人が行うことで「私たち の成人式」という意識が強いものとなった。</p> <p>記念品については、「これから先使えるもの」をテーマにタンブラーを設定した が、下久堅の「ひさかた和紙」と水引を使い、地元になくても、地元を感じる ことのできる記念品となった。</p>							
その他	下久堅放課後子ども教室	市・地	継続	週4回	1,641	31	169	毎週月・火・木(週4回)	下久堅小学校
	実施内容	<p>心豊かでたくましい子どもを地域全体で育むため、地域ボランティアスタッフ の指導と見守りにより、安全な子ども達の居場所づくりをする。また、地域の 人材を活かし、月に1～2回程度、科学工作や読み聞かせなどの活動を行 う。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 地域の大人が講師や安全管理員になり、料理教室・科学工作教室・スポーツ・読 み聞かせなどのメニューを実施した。今年度も保護者にスタッフとして最低年1回 はご参加いただき、交流の場にもなった。スタッフの高齢化、コーディネーターの負 担等、運営体制の見直しやプログラムを検討する必要がある。次年度以降も継続 的に事業実施をしていきたい。</p>							

上久堅公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級「わくわくキッズ」	市・地	継続	市・地	継続	23	241	11	16	実施内容参照	上久堅公民館ほか
	学級・講座	保育園、保健師、保育士と連携して実施。 様々な活動を通じて子どもたちの健全育成を図ることはもとより、母親同士のつながりも大切にながら事業を行った。 常任講師：林かんざん(保育士) 【実施内容】 ①5/15年間計画、茶話会 ②5/22おやつについて考えよう ③6/4人形劇をみよう ④6/5保育園児と交流、どろんこ遊び ⑤7/3アロマで虫よけスプレーを作りましょう ⑥7/10プール遊び ⑦7/21保育園夏まつり ⑧8/6人形劇フェスタをみよう ⑨8/21プール遊び ⑩9/4子どもとお母さんの歯について考えよう ⑪9/11リズム体操、器具遊び ⑫9/29保育園の運動会にご招待 ⑬10/9文化展の飾りづくり ⑭10/23動物園へお出かけしよう ⑮11/6焼きいも大会 ⑯11/20新聞紙で遊びます ⑰12/4クリスマス飾りを作ろう ⑱12/18クリスマス会 ⑲1/15お楽しみ会 ⑳1/29図書館で絵本を読もう ㉑2/5節分豆まき ㉒2/19園児と交流お楽しみ会 ㉓3/12まとめの会、茶話会	市・地	継続	市・地	継続	23	241	11	16	【総括と今後の方向付け】 保育園と連携することで、入園前から保育園の環境に慣れるためのよい機会となり、保育園、乳幼児学級の母親ともよい感想をいただいている。参加されるお母さん方と内容を相談しながら、郊外への散歩、文化展でのパネル展示など多様な活動を行った。季節ごとの行事も大切にし、クリスマス、節分も楽しく行えた。母子参観いのサークルの日程に合わせて乳幼児学級を設定しているため、毎回一定した参加者がある。産休明けから仕事復帰する方の参加者減少予想されるが、親同士の親睦を深める機会に加え、親たちの憩いの時間になるような支援を今後も行っていくきたい。
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数 <td>開催期日</td> <td>開催会場</td>	開催期日	開催会場
学級・講座	上久堅小学校PTA・公民館共催講演会	市・地	継続	市・地	継続	1	83	83	1,297	6月1日	上久堅小学校
	学級・講座	小学校と連携し、学齢期の子どもたちが基本的な生活習慣を身につけること、またその親の悩みを解消するための講演会を開催。PTAと地域住民が学校や地域のことで、共通のテーマに基づいてお互いの考えを語り合った(実施内容) 演題：これまでの災害教訓に学ぶ 講師：後藤武志 氏(飯田市危機管理室防災係長)	市・地	継続	市・地	継続	1	83	83	1,297	6月1日
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数 <td>開催期日</td> <td>開催会場</td>	開催期日	開催会場
学級・講座	冬のお楽しみ会(図書分館・公民館共催クリスマス会)	市・地	継続	市・地	継続	1	46	46	1,297	12月16日	上久堅公民館
	学級・講座	地区の子ども、保護者を対象に、親子の触れ合いや世代間の交流を図る。 上久堅図書分館との共催事業。乳幼児学級・保育園・小学校へ呼びかけて実施する。 【実施内容】 絵本読み聞かせ、クリスマス会(ハンドベルサークル“リーベクワイア”による演奏会)	市・地	継続	市・地	継続	1	46	46	1,297	12月16日
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数 <td>開催期日</td> <td>開催会場</td>	開催期日	開催会場
学級・講座	いいた人形劇フェスタ「市内観劇バスツアー」	市・地	継続	市・地	継続	1	35	35	1,297	8月9日	文化会館ほか
	学級・講座	保育園・小学生の親子を対象に、有料の大型人形劇を観劇する機会を提供する。 人形劇フェスタに合わせ図書分館と連携して実施した。夏休み企画として平日開催の有料公演人形劇とプラネタリウムなど飯田市街地の施設の見学も行った。 【実施内容】 内容：飯田市美術博物館見学、プラネタリウム鑑賞、影絵人形劇団かしの樹観劇	市・地	継続	市・地	継続	1	35	35	1,297	8月9日

上久堅公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	書初め教室	地区費	新規	1	3	3	1,297	1月4日	上久堅公民館
	目的	<p>地域の方にお正月行事の伝承講座として実施。墨を擦る時間から集中して書く力を育てるとともに書初めの起源なども一緒に教わる機会となった。(実施内容) 講師: 多田井一子 氏</p>							
学級・講座	弓道体験会	地区費	新規	1	8	8	1,297	4月28日	飯田市弓道場
	目的	<p>飯田下伊那弓友会の指導の下、通常は40時間かけて習う内容を、2時間に凝縮して初心者向けとして講習を受けた。</p>							
学級・講座	十三の郷ウォーキング事業	地区費	継続	1	32	32	1,297	実施内容参照	地区内
	目的	<p>桜を愛する会、上久堅保健推進委員会と連携して実施。 地区内の桜の名所を始め、上久堅にある自然地形を活かし、各所にある郷土学習資料を学び、地区を再発見したり、地区をPRしたりする機会とした。(実施内容) ・4月15日 お花見ウォーキング(共催:桜を愛する会) 雨天中止 ・6月24日 権現山ウォーキング</p>							
学級・講座	ふるさと自然体験2018	地区費	継続	1	135	135	1,297	7月14日、15日	上久堅公民館他
	目的	<p>「学ぶ・遊ぶ・作る」小学生PTA合同企画」の4本柱で企画。小学生を対象とする1泊2日の宿泊事業。日ごろ接する機会が少ない地域の大人と子どもと一緒に活動することで、子ども達にふるさとの良さを感ずってもらう機会とした。(実施内容) 学ぶ…水生生物と川の水質について 遊ぶ…川遊び 作る…キャンプファイヤー、カレーライス、パン焼き、寝床を作る(テント張り)小学生企画…キャンプファイヤーとレクリエーション</p>							
学級・講座	南信州狼煙リレー	地区費	継続	1	30	30	1,297	8月25日	神之峰
	目的	<p>この地域に数多く残る狼煙台を見直し戦国時代の歴史を考えることにより、ふるさとの再発見・再認識を目指すとともに、南信州各地の連携を深めるために実施。飯田下伊那の各地区公民館へも呼びかけ武田信玄狼煙会として狼煙上げを行なった。(実施内容) ふるさとの再認識を図る。</p>							

上久堅公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	小学生への方言人形劇指導	市・地	継続	4	40	10	10	10月～12月	上久堅小学校
	実施内容	<p>小学校3年生を対象に、人形劇フェスタで上演した演目を上久堅の方言版にして、地区のお年寄りの方にも親しみのある言葉で演じた。 (実施内容) 演目：さるじぞう 方言指導講師：上久堅を学ぶ会方言部会</p>							
学級・講座	男性料理教室「男子厨房に入る」	市・地	継続	3	50	24	1,297	実施内容参照	上久堅公民館
学級・講座	実施内容	<p>中高年、高齢者の食生活の改善を図るため、飯田市食生活改善推進協議会上久堅分会を講師に年3回開催した。 (実施内容) ①6/29 今が旬！春野菜たっぷり健康レシピ ②10/29 今が旬！秋の味覚たっぷり健康レシピ ③1/25 謹賀新年！新年会でほろ酔い気分</p>							
学級・講座	上久堅を学ぶ会	市・地	継続	4	104	22	1,297	実施内容参照	上久堅公民館ほか
学級・講座	実施内容	<p>隔月1回「上久堅村誌」を中心とした郷土を学ぶ会を開催。座学と現地を歩く見学会を行った。今年度は上久堅だけでなくとどまらず、他の地域へ向き、人権学習の要素を取り入れた学習会も行った。 (実施内容) ①4/21 興禅寺の歴史を学ぶ ②10/6 竜丘の古墳群を訪ねる ③12/15 平岡ダムと外国人の歴史に触れる ④2/25 上久堅の神社について</p>							
学級・講座	レガスピ市訪問報告会	新規	1	34	34	34	1,297	2月15日	上久堅公民館
学級・講座	実施内容	<p>JICAによるPLSD研修と、住民組織および飯田市公民館がフイリン国レガスピ市の支援に任せ取り組んでいるのか、その背景や意味、成果を伝えることを目的に報告会を行った。 (実施内容) 内容：2018年11月訪問の報告、JICAのPLSD研修とは、研修とレガスピ市訪問の関係等 報告者：長谷部三弘氏、橋爪学氏、塩沢幸子氏、長沼成館長、永田麻美子 前公民館主事</p>							
学級・講座	分館自主活動	市・地	継続	6	214	214	1,297	実施内容参照	各区集会所等
企画事業	実施内容	<p>最も身近な分館を利用して、生活課題を解決するためのセミナー等を各分館1回以上行う。企画から運営までを各分館が主体的に担い、分館活動活性化に努めた。 (実施内容) 1分館…けん玉講習会 2分館…マレットゴルフ 3分館…囲碁ボール 4分館…囲碁ボール 5分館…ホウリング大会 6分館…マレットゴルフ</p>							

上久堅公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	世代交流しめ縄飾り講習会	地区費	継続	5	84	84	1,297	12月16日、23日	各区集会所等
	目的	<p>地域の高齢者を講師に迎え開催している。PTAとの共催事業でもあり、小学生の親子が参加者の中心であるが、分館によって少子化で単独開催が困難なところは合同開催で実施した。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 子どもが少ない分館は地区の役員が率先して参加していた。おやすを作るだけでなく、幣束の意味など伝統文化の継承のための勉強会も開催した分館もあり、多世代交流に加えて地域の伝統文化継承の機会になっている。今後も継続して進めていきたい。</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ学習会	市・地	継続	1	20	20	1,297	6月13日	上久堅公民館
	目的	<p>文化委員を中心に公民館委員全員を対象に、毎年地区で行う人形劇フェスタにどう臨むのか、フェスタのおもしろさ、意義など伝えることを目的に開催。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 文化委員会の中でフェスタについていろいろな捉えがあり、みんなでフェスタについて話を聞いて理解度を高めたいと生まれた企画。今年度で3回目の開催。地区公演の大切さ、学校人形劇に関わる子どもたちの変化やその後など伺い、新たなフェスタや地区公演の見方ができ、フェスタ本番に向けて機運が高まったとの感想があった。今後も、役員交代の時期に合わせて行っていきたい。</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2018上久堅地区公演	市・地	継続	4	449	449	1,297	実施内容参照	上久堅公民館ほか
	目的	<p>地区内5会場を実施。実行委員会を、保育園保護者会・分館で組織し、各場所で行った。日、場所、劇団、スタッフ(団体名)、観劇者数は以下の通り。</p> <p>【開催概要】 ①8/4 上久堅公民館 人形劇団トロッコ 3, 4分館、小中学生ボランティア 61人 ②8/5 原平集落センター エリユリ、とうふねこ座 1, 2分館、小学生ボランティア 88人 ③8/6 上久堅保育園 上久堅小劇場、劇団ののほな 保護者会 108人 ④8/10 越久保センター ななな、ばねるんるん 公民館委員、小学生ボランティア 89人 ⑤8/11 南部コミュニティセンター(元平栗分校) 人形芝居燕屋 5, 6分館、小学生ボランティア 103人</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	下栗ふれあい祭りへの参加	地区費	継続	1	35	35	1,297	11月4日	上村下栗地区
	目的	<p>隔年で参加し今年で7回目の参加。地区文化祭の未開催年に、特産品の掘り起こしや住民交流、情報交換を目的として、上村下栗地区の下栗ふれあい祭りに参加させていただいている。上久堅の特産品をアピールした。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 多くの地区特産物が集まり販売できた。生産者も一緒に参加してもらったよう依頼したが、収穫の時期が重なり、半分くらいの参加であったのが残念である。上村下栗地区とは峠をはさんだ交流を毎年させていたが、生産者にとっても役員にとっても良い刺激を受ける機会でもある。今後も交流を深め、魅力ある地域づくりにつなげていきたい。</p>							

上久堅公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	上久堅うたの祭典	地区費	新規	1	130	130	1,297	11月18日	上久堅公民館
	目的	歌に興味がある個人からグループを募集し、互いの歌を楽しみ、歌を通じて地域の一体感や地域の絆を深める機会、また歌うことで生きがいを感ぜられる機会とすることを目的に内容を組み立てた。 (参加団体) 上久堅保育園、上久堅小学校、上久堅シニアクラブ連合会、小野子地区女性有志他 計9団体・個人							
文化事業	上久堅地区文化展	地区費	継続	1	400	400	1,297	11月18日～11月25日	上久堅公民館
	目的	地区内のサークル・個人と連携して隔年で開催している。地区内で活躍する様々な団体・個人が活躍できる場を提供し、地域の文化度をより一層高める機会とした。地区内の保育園、小学校、中学校の作品の披露も兼ねている。 (開催概要) 展示：16者 出展数：約200点							
文化事業	上久堅を知る	0円	新規	1	36	36	1,297	1月24日	上久堅公民館
	目的	上久堅地区に伝承される「事念仏」、「事の神送り」について、飯田市美術館の学芸員をお呼びし講義を受けた。 (実施内容) 地域の財産、継承したいものについて関心を高めることを図る。							
文化事業	上久堅地区成人式	市・地	継続	1	9	9	9	1月13日	上久堅公民館
	目的	新成人代表と文化委員を中心に実行委員会を組織し、地域の方の協力をいただきながら成人式を開催した。式典は厳かに行い、祝賀会は新成人が楽しめるように、また地域学習の発表として新成人代表がアトラクションを企画運営した。 式典：主催者あいさつ、新成人の抱負、恩師からメッセージ 他 記念撮影：新成人・恩師、新成人・恩師・保護者 祝賀会：記念品案内、地域学習の発表、小学校思い出ムービーの上映							
体育事業	竜東中学校区交流スポーツ大会	地区費	継続	1	106	106	106	5月19日	竜東中学校
	目的	竜東中学校、竜東中学校区小学校、上久堅・千代・龍江公民館が主催となった小・中学生を対象に、中学校区の交流球技大会を実施。地域内の縦のつながりを大切にチーム作りを行い、小学生が中学校のつながりを大切に、中学生が小学校との交流を深める機会として、種目は当番地区と中学校が協議し決める。 (実施内容) 種目：囲碁ボール 対象：小学6年生(22名)、中学生(64名)、地域役員(20名)							

上久堅公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館対抗女性スポーツ大会	地区費	継続	1	116	116	1,297	6月3日	上久堅小学校
	目的	<p>女性のスポーツ活動促進と女性同士の交流・親睦を深めることを目指しソフトバレーボール大会を実施した。各分館1チームずつ出し合った。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 大勢の女性の皆さんが参加してくれた。役員の中でも人集めに情報交換したり、工夫している分館の集め方をまねてみたりし、分館内で検討した結果が参加人数に反映されてきている。内容については、大会に合わせて計画していた保健師による女性の病気になるミニ講座が都合により中止となってしまったが、来年度も同様に計画したい。</p>							
体育事業	分館対抗ソフトボール大会	地区費	継続	1	167	167	1,297	8月26日	農村広場
	目的	<p>各分館で1～2チーム出し、2ブロックでソフトボール大会を行った。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 試合に出る人以外にも応援しに観戦する人が多くにぎやかな一日であった。1チーム13名ほどで構成されるので、多くの住民が選手として参加でき、またこの大会は中学生から70代まで幅広く参加しており、スポーツを通じた多世代交流の機会となった。</p>							
体育事業	上久堅地区運動会	地区費	継続	1	475	475	1,297	10月7日	農村広場
	目的	<p>上久堅公民館事業の中で最も参加者が多く、住民同士の交流と親睦という目的においてとても有意義な事業である。総合優勝を廃止しているが分館対抗種目は残り、それぞれ順位付けを行い表彰している。入場行進では、武将クラブに協力いただき、各分館長は武将姿で入場した。来賓には東京神峰会の皆さんを招待した。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 上久堅在住の方だけでなく、出身者や家族・親戚が他地区から参加し、大いに盛り上がりがあった。中学生が種目の企画・運営に関わってくれており、地域を考えるきっかけになっている。一人でも多くの方に参加していただけたら嬉しい。今後も継続していきたい。</p>							
体育事業	冬季スポーツ大会	地区費	継続	1	194	194	1,297	2月3日	上久堅小学校
	目的	<p>誰もが気軽に参加できるようにフンバウンドふらば～るバレー大会を分館対抗で行った。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 フンバウンドふらば～るは、運動が苦手な人でも楽しくできるスポーツなので、普段のスポーツ大会では顔を見かけない方の参加があったり、応援者も多くあり、大変盛り上がった。冬季の運動不足解消とともに地域の輪の広がりを感ずる事業であるので今後も親睦の場として継続していきたい。</p>							
広報事業	館報編集学習会	市・地	継続	1	12	12	12	6月8日	上久堅公民館
	目的	<p>広報委員の館報作成技術向上のために、新聞を作る上での基本的な部分を中心に学習し、館報づくりに活かす学習会を行った。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 他地区の館報等を題材して学習会をしたり、他地区広報委員との情報交換は良い刺激となった。企画段階でホワイトボードを使いながら意見を引き出し、まとめたいく手法は参考になった。館報を通じて地区へ対して課題提起をする手法も参考になった。</p>							

上久堅公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報「かみひさかた」発行	事業区分	継続	4	48	12	1,297	実施内容参照	
	目的	公民館活動はもろんのこと、日頃の地域の情報を分かりやすく読みやすく発信できるように心がけた。 (実施内容) ・紙面発行 発行数:5回(6月、9月、11月、2月)、発行部数:650部 ・ブログ更新 発行作業に併せて更新							
広報事業	館報発送サービス事業	事業区分	継続	4	128	32	32	実施内容参照	上久堅公民館
	目的	東京神峰会の方を中心に呼びかけ、生まれ育った上久堅が今のようになっているか知っていただく機会として行っている。上久堅をPRすることも目指し、様々な地区内チラシを同封してきた。 発送:年4回(館報「かみひさかた」に準じる) 登録者:32名(平成30年現在)							
広報事業	第9回 上久堅写真展	事業区分	継続	1	200	200	1,297	11月18日～11月25日	上久堅公民館
	目的	文化展に合わせ実施した。写真で公民館活動の一年を振り返る展示も行った。 テーマ:上久堅の鶴と亀 出展数:23作品							
その他	第26回 ひさかたの火まつり	事業区分	他会計	1	1,000	1,000	1,297	8月15日	北田遺跡公園他
	目的	ひさかたの火まつり実行委員会主催の祭りを組織的に支援している。上久堅公民館は文化委員会を中心に子ども健全育成、住民交流、北田遺跡公園の利活用を目指し、第1部火おこしセレモニーにおいて、竹細工教室・火おこし体験・火種作り大会を行いながら、昔の生活に思いをはせた。							
その他	小学校クラブ活動、総合学習の支援	事業区分	継続	12	84	7	1,297	実施内容参照	上久堅小学校
	目的	本年度当初に小学校と打合せを行い、小学校の活動を支援えられる人材の情報提供、依頼、その他できる限りの支援を行った。地域の子どもは地域で育てる環境作りの一助となることを期待している。 (実施内容) ・クラブ講師支援(6月、9月、10月)・・・ニュースポーツ、写真、パソコン、郷土料理、生け花 ・総合学習の支援(5月～12月)、6年生神之峰を題材にした紙芝居づくりへの協力(6月～11月)							

千代公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	ちよっ子クラブ(0～3歳児学級)	市・地	継続	20	150	20	24	毎月第2、第4火曜	千代公民館ほか
	0～3歳児とその親を対象に、体を動かして遊ぶ楽しさを知ってもらおう事、親同士の仲間づくりを図る	共催：公民館・保健課・保育園 常任講師：小木曾嘉子保育士 ①開講式・ふれあい遊び、②リズ組のお友達と遊ぼう、③ふれあい遊び、④絵本の読み聞かせ(下沢洋子先生)、⑤七夕飾りを作ろう、⑥保育園でプール遊び、⑦おやつ作り、⑧うんどう遊び(マサ先生)、⑨大きな布で遊ぼう、⑩動物園に行こう、⑪リズ組のお友達と遊ぼう、⑫牧場見学(林牧場)、⑬やさしいも大会、⑭【ファミリーデー】クリスマスリース作り、ヨガ体験、⑮クリスマス会(ましゅ&ケイ)、⑯運動遊び、⑰新聞紙遊び、⑱大きな布で遊ぼう、⑲ペットボトル工作、⑳閉講式・成長の記録を残そう	市・地	継続	1	13	13	8月8日	千代公民館
学級・講座	親子料理教室	市・地	継続	1	13	13	75	8月8日	千代公民館
	子育て世代を対象に、地域の繋がりを図る	講師：食生活改善推進協議会 フェスタ地区公演の小学生スタッフが食改さんと一緒に劇人をもてなすために料理作りを実施した	市・地	継続	1	13	75	8月8日	千代公民館
学級・講座	ラオスのオブジェクシアターワークショップ	他会計	新規	6	78	13	75	7/30～8/4	千代公民館 ほか
	地区内の小学生を対象に、多文化交流によりさまざまな文化を理解する意識の醸成を図る	講師：ルートマニー・インジエンマイ氏(ラオス)、あさぬまちまらずこ氏、吉澤あゆみ氏 世界人形劇フェスティバルの企画として飯田文化会館と共催。千代の児童保育の小学生を対象に実施した。ラオスのオブジェクシアター創始者のルートマニー氏を招き、ラオスの文化を紹介してもらうとともに、地区にある自然物(木や葉っぱ)と日常生活での不用品(古着や使わなくなった調理器具)を用い人形を制作した。成果物は地区内および飯田市美術館で発表会を実施した。	市・地	新規	6	78	13	75	7/30～8/4
学級・講座	新春書き初め教室	市・地	継続	1	23	23	1,676	1月4日	千代公民館
	地区住民を対象に、世代間交流を通じて、地育力の向上を図る	講師：林 凌永氏(2017年度新成人) 参加：小学生21人、中学生2人 書初めを子どもと大人が一緒に、地域の講師から教わった。	市・地	継続	1	23	23	1,676	1月4日
学級・講座	地域づくり講演会	市・地	新規	1	35	35	1,676	2月2日	千代公民館
	一般を対象に、他地域での地域づくりを学ぶ機会を通じ、自地区のこれからの在り方をみんなが考える意識の醸成を図る	講師：松島貞治(前桑阜村村長) テーマ：「過疎の山村での行政から学んだこと」 松島氏の職員時代、村長時代を通じて50年の行政経験から講演をいただいた。講演の後、5～6名のグループになり講演の感想を出し合い、その中から感じた疑問を改めて松島氏に投げかけるワークをおこなった。特にまちづくり委員会役員、公民館専門委員が参加し千代地区の地域づくりの在り方を考える機会となった。	市・地	新規	1	35	35	1,676	2月2日

千代公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2018千代地区公演	市・地	継続	4	606	606	1,676	実施内容参照	実施内容参照
	目的 一般を対象に、地域の方と小学生が交流しながら、ともにフェスタを盛り上げ、人形劇に親しむ機会として実施。 8/3 PM7:00 千代小学校体育館 8/5 AM10:00 千代公民館 8/8 AM10:00 千代公民館 8/10 PM7:00 法山地域振興センター	市・地	継続	4	606	606	1,676	【総括と今後の方向付け】 各会場で観劇者のための工夫を凝らした企画を検討し、実施できた。交流会は地域の資源を活かし、劇人への感謝の気持ちと実行委員の慰労を兼ねたアットホームな雰囲気を実施された。8/8の千代公民館公演では小学生がスタッフとして関わっており、それぞれが責任を持って役割を果たす姿も見られた。次年度も多様な住民による主体的な公演を企画実施していく。	実施内容参照
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	千代地区文化祭	地区費	継続	1	209	209	1,676	11月18日	千代小学校
	目的 一般を対象に、文化に触れる機会づくりと地域の交流を図る	地区費	継続	1	209	209	1,676	【総括と今後の方向付け】 各専門委員会による催しや各種団地による販売コーナーが充実しており文化祭は盛り上がりがあった。一方で会員数の減少により、各種団体の展示や芸能発表数が減少傾向にあり、積極的な支援が必要である。引き続き、いろんな方の活動や想いが交わる文化祭となるよう工夫したい。	千代小学校
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさと講演会	0円	継続	1	68	68	1,676	11月25日	千代公民館
	目的 一般を対象に、千代に関係する講演会を開催し、千代を知る機会とする。	0円	継続	1	68	68	1,676	【総括と今後の方向付け】 地区内の各団体・サークルの活性化に助成制度が役買い、また、団体同士、刺激し合える機会となった。文化委員会で、今の地域の課題を話し合い、それに基づいて内容を決め実施する。	千代公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	人形劇フェスタかんげきバスツアー	地区費	継続	1	46	46	75	8月9日	実施内容参照
	目的 地区内の子どもを対象に、人形劇フェスタを身近に感じる機会とする	地区費	継続	1	46	46	75	【総括と今後の方向付け】 世界人形劇フェスティバルを楽しめる内容となったものの、オーディオックスな人形劇を鑑賞することができなかった。次年度も図書館職員と良く内容を検討し、継続して実施する。	実施内容参照
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	千代峠交流会	市・地	継続	1	34	34	1,676	11月10日	よこね田んぼ ほか
	目的 一般を対象に、山の古道を歩き、自然と歴史に触れる	市・地	継続	1	34	34	1,676	【総括と今後の方向付け】 互いの地域資源について学ぶ機会となっている。今後は資源を学ぶだけでなく、その資源の活用方法などを互いに意見交換できる機会としていきたい。また、木沢地区の人口減少などの影響もあり、南信濃公民館と千代公民館の交流という形態をとっていく。また、千代峠についても文化委員と万古渓谷会を中心に、引き続き整備を進めていく。	よこね田んぼ ほか

千代公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	千代地区成人式	市・地	継続	1	10	10	12	1月13日	千代公民館
文化事業	<p>新成人の希望を反映して実施。 ・地域学習「千代峠交流会」への参加 ・記念写真撮影・芋平獅子舞保存会による祝いの舞披露・開式の辞 ・主催者挨拶・来賓祝辞・来賓紹介・祝電披露 ・なつかしの給食・乾杯・新成人自己紹介・近況報告・恩師よりメッセージ ・飯田市消防団第13分団より・万歳三唱・開式の辞</p> <p>【総括と今後の方向付け】 地域学習では文化委員会主催の「千代峠交流会」に参加し、よこね田んぼ・野池神社・法全禅寺など地域の財産を改めて学ぶとともに、南信濃木沢地区の皆さんと交流し、地域の魅力を学ぶ時間となった。 当日は地域の大人から新成人へ、新成人を地域を守る大人の仲間として認め、迎える旨の言葉を送り、新成人の大人としての自覚を促した。今後は、成人式をきっかけに、地域活動への二歩目を踏み出してもらうような仕掛けをつくっていきたい。</p>	市・地	継続	1	10	10	12	1月13日	千代公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第9回 ワンふらバレー大会	地区費	継続	1	180	180	1,531	5月27日	千代小学校
体育事業	<p>参加チーム：6分館連合から12チーム 優勝：法山B 準優勝：米川B 3位：米川A 若者向けの住民スポーツ交流大会として位置付け、激しいスポーツが難しい方の健康増進、交流事業として開催。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 地区内の若者が多く参加し、地域の若者と大人が競技を通じて交流出来た。継続して実施していく。</p>	地区費	継続	1	180	180	1,531	5月27日	千代小学校
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	千代地区市民運動会	地区費	継続	1	500	500	1,676	10月14日	千代山村広場
体育事業	<p>当初計画：一般種目10、採点種目7 優勝：法山 準優勝：下八 3位：米川・千栄東 人口の減少、高齢化によって区内の選手選考が難しくなっていることから、競技種目を再検討し、「誰でも参加しやすい」内容でプログラムを作成した。 当日は天候不良により種目数を減らし、時間も短くしての開催となった。中学生に1種目、企画から運営まですべてを任せている。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 3年ぶりの開催となり、多少の運営上の問題はあったものの、地区住民が一堂に会して盛り上がる運動会が実施できたことが良かった。時間を短縮したことに対して、住民からは「良かった」という声が多かった。運動会をどのような場にするかを確認しながら、住民のための運動会として内容を検討していきたい。</p>	地区費	継続	1	500	500	1,676	10月14日	千代山村広場
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第5回 囲碁ボール大会	地区費	継続	1	155	155	1,196	1月27日	千代小学校
体育事業	<p>参加チーム：6分館連合から12チーム 優勝：米川B 準優勝：野池B 3位：下八B 高齢者向けの住民スポーツ交流大会として位置付け、激しいスポーツが難しい方の健康増進、交流事業として開催。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 他のスポーツ大会には参加しにくい高齢者向けのスポーツ大会として定着し、高齢者が分館代表選手として地区スポーツ行事に参加する重要な機会となっている。今後も高齢者が主役の体育行事として継続していきたい。</p>	地区費	継続	1	155	155	1,196	1月27日	千代小学校
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報千代の発行	地区費	継続	発行6回	—	—	—	実施内容参照	千代公民館
広報事業	<p>まちづくり委員会の広報紙を兼ねての館報として発行している。 年間発行数：2ヶ月に1回の発行 計6回</p> <p>【総括と今後の方向付け】 委員が取材して書く記事を増やすことができた。特に記念号となる300号では、企画段階で委員がワークショップを行い、個人の興味関心からスタートし地域の課題へ深め、地域課題に迫る特集を記事にした。引き続き、委員が主体的に地域を学ぶび、地域へ投げかける機会として企画発行していく。</p>	地区費	継続	発行6回	—	—	—	実施内容参照	千代公民館

千代公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	ふるさとの便り発送事業	他会計	継続	年6回	—	—	28	館報発行時(2ヶ月に1回)	—
	実施内容	千代地区の出身者に、故郷の情報を館報千代を通じて伝える。ふるさと千代会を通じて購読者の申し込みを受け付けている。							
育成事業	創作教室	市・地	継続	1	32	32	225	11月19日	千栄小学校
	実施内容	講師：(夙作り)関口兼善氏、野田充夫氏、北村勝志氏 (水引体験)林収一氏 参加者：児童28名、保護者4名 計32名 夙作りと水引体験を実施。夙作りは事前に役員が作り方を確認し、当日、講師とともに指導した。水引体験は飯田の地場産業に触れる機会として、木下水引に勤務されている地区の方を講師にお招きし実施したところ、特に女の子に人気だった。							
育成事業	万古渓谷析の木ツア—	市・地	継続	1	57	57	225	6月30日	万古渓谷
	実施内容	講師：万古渓谷会 学校の先生、児童、保護者、役員が「子ども達に地域の自然に親しんでもらいたい。危険もあるので協力して怪我のないように」という意識を共有して取り組んでいる。							
育成事業	第21回千代地区ウォークラリー大会	地区費	継続	1	0	0	1,676	9月15日	米川区
	実施内容	【雨天中止】 講師(予定)：川手重光 ※米川の石観音について千代地区各地の地理や歴史、自然に興味を持ってもらおうとともに問題を協力して解いた。コースを毎年変更して実施しているが、昨年引き続き、雨天中止となった。							
その他	どんぐりの会	0円	継続	132	132	24	1,676	実施内容参照	千代小・千栄小ほか
	実施内容	●千代小学校毎週金曜8:20~8:40 ●千栄小学校：毎週水曜8:15~8:30 ●しゃくなげの郷：毎月第3週14:00~15:00 ●小学校の朝読書の時間に本の読み聞かせを行う。かねてよりあった千代小と婦人学級の結びつき、「地域の子どもと自然と挨拶の出来る関係になりたい」とい「想いと千代小からの提案が結びつき、H20に発足・活動を開始した。							

千代公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	おたんじょうび本プレゼント事業	地区費	継続	24	75	75	75	毎月1回	千代小・千栄小
	実施内容	児童は、誕生日の前の月末までに図書館へいき、36冊のおたんじょうび本のリストの中から好きな本を選び、ほしい本を図書館係へ提出する。本に、どんぐりの会、図書館、公民館からのメッセージスタンプを押し、ラッピングして、誕生日に小学校にてプレゼントする。地域の子どもたちのメディア漬けの状況、図書館利用率の低下、どんぐりの会の活動の各家庭への認知度向上、子ども達が集まれる場がないという課題を解決するための企画。							
その他	千代の人物伝を活用した古道歩き	0円	継続	1	15	15	1,676	9月23日	稲伏戸薬師参道
	実施内容	住民有志による学習グループ「千代の歴史を語る会」が、平成26年から千代の人物の学習を進め、学習のまとめとして、また、更に多くの人に知ってもらうため、1冊の本にまとめた。その本を活用し、米峰から桑阜村の稲伏戸薬師堂までつながる「稲伏戸薬師参道」をテーマに、語る会のメンバーが講師となり、道中の仏像などを学びながら古道歩きを実施した。							
その他	組織検討委員会	地区費	新規	7	56	8	8	6/5~12/17	千代公民館 ほか
	実施内容	メンバー：企画委員長、専門委員会委員長、スポーツ推進委員、館長、主事 検討委員会 5回 電東中学校区(龍江・千代・上久堅)地区公民館情報交換会 2回 人口減少で地区内の役回りの若年化が進むにつれて、役回りが早くなっていることによる「やらされ感」の多い現状を改善するために現状把握と課題整理をおこなった。メンバーで学びあう中で、これからのポイントを「やりがい」「責任感」と整理した。そのポイントで他地区との情報交換をし、意見交換を通じてこれからの在り方を検討した。人員を減らすことで、役回りの早さを軽減するとともに「一人ひとりの責任感とやりがい」を高め、専門委員の関わりを高めしていくこととなった。結果、人員を見直し次年度以降の専門委員会体制を51人から35人へ16人の減員とした。							
その他	総括と今後の方向付け	【総括と今後の方向付け】 これまでの公民館活動を振り返り、そこにどんな意味があったのか、地域にとってどんな役割があるのかを確認する機会となった。結果として人員を整理する形となったが、これまでに以上に公民館活動の質を上げていくために、①委員一人ひとりの責任感の向上、②委員会同士の横のつながりの強化、③専門委員以外の住民の協力を意識し、次年度以降、新体制で専門委員会活動を行っていく。組織検討委員のメンバーの多くが専門委員会に残るので、メンバーと次年度委員長を中心により良い公民館活動を展開していく。							
	実施内容	【総括と今後の方向付け】 今年で4年目の事業となり、定着してきた。図書館が子ども達の居場所としても機能している。スマートフォンの普及など、子ども達がメディア漬けになっている中、今後も本に親しめる環境整備の一環として継続する。							

龍江公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級(0～1歳、2～3歳)	市費	継続	23	297	25	56	年間	龍江公民館
	目的	<p>講師:小本曾嘉子さん(指導者)、西脇保健師(保健指導)</p> <p>保育園入園前の幼児と親を対象に、子どもが心身共に健康でたくましく育つために必要な情報の提供や実践の機会とする。また、親子遊びや集団遊びなどを通して、子どもの社会性や親子の繋がりを育てると共に、親同士の相互交流の場とする。</p> <p>◇0～1歳児グループ 5月～3月まで11回実施。季節ごとの催しを企画。</p> <p>◇2～3歳児グループ 4月～3月まで12回実施。季節の行事や図書館、人形劇鑑賞等様々な活動及び交流を展開。</p>							
学級・講座	食育体験教室(大豆栽培体験)	市・地	継続	4	80	21	21	6/22、11/14、12/18、1/18	龍江小学校
	目的	<p>龍江小学校2年生が大豆の種まきから消費までの工程を体験。</p> <p>講師:前澤隆志さん 協力:JA女性部、鳴海和彦さん</p> <p>保育園児、小学生を対象に、食育の一環として食農体験を行う。食の生産から調理、消費までを体験する機会を提供を図る。</p>							
学級・講座	食育体験教室(季節の野菜づくり)	市・地	継続	6	166	39	39	実施内容に記載	龍江保育園・畑
	目的	<p>講師:前澤 隆志さん、地域の協力者</p> <p>保育園児を対象に食育の一環として食農体験を行う。食育の一環として季節の野菜を育て食農体験を行い、農作業だけでなく収穫物を実際に食する事で食の生産から消費までを体験する機会とする。</p> <p>4/13じやががいも植え、6/6たまねぎ収穫・さつまいも植え、7/3じやががいも収穫、9/11大根種まき、10/19さつまいも収穫、11/22大根収穫・たまねぎ植え</p>							
学級・講座	図書館お楽しみ会	地区費	継続	3	100	2,826	2,826	実施内容に記載	龍江公民館
	目的	<p>①作るお楽しみ会 6/30</p> <p>②クリスマス会 12/1</p> <p>③春のお楽しみ会 3/2</p> <p>子ども達を中心に本に親しんでもらう為に実施。各種イベントを設け図書館利用を促進。</p>							

龍江公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	和紙作り	市・地	継続	4	79	24	24	1/25、1/26、1/30、2/8	龍江小学校
	実施内容	<p>龍江で紙漉が行われなくなってきた40年程が経過する。農家にとって冬の紙漉は大事な収入源であったが、時代の変化と共に昭和48年をもって龍江で紙漉を行う家は無くなってしまった。今一度、「和紙の里龍江」を継承するために子供達に紙漉体験を行う。 講師：前澤隆志さん</p>							
学級・講座	小学校クラブ活動	市・地	継続	6	400	68	68	6/14、7/12、8/30、10/11、11/2、11/22	龍江小学校
	実施内容	<p>龍江の子ども達に対して、地域と学校が連携して教育活動に関わることににより龍江を愛する心を育む。 講師 ○伝統と文化：前澤隆志さん ○お茶・お花：澤柳美香さん ○陶芸：三輪俊子さん ○郷土料理：JA女性部の皆さん ○今田人形：澤柳太門さん、吉澤健さん</p>							
学級・講座	小学校お助け隊	市・地	継続				124		龍江小学校
	実施内容	<p>龍江の子ども達に対して、地域と学校が連携して教育活動に関わることににより龍江を愛する心を育む。 【総括と今後の方向付け】 学習を通して子どもと地域住民の間に繋がりが増え、両者にとっても良い活動になっている。また、学校の協力により保護者の参加もあり、活動について直に知ってもらうことができた。今後より多くの地域住民の参加を促し地域全体で児童を育てることに取り組んでいきたい。</p>							
学級・講座	ストレッチ体操教室(のびのび元気体操)	市費	継続	1			2,826	3月21日	龍江公民館
	実施内容	<p>講師：村沢由美子氏(健康運動指導士) 一般を対象にストレッチ体操を実施。昼間の時間帯で設定をし中高年の方をターゲットに実施。 【総括と今後の方向付け】 引き続きサークル活動として活発に活動していくきっかけづくりとなった。また自主性も育まれ活発に活動が出来る。今後は更なる参加者が増えることを望む。</p>							
学級・講座	シェイプアップ体操(しなやかシェイプアップ体操)	市費	継続	1			2,826	3月28日	龍江公民館
	実施内容	<p>講師：片桐みどり氏(健康運動指導士) 一般を対象にエアロビクス体操を実施。夜間の時間帯で設定をしより参加しやすい環境で実施。 【総括と今後の方向付け】 引き続きサークル活動として活発に活動していくきっかけづくりとなった。また自主性も育まれ活発に活動が出来る。今後は更なる参加者が増えることを望む。</p>							

龍江公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	郷土を学ぶ講演会	市費	継続	1	30	30	2,826	11月16日	龍江公民館
	実施内容	<p>講師：大原千和喜氏 演題：郷土の美しい自然は先人からの贈りもの 一川が育てたふるさとの生活の中から――</p> <p>【総括と今後の方向付け】 天竜川を起点として当時のふるさとの生活を、先生が昔の写真や文章を交えながら解説した。笑いを交えつつ、わかりやすく説明していただいたため、参加者からも評価も良かった。</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいた人形劇フェスタ 龍江地区公演	他会計	継続	6	600			実施内容に記載	同左
	実施内容	<p>地区内の様々な場所で上演を行うことで、より多くの地区民が人形劇に触れフェスタを盛り上げることを目的として実施する。 本館公演以外の運営は分館と保育園保護者会が行い、フェスタへ参加、劇人との交流等、取組みを行う。 ◇上演会場：龍江公民館(8/10)、龍江保育園(8/9)、龍江1区公民館(8/4)、龍江3区公民館(8/4) 龍江4区公民館(8/5) 今田人形の館(8/12)</p> <p>【総括と今後の方向付け】 今年度も劇人の受入段階から各会場(分館役員)で主体的に運営し、フェスタに積極的に取り組むことができた。 今後は、分館が主体的に取り組める企画を検討できるように働きかけをしていきたい。</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	龍江地区文化祭・芸能祭	市・地	継続	1			2,826	11月4日	龍江公民館
	実施内容	<p>各種団体グループの展示や活動成果の発表の機会として実施。 文化祭を子供や一般の方々の方々の様々な体験学習の場と捉え、地域づくり委員会の他の委員会とも連携した取り組みを行った。また、初めての試みとして地元企業へ勤める外国籍の方と、地区住民の交流の場(多文化交流)を企画。他委員会と連携を図り、地区全体のお祭りがない龍江地区の子供達にとって思い出となる内容を取り入れ実施。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 芸能祭は小学校や中学校のクラブから高齢者まで幅広い世代が出演するバラエティ豊かなものとなり、賑やかな芸能祭となった。文化展示では保育園小学校の作品展示が多くを占め、サークルの作品は減少しているが、今後は児童作品も減少することが予想される。また、多文化交流企画では、参加者は多く集まったが意図するところが見えにくいものであった。今後、各種団体の成果披露の場として、より賑わいのある文化祭になるように検討したい。</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	人形劇フェスタ観劇バスツアー	他会計	継続	1	49	49	124	8月3日	文化会館・美術博物館
	実施内容	<p>平日の本部公演など親と行かなければ観ることのないフェスタを観てもらったため、小学校児童を対象として、平日のホールで行われる人形劇の観劇ツアーを実施し、飯田の人形劇の祭典であるフェスタの雰囲気に触れる機会とする。 ◆飯田文化会館 ①オーブニングセレモニー てんぐとかっぱのかみなりどん(人形劇団とむならん) ②べろべろばあさま 他(人形劇団あ・い) ◆美術博物館 展示見学、プラネタリウム</p> <p>【総括と今後の方向付け】 取り組みとして定着しているということもあり、多くの参加があった。当日は文化会館の大きなホールでもオーブニングを鑑賞し、大変喜んでいるようすが伺えた。また、プラネタリウムでも子ども向けの内容であったこともあり、懸念していたふざげの子も出ず、しっかりと観賞することができていた。 人気のある企画なので今後も続けていきたいが、目的について見直し、より良い取り組みにしていきたい。</p>							

龍江公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	パタンク大会	市・地	継続	1	60	46	2,826	4月22日	今田平農村広場
体育事業	実施内容 一般を対象に、年齢や性別に関係なく誰でも楽しむことのできるパタンクの普及と分館・常会内の結びつきを強めることを目的として実施。 天龍峡八重樫街道「さくら祭り」の中で実施。年齢や性別に関係なく誰でも楽しむことのできるパタンクの普及と分館・常会内の結びつきを強めることを目的として実施する。 今後も地域のさくら祭りと同時開催し、地域全体を巻き込んで盛り上げていく。また地区常会に参加を呼びかけて実施。	市・地	継続	1	60	46	2,826	4月22日	今田平農村広場
区分	地区市民運動会	市・地	継続	1	1,000	688	2,826	10月7日	龍江小学校グラウンド
体育事業	実施内容 地区住民を対象に、住民の体力増進と住民のコミュニケーションの場とする。 地区住民全員参加(選手・観客・運営)による運動会をめぐす。 住民の体力増進と住民のコミュニケーションの場とし、地域の繋がりを確認する場とする。また、運動会への運営・参加により地区の結びつきを深め、地区の活性化を目的とする。	市・地	継続	1	1,000	688	2,826	10月7日	龍江小学校グラウンド
区分	龍江絆駅伝	市・地	継続	1	350	208	2,826	12月2日	今田平農村広場
体育事業	実施内容 地区内外住民を対象に、体力増進とコミュニケーションの場とする。 また、地域の交流と団結により、地域の活性化や地域づくりにつなげる目的も持たせる事業として実施。 ◆参加チーム総数26チーム ○小学生の部:5チーム(龍江小) ○中学生(男・女)の部:12チーム(竜峡、竜東) ○一般の部:9チーム(常会、教職員、消防団、サークル他)	市・地	継続	1	350	208	2,826	12月2日	今田平農村広場
区分	ふるさと探検	市・地	継続	1			2,826	7月7日	龍江(2区)
育成事業	実施内容 保育園、小学生と親を対象に、ふるさと龍江に愛着と誇りを持つため地域について学習し理解を深める機会とする。 地区内の旧跡や自然・文化を歩いて巡り、龍江の歴史・文化を学ぶことにより、ふるさと再発見と地区への愛着を高める機会とする。また、親子や他の家族との交流のきっかけとする。講師は地元方へ依頼。 ◆本年度コース 2区「歴史と語る幸めぐりコース」 今田平農村広場 → 今田人形の館(体験) → 紅雲寺 → 羽入田地蔵堂 → 龍江公民館(休憩) → 大ひのき → ハンバ古墳 → 毘沙門堂 → 大宮八幡宮	市・地	継続	1			2,826	7月7日	龍江(2区)

龍江公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	百人一首大会・龍江かるた会	市・地	継続	1	60	45	2,826	2月16日	龍江公民館
	<p>実施内容 百人一首大会は日本文化に触れる機会とし、龍江かるた会は地区の文化・歴史・史跡を題材にした「龍江かるた」から地区を学ぶ機会とする。また、両大会とも学年対抗とせず、低学年・中学年・高学年に分けて行うことで異年齢の児童がふれあう場とする。</p> <p>百人一首大会：26回目 / 龍江かるた会：23回目</p> <p>評価</p>								
育成事業	水辺の楽校魚釣りつかみ取り大会	地区費	継続	1	140	140	2,826	9月8日	龍江水辺の楽校
	<p>実施内容 保育園児、小学生と親、地区住民を対象に、親子団らん場の提供、自然を大切にすることを育む機会として実施。</p> <p>目的</p>	<p>小学校PTAと下伊那漁業共同組合、総合学習館かわらんべと合同で実施。第一部は魚釣り大会を開催し、第二部は魚のつかみ取り大会を行った。</p> <p>評価</p>							
育成事業	アップルキッズの森	市・地	継続	4	434	108	124	4/27、5/23、10/23、11/30	学校りんご園
	<p>実施内容 小学校児童を対象に、りんごの生産を通して、食育機会や地区の産業を知る機会とする</p> <p>目的</p>	<p>小学校で所有する「アップルキッズの森」の活動を通して、地域の産業や地域協力者との交流を図る</p> <p>評価</p>							
広報事業	龍江新聞	地区費	継続				2,826		
	<p>実施内容 公民館事業に限らず地域の様々な情報や地域の抱える問題を取り上げ、住民が地域を関心するきっかけづくりを目的として実施。</p> <p>目的</p>	<p>公民館事業に限らず地域の様々な情報や地域の抱える問題を取り上げ、住民が地域を関心するきっかけづくりを目的として実施。</p> <p>公民館行事の広報に留まらず、保育園、小、中学校、地域自治組織など龍江全体の行事を取り上げ地域の新聞としての役割を果たしている。昭和24年8月に第1号が発刊され地区の記録としての役割も果たしていく。</p> <p>評価</p>							

龍江公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	龍江ホームページ運営	地区費	継続						龍江公民館
広報事業	実施内容 公民館事業に限らず住民が地域を考えるきっかけづくりを目的とした実施。	地区費	継続						
	龍江地区内における情報の発信。(アドレス:tature.jp) 情報は随時発信。								
	【総括と今後の方向付け】 有志運営委員によって、地域で頑張っている人を取り上げたり、直接取材するなど意欲的に活動することができた。 今後は組織として正式に活動することになるため、委員の募集をはかり、企画の評価に努めたい。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	武田信玄狼煙リレー	地区費	継続	1	26	26	2,826	8月25日	龍江(兔城跡)
	講師：沢柳 徳次さん、吉澤 健さん 飯田下伊那から諏訪までつながる武田信玄の濾紙リレーに参加し先人の文化を感じる。 兔城跡にて狼煙や武田信玄、兔城跡についての概要説明を行ってもらう。								
その他	実施内容 かつて情報伝達として用いられた狼煙を通じ、先人の文化を学ぶと共に地域を考える機会とする。								
	【総括と今後の方向付け】 県外や市外、市内でも多数の地区で同時に行っている事業であるが、狼煙をあげること以外が地区に任されていることもあり、主催側の意図が見えづらく感じられる。 今年も昨年のように地区の歴史を学ぶ企画を行ったが、一般の参加者が極端に少ない。今後継続して活動していくためには、地域全体で考えていく必要がある。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	龍江地区成人式	他会計	継続	1				1月13日	龍江公民館
	新成人に自分が生まれ育った地域を改めて振り返り、感謝する場として位置づけ、地域全体で新成人をお祝いすることを目的として実施。開催にあたっては、新成人が自ら作り上げる成人式を目指して、龍江在住の新成人該当者3名が主体となって企画・立案し当日の運営も行った。 地域学習：龍江かるた								
その他	実施内容 龍江地区在住の新成人を対象に、自分の生まれ育った地域を改めて振り返り、感謝する場として位置づけ実施。								
	【総括と今後の方向付け】 来賓や役員との交流につながる機会を設けている一方、親族が祝うという場面が少ない。今後は、実行委員だけでなく地域づくり委員会(公民館)との検討の場を積極的に設け、式では新成人の身内がもっと参加できるようにしていきたい。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	「ふるさとのたからもの」CD制作	地区費	新規				2,826		
	平成28年度の龍江小学校4年生の児童の作った歌である「ふるさとのたからもの」を、その児童が卒業する今年に併せてCD化し、卒業式で配布。また、龍江の児童の作った「龍江」を歌ったこの歌を通して地域に親しみを持ってもらうことを願って、地区内各戸へ配布する。								
その他	実施内容 龍江地区住民の誰もが親しみをもって口ずさむことの出来る歌にすることを目的として実施。								
	【総括と今後の方向付け】 これまでも地区の事業等で歌ってきたこの歌を、今後、まだ知らない地区住民の皆さんに知ってもらい、「龍江の歌」として親しまれるようにアプロローチしていきたい。								

竜丘公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	大人の学校	市・地	継続	10	985	115	2,410	通年	竜丘公民館
	実施内容	<p>運営委員中心にして、月1回の定例講座を開催する。テーマについては、生活を取り巻く様々な課題を取り上げる。クラブ活動など必要な生涯学習の支援を行う。</p> <p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>60才以上の方が自主的に企画から全てをやっており、地域の力の向上に對して大変寄与している。しかし、高齢化や会員減少が進んでおり、声掛けに尽力しているが、なかなか入っていただけいない課題がある。</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	中国帰国者支援事業「友好会」(日本語教室)	市・地	継続	47	280	9	305	通年(週1回)	竜丘公民館
	実施内容	<p>講師を中心に、週1回のペースで日本語教室を開き、地域で暮らす仲間として互いの生活習慣や考え方を学びあう。</p> <p>また月1回、日本語新聞を発行し、地域への情報を発信、帰国者への情報伝達を行う。</p> <p>講師：(故)榎野武司、西川和憲、善本勝、片町國臣</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0歳児学級	市・地	継続	6	88	22	48	10/25～3/22	竜丘公民館他
	実施内容	<p>乳児の成長発達や育児法、離乳食などについて学習する。</p> <p>育児相談、情報相談の場とする。</p> <p>育児法、子どもの接し方等について学ぶ。</p> <p>親の個人相談等保健師に依頼する。</p> <p>栄養士に離乳食相談をお願いする。</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	1歳児学級	市・地	継続	12	384	48	106	5/12～3/9	竜丘公民館他
	実施内容	<p>乳児の成長発達や育児法などについて学習する。</p> <p>育児相談、情報相談の場とする。</p> <p>講師に保健師、保育士等をお願いし育児法、子どもの接し方等について学ぶ。</p> <p>親の個人相談等保健師に依頼する。</p> <p>福祉健康委員に支援に入ってもらうことで、相談し合える関係を構築する。</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	2歳3歳児学級	市・地	継続	12	112	14	114	5/10～3/16	竜丘公民館他
	実施内容	<p>講師に保健師、保育士等をお願いし、乳児の成長発達や育児法などについて学習すると共に、親の個人相談等を保健師に依頼する。</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	0・1歳児同様、育児の悩みを相談したり、子育てについて学ぶ機会であると同時に、母親同士がつながり作りの機会になっている。子どもが体を動かしたり、遊ぶことがメインとなってくるが、保健課としては遊び中心の学級運営に疑問も感じている。母親による自主運営を目指すとともに、公民館、また市が関わる意義のある学級を模索していく必要がある。	市・地	継続	12	112	14	114	5/10～3/16	竜丘公民館他
	実施内容	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>0・1歳児同様、育児の悩みを相談したり、子育てについて学ぶ機会であると同時に、母親同士がつながり作りの機会になっている。子どもが体を動かしたり、遊ぶことがメインとなってくるが、保健課としては遊び中心の学級運営に疑問も感じている。母親による自主運営を目指すとともに、公民館、また市が関わる意義のある学級を模索していく必要がある。</p>							

竜丘公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	家庭教育講演会	市費	継続	1	36	36	268	11月27日	竜丘公民館
	目的	<p>【総括と今後の方向付け】 竜丘保育園との合同で開催。園児やその保護者、未就園児の親子に人形劇を観劇することで、異年齢交流や人形劇のまちづくりにつながる機会となった。観劇後の講演は内容やタイミングを検討するなど充実させ、今後も家庭教育事業を継続していく必要がある。</p>							
文化事業	竜丘市民大学講座	市・地	継続	3	75	75	6,851	6/23、9/9、2/16	竜丘公民館
	目的	<p>【総括と今後の方向付け】 竜丘を学び今後の地域づくりに生かしていくことを目的に開催。竜丘の自然や文化、歴史の掘り起こしと将来展望を学習する。 第1講 天竜川驚流峡復活プロジェクト 講師：曾根原宗夫、瀬原智章 第2講 民俗資料保存委員会 講師：下平隆司、今村文一 第3講 古墳にまつわる素朴な疑問 講師：小林正春、下平隆司、今村文一</p>							
文化事業	ふるさとコンサート	市・地	継続	1	130	130	6,851	7月16日	竜丘公民館
	目的	<p>【総括と今後の方向付け】 新日本フィルによる演奏が行われた。一流の音楽に間近で触れられる良い機会であった。 竜丘小学校PTAと連携をとり開催している。 竜丘コーラスによるフェルカムコンサートと、野楽路の方々々に協力していただき交流会を開催。</p>							
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2018竜丘地区公演	他会計	継続	10	1,361	1,361	6,851	8/3～8/12	竜丘公民館他
	目的	<p>【総括と今後の方向付け】 本館公演と各分館での公演を実施。 本館公演では観劇者も劇人もスタッフも楽しめる公演を目指して実施する。 各分館では交流会を実施し、劇人との交流を通して「人形劇のまち飯田」を知り、その意味を考えられる機会となった。</p>							
文化事業	竜丘地区文化祭	地区費	継続	1	1,000	1,000	6,851	11/10～11	竜丘公民館他
	目的	<p>【総括と今後の方向付け】 各分館の展示ブースについては、各分館が独自色を出して、調査・研究結果を発表していた。改めて地域を学ぶ機会になっている。特別企画展では、竜丘出身色色三人展とし、遠方からも多くの方が詰めかけ大賑わいとなった。</p>							

竜丘公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	竜丘地区成人式	市・地	継続	1	154	154	83	1月13日	竜丘公民館
文化事業	実施内容								
	目的								
	<p>(1) 地域を担う若者たちのためへの理解を深めるとともに、地域団体による太鼓演奏、料理、花火など、地域を地域をあげて新成人を祝福し激励する。</p> <p>(2) 新成人自身が社会的自覚を持ち、また地域に対する理解と愛着を持てるための場、懇談の場とする。</p> <p>(3) 実行委員会を組織し、新成人自ら企画運営に携わり、成人式を通じて、地域を知り、地域へ参画する第一歩となることを期待して行う。</p>								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ニューイヤークンサート	地区費	継続	1	500	500	6,851	1月20日	竜丘公民館
文化事業	実施内容								
	目的								
	<p>(1) 大人から子どもまで楽しめる身近な催しとして計画する。</p> <p>(2) 音楽をベースにした新年の交流の場とする。</p> <p>(3) 竜丘在住のメンバーを中心とした音楽グループに呼びかける。</p>								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	夏季スポーツ大会	地区費	継続	1	150	150	6,851	5月20日	竜丘小学校校庭
体育事業	実施内容								
	目的								
	<p>スポーツを通じて、地域住民の親睦交流と、健康の維持増進を図り、活力ある地域づくりにつなげる。</p> <p>今年度は、昨年に引き続きクワツを採用。コートも2面から4面に増やして実施し、ニュースポーツの推進を図った。</p>								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	竜丘市民運動会	地区費	継続	1	900	900	6,581	10月7日	開催会場
体育事業	実施内容								
	目的								
	<p>(1) 大会、練習で多くの地区住民が集い、親睦、交流を図る機会とする。</p> <p>(2) 誰もが参加でき、楽しめるよう種目内容を工夫する。</p> <p>(3) 大会運営をスムーズに行い、時間どおりの進行に努める。</p> <p>(4) 分館対抗の競技性も大事だが、親睦交流の場であることを意識して企画運営を行う。</p> <p>・昨年度、地域人教育の一環で高校生が提案した住民の交流を目的とした種目を、実行委員会で引き継ぎ実施した。(今年度の高校生は、賞品づくりで関わった)</p>								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	冬季スポーツフェスティバル	地区費	継続	1	180	180	6,851	12月9日	竜丘小、竜丘公民館
体育事業	実施内容								
	目的								
	<p>多くの方に気軽に参加してもらえよう種目の種目を取り入れ、子どもから大人までスポーツを通して交流を深める。</p> <p>ニュースポーツを取り入れる。</p> <p>ファンバウンドふらばーるバレー、囲碁ボール、スポーツ吹き矢</p>								

竜丘公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報たつおか発行	地区費	継続	5	11,000	2,200	2,200	通年	竜丘公民館
	実施内容	<p>紙面を通じて、地域の現状を伝達するとともに、記録としての役割を果たす。 また、地域課題・生活課題について問題提起を行う。 ・読みやすく親しまれる館報づくり ・館報「たつおか」J344号～348号の発行 ・竜丘地域自治会のHIPを活用した広報活動を推進</p>							
民俗資料保存	民俗資料保存事業	地区費	継続	3	150	150	6,851	通年	竜丘公民館他
	実施内容	<p>竜丘独自の委員会である民俗資料保存委員会が中心となり、地域の民俗資料の収集、整理、保存にあたる。地域の有形・無形の民俗資料を後世に伝えるための収集・保存活動を行うとともに、それらを広く公開していく。 ・民俗資料館の維持管理及び資料館の今後についての検討 ・収蔵品の虫干し ・竜丘自由画保存顕彰委員会への参画</p>							
育成事業	川で遊ぼう	地区費	継続	1	86	86	386	8月26日	久米川
	実施内容	<p>企画委員会、PTAと共催事業。 今の子ども達は、昔と比べ過保護な環境下にある。何をやるにしても周りの大人が環境を整える傾向がある。そこで今回は、ありのままの自然環境の中で、あきらめずに頑張ったり、工夫したりしながら魚を捕まえる経験を通して、子どもが本来持っている本能的なものを呼び覚まし、たくまさを育むことをねらう。</p>							
育成事業	竜丘あいさつ運動	地区費	継続	6	200	200	6,851	8月27日ほか	竜丘地区
	実施内容	<p>標語募集・選定、のほり旗作成、あいさつ運動月間の周知、各分館であいさつ運動現地指導 (1) あいさつの大切さを見なおす機会とする (2) 大人と子どもがあいさつを通して安心安全な地域づくりを行う (3) できるだけ多くの団体を連携して実施する (4) 小学校のあいさつ旬間と運動させる。</p>							
育成事業	古墳まつり	地区費	継続	1	200	200	6,851	6月10日	塚原二子塚古墳他
	実施内容	<p>竜丘の誇る文化遺産を会場に、竜丘全体のまつりとして位置づけている。字ひと交流を通して、古墳を広く知ってもらい今後の有効活用、保存活動に繋げていく。 小学生が作った埴輪の野焼き、勾玉作り、火おこし体験、教育委員会による展示、古代食コーナー、埴輪作り体験、富本銭作り、古墳巡り、花の植え付け等。</p>							

竜丘公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	竜丘古墳の会		地区費	継続	20	250	250	6,581	実施内容参照	竜丘地区他
その他	<p>【学習部会】 5/11(金)丘のみちらしるべ探索、6/10(日)クイズラリー、10/21(土)古墳めぐり 【古墳公園推進部会】 竜丘地区を対象に、古墳についての知識の習得と保存活動の機運を高める 実施内容 花法師の会、カタバミの会活動、4/30・5/8地輪づくり指導、文化祭トンボ玉づくり、除草作業3回 【調査広報部会】 各種団体の視察受け入れ(竜丘小丘のみちらしるべ探索、緑ヶ丘中1年、宮下衆議院議員、東京都港区古代史研究会、竜丘歩こう会ほか)</p>								【総括と今後の方向付け】 古墳まつりでは、小学生を対象に恒例となった塚原古墳群のクイズラリーを開催。多くの子どもが話を傾けてくれた。古墳に親しみ、少しでも古墳のことを知ってもらえる機会となった。 全体整備3回、請負整備200時間投入して、いつもきれいな古墳を維持できた。 花法師の会の皆さんにより、サルビアおよびジニアの植栽ができた。 見学受け入れにあたっては、古墳の会役員だけでなく、案内者の養成が必要であり、見学会を実施したがJA祭と日程が重なり参加者は少なかった。	
区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	竜丘児童自由画保存顕彰委員会		地区費	継続	3	75	75	6,581	実施内容参照	竜丘公民館他
その他	<p>小学校と連携し、竜丘に現存している自由画の保存と、その活用方法の研究、地域住民への理解を深めようための活動を行う。併せて自由画の背景にある自由教育の研究について検討する。 ・先生と丘の子サポーターの交流会にて「100周年を迎える竜丘自由画教育」を講演 ・竜丘小にパネル展示コーナー設置</p>								【総括と今後の方向付け】 これまでいただいていた寄付を活用し、竜丘小学校玄関に展示スペースを作成することができた。2019年は竜丘小で開催された第2回全国自由画展覧会から100周年。美博と連携し、自由教育・自由画の顕彰に努める。 館報たつおかへ、広報委員会の協力を得て、毎号自由画の紹介をすることが出来た。	
区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	放課後子ども教室		市・地	継続	34	1,500	55	386	毎週水曜日	竜丘小学校他
その他	<p>地域の人材、資源を活かしたさまざまなスポーツ活動、文化活動、体験活動を取り入れながら、児童が楽しく遊び、学び、触れ合うことを通して、自主性や社会性、創造性を育む。</p>								【総括と今後の方向付け】 子供たちの社会性や想像力を育てる点で、重要な事業である。コミュニティーの一環として、子どもの育ちと地域の関わりを大切にして、メニューの工夫や新たなスタッフ募集など、充実させていく。	
区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	地域人教育		市・地	継続	33	264	8	6,851	実施内容参照	竜丘地区他
その他	<p>飯田OIDE長姫高校商業科「地域人教育」実施(高校・松本大学・市のパートナーシップ協定による) 活動時間:毎週金曜日13:30~15:20 内容:鷲流峡整備、、フラットアップイベントへの参加、運動会種目への賞品づくりと配布</p>								【総括と今後の方向付け】 竜丘地区としては3年目の取り組み。 高校生の生きる力を育むと共に、人材サイクル構築の一環として取り組まれていく。地域にとっても高校生にとってもより豊かな暮らしにつながる機会としたい。	

川路公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	乳幼児学級「すくすく学級」	市・地	継続	12	240	20	80	実施内容参照	川路公民館ほか
学級・講座	<p>講師：塩澤敏子先生(保育士)</p> <p>主任児童委員さんにも協力していただいている。</p> <p>4/17(火)「図書館探検・なかよしゲーム」、5/15(火)「みんなであそぼう・手形型を作ろう」、6/21(木)「消防署にお出かけしよう」、7/23(月)「簡単なおやつを作ろう」、8/28(火)「おはなし会」、9/18(火)「ハンドペインティングで絵を描こう」、10/22(月)「お散歩バッグを作ろう」、11/20(火)「かわらばんにお散歩に行こう」、12/10(月)「クリスマス会」、1/15(火)「わたちやんの獅子舞を見よう(保育園と合同)」、2/27(水)「みんなで遊ぼう・手形足型を作ろう」、3/18(月)「文集作り」</p>	市・地	継続	10	150	15	19	【総括と今後の方向付け】 ウオーキングを主活動としているが、会員が楽しく参加できるように、内容は会員の意見を尊重してその都度決定している。近年、会員の高齢化により長距離のウオーキングが難しくなり、室内での活動が多くなってきた。今後も運動と交流のバランスを考えながら内容を検討していく。	川路公民館ほか
区分	さわやか健康教室	市・地	継続	4	304	76	1,992	【総括と今後の方向付け】 数量的成果(項目名と数値) 【総括と今後の方向付け】 昭和28年から始まり、今年で66回目を迎える川路の伝統行事。地域の課題に即したテーマを公民館文化部で考えて講師を選定。今年「文化・地域づくり」「人権・スポーツ」「人権・教育」「防災」のテーマで4人の講師にお話しいただいた。市民館で開催する市民大学講座との差別化を図るため、夏期大学の講師は地域外の方を招くのが慣例であったが、今年初めて三種出身で高森町在住の熊谷さんを講師としてお願いした。	川路公民館
学級・講座	<p>主催：飯田市民館 主管：川路公民館</p> <p>各界の著名人・第一線で活躍されている方を講師として招き、講座形式で開催。</p> <p>7/20(金)「文化がふるさとをつくる」小島多恵子先生(サントリー文化財団上席研究員)</p> <p>7/23(月)「パラリンピックを夢見て」熊谷昌治先生(平昌パラリンピック・パラアイスホッケー日本代表)</p> <p>7/26(木)「優しさで勇気の育て方～夜回り先生、命の授業～」水谷修先生(水谷青少年問題研究所所長)</p> <p>7/31(火)「防災減災のための心の科学～リスク社会をいかに生きるか～」菊池聡先生(信州大学人文学部教授・信州大学防災減災センター長)</p> <p>※7月26日は社会を明るくする運動飯田市推進委員会と共催</p>	市・地	継続	1	1	1	1,992	【総括と今後の方向付け】 未実施(3月24日開催予定)	かわらんべ
区分	食育・走り方講座	市・地	継続	1	1	1	1,992	3月24日	かわらんべ
学級・講座	<p>主催：川路AC</p> <p>共催：川路公民館</p> <p>協力：まちづくり委員会(教育育成委員会)、トヨヨ一、すきっぷが接骨院</p> <p>講師：平塚潤(元城西大学駅伝部監督) 吉田千穂(管理栄養士)</p>	市・地	継続	1	1	1	1,992	3月24日	かわらんべ

川路公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	歴史文化セミナー	市・地	継続	12	120	10	10	10	実施内容参照	川路公民館ほか
	各種開発事業で地域が変貌する中、後世に残していくべきものを調査・記録・保存する	市・地	継続	12	120	10	10	10	【総括と今後の方向付け】 昨年度発行した「川路の伝説・言い伝え」本を活用した学習がほとんどできなかつた。(6区いきいき教室で読み合わせを行ったのみ)本の活用方法については引き続き検討していく。 また、高齢化が進み、メンバーの減少が進んでいるので新規メンバーをどう増やしていくか、今までの研究成果をどう活用・保存していくかが課題。	川路公民館ほか
学級・講座	歴史文化講座	市費	新規	1	33	33	1,992	1,992	2月23日	川路公民館
	川路地区住民を対象に、地域の歴史を知るところを目的とする	市費	新規	1	33	33	1,992	1,992	2月23日	川路公民館
学級・講座	川路通学合宿	市・地	継続	1	120	120	120	1,992	6月6日～9日	川路公民館ほか
	川路地区内の住民・保護者・教師らが一堂に会し、地域で子どもを育てる環境づくりに向け協働で取り組む	市・地	継続	1	120	120	120	1,992	6月6日～9日	川路公民館ほか
学級・講座	第30回川路の明日を考える研究会	市・地	継続	1	70	70	1,992	1,992	2月3日	川路公民館
	川路地区住民を対象に、今地域で課題となっていることについて意見を交換し、課題の共有化を図る	市・地	継続	1	70	70	70	1,992	2月3日	川路公民館

川路公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	人権教育講座	市費	継続	1	110	110	1,992	11月12日	川路小学校
	目的 小学生を中心とする川路地区住民を対象に、人権意識の啓発を図る	<p>川路小学校と共催。学校の授業時間に実施。</p> <p>テーマ：障がい者の人権について 内容：講演、車イスバスケット体験 講師：前田大介（長野県パラ水泳協会会長） 参加者：小学生（1～6年）小学校の先生（全員）地域の方</p>							
区分	若者講座	地区費	新規	2	51	25	1,992	4月21日、8月12日	川路公民館ほか
学級・講座	目的 川路在住、出身の若者を対象に、地域内でのつながりがづくりを目的とする	<p>有志による実行委員会が主催。若者自身が企画実施するのではなく、40代・50代の先輩4人が若者たちのために企画実施。</p> <p>実行委員長：今村正美 実行委員：長谷部宗宏、大沢いずみ、牧内弥美</p> <p>【第1回】 日時：4月21日（土）18:30～20:30 場所：川路公民館 内容：席決めレクリエーション、しりとり自己紹介、交流会 参加者：21名（うち、若者15名）</p> <p>【第2回】 日時：8月12日（日）17:30～21:00 場所：川路公民館、かぶちゃんカフェテリア 内容：トーク会、バーベキュー 参加者：30名（うち、若者24名）</p>							
	目的 川路地区住民を対象に、身近な場所での音楽に親しんでもらう、子どもたちの成果発表の場になることを目的とする	<p>【総括と今後の方向付け】 昨年度の川路の明日を考える研究会で、20代の若者から若者が集まれる場、機会が欲しいとの要望を受けたのがきっかけで実施。40代、50代の若4名が中心となって計画。2回目の実施の際には1回目に参加した若者2人と実行委員4人が一緒に企画した。</p> <p>1回目の交流の際にはまだ固さが戻られ、同級生同士で固まってしまう感じがあったが、2回目の交流の際は学年を越えて話をしていく様子もあり「知っているが話したことがない」状態から「会えば言葉を交わす」くらいの状態にはなれたのではないかと思う。参加者からは「川路に誰が戻って来ているのか知ることができて良かった」「意外と若い人が川路にいてびっくりした」などの感想があった。</p> <p>実行委員から参加者に対し「同年代のつながりがやれるのが地域の良さ。みんなもやりたいことをやってほしい」という投げかけがあった。実際に経験しないと実感するのは難しいと思うが、少しでも伝わるように努めていきたい。</p> <p>来年度は若者主体の交流会の実施を目指し、中心になりそうな若者と実行委員でしっかりと話し合いながら準備を進めて行く。</p>							
区分	事業名	他会計	新規	1	345	345	1,992	4月30日	小学校、公民館
文化事業	オケストラと友に音楽祭コミュニケーション川路	<p>【総括と今後の方向付け】 2005年にアフィニス夏の音楽祭を受け入れて以来、13年ぶりの開催となった。前回は知っている人が全くない状況だったが、文化部だけでなく、地区内の音楽に関係する団体・個人に実行委員として入っていただいたおかげで、当日はスムーズに運営することができた。一方、年度末～年度始めに計画を決めるので、学校との連絡調整が難しかった。</p> <p>演奏終了後の質問タイムでは目を輝かせながら質問している中学生・高校生、熱心に耳を傾ける小学生の様子があった。子どもたちにとってプロの演奏家と交流できたことは良い刺激になったと思う。</p> <p>交流会では名フィルの方々の素を見ることができ、親近感を持つことができた。クワック音楽に対する堅いイメージが少しは柔らかくなったのではないかと、観客の中には、普段地域の行事には参加しない高校生や若者の姿もあった。また、有志ボランティアスタッフとして中学生や高校生の参加もあった。オケ友公演は今年度限りの事業ではあるが、今後も若者が参画できる事業の組み立てを考えたい。</p>							
	目的 川路地区住民を対象に、身近な場所での音楽に親しんでもらう、子どもたちの成果発表の場になることを目的とする	<p>昨年度の1月に実行委員会を立ち上げ、企画・準備・当日の運営を行った。</p> <p>実行委員長：今村智司（川路公民館長） 副実行委員長：新井真（文化部長） 実行委員：公民館文化部、小学校PTA、天龍峡バンド、地区内有志、小学校金管バンド担当教諭、中学校吹奏楽部担当教諭</p> <p>当日の内容 ・小学校金管バンド、天龍峡バンド合同での歓迎演奏（2曲） ・中学校吹奏楽部による歓迎演奏（1曲） ・名古屋フィルハーモニー交響楽団による金管五重奏 ・小学校金管、中学校吹奏楽部、天龍峡バンド、名フィル全員で演奏（1曲） ・会場みんなで合唱（1曲） ・小中学生から名フィル奏者への質問 ・名フィル奏者とスタッフによる交流会</p>							

川路公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	実施内容参照	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ2018川路地区公演	他会計	継続	5	767	127	1,992	【総括と今後の方向付け】 公民館公演は公民館文化部、小学校公演は小学校PTA、かわらんべ公演は教育協会で川路地区実行委員会を組織する。例年3会場(川路公民館・川路小学校・かわらんべ)での公演だが、今年には世界フェスタに合わせ、新たに保育園でも公演を実施した。また、図書分館による電車ツアーは有料公演ではなく、ワッペン公演を観劇した。		川路公民館ほか
文化事業	より多くの参加者が楽しみなから芸術に親しむことができるようにすることを目的とする							8/3(金)電車ツアー：オーブニングセレモニー、人形劇団どむならん「てんぐとかつぱとかみなりどん」(文化会館) 8/4(土)川路小学校公演：川路小学校3年生天龍「水戸黄門」、人形劇団グルーブ・あ「魔法のぼうき」 8/5(日)かわらんべ公演：人形劇ミックスジュース「おかわりちようだい」、人形劇サークルダックス「わかがえりのみず」、人形劇団ござる「しよじよ寺のたぬきばやし」 8/7(火)川路保育園公演：よろず劇場とんがら「まいごのおまわりさん」 8/9(木)川路公民館公演：人形劇団トロッコ「ゆうひんうさぎとおおかみかぶり」		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
	いいだ人形劇フェスタ2018竜峡中学校区公演	他会計	新規	1	83	83	6,252	8月11日	竜峡中学校体育館	
文化事業	中学校区の住民を対象に、海外人形劇に触れる機会を身近に設ける							【総括と今後の方向付け】 会場係は当日の受け付け、かき氷の提供を行った。3年生を中心に、1・2年生に指示を出しながら協力して準備ができていた。交流会係は日本らしい料理で交流したいとの思いから、巻き寿司やたこ焼きなどを手作りで用意。水引で作った作品のプレゼントも行った。 参加した中学生からは「地区、学年を越えた有志による実行委員会だったので楽しく参加できた」「みんなで話し合っ決めていくのが楽しかった」「台湾の人に言葉が通じることが不安だったけど、ジェスチャーで優しく教えてくれて嬉しかった」などの感想があった。協力して何かを成し遂げる経験、新しいことに挑戦する経験が中学生の自己肯定感につながったのではないかと思う。		
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場	
	川路地区文化祭	地区費	継続	1	400	400	1,992	10月14日	川路小学校	
文化事業	川路地区住民を対象に、グループ・サークルの発表の場、地域のままとまりと親睦(文化的側面)になることを目的とする							【総括と今後の方向付け】 まちづくり委員会関係団体の参加は増えているが、グループ・サークルの参加が減少している。特に芸能発表は7団体の参加のみで、午前中で終了してしまう。文化祭を1つの成果発表の場として捉えてもらえるような、参加呼びかけが必要。文化部の中に文化祭を運営側で経験した人が誰もおらず、前文化部員に聞きたい準備が難しいと感じた。 2年で全ての委員が交代してしまうので、運営ノウハウの蓄積と継承が難しいと感じた。 ニッチローショーにはニッチローの同級生や恩師、高校生などが見に来ていた。地域出身の有名人を身近に見ることで、元気を与えられたのではないかと思う。		

川路公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館対抗ソフトボール大会	地区費	継続	1	120	120	1,992	5月20日	竜峡中学校グラウンド
	目的	<p>川路地区住民を対象に、体を動かす機会を設けるとともに地区内の親睦を深める目的で実施。</p> <p>男性中心の体育事業という位置づけで実施。 8分館は選手が集まらず不参加。 優勝：6分館 準優勝：7分館 3位：3分館</p>							
評価	<p>【総括と今後の方向付け】 普段は地域活動に参加しない方や若者の参加が多くあり、区の中の親睦が深まった良い大会になった。引越してきたばかりの方の姿もあった。特に6分館チームには高校生から20代の若者、50代60代の往年の選手まで幅広い年代の方、30名ほどの姿が見られた。 ただ、昨年に続いて8分館でチームを作る事ができなかった。(分館旅行と消防団の訓練が重なったため)次回は全ての分館が出場できるような調整が必要。</p>								
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	分館対抗バレーボール大会	地区費	継続	1	180	180	1,992	9月9日	竜峡中学校体育館
	目的	<p>川路地区住民を対象に、体を動かす機会を設けるとともに地区内の親睦を深める目的で実施。</p> <p>女性中心の体育事業という位置づけで実施。区によってはメンバーが集まらないため、男性の参加も可としている。 優勝：8分館、準優勝：7分館、3位：6分館</p>							
評価	<p>【総括と今後の方向付け】 今年も中学生、高校生、大学生など10代～20代の参加が多く、今まで区の代表選手として活躍してきた往年の選手たちと交流する様子が見られた。また、新しく引越してきた方々の参加も多々あり、若者や新居者が地域に入るきっかけになっている。 一方、年々参加者が増えている関係でトラブルも増えて来ている。(駐車場、熱中症、休憩スペースなど)また、年間を通して練習する分館も出て来ており、競技性が高まってきている。次年度は「交流」と「競技」のバランスを鑑みながらルールなどを検討していきたい。</p>								
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ニューススポーツ大会	地区費	継続	1	120	120	1,992	1月20日	竜峡中学校体育館
	目的	<p>老若男女年齢問わず楽しめるスポーツとしてワンパウンドふらばーを募集。 を実施。分館対抗ではなく、オープン参加でチームを募集。 当初予定では空きスペースにニューススポーツ(スラックラインなど)を設置する予定だったが、応募チームが例年より多かったため、今年度はワンふらのみ実施。 優勝：くせ者(5分館) 準優勝：K's brothers(クラブチーム) 3位：イクメンズ(小1保護者パパチーム)</p>							
評価	<p>【総括と今後の方向付け】 今年度は昨年を5チームも上回る15チームの応募があったため、急遽3リーグ制とし、ニューススポーツの設置を中止した。新たなチームとして中学1年生とその保護者が龍江・三穂の子も巻き込んで出場してくれた。 年々競技性が高まり、誰でも手軽に楽しめる大会ではなくなってきたので、ワンふらの大会としては残しつつも、別の機会を検討する必要がある。</p>								
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報「かわじ」発行	地区費	継続	4	900部	900部	1,992	実施内容参照	川路地区内
	目的	<p>公民館の事業報告や地域のイベント報告だけでなく、地域課題を取り上げ、親しみやすく、読みやすい「川路の今」を伝える館報作りを目指す。 シリーズ企画「川路発見伝」 7/4(水)館報かわじ第241号発行 9/12(水)館報かわじ第242号発行 12/12(水)館報かわじ第243号発行 3/6(水)館報かわじ第244号発行(まちづくり委員会広報誌「広報かわじ」と合同発行)</p>							
評価	<p>【総括と今後の方向付け】 公民館主催事業を中心に広報部員自らが取材し記事を作成。部員全員が初めて館報づくりということ、当初は前年踏襲の記事・内容・割付けが多かったが、回を重ねるごとに自分たちの工夫を入れていくようになった。 まちづくり委員会の強い要望により、244号は「広報かわじ」との合同発行となった。次年度は単純に合同にするというわけではなく、「広報」と「館報」のあり方を踏まえながら、地域に情報をどうやって発信し、伝えていくかをまちづくり委員会と一緒に考えていきたい。</p>								

川路公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	川路地区成人式	他会計	継続	1	80	80	110	1月13日	川路公民館
その他	<p>実施内容 川路新成人を対象に、自分の生まれ育った地域を知りその良さを発見・再認識する機会となることを目的とし、地域をあげてお祝いする。</p> <p>目的 まちづくり委員会主催、成人式実行委員会主管。企画・運営は公民館企画会議メンバーで行う。「地区をあげてお祝いする成人式」という考えのもと、地区内各団体の長の方にも参列いただき、新成人たちに「地域の一員」であることを実感してもらえようとしている。</p> <p>実施内容 今年度は例年の式典内容に加え、小学校6年生時に歌った森田梅泉さんの「ありがたう」を本人と一緒に歌った。森田さんの登場は新成人には内緒で進められた。</p>								
評価									
【総括と今後の方向付け】 新成人(20歳)、公民館役員(40代～50代)、両親(50代～60代)、まちづくり委員会役員・各種団体の長(60代～70代)が一堂に会する成人式は、世代間の交流ができる貴重な機会となっている。 森田さんのサプライズ登場は、ある一人の親の強い要望と入念な準備により実現させることができた。来年も地域で成人式をやる良さを考えながら、新成人にとつて意味のある成人式を検討していきたい。 また、毎年新成人実行委員を集めるのに苦労するため、今年度初めての取り組みとして、2年後の成人式を見据えて、18歳を対象にしたブチ同級会を3月に開催する予定。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	川路オリンピック	地区費	新規	1	130	130	1,992	11月3日	竜峡中学校
その他	<p>実施内容 川路地区の子ども・若者・子育て世代の親を対象にスポーツによる交流を目的とする</p> <p>目的 みんなで作るスポーツ交流会を開催したいとの思いで実施。有志による実行委員会を4月に立ち上げて企画運営を行った。</p> <p>主催：川路オリンピック実行委員会 委員長：今村正美 協力：川路公民館、まちづくり委員会(教育育成委員会)</p> <p>競技内容 ①30m、60mかけっこ②紙ひこうき飛ばし大会③ミニマラソン④大声選手権⑤サッカー⑥コンビでGO⑦障害物競走⑧全員リレー</p> <p>※参加者全員で慰労会(会場：川路公民館)</p>								
評価									
【総括と今後の方向付け】 川路では地区運動会が2年に1回しかない。H26年より毎年開催に向けた話し合いを行ってきたが、役員の負担感等の問題により未だ実現できていない。そこで、せめて子どもや若者が地域で力を発揮することが出来る場、区や年齢を超えて交流できる場、そして何より自分が楽しめる場がほしいとの思いで実施。 気軽に参加できる大会にしたこと、当日飛び入り参加を前提としたため、景品や時間配分が予想できず、当日はバタバタしてしまつた。しかし、通常の運動会とは異なり、好きで参加している人ばかりであったため、文句や不満は出ず、みんな楽しんで実施できた。 小学生はもちろん中学生、20代・30代の参加者も多く、世代を超えた交流ができ、最終競技の全員リレーは会場にいた人全員を2チームに分けて実施。保育園児から大人まで1つのバトンをつないで走る様子は壮観だった。慰労会にも大勢の参加があった。 次年度以降は運動会の実施の様子等を勘案しながら開催に向けて前向きに検討していく。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	カルタ会	市・地	継続	1	40	40	1,992	1月12日	川路公民館
その他	<p>実施内容 川路地区の子どもを対象に、伝統的な遊びであるカルタを通じ、異年齢の子どもと交流を図る</p> <p>目的 図書館川路分館・教育育成委員会との共催。 ・競技かるた模範演技(講師：関島帆奈美) ・本読み聞かせ ・かるたと百人一首に分かれて試合</p>								
評価									
【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き、競技かるたと普通のカルタを実施。保育園児から中学生、大人までの幅広い年代の参加があった。 競技かるたの模範演技では、姿勢の2人が勢よく札を取る様子を披露していた。子どもだけでなく大人もその迫力に見入っていた。 来年度も幅広い年代の人が楽しめる内容を検討していきたい。									
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	世代間交流事業	地区費	継続	5	200	40	1,992	11月～12月	3・4・5・7・8区公民館
その他	<p>実施内容 川路地区民を対象に、多世代の交流と伝統文化の継承を図る</p> <p>目的 各分館で実施するしめ縄・おやす作り講習会を支援している。各区の高齢者クラブや子ども会と共催で行っており、今年は3・4・5・7・8分館で実施した。(3分館での実施は久しぶり)</p>								
評価									
【総括と今後の方向付け】 分館単位で実施することで、多くの方の参加がある。高齢者の方が持つ経験や技術を次世代に伝える良い機会になっているが、区によっては指導できる高齢者や材料のわがらが減少しているため、継続的に実施できるように協力していきたい。									

三穂公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさとコンサートin三穂	市・地	継続	1	65	65	1,434	7月15日	三穂公民館
	実施内容	子どもから大人まで気軽に鑑賞できるコンサートを開催し、本物の音楽にふれ、文化芸術に対する興味や関心を高める機会として実施。							
文化事業	目的	地区住民を対象に、本物の音楽にふれることで、芸術文化に対する興味関心を高める機会とする							
文化事業	ふるあひ夏祭り	地区費	継続	1	150	150	1,434	8月5日	三穂公民館
	実施内容	公民館をはじめ、まちづくり委員会、図書館三穂分館、小学校、中学生、PTA、社会教育関係団体など多様な主体が参画して実施。							
文化事業	目的	地区住民を対象に、地域の連帯意識を高め、住民同士の交流を図る							
文化事業	三穂文化祭	地区費	継続	1	150	150	1,434	2月3日	三穂公民館・三穂保育園
	実施内容	社会教育団体や保育園、小学校、中学校、地区内関連団体、まちづくり委員会等の活動発表の場として開催する。作品展示や芸能発表、活動の様子の紹介、住民への啓発活動などを実施。また、真陽地区の皆さんの参加などを通じて交流を深める場として実施。							
文化事業	目的	地区住民を対象に、地域の連帯意識を高め、住民同士の交流を図る							
文化事業	ふるさとめぐり三穂	市・地	継続	1	300	100	1,434	10月20日	三穂小学校ほか
	実施内容	ふるさと三穂の自然、歴史、文化を地区内を歩きながら学び、地域への愛着心を育み、同時にウォーキングによる健康増進を図る。一般参加者のほか、小学校は授業の一環として全児童と保護者が参加している。PTAも運営に参加し、親子で一緒に会話をしながら歩いて地区を巡り、親子の絆を深める機会となっている。コースは伊豆木、立石、下瀬、夜明山の4つの中から3コースを使用。各コースで文化委員がクイズを出題するなどし、楽しみながら地域を学べるようにしている。また、施設、史跡等の見学ポイントでは、地域の方に講師・解説をしていただいた。							
文化事業	目的	住民、小学生を対象に、三穂の歴史や文化、自然を学ぶことで地域を知り、愛する心を醸成するとともに、ウォーキングによる健康増進の機会とする							
体育事業	お盆ソフトボール大会	地区費	継続	1	150	150	1,434	8月15日	三日市場運動場
	実施内容	体育委員会で要項の検討を行い、参加チームを募集。組合チームと、三穂クラブ(シルバーソフト)の計10チームが参加し、トーナメント方式で試合を行った。お盆で帰省している若者も参加しやすいように、正式なルールよりも参加しやすいルールとして行った。							
体育事業	目的	地区住民や帰省者を対象に、ソフトボールを通して運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の交流を図る							

三穂公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ワンバウンドふらば～るバレー大会	地区費	継続	1	65	65	1,434	1月27日	三穂小学校体育館
	目的 地区住民を対象に、ワンバウンドふらば～るバレーを通して、運動不足の解消、健康の増進と、住民同士の親睦を図る							【総括と今後の方向付け】 大会の開催を継続することで、地区内へもニュースポーツを通じての交流や多世代の交流ができてきた。今後も、大会を通しての普及を進めること、地区住民同士の交流につなげることで、より多くの組合に参加してもらえよう、体育委員会で検討しながら実施していきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	三穂市民運動会	地区費	継続	1	700	700	1,434	10月14日	三穂小学校校庭
体育事業	目的 地区住民を対象に地域連帯意識を養うと共に健康への感心を高め、住民相互の親睦を図る							【総括と今後の方向付け】 4年ぶりに開催した、地域の一大行事として行い、子どもからお年寄りまで多くの地区民が一堂に会して同じ空間を共有することで、三穂地区の連帯意識を育み、地域の元気を発信する場となっている。組合対抗で実施することにより、生活集落でやる組合内の団結も高まる。家族の絆、地域の絆を確認し、高めていくために重要な事業である。チームによる対抗種目もあり、参加者からは普段一緒にやることの少ない組合と協力でき、楽しかったとの声もあつた。今後も、多くの人が参加しやすい運動会をめざし、検討を行っていく。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ニュースポーツ大会	地区費	継続	1	53	53	1,434	6月18日	三穂小学校体育館
体育事業	目的 地区住民を対象にニュースポーツを通じて冬季の運動不足解消、身体を動かすことの楽しさを実感してもらい、住民同士の親睦、交流を図る							【総括と今後の方向付け】 家族や組合の仲間と気軽に参加できるニュースポーツの大会を開催している。種目は、天候に左右されず、屋内で行える囲碁ボールを行い、親睦を深めつつ競技できた。少人数でも参加できるよう2人からチームを組めるようにしているが、参加の組合もあるため、今後は、より多くの組合に参加してもらえよう、検討しながら実施していきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	体育施設整備作業	地区費	継続	1	25	25	30	4月22日・3月26日	三穂小学校体育館
体育事業	目的 地区内の体育関係施設を対象に、整備、維持管理を行い体育振興につなげる							【総括と今後の方向付け】 地区民が利用する体育施設を、地域で整備、維持作業を行い、地域のスポーツの発展につなげたいとの思いから、体育委員会が主導して行っている。今後も関係団体と協力しながら取り組んでいきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	三穂地区ホームページ・ブログの更新	0円	継続		8	8	1,434	通年	-
広報事業	目的 地区住民、一般市民を対象に地区の新鮮な話題を発信し、関心を高めてもらおうことを目的に行う。							【総括と今後の方向付け】 館報には掲載されない地域の話題なども投稿し、住民の地域への関心を高めるとともに、遠方の三穂出身者や一般市民に対する情報発信やPRの場としている。更新者が少なく、より多くの更新を行うために地区住民を巻き込んでいく必要があ	

三穂公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報「みほ」の発行	地区費	継続	6	144	8	1,434	通年	三穂公民館
広報事業	<p>2ヶ月に1回発行。地区内各戸への配布のほか、希望する三穂出身者へも送付。</p> <p>第255号 5/31 平成30年度活動方針・まちづくり委員会総会 ほか</p> <p>第256号 8/1 ふるさとコンサート・市政懇談会 ほか</p> <p>第257号 10/12 ふれあい夏祭り・防災訓練 ほか</p> <p>第258号 11/30 運動会・ふるさとめぐり三穂 ほか</p> <p>第259号 1/31 成人式・新春放談会 ほか</p> <p>第260号 3/31 文化祭・各委員会活動反省 ほか</p>	地区費	継続	6	144	8	1,434	通年	三穂公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	新春放談会	地区費	継続	1	8	8	95	1月13日	三穂公民館
広報事業	<p>三穂在住の年男、年女の皆さんを対象に、新年に開催している。対象者に通知して参加募集し、昭和46年生まれの参加があった。自らの今年の抱負、地域の将来への思いなどについて語り合う機会とした。広報委員が準備および進行を担当し、参加。</p>	地区費	継続	1	8	8	95	1月13日	三穂公民館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ほっとけない楽習会	市・地	継続	3	93	31	1,434	実施内容参照	実施内容参照
女性委員会	<p>地区住民を対象に普段感じている不安や心配事、興味、関心事など、大切と思っ出している不安や心配事、興味、関心事を、女性性の視点、生活者の視点で取り上げ、地域全体で課題の共有を図る</p>	市・地	継続	3	93	31	1,434	実施内容参照	実施内容参照
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	女性交流スポーツ大会	地区費	継続	1	80	80	750	9月30日	三穂小学校校体育館
女性委員会	<p>女性委員会で要項を検討し、委員が中心となって組合毎にチームを編成、トーナメント戦を行った。11の組合から14チームが参加。種目はトリムポールを使用したソフトバレーボール。女性だけが参加対象のスポーツ大会は地区内では他になく、地区内の女性の交流と親睦を目的として開催。</p> <p>優勝：第2組合A 準優勝：第13組合A 第3位：第5組合、第6組合A</p>	地区費	継続	1	80	80	750	9月30日	三穂小学校校体育館
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	公民館委員研修視察旅行	地区費	継続	1	6	6	52	1月19日～1月20日	神戸真陽地区
企画事業	<p>公民館委員を対象に、チームを持って視察を行う、地域づくりに生かせる事例の学習や、新たな課題の発見の機会とする。</p>	地区費	継続	1	6	6	52	1月19日～1月20日	神戸真陽地区

三穂公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	三穂地区成人式		市・地	1	33	33	33	1月13日	三穂公民館
その他	<p>新成人を対象に、成人式実行委員会が中心に、公民館委員、まちづくり委員、職員から組織する実行委員会にて計画し実施。 ・成人式実行委員会の開催 ・郷土学習の実施 ・式典の実施 ・竜崎中学校区祝賀会実行委員会への参画</p>		継続						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	小学生農業宿泊体験		市・地	1	18	18	18	9月26日～9月27日	三穂小学校・農家
その他	<p>小学生を対象に、地区内農家での農業体験と宿泊体験を行い、地域の農業について学ぶとともに、家庭での生活を考えるきっかけとする。</p>		継続						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	伊豆木人形の継承(伊豆木人形クラブ)		地区費	20	180	9	1,434	通年	三穂公民館ほか
その他	<p>地区住民を対象に、伊豆木人形の保存、継承を図るとともに、地域の伝統文化への理解を高める。</p>		継続						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	いいだ人形劇フェスタ 観劇バスツアー		市・地	1	25	25	80	8月4日	実施内容参照
その他	<p>小学生を対象に、質の高い人形劇の鑑賞と、市街地の人形劇フェスタの盛り上がり体験する機会とし、人形劇文化への理解を高める機会とする。</p>		継続						

山本公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	モンズクッキング	市費	継続	3	40	13	4,823	8月25日、12月8日、3月9日	山本公民館
	実施内容			目的	男性を対象に、①家庭料理をすることの楽しさを知ってもらうこと、②日常の健康への意識を高めてもらうことを図る	【総括と今後の方向付け】 今年度は参加者がより参加しやすい土曜日の夕方に主に開催し徐々に参加者が定着してきた。参加者は普段自宅で料理を作る方とそうでない方とそれぞれいるが、モンズクッキングの時には回りと協力して料理を作る喜びを感じていただいている。 今後はメニュー等も参加者が中心となって組み立てていけるよう考えていきたい。			
学級・講座	Yamamoto International友の会	市・地	継続	1	5	5	4,823	9月26日	山本公民館
	実施内容			目的	国際ふれあい交流会の外国人代表者が集い、地域在住の外国人と地域住民の交流の場として開催する。 一般を対象に、地域在住の外国人と地域住民の交流を図る。	【総括と今後の方向付け】 山本小学校で行われる花の木オープンスクールの講座の中で「国際交流」の講座を担当した。例年行っている中国の餃子づくりとフィリピンのハンブーダンス体験を企画し、当日1～6年生までの子どもたちと講座を行った。また今年度は各国にまつわるクイズを用意し、子どもたちが楽しみながら多文化に触れる機会となった。今後も引き続き継続していきたい。			
学級・講座	親子deクッキング	市・地	継続	1	19	19	4,823	12月2日	山本公民館
	実施内容			目的	小学生とその親または家族を対象に、①家族間の会話・ふれあい、②親から子への技術・知識の継承、③親の子に對する気づきを図る。	【総括と今後の方向付け】 食改の皆さんを講師に毎年1回開催しており、好評である。特に平日仕事をしていたりなかなか子どもとの時間を取れない親御さんにとって、子どもとの時間を大切にできる機会になったという感想もあり次年度も継続していきたい。			
学級・講座	児童館おやつ作り	市・地	継続	1	40	40	40	3月22日	山本公民館
	実施内容			目的	児童館の児童の、①料理を心を育む、②自分で栄養管理ができることを図る。	【総括と今後の方向付け】 例年開催しているが、あらためて今年度何を目的に開催するか話し合った。子どもたちにとっては毎年地区のおばあさんたちに料理を教えるもらう機会を楽しみにしており、火や包丁を使う貴重な機会である。また講師の食改のみなさんにとっては子どもたちに教えることを通じてやりがいを感じている。今後も三者で目的を共有しながら開催していきたい。			
学級・講座	二ツ山国際サロン	市・地	新規	12	114	10	4,823	毎月1回	二ツ山市営住宅集会所
	実施内容			目的	地区在住外国人を対象に日本の文化や生活について学習したり、生活するうえでの悩みや不安な話をできる場を作ることによって国籍関係なく地域住民がお互いに尊重しあえるようにサロンを開催する。	【総括と今後の方向付け】 今年度地区在住外国人と元々住む日本人が少しずつでもお互いを理解するきっかけになるよう開催した。 1年間通じて開催し参加者同士関係性ができてきてコミュニケーションが活発になってきているので徐々に輪を広げながら継続していきたい。			

山本公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	体力促進会	地区費	継続	1	80	80	4,823	7月22日	杵原多目的ホール
	実施内容	山本公民館体育委員会で参加者を募集して運営を行った。 【総括と今後の方向付け】 例年体力促進会として単独で開催していたが参加者が非常に少なかった。体育委員としては地域住民にとって必要な取り組みだと思っており、今年度は地区の夏祭りの1企画として必ず1度参加してほしいという思いがあり、今年度は地区の夏祭りの1企画として開催した。 今年度参加者が増え、まずは参加者が自分の体力・健康と向き合う機会になった。今後は単独で開催する形がいいのかまた併催した方がいいかも含め検討していきたい。							
体育事業	山本地区市民大運動会	地区費	継続	1	1,000	1,000	4,823	10月21日	杵原広場
	実施内容	主管である体育委員会で種目等を検討し、地域づくり委員会や各種団体とで実行委員会を組織して運営を行った。 【総括と今後の方向付け】 昨年度の地区運動会が雨で中止となり、現体育委員にとっては最初で最後の運動会だったがこれまでの競技をあらためて見直し、老若男女誰もがより参加しやすい運動会を目指して会議を重ねた。 当日は企画した新種目を中心に盛り上がり、また会場に来た小学生が分館旗を持って自発的に応援団をするなど多くの参加者に楽しんでもらえた。							
体育事業	軽スポーツフェスティバル	地区費	継続	1	200	200	4,823	1月27日	山本小学校体育館ほか
	実施内容	○：ワンバウンドふらば〜る大会(11チーム参加) 会場：杵原多目的ホール ○：囲碁ボール大会(12チーム参加) 会場：山本小学校体育館 【総括と今後の方向付け】 昨年度ワンふらから、囲碁ボール、ガラッキーの3種目に変更し好評だったため今年度も引き続き行った。 これまで分館対抗の色が強かった部分があるが、昨年度参加した家族のチームが今年度も参加したり、消防団や日赤、二ツ山サロンのチームで参加するなど多様なまとまりのチームが参加するようになってきている。これからも気軽に参加したいと思える大会として継続していきたい。							
企画事業	山本夏祭り	地区費	継続	1	1,000	1,000	4,823	7月22日	杵原広場
	実施内容	地域づくり委員会や商工会、小中学校など各種団体の長とで実行委員会を組織し、予算や日程などを検討し、企画・運営にあたった。 イベント：竹佐獅子舞、南平獅子舞、大塚太鼓、小学生相撲大会、ジャンケン大会ほか 出店：山本商工会、JA山本支所、杵原学校応援団、箱川五平餅の会、地域づくり婦人会、SYMSほか 【総括と今後の方向付け】 昨年度に引き続き実行委員全員が共通認識を持ってのようになり、「世代をつなぐ」「地域をつなぐ」「山本をつなぐ」といった「つなぐ」にテーマを据えて企画運営にあたった。 山本地区の中でも大きなイベントの一つで大勢の地区住民が集う場であるので来年度もプログラムや日程など協議し大勢の人に参加してもらいたい地区住民同士がつながる場となるよう継続していく。							

山本公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
企画事業	武田信玄狼煙リレー	地区費	継続	1	15	15	4,823	8月25日	城山公園
	目的	公民館企画委員会主催による狼煙組立、打上							
企画事業	実施内容	【総括と今後の方向付け】 今年度主管する企画委員の中でこの事業の意義について検討し、まずは自分たちが楽しめる機会にしようということや、その残り火で食べ物や焼くなどした。 関わる委員からもなぜ公民館でこの事業を行うのかという声もあるが、狼煙会全体で実施している事業ということもあり、山本地区のみでやるやらないの判断をするのが難しい部分がある。 今後は山本地区づくり委員会の部会とも協力しながら検討していきたい。							
	目的	【総括と今後の方向付け】 伊賀良地区は、旭ヶ丘中学校区であり、互いの公民館委員が交流できることは情報交換でき、公民館委員全体の士気が高まるいい機会であった。スポーツを通じて交流できるいい機会であるので、日程を調整しながら来年度も検討していきたい。							
企画事業	山本地区区成人式	他会計	継続	1	46	46	74	1月13日	山本公民館
	目的	【総括と今後の方向付け】 今年度実行委員を務めてくれた子たちが成人式後の地区の軽スポーツフェスティバルに参加するなど成人式が地域とつながるきっかけになったという様子が見られた。 今後成人年齢の引き下げがどう影響するか地域のみなさんと話をしながら成人式の在り方についても検討していきたい。							
その他	枡原広場整備作業	地区費	継続	4	82	82	4,823	5月20日、7月8日、10月7日	枡原広場
	目的	【総括と今後の方向付け】 組合長の皆さんに協力いただき毎回早くから多くの地区住民に参加してもらい清掃を行うことができた。 山本の象徴である枡原広場を自分たちで整備するというサイクルができており、今後も継続していきたい。							
その他	山本公民館清掃	地区費	継続	5	170	34	4,823	5月20日、7月8日、9月9日、11月4日、2月10日	山本公民館
	目的	【総括と今後の方向付け】 今年度も利用団体が定期的に清掃を行い、気持ちよく利用者の方々に公民館を使っていたことができた。 今後も継続していきたい。							

伊賀良公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分 市・地	事業区分 継続	開催回数 37	のべ参加数 780	1回参加・登録数 188	対象数 512	開催期日 通年	開催会場 伊賀良公民館他
学級・講座	乳幼児学級(0歳児、1歳児) 保育園入園前の幼児とその親を対象に、子育てについての学習、親子の情報交換による子育て不安の解消、子どもの健全な育成を図る。	市・地	継続	37	780	188	512	通年	伊賀良公民館他
学級・講座	実施内容 0-1歳児学級を、主に保育士・保健師が中心となって月2回程度実施。(2-3歳児学級はひまわり子ども委員会主催) ・0歳児学級常任講師:塩沢敏子氏(保育士) ・1歳児学級常任講師:伊藤百合子氏(保育士)	市・地	継続	37	780	188	512	通年	伊賀良公民館他
学級・講座	目的 【総括と今後の方向付け】 幼児期の親子の育ちを継続して支援していく。	市・地	継続	37	780	188	512	通年	伊賀良公民館他
区分	事業名	予算区分 市・地	事業区分 継続	開催回数 20	のべ参加数 250	1回参加・登録数 27	対象数 27	開催期日 通年	開催会場 伊賀良公民館他
学級・講座	伊賀良を学ぼう～歴史・文化・自然～ 『伊賀良』に前から住んでいた方も、新しく住み始めた方も、もっと伊賀良を知り、もっと伊賀良を好きになる』を合言葉に、下記3点に取り組み。 ①伊賀良に文化財を！ こま犬、育良神社絵馬、鈴木芙蓉・佐竹蓬平絵画の指定に向けた動き ②次世代へつなげる 子どもを対象とした事業の展開 2/27 小学校4年生を対象とした校歌授業 3/6 小学校6年生を対象とした小学校の歴史、伊賀良の人物など授業 ③ふるさと教材の制作に向けた学習 マップよりもっと広く深い内容を記載し、小学校の副教材に ＜活動内容＞ ・4/26 教材づくりオリエンテーション、伊賀良かるた ・6/11 平和時計と伊賀良の魅力 講師 松島信雄氏 ・8/28 伊賀良の農業の歴史を踏まえて未来を切り開く 講師 熊谷 篤氏 ・9/26 綿半野原積善会とかざこしの里 講師 安田正義氏 ・10/5 伊賀良の産業 木下水引 講師 木下 茂氏 ・11/10～11 伊賀良地区文化祭出展 伊賀良の歴史年表 ・12/26 年中行事と食文化 ・スタッフ会 随時	市・地	継続	20	250	27	27	通年	伊賀良公民館他
学級・講座	目的 伊賀良に住む人たちが、郷土に興味を持ち、愛着が持てることを目指す	市・地	継続	20	250	27	27	通年	伊賀良公民館他
区分	事業名	予算区分 市・地	事業区分 継続	開催回数 6	のべ参加数 170	1回参加・登録数 30	対象数 14,516	開催期日 実施内容参照	開催会場 伊賀良公民館 他
学級・講座	かさまつ大学 平日午後に参加できる伊賀良の方を対象に、2ヶ月に1回程度開催。年会費2000円。参加者の意見を取り入れ、内容を決定している。参加者寄稿による『かさまつ風第13号』を発行。 ①6/30(土)大江磯吉の人間性を目指した教育 講師:平田正宏氏 ②8/24(金)日夏耿之介と伊賀良 講師:織田顕行氏 ③10/25(木)上久堅・天竜峡散策(研修旅行) 講師:長谷部三弘氏 ④12/14(金)誰でもどこでもできるやさしい体操 講師:村澤由美子氏 ⑤1/31(木)心のふるさと歌物語 講師:中島正韶氏 ⑥3/25(月)小学校校歌から伊賀良を学ぶ 講師:新井利彦氏	市・地	継続	6	170	30	14,516	実施内容参照	伊賀良公民館 他
学級・講座	目的 中高年層を対象に、交流・学習の場の提供をし、今まで得てきた知識を相互に交換しあい深め、家族や地域へ伝え広めながら自らの健康維持にも繋げる機会とする	市・地	継続	6	170	30	14,516	実施内容参照	伊賀良公民館 他

伊賀良公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	伊賀良みらいセミナー準備会	市・地	継続	10	40	5	5	通年	伊賀良公民館 他
	<p>平成29年度より立ち上げた、伊賀良みらいセミナー準備会を継続し、自身や地域の課題について考え、学習テーマを定める。講義、調査活動など参加者が企画し進めていく。</p> <p>①月1回程度集まって、関心を出し合う・雑談をする</p> <p>・農家の高齢化と顧客の高齢化が進んでいる。若い世代へのアプローチが必要。</p> <p>・遊休農地が増えてきてもっていない。</p> <p>②学習会</p> <p>・飯田市の遊休農地対策、担い手確保策</p> <p>・視野を広げて考えてみる…“農業”とは何か。③体験活動、調査活動</p> <p>③各種活動</p> <p>・“農”に触れてもらえる経験→児童を対象に、花育ワークショップ(8月)</p> <p>・顧客の高齢化が進んでいるため、若い人へのアプローチを考えたい。</p> <p>まずは若い世代に、自分がつくっている果物がどのような受け止められるか探りたい。→尾崎市のたばな祭りにブース出展。試食と販売。(9月)</p>	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>参加者からは次のような声がある。</p> <p>今後“おもしろそう”“ちよっとやってみるか”を大切に、広く勉強したり話したりしながら活動したい。最終的には伊賀良で、地域の方と関わる活動をしたい。</p> <p>今後も、自分たちがこれからどのように生きていきたいかという視点を大切に、自由に話ができ、活動できる場として継続していく。</p>	評価						
学級・講座	初心者向け料理教室	市・地	継続	6	20	4	14,516	年6回	伊賀良公民館
	<p>参加者の意見を取り入れ、次のメニューを決定する。</p> <p>講師：伊賀良地区食生活改善推進協議会の方々</p> <p>内容：ごはんを炊く、味噌汁、きのこ汁、ロールキャベツ、餃子など調理</p>	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>参加者少数ながら、実際に家庭で作り、職場にも持って行って喜んでもらえたという方がいた。</p> <p>一方、老若男女が参加しやすいよう、平日夜開催としたが、若い世代は集まらなかつた。</p> <p>現状の料理教室にニーズがあるかどうか検討を要する。</p>	評価						
学級・講座	伊賀良を学ぼう～郷土料理教室～	市・地	継続	1	10	10	27	3月9日	伊賀良公民館
	<p>伊賀良を学ぼうの教材づくり打合せをもとに実施。郷土料理などで有名な横山タカ子さんを講師に、郷土食を見直すとともに、地域食材の素晴らしさ、健康長寿の秘訣は信州食にあることをお話いただく。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>ふるさと教材に掲載する。</p>	評価						
学級・講座	ふるさとゲームウォーク～大瀬木の巻～	市・地	継続	1	270	270	14,516	6月10日	伊賀良地区
	<p>担当分館：大瀬木分館（会場を交代して毎年実施している）</p> <p>親子数組でチームを作り、コースを歩きながらその地域に関わるクイズを解いてゴールを目指す。</p> <p>文化部員及び分館役員が中心となり、コース作りを行う。伊賀良小学校4年生の親子レクとして、保護者と協力して実施している。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>地域を知ることばもちろん、親子での貴重な交流の機会となっている。今後も親子レクとして継続していく。</p>	評価						
文化事業	小学生親子や一般を対象に、地域の良さを歩きながら体験することで郷土を知る機会とし、地域をより好きになることを目指す								

伊賀良公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	人形劇フェスタ2018	市・地	継続	8	1,107	-	14,516	8月3日～11日	伊賀良公民館他
	地区内の6会場で上演を行い、「みる・演じる・支える」の視点からフェスタの意味を考え、フェスタの盛り上げを目指す	本館文化部、分館、保育園保護者会により実行委員会を組織し、開催した。 ①8/3(金)18:00～ 伊賀良公民館 伊賀良小学校4年2組上演 ②8/10(金)18:30～伊賀良公民館 伊賀良名物「夜のカーニバル」 ③8/4(土)9:30～ 北方会館 ④8/4(土)10:00～ 増泉寺 ⑤8/4(土)10:30～ 殿岡保育園 旭ヶ丘中学校人形劇部上演 ⑥8/4(土)10:30～ 中村会館 ⑦8/5(日)10:00～ 三日市場研修センター ザ・スリーデイズマーケットシアター(分館有志)による上演 ⑧8/11(土)10:00 海外劇団公演 山本公民館と共催。	【総括と今後の方向付け】 各会場で暑さ対策など工夫しながら取り組むことができた。 小学生の上演に際しては、文化部と保護者が連携して交流会の準備を行い、子ども、スタッフ全員で成功を収めることができた。 三日市場分館では今年も三日市場を題材としたオリジナル人形劇を上演した。1月には人形劇場で行われる定期公演にも出演し、テーマとしている他者への思いやりを、より分かりやすく伝えるよう技術を向上させている。 評価 道徳観を育む機会、夏休みの思い出をつくる機会としても、継続して取り組む。	対象数	開催期日	開催会場			
文化事業	伊賀良地区区文化祭	市・地	継続	1	4,000	4,000	14,516	11月10日～11日	伊賀良公民館 他
	地区住民を対象に、日頃の成果の発表の場として芸術文化の振興を図るとともに、住民交流の場を提供する	・地区内各種団体の出展、出演 ・文化部企画「けん玉しかめ大会」、「巨大アートをつくろう!」ショー「ブラックボックスの中身を解き明かせ!」 ・特別企画 飯田女子高チアリーディングクラブ出演 ・保育園・小学校・中学校、まちづくり協議会、ふれあい広場、商工会など各種団体等との連携を図りながら、地域の一大事業として盛大に実施した。	【総括と今後の方向付け】 多様な主体が一堂に集まる機会であり、小学校体育館・かさまつのだと・公民館で様々な催しが行われている。今回は文化部が任期2年目となり、文化部が企画運営する企画を2つ増やした。家族の交流にスポットを当てた巨大アート、文化祭の中に笑いの時間をつくろうとショーを行い、大変好評であった。文化系クラブの活動成果発表の場として賑わいを作ることができた。 評価 文化部員の皆さんも主役として生き生きと取り組む姿が印象的であった。今後も文芸部のアイデアを中心に企画運営していきたい。	対象数	開催期日	開催会場			
文化事業	伊賀良地区成人式	市・地	継続	1	93	93	148	1月13日	伊賀良公民館
	新成人を対象に、地域が祝い、成人としての目覚めをもってもらうことを目指す	新成人代表、分館長、文化部長、文化部、広報部で実行委員会を組織して企画・運営。 新成人より保護者や恩師への感謝のメッセージを募集し、当日掲示するとともに館報に掲載した。 式典：来賓あいさつ、上殿岡獅子舞保存会による祝舞、成人代表あいさつ、記念写真撮影、祝賀会 新成人実行委員の活動：地域学習(若手農家に学ぶ)、旭ヶ丘中学校同窓会の企画・運営	【総括と今後の方向付け】 祝賀会では、小学校時代の恩師との交流を持つことができた。 今年度は文化事業全体に家族の交流を要素として入れていくことを目標にしていた。新成人から感謝のメッセージを募集したところ、育ててくれた親、学校時代の恩師、地域への感謝が寄せられた。例年の成人式に比べて、心温まる時間にすることができた。今後も継続し、より多くの保護者、新成人に関わってもらえるような工夫をしたい。	対象数	開催期日	開催会場			

伊賀良公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	伊賀良地区交流ペタング大会	地区費	継続	1	350	350	14,516	5月20日	伊賀良小学校校庭
	目的	<p>分館で集めたチームと組合回覧にて一般チームを呼びかけて実施。全84チームが参加。</p> <p>一般の方を対象に、簡単にできるスポーツを通して、地域内の交流を目指す</p> <p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>子ども参加も多く見られるようになり、誰もが楽しめるスポーツの良さを認識することができた。分館で、今まで参加していない方々に多く声掛けをした結果、昨年より100人近く参加者が増えた。今後も気軽に参加でき、知り合える機会として継続する。</p>							
体育事業	分館対抗夏季スポーツ大会	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	<p>連日の大雨の影響を考慮して中止。</p> <p>タイボール大会：8チーム(全分館と旭ヶ丘中学校野球部1チーム)</p> <p>囲碁ボール大会：36チーム</p> <p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>若い世代が楽しめるティーパーボールと、多世代で楽しめる囲碁ボールを来年も継続していく。</p>							
体育事業	伊賀良地区大運動会	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	<p>「気軽に参加、楽しい舞台～未来に向けて、地域と世代の交流を深めよう～」をスローガンに実施。</p> <p>分館対抗順位 優勝：北方 準優勝：下殿岡 第3位：三日市場</p> <p>応援合戦 優勝：大瀬木 準優勝：北方</p> <p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>昨年は雨で中止となり、多くの体育役員としては初めての運動会となった。高齢者が参加して楽しめる種目を新たに考案し、実施したところ、「こんなに優しい時間を作れて良かった」という反省があった。自分たちが創意工夫し、参加者に楽しんでもらえたことが良かった。多世代の交流を深めるといふスローガンに一歩近づけた。</p> <p>今後も、地域の方が一回に会す貴重な機会として工夫しながら実施していく。</p>							
体育事業	山本地区との交流会	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	<p>スポーツ推進委員が中心となり企画。体育役員同士で交流した。</p> <p>種目 ワンバウンドふらば～るバレー</p> <p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>いつもは運営側にまわる体育役員が選手として非常に楽しそうに取り組んでいる姿を見ることができた。何のために両地区で交流するのかという目的的部分をより明確にしたい。</p>							
体育事業	分館対抗冬季スポーツ大会	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	目的	<p>分館対抗のワンバウンドふらば～るバレー大会。</p> <p>伊賀良小学校校庭：16チーム参加 優勝：大瀬木B、準優勝…北方B、第3位…三日市場A</p> <p>旭ヶ丘中学校校庭：16チーム参加 優勝：北方F、準優勝…北方E、第3位…北方G</p> <p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>ワンバウンドふらば～るバレーが普及してきており、事前に練習をして臨むなど熱声を帯びてきた。一方、競技性が高まったことで、初心者にはハードルが高いという声もあった。どのようにしたらみんなが楽しめる時間になるよう体育部で検討を重ねて実施した。</p>							

伊賀良公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	「広報いがら」発行	地区費	継続	6回	—	—	14,516	通年	
	<p>年間6回発行 第67号から第72号までを発行。 地域のお知らせ、事業の記録、地域の話題をお伝えしている。 あなたにタッチ、けやきのめ、我が家のアイドルの連載記事を継続している。 発行数：6回(5月、7月、9月、11月、1月、3月) 発行部数：4,800部 地区外発送：20件</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 伊賀良地区の広報紙として、大きな予算を盛り力を入れて発行している。まちづくりに協議会各委員会から各1名広報部会に出席し、地区内のあらゆるニュースを拾い上げている。 広報部の取材記事が少なく、広報部員の中からは、何か特集を組んでもいいのではなかとの案が出ている。自分たちで企画・取材・執筆する活動を通じて、やりがいを感じられる活動にしていきたい。</p>	評価						
広報事業	米寿記念写真撮影・贈呈	地区費	継続	1	57	57	84	8月25日	伊賀良公民館、対象者宅
	<p>88歳高齢者を対象に、地域でお祝いする。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 毎年恒例の行事として、対象者およびそのご家族が楽しみにしている。撮影者が増え写真撮影に時間がかかるが、広報部員が協力し合い効率よく行うことができている。 伊賀良独自の取り組みとして今後も大切にしていきたい。</p>	評価						
その他	学校開放運営委員会・調整会議	0円	継続	8	460	—	14,516	通年	伊賀良公民館
	<p>利用団体・地域の方々为主体となり、地区内の学校体育施設の利用調整をするために「学校体育施設運営委員」として、教育委員会から委嘱され、生涯学習・スポーツ課が担当となり実施する。 利用調整や会議の運営に関することへの支援をする。 運営委員会、調整会議を各4回開催。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 限られた学校体育施設を多くの利用者が気持ち良く有効に活用できるように調整している。年々反省を元に運営方法、調整資料が充実されてきている。</p>	評価						
その他	お楽しみ会(中央図書館伊賀良分館)	市・地	継続	2	300	—	14,516	7月11日、10月27日	
	<p>保育園児、小学生、一般を対象に、物語の面白さを感じる機会とする</p>	<p>伊賀良図書館と連携して実施し、本を読むことの楽しさを知ってもらうことを目指す。 みんなで声に出して読む、歌を歌う、小学生人形劇、ブラックパネルシアターなど。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 図書館の皆さんの努力により、当日は大変盛況であった。物語や読書に親しむ機会として、今後も開催する。</p>	評価					
その他	展示コーナー運営委員会	0円	継続	1	8クラブ	8クラブ	14,516	4月25日	伊賀良公民館
	<p>公民館利用団体及び公民館利用者を対象に、利用者への活動の発表の場を提供するとともに、公民館利用者が文化芸術に触れる機会を提供することを旨とする</p>	<p>公民館ロビーにある展示コーナーを活用し、年間を通じて各団体などの発表の場、会員の拡充を図る場として、利用調整及び啓発のために運営委員会を開催する。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】 年度当初に年間の展示団体および展示期間を決定し運営している。展示団体は、文化祭に向けて製作を進めるとともに、ロビーへの展示作品にも力が入る機会となつてきている。また、公民館へ訪れた地域住民が足をとめ鑑賞することが多く、展示団体に関心を持つ方もいる。今後も成果発表の場として継続する。</p>	評価					

県公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	いちご学級・りんご学級(1歳児学級)	市・地	継続	24	712	130	210	毎月1回実施	県公民館ほか
	目的	<p>1歳児の子どもとその母親を対象に、離乳食や歯の健康等の学習の他、ミニ運動会やクリスマス会など、家庭ではなかなかできない体験の機会を設けていく。月齢によって2グループに分けて実施。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 1歳児とその親を対象に開催。成長・発達の違いから、子どもの状況や親の悩みなども異なるため、月齢で学級を2グループに分けている。親が子どもの成長を確認できる機会とする。また、同じ地域で子育てをする親同士の交流、公民館及び身近な子育て支援者との関係づくりを通じて育児の不安が軽減できる事を目的としている。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 1歳児とその親を対象に開催。成長・発達の違いから、子どもの状況や親の悩みなども異なるため、月齢で学級を2グループに分けている。親が子どもの成長を確認できる機会とする。また、同じ地域で子育てをする親同士の交流、公民館及び身近な子育て支援者との関係づくりを通じて育児の不安が軽減できる事を目的としている。</p>							
学級・講座	たんぽぽ学級(2歳児学級)	市・地	継続	16	658	82	244	毎月2回実施	県公民館ほか
	目的	<p>2歳の子どもとその母親を対象に、季節の遊びや、下伊那農高校へのお出かけなど、家庭ではなかなかできない体験の機会を設けている。また、2.3歳児学級合同のミニ運動会や、県みつば保育園と合同で人形劇巡回公演の観劇を行った。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 幼児にとっての体験の場であると同時に、親同士の仲間作り、悩み相談の場であることが、その後に向けた地域のつながり作りの重要な機会となっている。下伊那農高校での体験や、お母さんのストレッチ講座など県独自の取り組みも充実してきている。親子の仲間作りや、地域の育児支援者、公民館との交流を通じ、地域で育児を楽しめる環境整備を進めていく。</p>							
学級・講座	つくし学級(3歳児学級)	市・地	継続	21	516	46	256	毎月1回実施	県公民館ほか
	目的	<p>保育園等入園前(3歳児)の子どもとその母親を対象に、季節の遊びや、下伊那農高校へのお出かけなど、家庭ではなかなかできない体験の機会を設けている。保育園にも協力して頂き、親子や子育ての様子を見ていただいている。また、2.3歳児学級合同のミニ運動会や、県みつば保育園と合同で人形劇巡回公演の観劇を行った。</p> <p>【総括と今後の方向付け】 幼児にとっての体験の場であると同時に、親同士の仲間作り、悩み相談の場であることが、その後に向けた地域のつながり作りの重要な機会となっている。下伊那農高校での体験や、お母さんのストレッチ講座、託児など県独自の取り組みも充実してきている。特に3歳児学級における母親グループの発表を通して、母親同士の交流と自主性の向上が図られた。</p>							
学級・講座	保育園・小学校との連携による子育て支援事業	市・地	継続	13	500			実施内容参照	県小学校他
	目的	<p>区内の保育園・小学校との協働により県地区の子どもの豊かな成長を図る。</p> <p>①人形劇巡回公演・県みつば保育園10月24日 ②県小学校クラブ活動支援・年4回 ③県中学校3年生地域交流学習・年8回</p>							

県公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	家庭教育講座(かなえ子育てネットワーク「すくすくの樹」)	市・地	継続	4	26	13,201	9/8、9/20、10/18、10/27ほか	13,201	9/8、9/20、10/18、10/27ほか	県公民館
	子育てに関わる悩みや課題を共有し、解決していく学習活動を、子育て中の母親自身が行うことで、子どもの健やかな成長のための親や家庭のあるべき姿を目指す									
学級・講座	かなえこどもどきスクール	市・地	継続	1		706	33	706	実施内容参照	県公民館ほか
	夏季休暇中の子どもが孤立した時間を解消すると共に、地域での体験学習の場とする中で、子どもたちの学びや育ちの機会とする									
学級・講座	【総括と今後の方向付け】 夏季休暇中の昼間、1人で過ごす子どもが多い現状からスタートした事業で、12年目を迎えた。今年度の最初の打合せでは、「子どもたちに経験させてあげたいこと、つけさせたい力」を保護者間で話し合うことから、内容の検討を行った。主体性や達成感、仲間と一緒に創り上げること、自己決定力、協調性など、様々な想いが出されたが、一つ一つの企画が何につながっているかを確認できる基礎作りとなり、結果的にも内容の充実につながった。子どもたちが様々な友達や自然の中で育つ姿は、保護者の達成感にもつながり、次年度、卒業した児童や保護者の関わりも前向きに検討されており、継続的に本事業が充実していく環境が整いつつある。									
学級・講座	平和・人権学習「清水まなぶ講演会」	市・地	新規	1		200	13,201	13,201	12月16日	県文化センター
	10月に実行委員会を呼びかけ、多様な団体の方の関わりにより様々な視点で企画、実施した。 実施日：12月16日(日) 講演テーマ：県公民館平和人権学習事業 平和を願う 歌と語りの講演会『過去から学び、未来へつなぐ 平和と希望』 講師：シンガーソングライター・「追いかけた77の記憶」(戦争体験聞き取り) 著者 清水まなぶ氏 内容：県小3年生と有志による合唱劇『ぞう列車がやってきた』の公演、清水まなぶ氏による歌と語りの講演会									
学級・講座	【総括と今後の方向付け】 子どもから高齢者まで様々な年代の方が、一緒に講演を聞くことで、平和で豊かな生活が送れることのありがたさを見つめ直し、家庭などで語り合い、平和な世の中を次世代へ受け継いでいく意識を持つ機会となった。また、小学校との連携等、企画運営を通じ、つながりや意識を深めることができた。									
学級・講座	【総括と今後の方向付け】 宅地化が進む県地区において、農業体験ができる貴重な機会。特に、親子同士が交流しながら食べ物を育てることで、親子のつながり、家族同士のつながり、地域とのつながりが生まれると共に、食育や環境を考える機会もなっている。しかし、参加者の減少や、借りている遊休農地が宅地化される可能性があり、事業の継続が不透明となっている。協力していただいている上茶屋分館の方々とも相談しながら、ふるさと学習自体の充実を検討する必要がある。									
学級・講座	【総括と今後の方向付け】 宅地化が進む県地区において、農業体験ができる貴重な機会。特に、親子同士が交流しながら食べ物を育てることで、親子のつながり、家族同士のつながり、地域とのつながりが生まれると共に、食育や環境を考える機会もなっている。しかし、参加者の減少や、借りている遊休農地が宅地化される可能性があり、事業の継続が不透明となっている。協力していただいている上茶屋分館の方々とも相談しながら、ふるさと学習自体の充実を検討する必要がある。									

県公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	華甲大学(高齢者学級)	市・地	継続	9	683	113		実施内容参照	県公民館ほか
	<p>【総括と今後の方向付け】 高齢者クラブ連合会が無くなったが、経験者が運営委員になり、今までどおり企画運営を行うことができた。文化、歴史、健康づくりなど、様々な分野から講師を選出し、受講者からは好評を得ている。特に昨年度から取り入れた小中学生の学習成果発表は世代交流にもつながっており、継続していきたい。受講者減は否めないうが、100余名の参加は大切にしたい。今後、男性及び地区内の方々が多くなり加えるよう努める必要がある。</p>								
学級・講座	<p>目的 生涯学習の一環として、高齢者を対象にした学級として開催。テーマは「生涯青春・生涯学習」とし、高齢者の学びの場、生きがい作りの機会とする</p> <p>実施内容 ・上沼友子(管理栄養士)84名 6/15 童謡・唱歌・懐メロを楽しく歌いましょう！～信州にまつわる歌を中心に～：寺澤善周(翁翁院)110名 7/20 集団自決を一人生きぬいて：久保田諱(満蒙開拓体験語り部)74名 8/24 飯田・下伊那における江戸時代の騒動～松本藩中 萱村の加助騒動にもふれて～：山内尚巳(飯田市文化財審議委員会会長・長野県文化財保護指導員)67名 9/21 【一日研修】～ゆったり安曇野を～「ちひろ美術館・貞享義民記念館を中心に」：29名 10/19 須山計一 伊那谷の山河を描く：小島淳(飯田市美術館学芸員)65名 11/16 からだイキイキ体操：小林新一(健康運動指導士)61名 12/14 健康寿命と元気な足腰：熊谷嘉隆(健和会飯田中央診療所所長)57名 1/18 【閉講式】学校や地域で学んだこと(学習発表) 人形劇『かなえのちから太郎』：県小学校4年3組児童・清水先生 66名</p>								
学級・講座	<p>目的 小中学校PTAを中核に、保護者の立場で感じている悩みや課題を基にテーマを設定し、講演会を開催することで、子ども豊かな育ちにつなげる</p> <p>実施内容 小中学校PTAが中心となり企画した。保護者も子どもも、いつ起こるか分からない災害に備えることで、いざというときに生き延びてほしいというメッセージが込められた講演となった。講演会には、保護者だけでなく小学校6年生を中心に多くの児童生徒も聴講してもらった。保護者の願いを受け、小学校では事前に災害の学習をし、公演後には振り返りを行うってもらったことで、講演会を聞くだけでなく、災害時の対応や、普段の心構え、あるいは命の大切さといった学習の機会になった。保護者の思いを中心に、組み立てられたコミュニケーションの大切な形であり、公民館や地域としても思いを共有し、一緒に取り組むことが必要である。</p>								
学級・講座	<p>目的 ふるさと学習の一環として、貴重な古文書の解説やその時代の背景などを学習する</p> <p>実施内容 講師に山内尚巳氏(飯田市文化財審議委員会会長・長野県文化財保護指導員)をお迎えし、5月から3月の毎月第2水曜日の午後開催し、今年度は11回実施した。参加者は20名で、継続している受講者が多い。県地区の庄屋から出た古文書「新井家文書」をテキストに学習している。 実施日：5/9、6/13、7/11、8/22、9/12、10/10、11/14、12/12、1/9、2/13、3/13 全11回</p>								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	県小中PTA公民館合同講演会	地区費	継続	1	300	20	13,201	11月22日	県小学校
学級・講座	<p>【総括と今後の方向付け】 今年度は、小学校PTAが中心となり企画した。保護者も子どもも、いつ起こるか分からない災害に備えることで、いざというときに生き延びてほしいというメッセージが込められた講演となった。講演会には、保護者だけでなく小学校6年生を中心に多くの児童生徒も聴講してもらった。保護者の願いを受け、小学校では事前に災害の学習をし、公演後には振り返りを行うってもらったことで、講演会を聞くだけでなく、災害時の対応や、普段の心構え、あるいは命の大切さといった学習の機会になった。保護者の思いを中心に、組み立てられたコミュニケーションの大切な形であり、公民館や地域としても思いを共有し、一緒に取り組むことが必要である。</p>								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	古文書講座	市・地	継続	11	220	20	13,201	実施内容参照	県公民館
学級・講座	<p>【総括と今後の方向付け】 県地区にちなみながら内容を身近に学ぶことができた。講義を聴くことで、地元の歴史を身として開講しているが、長年にわたり開講しふるさと学習の一環として公民館事業として開講している。自主的な運営・活動へ移行すると同時に、蓄積された知見を、他のふるさと学習事業へ展開していくことを検討したい。</p>								

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	料理教室	市・地	継続	4	122	13,289	13,289	実施内容参照	県公民館
				【総括と今後の方向付け】 減塩料理や栄養が偏らない献立を、実際に調理したこと『おいしい』に気がついてもらえた。食に興味を持ち、健康についても考える時間となった。園児・児童は男女性に関係なく、料理に興味を持っており、子どもが作って食べることで、大人も楽しんでいて。家族で食を囲み、幸せな家庭につながるよう、料理教室の開催は今後も続けていきたい。					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさと再発見ワンデーマーチ	市・地	継続	1	504	13,201	13,201	5月3日	県地区内
				【総括と今後の方向付け】 雨天が心配された中でも、前年と変わらず参加してくれた。家族で楽しく歩く機会として定着しており、普段通らない道を歩き、知る機会ともなっている。参加者が多いからこそ、見学場所ですっかり説明が聞ける環境(音響整備等)が必要。同時に、通り道にある井水や史跡などに目が行く工夫もできれば、県の魅力を見つづける機会にしていきたい。					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	ふるさと県コマーシャル	市・地	継続	1		13,201	13,201		開催会場
				【総括と今後の方向付け】 今年度は40周年の節目を迎えた人形劇を題材としたことで、各分館で掘り起こすというより、人形劇を通して生まれる様々な「ふれあい」の場面を撮影し、持ち寄った資料をまとめて一本のコマーシャルにまとめた。制作に関わる負担感は大幅に削減され、「県地区」としてのコマーシャルを作ることができたが、各分館でテーマに合ったものを掘り起こし、まとめるといった、学びの場や独自性も減ってしまったように感じる。テーマ設定を含めて、その時代に合った制作方法を模索していく必要がある。					
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ2018	市・地	継続	12	2,066		13,201	8月3日～12日	開催会場 県公民館ほか
				【総括と今後の方向付け】 今年度は10年に1度の世界フェスタということもあり、分館による公演に加え、本館による文化センターホール公演と、地区内4つの保育園での公演、計12公演を地区公演として実施。伝統になっている「打ち水大作戦」と「わくわくタイム」も例年通り実施した。 全12会場、観劇者総数1,832名、スタッフ総数234名、ワッペン販売総数928枚 8/4 県小学校第一体育館(下茶屋・中平)、上茶屋多目的集会センター(上茶屋)、切石会館(切石)、下山区民会館(東栗・西栗・下山) 8/5 一色神社(一色)、名古熊公民館(名古熊) 8/6 ビバ・チャイルド 8/8 明星保育園、県中武道場(上山) 8/9 県あかり保育園 8/10 県みつば保育園、県文化センターホール(本館)					

県公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	事業区分	予算区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	県打ち水大作戦 【地域住民を対象に、環境意識の向上を図る】	事業区分 継続	地区費	12	2,066		13,201	8月3日～12日	県公民館ほか
			内容	いいだ人形劇フェスタの際に県地区全会場「みる・えんじり・ささえる」全ての人が打ち水を実施し放射線を測定する。開演前のアナウンスで結果を報告し環境意識の高揚を図る。おひさま進歩と共同で実施。	評価				
文化事業	ふるさと県ふれあい広場・文化祭	事業区分 継続	市・地	1	3,000		13,201	11月3日～4日	県公民館・県体育館
			内容	健康福祉委員会の「ふれあい広場」と合同開催。分館をはじめ各種団体による「展示」、『模擬店』に加え、県の伝統文化の代表格である『獅子頭展』、太鼓を楽しむ団体による『THE 太鼓祭り』、音楽関係の活動団体の発表の場として『音楽の祭典』、県の景観の記録とふるさと再発見の機会として『景観写真コンテスト』、年間を通して『ふるさと県コミニティ』のお披露目、貴重な資料の掘り起こしと記録として『昔懐かしい県の写真展』、より多くの方に来場してもらうために『ドリームかまなえくじ』や『鼎まるごとウォークラリー』等を実施。 出展団体数56団体(展示・模擬店・太鼓含む) 音楽の祭典出演団体15団体	評価				
文化事業	第16回県の景観写真コンテスト	事業区分 継続	市・地	1	3,000		13,201	11月3日～4日	県体育館
			内容	県の景観を写真におさめ、ふるさとの再発見と、地域への愛着を高める取り組み。審査員は、県在住の写真家などへ依頼する。 応募作品数：15名、28点	評価				
文化事業	県地区成人式	事業区分 継続	市・地	1	116		165	1月7日	県文化センター
			内容	該当者数：165名(男性81名・女性84名) 出席者数：116名(男性57名・女性59名) 県地区まちづくり委員会をはじめ県地区内の各種団体と連携協力して開催。新成人で組織する実行委員会(新成人8名)を立ち上げ、自ら企画運営に携わることで「自分たちで作る成人式」として開催した。 記念式典(東県獅子舞保存会による祝舞、新成人代表挨拶(2名)、二十歳の思い出アルバム、家族からのメッセージ、思い出のイントロクイズ等)、記念祝賀会の実施、記念リーフレット「若たちよ」作成ほか	評価				
体育事業	県地区体育祭(ペタンク大会)	事業区分 継続	地区費	1	663		13,289	6月4日	矢高グラウンド
			内容	子どもを首脳委員会と合同開催。ペタンクを競技種目として分館対抗で実施。各分館12チーム出場し、合計120チーム、全180試合を行った。 優勝：一色 準優勝：東 鼎 3位：切石	評価				

県公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	第33回県地区縦断駅伝大会	地区費	継続	1	600		13,201	9月9日	県地区内
	<p>【総括と今後の方向付け】 雨天が心配されたが、実施することができた。沿線の方々からの声援や、チーム内での結束力など、様々な交流やつながりが生まれた。コースを変更して2年目だが、大きな問題もなく、定着してきている。より多くの方に参加してもらえよう、働きかけをしていきたい。</p> <p>評価</p>	<p>昨年度と同様のコースの8区間、全13kmで実施。 総合優勝：上山分館 総合2位：名古熊分館 総合3位：下山分館 分館の部 参加：10チーム 優勝：上山分館 小学生の部 参加：2チーム 優勝：県小・クワウンチーム 中学生の部 参加：6チーム 優勝：県中サッカー部 月組 一般の部 参加：5チーム 優勝：県中Teachers オーブン 参加：5チーム 優勝：ISジュニア駅伝クラブA</p>	<p>のべ参加数</p>	<p>1回参加・登録数</p>	<p>対象数</p>	<p>開催期日</p>	<p>開催会場</p>		
体育事業	県地区女性バレーボール大会	地区費	継続	1	70		13,201	9月17日	県中学校体育館
	<p>この大会に向けて女性同士が集まり、バレーボールを通して交流を深め、女性の健康保持、体力増進につなげる。併せて、参加チーム同士の親睦とバレーボールに親しむ女性の底辺を拡大を図る</p> <p>目的</p>	<p>参加チームは4分館。ママさんバレーボール連盟の方々をはじめとした、各チームの主幹と協議して開催。参加選手の条件にあった年齢制限を緩和し、県地区に居住する社会人女性なら参加できることとした。優勝チームは飯田市女性バレーボール大会に出場する。 優勝：上山分館 準優勝：中平分館 3位：切石 4位：名古熊</p>	<p>のべ参加数</p>	<p>1回参加・登録数</p>	<p>対象数</p>	<p>開催期日</p>	<p>開催会場</p>		
体育事業	第33回冬季スポーツ大会(ワンバウンドふらば～るバレーボール)	地区費	継続	1	450		13,201	2月3日	県体育館
	<p>競技種目は恒例となっているワンバウンドふらば～るバレーボール。一般の部には各分館から2チームずつ参加し、合計20チーム。小学生の部には各分館から1チームが参加し、合計10チームで競技を行った。また、大会に先立ち、1月21日(月)には講習会を、1月22日(火)～2月2日(土)は各分館の練習及び予選を行った。 一般の部 優勝：中平2 準優勝：中平1 3位：名古熊2 小学生の部 優勝：上茶屋 準優勝：西鼎 3位：名古熊</p> <p>目的</p>	<p>ワンバウンドふらば～るバレーボール</p>	<p>のべ参加数</p>	<p>1回参加・登録数</p>	<p>対象数</p>	<p>開催期日</p>	<p>開催会場</p>		
体育事業	ニューズスポーツ講習会	地区費	継続	1	30		13,201	8月22日	県中学校体育館・グラウンド
	<p>様々なスポーツを紹介し、体験してもらおうことで、県地区住民の健康増進や交流・親睦を深めることにつなげる</p> <p>目的</p>	<p>種目：囲碁ボール 指導講師：県地区のスポーツ推進委員(3名)</p>	<p>のべ参加数</p>	<p>1回参加・登録数</p>	<p>対象数</p>	<p>開催期日</p>	<p>開催会場</p>		

県公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	「公民館報かなえ」の発行	地区費	継続	4			13,201		県公民館
	<p>地域住民を対象に、地域の情報を伝え、課題提起などを通して、地域に関心をもってもらう</p> <p>公民館活動の記録として正確かつ公平な記事を作成する。また、住民の皆さんが「県」により深く関心をもってもらえるような紙面展開を図る。</p> <p>▼仕様 A4版、4頁～6頁 ▼館報かなえ403号(6/27発行)、404号(9/26発行)、405号(12/19発行)、406号(3/27発行)</p>								
その他	地域人教育	他会計	継続	38	100	8	13,201		県公民館ほか
	<p>高校生と地域住民が、活動を通じて共に学び育つことで、より良い地域を作る</p> <p>飯田OIDE長姫高校商業科の授業の一環として、今年度は8名の生徒が県地区をフィールドとして活動した。</p> <p>4月～8月 ペタング大会や地域内散策を通して、インタビューや情報収集。どっどきスクールへの参加。</p> <p>9月～12月 実践と振り返り。</p> <p>10月27日 ハロウィーン…親子を対象に、仮装して地域を歩き、住民の方からお菓子をもらい、チエックポイントではゲームを楽しむ。参加者30名。</p> <p>11月4日 文化祭での出展…ミニ獅子舞作り、水引アークセサリー作り、プラバン工作。参加者約20名。</p>								

上郷公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分 市・地	事業区分 継続	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	<p>高齢者学級</p> <p>概ね60歳以上の高齢者を対象に、定例講座、クラブ活動、役員会を行う。学級生より正副学級長、地区長、クラブ長を選出し、自主的に企画運営している。</p> <p>・定例講座 4月 入級式 5月 「辞書を片手の般若心経」講師 牧内振作先生 6月 室内ペタンク大会 9月 クラブ発表会、上郷地区文化祭(文化展、芸能祭)参加 10月 「健康のお話」講師 加藤美恵子先生 研修旅行(諏訪) 12月 忘年会 2月 高齢者学級文集作成 3月 修了式 ・クラブ活動 大正琴、書道、歌、雑学、卓球、マレットゴルフ、民謡、綴り方、織物、健康と川柳と笑い、絵手紙 ・人形劇フェスタ 上郷小学校の4年生が人形劇フェスタ参加するにあたり、人形製作のお手伝いをした。 ・小学校家庭科授業においてミシンの使用補助ボランティアを行った。 ・学級会報 毎月「伝語鳩」を発行し、活動の様子やクラブ予定、お知らせなどを掲載。地区長が配布。</p>	市・地	継続	195	2,000	66	4,173	通年	黒田研修センターほか
学級・講座	<p>乳幼児とその親を対象に、子供が健やかに育つため、又、知識を身に付けて子育てができるよう支援する。</p> <p>乳幼児を持つ母親を対象に、子育てについての理解を深め、自信を持つため、くまがい子育ての実践をし、併せて自己の豊かに生活するための学習をする。また、気楽に話し合え、悩みを語れる仲間づくりを目指す。</p> <p>開催日… 1回 / 月 10:00~11:30 場 所… 飯田市保健センター他 指 導… 保育士、保健師(運営補助:児童委員) 受講生… 親子105組 主 内 容… 3歳:絵本、新聞紙遊び、クリスマス会、節分、リトミック等 2歳:絵本、おやつ作り、クリスマス会、節分、リトミック等 1歳:絵本、離乳食、おもちゃ作り、クリスマス会、親子あそび 0歳:母乳の話、ベビーマッサージ、離乳食等</p>	市・地	継続	35	490組	14組	117組	5~3月	飯田市保健センターほか
学級・講座	<p>子ども料理教室</p> <p>地域内の小学生を対象に、講師を依頼し、小学生を対象に料理教室を行った。講師の指導の下、料理に必要な基礎的な知識を身に付けると共に、実際に料理することで、料理する楽しさ、自分で作った料理のおいしさを感じてもらい、食に興味を持ってもらう。講師はひまわり会。公民館建設工事のため、黒田研修センターを会場として開催した。</p> <p>・第1回 期日:5月27日 参加:22人 内容:おにぎり2種、ミネストローネ、季節のサラダ ・第2回 期日:7月1日 参加:20人 内容:調理パン2種、ジュリアンスープ、ふるふる杏仁豆腐</p>	市・地	継続	2	42		599家庭	5/27、7/1	黒田研修センター

上郷公民館の事業報告

No.2

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	そば打ち教室	市・地	継続	2	39	599	599	6/10、2/10	黒田研修センター
	実施内容	<p>地域内の団体である、下北農園の会に講師を依頼し、小学生(親子)を対象にそば打ち体験を行った。そば粉からそばを打ち、麺きり包丁を使ってそばをきるところまで体験した。試食は講師の打ったそばとてんぷらを用意し、打ったそばは自宅へ持ち帰った。家族で試食することで家族のふれあいが行われた。</p> <p>目的 地区内の小学生を対象に、料理という実体験を通じて、伝統的な食文化に対する見識を深め、家庭での親子のふれあいを推進する。</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 そばを打つという日常では経験できない体験を提供することができた。打ったそばを持って帰ることで、家族と一緒に食べながら、そば打ちに参加できなかった家族ともふれあいができるよう図った。また、講師を身近な地域の方にお願ひし、子ども・その親世代と講師(地域住民)との交流の機会となった。</p>							
学級・講座	郷土料理教室	市・地	継続	1	17	17	599	11月18日	黒田研修センター
	実施内容	<p>五平餅とすいとんを作り、郷土料理に親しむ機会とした。</p> <p>講師：下北農園の会</p> <p>目的 親子を対象に、郷土料理を知り、作り、親しむ体験を提供する。</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 郷土料理の伝承、親子のふれあひ、住民同士のふれあひの場として、継続していく。</p>							
学級・講座	郷土料理を考える会	地区費	継続	4	40	10	10	実施内容参照	上郷小学校ほか
	実施内容	<p>上郷の郷土料理にはどんなものがあるかを考え、現代風アレンジし、伝承に寄与する。今年度は、地区文化祭で天ぷらまんじゅうを提供した。</p> <p>目的 上郷の郷土料理を現代風にアレンジし、伝承に寄与する。</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 文化祭のおもてなし企画として郷土料理の天ぷらまんじゅうを提供した。来年度は女子高調理クラブと協力し、地域事業での交流を深めていく。また設立当初の目的、行事事の研究という側面も捉えながら活動を展開していく。</p>							
学級・講座	農作業体験教室	地区費	新規	5	25	5	599	4月～11月	黒田研修センターほか
	実施内容	<p>ジャガイモの植え付けを行い、その後収穫を行った。また、9月には収穫したジャガイモを用いてトルネードポテトを作った。講師は下北農園の会に依頼。</p> <p>目的 地区内の小学生を対象に、農作業を通じて食の大切さや安全性を学び、収穫の喜びを体験する場とする。</p> <p>評価 【総括と今後の方向付け】 約半年間の一連の作業から、参加者に生産することの大変さや喜びを感じてもらえる取り組みとなった。</p>							

上郷公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	いいだ人形劇フェスタ上郷地区公演	市・地	継続	10	1,354		14,001	実施内容参照	実施内容参照
	<p>地区実行委員会を開催し、オリジナル企画の募集、運営方法など伝達し、情報交換をした。分館、上郷西保育園保護者会、上郷なかよし保育園、黒田人形保存会、上郷小学校4年1組が企画運営した。高陵地区中学校区公演は、上郷公民館特別委員会「おん座」が企画運営した。</p> <p>(期日、運営主体、会場、観劇者数、スタッフ数)</p> <p>8月3日 上郷西保育園保護者会 黒田人形浄瑠璃伝承館 108人 15人 8月3日 上郷小学校 上郷小学校 192人 12人 8月4日 別府下分館 別府児童館 47人 37人 8月4日 南条分館 南条中八幡宮 61人 10人 8月5日 黒田人形保存会 黒田人形浄瑠璃伝承館 53人 19人 8月5日 北条分館 北条振興センター 57人 21人 8月5日 くおん座 黒田人形浄瑠璃伝承館 269人 38人 8月7日 上郷なかよし保育園 上郷なかよし保育園 205人 14人 8月7日 丹保分館 丹保研修センター 185人 36人 8月12日 飯沼南分館 飯沼南自治会館 177人 25人</p>	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>今年度も上郷小学校と高齢者学級織物クラブの交流を行い、人形製作の手伝いを行った。本館から各会場にスポットクーラーを貸し出し、暑さ対策を実施した。各分館がそれぞれの地区公演の意義を見出しながら、会場運営を行った。</p> <p>8月5日の中学校区公演について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者への企画として、暑さ対策として飲み物のほか、アイスクリームの提供を行った。劇間の待ち時間を利用して企画として、来場者に七夕の短冊を配布し記入してもらい、笹に飾り付けを行った。また地域独自の文化を紹介するために、黒田人形保存会の協力の下、人形舞台と蔵の見学会を実施した。 ・高陵中と台湾の生徒が、互いに人形や楽器を披露しあう歓迎会を開催した。また上記の七夕飾りについて、台湾語の案内を用意し、日本の文化を紹介した。 ・公演終了後は、地元団体が郷土料理を振る舞い、スタッフ及び劇人で交流会を実施した 	14,001	9/22、9/23	上郷小学校				
文化事業	上郷地区文化祭	市・地	継続	1	770	770	14,001	9/22、9/23	上郷小学校
文化事業	<p>地区内個人、グループを対象に、日頃の活動を発表する場として実施する。</p> <p>また住民が交流する場として実施する。</p>	<p>○文化展</p> <p>参加団体 11グループ＋特別展</p> <p>特別展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校一研究展示 ・各分館歩こう会展示(広報部) ・久遠の会：飯田線の歴史、閨郷、クイズ久遠の文化うち立ちん <p>飯田線をテーマにした学習機会の提供を実施。参加者が楽しみながら</p> <p>○上郷地区芸能祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ふれあいさわやか音楽祭 ○参加団体 上郷小(合唱団、オーロラバンド)、高陵中学校吹奏楽部、上郷コーラス、フラウエンコーラスザンウインドウ、 ○合唱劇カネト公演 <p>数々の困難にめげず飯田線開通工事に命をかけた「川村カネト」の生涯を題材にした合唱劇を披露した。</p> <p>出演…飯田カネト合唱団、合唱劇カネトを歌う合唱団有志(愛知県)特別出演…上郷小学校児童有志</p> <p>○ペットボトルロケットを打ち上げよう(育成部主催)</p> <p>ペットボトルロケットを製作し、水とドライアイスを用いて発射実験を行う。</p> <p>○おもてなし</p> <p>五平餅販売(下北農園の会)、郷土料理を考える会による天ぷらまんじゅうの提供。</p> <p>スポーツ部によるホットドッグ提供(ペットボトルロケット参加者、小中学校音楽クラブの生徒)</p>	<p>地区内個人、グループを対象に、日頃の活動を発表する場として実施する。</p> <p>また住民が交流する場として実施する。</p>	<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>30年度は上郷公民館の耐震整備工事中のため、上郷小学校を会場として文化祭を実施した。慣れない場所で運営に制限がある中で、文化部を中心に各団体が協力し企画を実施した。今年度は飯田線をテーマとして久遠の会による特別展示のほか、カネト合唱団を招いて飯田線開通に係わる合唱劇を披露した。</p> <p>次回からは新公民館施設を活用した様々な企画を公民館全体で検討していく。また、各関係団体、小中高と連携した企画も推進していく。</p>	14,001	9/22、9/23	上郷小学校		

上郷公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	高陵地区体力測定会	市・地	継続	1	50	50	14,001	6月17日	座光寺小学校体育館
	実施内容	スポーツ推進委員、座光寺公民館との共催。 文部科学省の新たなテスト要項に基づき、体力の測定を行う。 【総括と今後の方向付け】 小学生から大人まで幅広い年齢層の参加があり、年に1度改めて自身の体力について見直す良い機会となった。次年度の開催場所は上郷とする予定。							
体育事業	春季スポーツ交流会	地区費	継続	1	534	534	14,001	6月24日	高陵中学校
	実施内容	分館対抗のペタンク大会を開催。 例年は夏の交流会でペタンクを採用していたが、暑さを考慮して春の種目に変更した。							
体育事業	地区住民を対象に、ニュースポーツに触れる機会を提供するとともに住民同士の交流を図る。	地区費	継続	1	431	431	14,001	8月26日	上郷体育館
	実施内容	分館対抗の囲碁ボール、ワンバウンドふらば〜るバレー大会を実施した。 午前中に囲碁ボール大会を実施し、午後にはふらば〜るバレー大会を実施した。							
体育事業	地区内住民を対象に、地域連帯意識の向上と親睦を深める。	地区費	継続	1	950	950	14,001	10月21日	高陵中学校
	実施内容	分館対抗種目は各分館で参加者を取りまとめ、オープン参加種目は会場にきて希望者が参加できるようにした。 高陵中学校生徒会役員が実行委員として参加。従来の賞品係、放送係の運営、小学生向け種目のウルトラクイズを担当のほか、オープン参加の1種目の企画を中学校に依頼。新たに「分館の〇〇さんを連れてきて！」(借り人競争)を企画してもらい、実施に向け調整を行った。							
体育事業	地区内住民を対象に、運動会を通じて交流を図り、上郷としての結束を高める。	地区費	継続	1	90	90	14,001	2月3日	上郷体育館
	実施内容	各分館役員及び体育館員が、ニュースポーツの体験を通じ交流を行った。 種目：ラダーゲッター、スポーツラッキー、囲碁ボール 【総括と今後の方向付け】 参加対象を小規模とし、分館役員及びスポーツ部員のみで開催。分館の枠を超えたチーム編成を行い、楽しみながらニュースポーツを体験してもらう機会とした。							

上郷公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	「広報かみさと」発刊事業	地区費	継続	12	432	12	14,001	毎月1回発行	上郷公民館
広報事業	<p>地区内の記録、発信、課題提起、話題の提供を広報かみさとの発行により行う。また、まちづくり委員会発足時より、まちづくり委員会広報紙としての機能も併せ発刊している。</p> <p>【号数】133号～144号（館報通算818号～829号）</p> <p>【紙面】B4タブロイド判</p> <p>【毎号掲載記事】</p> <p>「私の思うこと」地域の成人男女に依頼し、住民の自由な思いや意見</p> <p>「瀧音」地域、行政、社会に対する意見や問題点、季節の話題に触れる。</p>								<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>まちづくり委員会の広報も兼ねており、他の委員会と課題を共有しあう新たな広報誌を目指している。上郷公民館の平成26年度から引き続きまちづくり委員会より担当を出してもらい、公民館活動以外にも、公民館建替工事、リニア関連、保育園など地域の話題を幅広く掲載することができた。</p>
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	あいさつ運動	0円	継続	6	72	12		4/9、4/10、8/22、8/23、1/9、1/10	実施内容参照
育成事業	<p>新学期開始に合わせ、青少年健全育成部員があいさつ運動をした。帽子やたすきなどであいさつ運動実施中であることをPRする。子どもとの顔見知りの関係を築くために育成部員の方から積極的にあいさつをした。</p> <p>朝7時15分～7時45分</p> <p>実施場所：上郷小学校前、廣源前横断歩道、信金上郷支店前など</p>								<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>10分館がそれぞれ区域内に場所を決めて実施。地域の大人と生徒との関係を構築することを意識し、まずは大人の側から子どもたちへ積極的にあいさつすることを重視した。</p>
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ペットボトルロケットを打ち上げよう！	市・地	新規	1	70	70	599家庭	9/22、9/23	上郷小学校
育成事業	<p>体験教室を育成部主催。完全自主運営の工作教室。</p> <p>日用品で製作できるペットボトルロケットを、水とドライアイスを使って打ち上げられる体験教室を行った。文化祭の催しの一つとして開催し、ロケット制作、打ち上げ体験を上郷小学校校庭で実施した。</p> <p>小学校家庭数で参加募集チラシを配布した。</p> <p>9月1日に事前研修会及び準備を行い、当日の開催に備えた。</p>								<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>育成部員指導の下、参加者は楽しみながら工作を行った。入念な事前準備もあり、参加者はスムーズにロケット制作を終え、無事打ち上げをすることができた。自分が見たロケットが高く飛ぶ姿を見て、子ども達は達成感を感じていた。文化祭の目玉企画として、小学生や幼児が来場するきっかけとなった。</p>
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	高松の丘音楽会	市・地	継続	1	238	238	14,001	5月6日	飯田女子高校
育成事業	<p>青少年を対象に、一流の音楽に親しむ機会を提供するとともに、進路選択の視野を広げる。</p>								<p>オーケストラと友に音楽祭コミュニケーションコンサート開催をきっかけに、平成27年度から上郷独自の音楽祭として始めた事業。公民館の小委員会である高松の丘音楽会実行委員会が企画運営にあたる。</p> <p>名古屋フィルハーモニー交響楽団よりプロの演奏者を招き、演奏会を行った。</p> <p>第4回にあたる今年度は、冒頭で飯田女子高校吹奏楽部のほか、新たに高松中学校吹奏楽部、上郷小学校合唱団も加わりミニコンサートを実施し会場を盛り上げた。終了後には実行委員と演奏者の交流会を設け、コミュニケーションを図った。</p>

上郷公民館の事業報告

No.6

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
育成事業	野底山森林公園まつりへの参加	市・地	継続	2	800	400	14,001	4/22、11/4	野底山森林公園
	目的	<p>【総括と今後の方向付け】 青少年健全育成部員が担当し、企画運営した。 さくら祭り、もみじ祭りにて、クロワッサンホットドッグの出店を行った。飯田女子高校調理クラブと共同出店を実施した。 高調理クラブと協力しながら出店を行った。学生は接客を通じ積極的に地域住民と、普段関わらない地域住民とコミュニケーションができる事業となった。</p>							
企画事業	ふるさと学習講座 久遠の会	市・地	継続	14	210	15	15	通年	上郷考古博物館ほか
	目的	<p>【総括と今後の方向付け】 本年度も教材の内容をメンバーが学校事業で発表することで、参加者の郷土への理解の深まりや、学校における教材活用の推進を図った。また、さくら祭り・野底山論講演会など新たな学習事業を展開し、活動の幅を広げることができた。 次年度は事業運営のほか、学習講座としての原点に返り、定例会でのテーマ学習を実施することで、メンバーが主体的に企画した内容を集団の学びとしていく。また、遺跡や河川などがねてよりメンバーが興味をもっている地域学習にも取り組んでいく。</p>							
企画事業	地域づくりフォーラム	地区費	継続	1	50	50	14,001	2月23日	飯田商工会議所上郷支所
	目的	<p>【総括と今後の方向付け】 地域住民が広く集い、身近な地域課題・生活課題について情報交換や話し合いなどを通じて学習交流し、改善に向けた取り組みを考える機会として実施。まちづくり委員会、小中学校PTA、消防団、商工会ほか各種団体で実行委員会を組織した。 テーマ「人口減少時代に向けて地域を考える」 大西達也さん 講演会 講師 一般財団法人 日本経済研究所 ・人口減少時代における地域への影響について ・人口減少が地域にもたらす具体的な影響 ・この時代に地域が出来るだけ自立していくには</p>							
その他	地域を知る会	市・地	継続	1	13	13	14,001	9月30日	上郷地域
	目的	<p>【総括と今後の方向付け】 上郷地域の歴史・文化・自然・産業を現地に向いて学習することを目的として開催。 今年のテーマは「上郷の学校ゆかりの地を巡る」とし、旧上郷村の3つの学校にまつわる寺院や、一部高低差が逆になり、水の流れる方向が変わる珍しい場所「運田」などを訪れるコースなどを計画した。</p>							

上郷公民館の事業報告

No.7

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	分館役員研修会	地区費	継続	1	55	55	85	5月25日	商工会議所上郷支所
その他	分館役員を対象に、公民館活動に関わる研修を行う。								
	実施内容								
その他	分館活動の意義、想い、活動事例、分館役員への心構えについて学んだ。今年度は不登校及び学校における生徒支援をテーマとして、教育支援指導主事で別府上分館長の筒井良二さん、及び学校支援員の宮澤典子さんをして講演会を実施した。								
評価									
	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上郷歩こう会	市・地	継続	10	629	実施内容参照	14,001	5月20日	実施内容参照
その他	地区住民を対象に、ウォーキングを通じ、地域の自然や歴史、文化について学習を深めると同時に地区内の親睦を深める。								
評価									
	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	上郷地区成人式	市・地	継続	1	116	116	164	1月13日	飯田文化会館
その他	地区内の新成人を対象に、地域で祝い、地域の一員としての意識を高める。								
評価									

【総括と今後の方向付け】
30年度は上郷公民館の耐震整備工事中のため、商工会議所を会場として実施した。
様々な事情を抱え、学校に來たり、授業を受けることが困難な子ども達について、地域住民としても理解を深める趣旨で開催。講師は不登校の要因として、人間関係の形成力が大きく関係しており、その能力は普段の規則正しい環境下で育まれ、親でも学校の先生でもない顔見知りの大人とあいさつを交わすことも重要だと話した。

【総括と今後の方向付け】
幅広い年代層の参加があり、親睦はもろろんのこと地域を改めて知る機会として、また子供へ地域の歴史や文化を伝えていく機会として意義ある事業である。
各分館の考えで行き先、ルート設定をしていただく。ふるさと学習教材を参考にしながらのコース選定も検討してほしい。

【総括と今後の方向付け】
新成人有志、上郷公民館文化部、運営委員、分館推薦の委員による実行委員会を組織し、企画運営にあたった。新成人の実行委員には、記念誌の取材を通じて郷土学習の場をつくり、地域への理解と愛着を深めてもらった。
リニア中央新幹線の学習をもとに、これからの上郷地域の将来を考える時間を設け、まとまった意見を成人式当日に代表者が発表した。新成人が地元地域について主体的に考える機会をつくった。

- 統一実施日を決め、分館事業として位置付け、全分館が計画し実施。
- 上黒田 リニア駅予定地、竹田扇之助記念国際系操り人形館 65人
 - 下黒田北 飯田市美術博物館、川本喜八郎人形美術館、飯田市立動物園 70人
 - 下黒田南 鳩ヶ嶺八幡宮、松尾城址公園、鈴岡城址公園 72人
 - 下黒田東 地区内北部、大明神原 65人
 - 丹保 別府護老神社、夜泣き石、飯田消防署 52人
 - 北条 天竜峡 58人
 - 飯沼南 雲彩寺、別府護老神社、南条中八幡宮 40人
 - 南条 天竜峡 75人
 - 別府上 川本喜八郎人形美術館、飯田市美術博物館 85人
 - 別府下 野底山森林公園 47人

- ・趣旨…新成人を対象に、地域で祝い、地域の一人としての自覚を持つてもらおうにする。実行委員を募り、成人式の準備運営の中で、社会的自覚を持ち地域に対する理解と地域のつながりをもつための交流の場と捉える。新成人が地域へ関わる第一歩としての機会をつくる。
- 記念写真撮影
- 記念式典
- ・開式の辞 ・主催者あいさつ ・来賓祝辞 ・来賓紹介
- ・祝電披露
- ・新成人地域学習発表
- ・記念講演(飯田市社会教育委員 中島正韶さん)
- ・恩師よりお祝いの言葉 ・記念品贈呈 ・新成人代表挨拶 ・閉会の辞

上村公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級(ひよこちゃん)	市費	継続	10	22	3	3	実施内容のとおり	保育園ほか
	目的	<p>乳幼児学級対象児の減少が見込まれるため、保育園児との交流や保育園保護者と合同の講座など保育園との連携をより深める。 【5/15】絵本に親しもう☆【6/7】感染症予防について【7/12】ブルーベリー狩り※【8/7】人形劇鑑賞【9/3】リトミック講座(1)※【11/6】焼いもをしようト【11/12】リトミック講座(2)※【12/3】クリスマス会【1/8】わらべ歌をうたおう※【3/4】終了式 ※南信濃の乳幼児学級と合同で開催</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	小学校PTA共催講演会	市・地	継続	1	50	50	415	1月27日(日)	上村小学校
	目的	<p>小学校PTAと調整を図り、コミュニティスクールの要素も入れて、地域で子ども達の成長を戻し、関心を高める機会となるよう講師と共に、子ども達が出演する形の講演会を企画した。また、小学校の生活科・総合学習発表と遠山中1学年の総合学習発表も合わせて実施した。共催：上村小学校PTA協力：遠山中学校(1学年) 内容：上村小学校・遠山中学校「総合的な学習・研究発表」講演会「上村みんなどで受けた授業～個性が響きあう歌のチカラ～」小田ルイ氏(東京在住シンガーソングライター)</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	小学生霜月祭(横笛)教室	市・地	継続	3	45	15	415	11月22,26日 12月1日	上村小学校他
	目的	<p>平成21年度から取り組んでいる「小学生霜月祭横笛教室」を継続し、小学生の霜月祭への関心を高め、参加促進を図れる機会として開催する。 11/26 中郷保存会への練習参加 11/26 上村青年会議所の指導 12/1 中郷霜月祭への参加</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	世代間交流事業	地区費	継続	3	60	20	415	実施内容のとおり	上村小学校・保育園
	目的	<p>高齢者クラブと連携し、保育園児・小学生を対象に、おやすみやしめ縄飾り作りなど、地域の伝統文化にふれる機会を提供する。 12/18…上村保育園おやすみ作り 1/…上村小学校小正月飾り 1/15…上村小学校松送り、七草粥作り</p>							
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	かみっこお楽しみ会	地区費	継続	3	50	15	415	実施内容のとおり	かみっこ交流館
	目的	<p>親子を対象に、本の読み聞かせ、工作・菓子作り体験を通して親子の交流を深め、集団での社会性を身につけることを目的に実施</p>							

上村公民館の事業報告

区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	自然エネルギー講座		0円	新規	2	10	10	414	10月22日、27日	上村公民館 他
	実施内容 自然環境をエネルギーという視点で学び、地域との取組む小水力事業への関心を高める								【総括と今後の方向付け】 昨年までは、野鳥と星空観察会を継続してきたが、視点を变えて、地域の小水力事業取組への関心を高めることを目的として初開催した。 今後もさらに視点を広げながら、自然の魅力を再発見できるように講座を企画していきたい。	
区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	福祉講演会(健康フェス)		他会計	新規	1	40	40	415	3月3日(日)	上村コミュニティセンター
	実施内容 高齢化を支える地域づくりと健康増進につながる交流の場の場づくりを目指す。								【総括と今後の方向付け】 高齢者と若者のどちらも参加するスポーツ大会で講演会を加える形式で、まずは、関心をもってもらうことを目的として開催した。健康福祉委員会との合同企画という事で、南信濃地区にも参加を呼びかけ開催した。	
区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	人形劇フェスタ2018 地区公演		市・地	継続	2	212	100	415	8月4日(土)、5日(日)	上村コミュニティセンター
	実施内容 地区住民を対象に、身近な場所での人形劇に親しむ機会を提供と、地区独自の企画により人形劇フェスタを地区から盛り上げる目的で実施。								【総括と今後の方向付け】 海外劇団による中学校区公演の会場としたことで、2公演の実施ができた。事前学習からの取組もあり、2地区合同で公演を企画できたことは今後につながる取組となった。 また、南信濃地区の劇団に初めて公演してもらい好評であったことから、11月開催の地区文化祭でも人形劇公演が初めて実施することにもつながり、フェスタ期間以外の人形劇を楽しむ機会にもなった。	
区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	遠山2地区合同人形劇フェスタ市内観劇バスツアー2018		市・地	継続	1	50	50	415	8月10日(金)	かさこし子どもの森公園他
	実施内容 親子を対象に、子どもだけでは参加できない市内中心部で行われる公演を鑑賞する機会を提供と集団での社会的に身につけることを目的に実施								【総括と今後の方向付け】 子どもたちも楽しみにしており大勢の参加があった。地区内とは異なる環境で観劇すること、また学校を離れたところで子どもたちが集団行動を行うことにより、人形劇観劇に加え貴重な社会体験もできた。今後も南信濃公民館・図書分館と協力し、取り組んでいきたい。	
区分	事業名	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	地区文化祭(しゃくなげ祭)		市・地	継続	1	200	200	415	11月11日(日)	上村小学校体育館
	実施内容 地区住民を対象に、身近な場所での芸術文化に親しむことを、また地区の文化活動の成果発表の場と住民交流の場を通じて住民の交流を図る。								【総括と今後の方向付け】 小学校、保育園と一緒に地域が企画する事業として、実行委員組織も拡充して、合同開催の意味づけから企画を検討している。結果として新たな出演者や、団体が復活するなど、地域の中で盛り上げようという機運が高まり、若者グループ(消防団を含む)の活躍の場として、新しい企画が出て喜ばれている。引き続き、地域が元気になる事業として継続させていきたい。	

上村公民館の事業報告

No.3

区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
文化事業	遠山地区成人式	市・地	新規	1	40	40	40	15	1月13日(日)	15	1月13日(日)	南信濃地域交流センター
文化事業	統合遠山中学校区となり、2地区区公民館合同開催。 8/16…新成人との打合せ① 9/25…新成人との打合せ② 10/22…地域学習(座学) 11/17…地域学習(体験) 12/29…新成人との最終打ち合わせ	市・地	新規	1	40	40	40	15	1月13日(日)	15	1月13日(日)	南信濃地域交流センター
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	ニュースポーツ講習会	市・地	継続	0円	15名	1	1	15名	15名	415	7月8日(日)	上村ふれあい広場
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	マレットゴルフ大会	市・地	継続	地区費	40	1	1	40	40	415	10月7日(日)	中山スカイパークマレットゴルフ場
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	地区運動会(かみむら大運動会)	市・地	継続	地区費	150	1	1	150	150	415	9月16日(日)	上村小学校校庭
区分	事業名	事業区分	事業区分	予算区分	事業区分	開催回数	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	公民館卓球大会・第25回小学生卓球大会	市・地	継続	地区費	45	1	1	45	45	415	2月23日(土)	上村小学校体育館

上村公民館の事業報告

No.4

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
体育事業	春季スポーツ大会	市・地	継続	1	40	40	415	3月3日(日)	上村コミュニティーセンター
	地区住民を対象に、運動機会の提供と、健康づくりへの意識向上を図る								
評価	【総括と今後の方向付け】 親しみやすい囲碁ボールには高齢者だけでなく、家族づれの参加も見られ好評であるが、マンネリ化は否めず、プラス健康講座という形で実施しているが、今後は、新しいニュースポーツなどに慣れ親しんでもらえるような工夫をしていきたい								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
広報事業	館報「かみむら」発行	地区費	継続	年4回			400部	6月30日、10月30日、1月31日、3月31日	開催会場
	地区住民を対象に、地域の情報発信、課題提起、将来への記録等を目的に発行								
評価	【総括と今後の方向付け】 地域をとりまく話題や課題に対し、地区住民の関心を高めるため年4回発行。遠山郷助っ人名鑑(2地区合同企画)、入学式 他 第184号 人形劇フェスタ、かみむら大運動会、若者活動紹介①他 第185号 文化祭、成人式、霜月祭 若者活動紹介② 他 第186号 公民館大会、PTA講演会、卓球大会 他 第187号								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
その他	若い衆で地域を語らまいか！(若者学習会)	市・地	継続	18	120	4	415	実施内容のとおり	開催会場 他
	世代を越えた地域住民同士の交流を通し、この地区の独自性を見つめ直し、地元を誇りをもってもらおう。								
評価	【総括と今後の方向付け】 これまで若者という大きな枠で講座を開催してきたが、目的や関心の共通した仲間づくりと実践を目的にグループ化を図り、まちづくり委員会や保存会の協力を得ながら自主的な活動を公民館が支援する形で取り組んだ。公民館事業への協力体制にもつながり、参加する若者の地域への関心の高まりにもつながる効果が見え始めている。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
公民館体制検討会	公民館総会にて体制見直し検討会発足を承認。	O円	新規	4	40	10	415	実施内容のとおり	開催会場 上村公民館
	4/10 公民館総会にて体制見直し検討会発足を承認。 7/12 第1回体制検討会(館長、分館長、主事) 8/24 第2回体制検討会(館長、分館長、専門委員長、主事) 9/18 上村まちづくり委員会で改編案を承認 11月 本館委員の選出及び依頼(館長・主事)								
評価	飯田市との合併13年を経過し、当時の人口から半減した現状と、分館役員の選出減の要望を受けて、H31年改選期にむけて検討会を発足して組織と定員の見直しについて検討した。 分館にこだわらない本館付委員を設置する。 文化・体育・広報の3委員会を企画・広報の2委員会にする。 分館選出委員を5名から3名にする。								
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
地域の子育ての将来を考える会	地域の子育ての将来を考える会	地区費	継続	7	100	10	415	別紙内容のとおり	開催会場 他
	かみむらっこ応援団(CS)…4/24、2/20、3/5 子育て支援会議…4/5、5/30 他 放課後見守り事業(新)…運営200日 小保地域員学会…7/19 教育移住懇談会…1/27								
評価	前年度の「小学校、保育園の将来を考える学習会」、H30年度から上村小学校が小規模特認校に指定された1年目ということで、小学校、保育園と連携を図りながら、会議と事業を展開してきた。「教育移住」というキーワードで継続的な取り組みを目指して、話し合いの場や実践を公民館が支援していく。								

南信濃公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	乳幼児学級「すこやか学級」	市費	継続	15	70	4	18	実施内容参照	和田保育園他
				【総括と今後の方向付け】 和田保育園と合同で実施している。上村保育園合同開催も実施している。 ①5/15開講式 ②6/7感染症予防について(和田・上村合同) 講師:厚生病院の方々 ③7/3七夕飾りを作ろう ④7/20保育園 夏祭り⑤8/4いっぴい人形劇フェスタ公演⑥8/7いっぴい人形劇フェスタ公演⑦いっぴい人形劇フェスタ公演⑧和田・上村合同 ⑨9/15保育園 運動会⑩10/18人形劇を見よう(和田・上村合同)⑪11/6焼きも大会⑫11/12リトミック講座 講師:山崎友子さん(和田・上村合同)⑬12/4クリスマスお楽しみ会(まちづくり委員会役員がサンタ役)⑭わらべうたを歌おう講師:中津先生(和田・上村合同)⑮2/19日入園⑯3/6閉講式・手形足形で成長の記録づくり パン作り 講師:山崎一代さん	【総括と今後の方向付け】 中山間地域、ここでいう遠山郷でのESDとは何か道しるべとなるような講演会であった。何か新しいことを始めるわけではない。すでに、遠山郷は持続可能な〇〇に向かって始動している。まさにユネスコスクール登録を目指し、地域で学び実践しようとしている。そんな足元を見つめ直す講演会となった。保護者よりも子育てを終えたご年配の参加者が多かった。学校と地域を繋げるために今後も継続していく。				
学級・講座	◆和田小学校PTAとの合同講演会 「学校を拠点とした持続可能な地域づくりのための教育(ESD)」 講師:麻布大学及び立教大学 ESD研究所 研究員 小玉敏也先生 学校運営協議会がESDという横文字が先行してしまい、保護者を含め住民が混乱している状況を鑑み、専門家の講演から遠山郷らしい持続可能な地域づくりについて講演を実施した。	市・地	継続	1	26	26	1,396	10月5日	南信濃地域交流センター
学級・講座	高年齢者福祉学級	市・地	新規	1	86	86	1,396	3月7日	南信濃地域交流センター
学級・講座	高年齢者のみならず「福祉」というテーマを地域全体で考え、意見交換する機会を図る	市・地	継続	43	301	7	1,396	実施内容参照	実施内容参照
学級・講座	地域住民を対象に、人形劇を通じた、地域づくりを図る。	市・地	継続	43	301	7	1,396	実施内容参照	実施内容参照
学級・講座	高年齢者有志で人形劇団を設立。小学校人形劇指導や各校区での上演などを実施。劇団名「遠山☆ざらり」◆講座 4月1回 5月7回 6月8回 6/6 人形劇講座① 講師:吉澤亜由美 7月7回 7/11人形劇講座② 講師:くすのき燕 8月1回 9月2回 10月2回 11月2回 1月3回 合計35回◆和田小学校人形劇指導 3回 ◆公演 8/4 世界人形劇フェスティバル(いいだ人形劇フェスティバル2018)中学校区公演 8/5 世界人形劇フェスティバル(いいだ人形劇フェスティバル2018)地区公演 10/23 秦阜村高齢者学級公演 11/11 かみむら文化祭「しゃくげ祭」公演 1/20 人形劇1月定期公演	市・地	継続	43	301	7	1,396	【総括と今後の方向付け】 7年目を迎える平均年齢77歳の7人組。参加者同士切磋琢磨し技術向上を図って今年度は3作品目「いだいじやとむす習」を完成させ、年間を通じて活動した。昨年に引き続き学校人形劇の指導など学習により積み重ねてきたものを伝えていくことにも力を入れることができた。また、地域外からのオファーがあるなど、参加者同士の交流と上演技術の向上といった側面から、活動を行う事ができた。今後とも民話を次世代に伝えていくことを目的にしながら継続的な取り組みにつなげていきたい。	実施内容参照

南信濃公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	女性学級	市費	継続	3	30	20	700	実施内容参照	実施内容参照
	実施内容	<p>女性(18歳以上)を対象に学習と交流の機会を図る。</p> <p>①9/30、10/3 「陶芸教室」 講師:せせらぎの里陶芸館 松沢進さん 10名</p> <p>②12/26 「フラワーアレンジメント講座」 講師:ラブリ 伊藤篤さん 20名</p> <p>会場:南信濃学習交流センター</p> <p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>女性の視点によるテーマ設定を行うため学級参加者の声を聞いたが、参加者が固定化している状況にある。対象、実施日の設定を更に検討し、幅広い層から参加が得られるような企画を行っていききたい。</p>							
学級・講座	図書分館との合同事業	市・地	継続	8	182	20	1,396	実施内容参照	実施内容参照
	実施内容	<p>①4/18 子どものための読み聞かせ 10名 南信濃学習交流センター②</p> <p>4/18 大人のための読み聞かせ 18名 南信濃学習交流センター</p> <p>③7/7 楽しく七夕まつり 22名 南信濃学習交流センター ④8/10 人形劇</p> <p>バスツアー(上村・南信濃合同) 46名 かざこし森の公演、セントラルパーク</p> <p>⑤10/20 読書の秋・食秋の秋 20名 南信濃学習交流センター ⑥12/16</p> <p>思い出そうよあの頃を。そして話そうよin旧木沢小学校 32名</p> <p>⑦12/22 クリスマス会 34名 南信濃学習交流センター ⑧3/25 子どもた</p> <p>めの読み聞かせ&ホットケーキ作り 南信濃学習交流センター</p> <p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>各回、南信濃図書分館と企画して実施した。読み聞かせや大型紙芝居などを組み込み、子供たちが本に親しんでもらえるような内容とした。子どもだけではなく、大人の読み聞かせも定期的に行い、本を読む習慣を地域全体に広げていける様実</p> <p>施した。また地域の高齢者とのふれあいの機会も設けたことで、世代間交流にもつながりが持てた。今回は中央図書館のご協力と、木沢地区の皆さんのご協力を得て、旧木沢小学校で読み聞かせと紙芝居を実施した。参加者の反応も好評で、次年度以降も多くの参加が得られるような内容を検討していききたい。</p>							
学級・講座	夏休み連続子ども講座	市・地	継続	3	80	45	45	実施内容参照	実施内容参照
	実施内容	<p>保護者アンケート等から地域資源を活用した連続講座を実施。</p> <p>対象:小学生 ※①及び特別企画については環境学習で計上</p> <p>②③7/31~8/1 和田っ子ペッパーと遊ぼう(2日間連続)</p> <p>会場:和田小学校 講師:和田小学校 矢崎基校長先生、和田小学校</p> <p>林久寿先生</p> <p>参加者:50名</p> <p>④8/4 フェスタデコレーション講座</p> <p>会場:地域交流センター 参加者:30名</p> <p>※春休み連続子ども講座を4回実施予定</p> <p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>長期休暇中の連続講座として今年度は4回(特別企画含む。)実施した。事前に保護者と小学生にやらせたいこと、やってみたいことをアンケート調査した。保護者は、課外授業のような地域の自然を満喫できるようなものを求めており、子どもたちも探検や、ものづくりに興味を示した。</p> <p>今年度は中学生を対象に子どもの見守りをする世話役を依頼したところ、3名の生徒から申し込みがあった。児童と生徒を繋げ、小中一貫教育の橋渡しになるのではないかと、可能性を感じた。保護者からは毎年のように継続を要望する声があった。一方、長期休暇中の居場所づくりを求めている。単に子どもを預けられればいいのか、学童保育として保育事業を求めているのか。話し合いを継続していく。</p>							
学級・講座	ブッポウソウ保護活動	市費	継続	1	16	16	1,443	4月29日	地区内
	実施内容	<p>ブッポウソウは県の天然記念物に指定されていて、県内では20つがいほどしかいない貴重な鳥で、その保護活動を通じて自然を理解し、自然を保護する気持ち育てる機会を醸成する。</p> <p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>ブッポウソウの巣箱を地区内の橋の欄干などに取り付けた。近年、大人だけの参加だったが、今年は子どもも参加があり、意欲的に取り組む価値を実感した。今年度は、継続事業として取り組むために、児童や生徒の参加意識を高めよう。次年度へ繋げたい。本活動を通して、豊かな自然の中での調和や、環境保全の必要性を認識できる取り組みとしたい。</p>							

南信濃公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
学級・講座	夏休み子ども講座 小学生を対象に、自然・歴史・文化など地域に溢れる資源を学ぶことで、地元に着目して、地元を愛着が持てる人づくりを目指す。		市・地 継続	2	56	45	45	実施内容参照	地区内
				保護者アンケート等から地域資源を活用した連続講座を実施。 対象：小学生 ※②③④は学習交流に掲載 参加人数は対象講座のみ記載 ①7/30 遠山流フットロケイニングin和田宿 会場：学習交流センター 参加者：26名 ②8/2 特別企画 地元食材を使った巻き寿司、地元の竹を使って流しそうめん。 会場：地域交流センター 講師：食生活改善グループ 参加者：30名	【総括と今後の方向付け】 ※学習交流推進事業に掲載				
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	世界人形劇フェスティバル(いっぴい人形劇フェスタ2018)	地区費	継続	6	420	70	1,396	実施内容参照	実施内容参照
文化事業	地域住民を対象に、芸術鑑賞することで、感情的や情緒を育み、創造的で、個性的な心の動きを豊かにするような機会の提供を図る。	◆遠山2地区中学校区公演事前学習 7/22 上村・南信濃公民館文化委員が中心になり実施。 講師：近藤珠美(南信濃出身・女子短期大学生)、遠山ふじ糸伝承の会の皆様 南信濃地域交流センター 参加者45名 ◆遠山2地区中学校区公演 8/4 上村・南信濃公民館文化委員が中心になり実施。 上村コミュニティセンター 参加者112名 ◆南信濃地区公演 8/5和田田を舞台に地域活性化団体得和田宿にぎやかし隊が中心となり実施。 細屋旅館駐車場及び紺屋旅館駐車場 参加者73名 8/11文化委員が中心となり実施。 南信濃地域交流センター 参加者83名 ◆保育園公演 8/7和田保育園PTAが中心となり実施。 南信濃地域交流センター 参加者62名 ◆8/10 人形劇観劇バスツアー 参加者45名 フェスタで賑わう街中の様子や雰囲気体験することで人形劇のまちを改めて知ってもらう機会として実施。遠山2地区の子どもたちの交流の輪を広げるため、上村地区と合同開催した。	【総括と今後の方向付け】 地区の祭典と人形劇公演を併催する初の実験では、良い感触を得られた。人形劇フェスタに単にフォーカスするのではなく、多くの人がみるにほどうすればいいか。人形劇を通して親子の結いの時間をつくることはできないか。等、俯瞰的にみることで、祭りと併催する。→人が集まる。→親子どころかお年寄りも孫で出かける。→人形劇を観る。という好循環が生じ、中山間地域での人形劇公演の更なる可能性を感じた。						
			評価						
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	ふるさとコンサートin遠山郷	地区費	継続	1	82	82	1,396	7月14日	かぐらの湯交流ホール
文化事業	市民を対象に、音楽を楽しむ機会とする。子どもたちに優れた音楽に親しんでもらうことを目指す	aru企画を通じ、弦楽五重奏団アンサンブル錦を招き、文化委員会・南信濃振興公社・地域活性化団体チームモッセによる実行委員会方式で開催。	【総括と今後の方向付け】 南信濃振興公社とチームモッセとの共催により昨年度に引き続き実施した。普段聴くことのできない演奏を間近で聴くことができた。また、中学生によるオーブニング参加により、生徒の活動発表の場として地域の方々にご覧いただく機会を創出できた。しかしながら、経費の約7割を負担する南信濃振興公社から、今後は同じように負担できない。との声が挙がっており、経費捻出については十分に議論が必要である。						
			評価						

南信濃公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	遠山地区成人式	市・地	継続	6	45	16	16	実施内容参照	実施内容参照
文化事業	<p>上村及び南信濃2地区公民館合同開催。</p> <p>①8/16 成人式開催要項の検討②9/25 成人式当日の打合せ地域学習内容の検討③10/22 謝恩会(祝賀会)内容確認地域学習その1 座学④11/17 地域学習その2 体験⑤12/29 成人式及び謝恩会最終確認</p> <p>⑥1/13 遠山地区成人式</p> <p>新成人を対象に、地域が祝い、成人としての自覚をもってもらうことを目指す</p>							【総括と今後の方向付け】 統合遠山中学校の4期目の卒業生となる今年度も引き続き合同開催とした。昨年と同様に一人一言ずつ言葉述べ、親や地域への感謝や今後の夢を語る場を設けることとした。新成人の一言では、親への感謝の言葉だけでなく、地域の皆さんへの感謝や地域に恩返しをしたいとの言葉を会場内の多くの皆さんの前で発言できたことに大きな意義を感じた。新たな取り組みとして、「保護者から新成人へ贈ること」を行った。恩師や新成人だけでなく、保護者にとっても、二十歳の節目をきっかけに、子どもへの成長について改めて考える機会となった。年々により新成人の人数は異なるが、実行委員会で検討し地域の特色ある成人式を目指していきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	南信濃健康まつり	地区費	新規	1	65	65	1,396	2月23日	南信濃地域交流センター
体育事業	<p>健康福祉委員会と体育委員会合同で実施。</p> <p>ニュースポーツ交流会 クラブ・囲碁ボール・クロリテイ</p> <p>地域の住民を対象に健康や食に対する関心を高め、自身で行う健康づくりのきっかけの場を提供する。</p>							【総括と今後の方向付け】 村時代から行ってきた健康まつりに併せ、ニュースポーツ交流会を開催。高齢者から子どもまで幅広い世代が参加し交流が行われた。村時代から整備してきたニュースポーツが多くあることから、体育委員自身もそれぞれのルールを学ぶと共に、地域での活用が図られるよう取り組みを行ってきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	南信濃地区市民運動会	地区費	継続	1	—	—	1,396	10月7日	南信濃運動場
体育事業	<p>地域住民の健康増進、コミュニケーション機会の提供として、公民館委員会を中心とした実行委員会体制で実施。</p> <p>全18種目。内、5つの地区対抗種目は、木沢・南和田・八重河内・和田橋南A・和田橋南B・和田橋北の6チームに分かれ実施。</p> <p>地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。</p>							【総括と今後の方向付け】 全公民館委員による実行委員会体制により企画立案を行った。3年間雨天中止となり、住民の気運が下がっていたが、4年ぶりの開催に久々に多くの住民の笑顔を見ることが出来た。昨年度に引き続きテーマを設定したことにより、どの様な場に行きたいか共有することができた。人口の減少に伴い、選手の選出が難しい地区もあるが、競技性に偏りすぎず、観て参加し交流が深められる運動会を目指していきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第38回南信濃地区ソフトボール大会	地区費	継続	1	92	92	1,396	8月26日	南信濃運動場
体育事業	<p>遠山中学校、橋北、夜川瀬、南和田、南部、木沢、本町の6チームが参加。1チーム2試合のリーグ戦及び決勝戦。御射山ソフトとして親しまれ、恒例の行事である。地区ごとや中学生チームの参加で7チームが熱戦を繰り広げた。1チーム最低2試合できるように、変則トーナメント方式で開催している。</p> <p>地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。</p>							【総括と今後の方向付け】 地区内居住者や地区外に出ている地縁者、中学生と教員によるチームの参加もあり、大会が盛り上がった。地域の親睦を深める機会として、今後も継続していきたい。	
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第64回南信濃地区野球大会	地区費	継続	1	59	59	1,396	8月15日	南信濃運動場
体育事業	<p>新町、西部、本町・南和田、木沢・八重河内の4チームが参加。トーナメント方式。盆野球として親しまれ、昭和24年から始まった歴史ある大会である。各チーム選手集めに苦慮しているが、お盆に帰省している方もメンバーに加わり実施してきている。</p> <p>地域住民を対象に、健康増進・コミュニケーション機会の提供を図る。</p>							【総括と今後の方向付け】 伝統を受け継ぐ野球大会であり、帰省した方も参加できるのが特徴である。参加チームの代表と体育委員会を中心とした実行委員会方式で行い、運営も全て持ち回りで行われている。地域の親睦を深める機会として、今後も継続していきたい。	

南信濃公民館の事業報告

No.5

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	館報「やまなみ」の発行	地区費	継続	4	—	—	1000部	通年	—
広報事業	<p>シリーズで掲載する内容のほか、特集ページでは広報委員が情報発信するべき地域の話題をとらえて掲載している。年4回発行と運動会特別号を発行する。</p> <p>①第185号 6月30日発行(上村・南信濃合同号) ②号外(運動会特別号)10月31日発行③第186号 11月29日発行 ④第187号 1月30日発行 ⑤第187号 3月31日発行</p> <p>地域住民を対象に、地域の課題に対する関心を高めることを目的とする。</p>								<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>とにか委員さんが楽しみながら毎号組み立てから取材まで実施している。今回、第185号については上村との合同号という、地区をまたいだ新たな取り組みができた。両地区の委員さんが数年間協議し、集大成となった合同号は地区内外から好評をいただいた。また、第7回全国公民館報コンクールに応募し、見事特別賞を受賞した。毎号特集記事に力を入れ、その時々にあった話題を掲載した。より地域住民に親しみが持てる紙面づくりを意識している。昨年度から人にスポットを当てた「匠人」シリーズをスタート。委員の取材記事によりその人の背景を取材すると共に特集とリンクした誌面作りを心掛けた。次年度以降、効果的に情報発信ができるように、文章講座などを実施し、委員の技術向上を図りたい。</p>
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	第21回南信濃芸術祭	地区費	継続	1	317	317	1,396	11月22日から25日	南信濃地域交流センター
その他	<p>日ごろの作品を地域の方々に鑑賞してもらって成果発表の場として実施。計画から準備、片付けまで実行委員会体制による運営で行った。</p> <p>展示内容:油彩画・水彩画・水墨画・デッサン・彫刻・切り絵・貼り絵・陶芸・工芸・面・染色など。今年には新たに、当地区に関する写真展覧と、地域の地質調査のポスター展示発表を実施した。</p> <p>地域住民を対象に、芸術の振興と交流拡大の機会を提供を図る。</p>								<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>地域内の社会教育団体や地域内の芸術家を中心に実行委員会制で主体的に運営を行っている。他地域と異なり芸術作品展示に特化した取り組みであるが、多くの来場者をお迎えすることができた。しかしながら、実行委員の高齢化が進み、準備の大変さや出展数の減少が見受けられた。若者の参画が皆無であるため、年間を通してものづくりの大切さなどを地域全体へ周知していく取り組みが必要である。</p>
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	若者の思い実現プロジェクト	他会計	継続	4	37	12	1,396	実施内容参照	南信濃地域交流センター
その他	<p>UTターンの若者の思いを具現化する活動を実施。</p> <p>引き出せ潜在能力！遠山郷学び隊 ワークショップの開催</p> <p>①10/3 オリエンテーション(座談会)表紙面全体マップをつくらう 11名</p> <p>②10/26 オリエンテーション(座談会)遠山郷の地形を活かしたマップをつくらう 11名</p> <p>③10/27 遠山郷の地形を活かしたマップをつくらう 左岸&右岸マップ作成 15名</p> <p>④3/10 春の街道縁日で手書き地図ウォーキング&サイクリングを実施予定</p> <p>講師:手書き地図推進委員会</p> <p>地域の若者を対象に地域を自らのこととして考えられる人材を育成していくことを目的とする。</p>								<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>UTターンの若者を中心に地域へ愛着を持ち活動を行っていききたい若者が動き始めた。この活動と想いを広げる取り組みだけではなく、他者と語ることで新たな発見に繋がっている。次年度はこれらの学習を更に深める活動を行い、若者の力を最大限に活かせるよう引き続き支援を実施していきたい。</p>
区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
	遠山未来フォーラム	地区費	継続	1	39	39	1,396	3月9日	南信濃地域交流センター
その他	<p>地域住民を対象に地域の未来を共に考え、実践していく人材を育成していくことを目的とする。</p> <p>持続可能な地域を目指し、地域の将来像を地域住民が集い考える機会の一歩として企画。</p> <p>【第一部】中学生の学習成果の発表</p> <p>遠山中学校一年生による発表&参加者による意見交換</p> <p>【第二部】みんな南信濃のまちづくりを考えよう</p> <p>南信濃まちづくり委員会 牧島 定好 様</p>								<p>【総括と今後の方向付け】</p> <p>第一部では遠山中学校1学年のみなさんが、遠山に多くのの人に来てもらいたいとの思いから、自分たちでコミニティづくりをするを前提に、地域の魅力を再発見した学習成果を発表してくれました。第二部のまちづくりについても、喫緊の課題を整理し、優先順位をつけて、どんな取り組みが必要なのか、様々な意見出しがありました。公民館の枠にとらわれず、まちづくり委員会や各種団体との連携しながら、継続して実施していく。</p>

Aブロック公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	旧市5地区野球大会	地区費	継続	1	100	100	8チーム	5月20日	押洞運動場
	目的	各地区とも既存の野球チームがないため、体育委員が声をかけをすることで旧市5地区の市民を対象に野球を通じての交流を目指す。							
ブロック事業	Aブロック芸能祭	他会計	継続	1	150	150	25団体	6月17日	飯田市公民館
	目的	2年に1度の開催。出場順を決定。直前の1週間をかけて飯田市公民館ホールにて、ホール担当者を交え音響と照明のリハーサルを行った。芸能祭は、プログラムを地区内回覧し当日を向かえ参加者や観客で賑わった。							
ブロック事業	Aブロック広報・館報研修会	他会計	継続	1	40	40	50	10月5日	丸山公民館
	目的	旧市5地区の公民館報・まちづくり会報作成委員を対象に作成技術向上と交流を目指す。毎年1回研修を開催している。7月7日に予定していたが、災害対応のため中止。10月5日に開催。演題:「記事の内容の見つけ方」講師:橋南公民館館長 北林 明 氏 伊賀良公民館広報部長 北林 省治 氏							
ブロック事業	旧市5地区少年野球大会	他会計	継続	1	60	60	2チーム	12月2日	県営飯田野球場
	目的	旧市5地区少年野球のレベルアップと交流を目指す。「橋北・橋南合同チーム」と「羽場・丸山・東野合同チーム」の参加で大会を行った。							
ブロック事業	丘の上5地区囲碁ボール大会	他会計	継続	1	100	100	32チーム	3月10日	丸山小学校体育館
	目的	旧市5地区のニュースポーツでの交流のために開催した。5回目となる今年度は、昨年度と同じく、各地区で地区全体に参加者募集の周知を行った。「ニュースポーツ体験会」も並行して行い、ディスプレイックゲーム、ラダーゲッター等の体験会を開催した。参加チーム:30チーム(各地区より6チーム参加)大会終了後には、スポーツ推進委員と体育委員による懇親会を行い、5館の交流会を行った。							
ブロック事業	Aブロックシニア・レディースソフトボール大会	他会計	継続	2	150	75	5チーム	実施内容参照	押洞運動場
	目的	OBソフト、レディースソフトのチームの試合を通じての交流と親睦。春季大会:5月26日 秋季大会:11月3日							
ブロック事業	旧市5地区の市民(高齢者と女性)を対象にソフトボールを通じての交流を目指す。	他会計	継続	1	100	100	8チーム	5月20日	押洞運動場
	目的	【総括と今後の方向付け】準備・審判等も参加チームによる自主的な運営が定着してきている。5地区の若年層が集まる貴重な交流の場となっているので、来年度も引き続き開催していきたい。							
ブロック事業	旧市5地区の市民(高齢者と女性)を対象にソフトボールを通じての交流を目指す。	他会計	継続	2	150	75	5チーム	実施内容参照	押洞運動場
	目的	【総括と今後の方向付け】準備・審判等も参加チームによる自主的な運営が定着してきている。5地区の若年層が集まる貴重な交流の場となっているので、来年度も引き続き開催していきたい。							
ブロック事業	旧市5地区の市民(高齢者と女性)を対象にソフトボールを通じての交流を目指す。	他会計	継続	1	100	100	8チーム	5月20日	押洞運動場
	目的	【総括と今後の方向付け】準備・審判等も参加チームによる自主的な運営が定着してきている。5地区の若年層が集まる貴重な交流の場となっているので、来年度も引き続き開催していきたい。							
ブロック事業	旧市5地区の市民(高齢者と女性)を対象にソフトボールを通じての交流を目指す。	他会計	継続	1	100	100	8チーム	5月20日	押洞運動場
	目的	【総括と今後の方向付け】準備・審判等も参加チームによる自主的な運営が定着してきている。5地区の若年層が集まる貴重な交流の場となっているので、来年度も引き続き開催していきたい。							

Aブロック公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Aブロック女性バレエボール大会	他会計	継続	2	120	60	5チーム	実施内容参照	実施内容参照
	旧市5地区公民館に所属するバレエボールチームを対象にバレエボールを通じての交流を目指す。	各館所属のバレエボール団体のリーグ戦による交流試合。 春季大会 期日：6月12日・20日 場所：丸山小学校体育館 秋季大会 期日：10月16日・24日 場所：丸山小学校体育館	5チーム参加 5チーム参加	【総括と今後の方向付け】 各公民館所属のグループによる練習の成果発表の機会、相互交流につながる。交流を目的としているため順位は付けず、和気あいあいとした空気で実施できている。次年度以降も当番館を中心として実施していきたい。	実施内容				

Bブロック公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	いいだ人形劇フェスタ わたしだけのワッペンケースをつくろう	地区費	新規	1	48	48		実施内容参照	実施内容参照
	世界人形劇フェスタファイナルに向けたワッペンケース作りと「ザ・スリーデイズマーカーケットシアター」の皆さんによる特別公演を実施。 期日：7月29日 会場：県公民館 内容：●ワッペンケース作り わたしだけのワッペンケースづくり 講師 宮澤さん、協力 青山さん、織物クラブの皆さん ●特別公演 劇団：ザ・スリーデイズマーカーケットシアター	【総括と今後の方向付け】 「ワッペンに愛着を持ち、地区公演へ足を運んでほしい」という願いから企画した。参加者の様子を見ると、親子で真剣に楽しそうにつくっている姿が印象的で、また、公演に移動する際に「かわいいうええ」が由来だね「かわいいうええ」など、参加者と一緒に協力しながら企画できた。企画者側から見ると、ワッペンケースをつけた子どもたちも嬉しそうに人形劇を観る姿が、フェスタへのワクワク感につながると感じた。色々なアイデアを持った人となりが、共に考えて企画する、今回のようなワークショップが、地区へ広がっていくと良いと感じた。	評価						
ブロック事業	Bブロック館長・主事学習会	0円	継続	1	19	19		実施内容参照	実施内容参照
	今年度は上郷公民館が当番で研修会を実施した。 期日：11月5日 会場：野底山森林公園 内容：ふるさと学習の推進取り組みについて 現地見学「野底山の歴史を紐解く」 案内人：上郷公民館 館長 渡邊義昭 講義「野底山論～上郷と東野の利権争い～」 意見交換会	【総括と今後の方向付け】 本年は上郷公民館が当番で、上郷の野底山森林公園を巡り、「野底山論」に関することのお話から、上郷地区の歴史や先人の考えに触れる機会となった。 意見交換の中では、ふるさと学習を進めていくうえで、地域にとってもその場所やものがどのような背景があり、またそこに関わる人たちがどういう思いを持っているかというのを、そこに住む人たちが認識できることが大切だということも共有し、今後のふるさと学習について考え直す機会となった。	評価						

Cブロック公民館の事業報告

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Cブロック情報交換会	他会計	継続	1	62	62	235	6月18日	松尾公民館
	Cブロック公民館委員(文化・体育・広報・育成等)を対象に、情報交換会を実施。今年度は次のような形態で実施した。 全体会議「飯田市らしい公民館活動の魅力について」 講師：飯田市公民館副館長 秦野高彦 氏 ○文化育成 地域の魅力を歩いて知ろう！ ○体育 スポーツツラッキー 会場：飯田勤労者体育センター第1体育館 ○広報 楽しい館報づくり～ネタを考えよう～	【総括と今後の方向付け】 昨年度と同様に研修・情報交換を分科会ごとに開催した。分科会では、担当地区委員がテーマを設定し、企画運営を主体的に実施した。懇親会では地区を超えた交流を行い、参加者からは好評であった。来年度以降も引き続き情報交換会として内容を検討しながら実施していきたい。	数量的成果 (項目名と数値) 良かった96%、良くなかった0%、どちらでもない4%	評価					

Dブロック公民館の事業報告

No.1

区分	事業名	予算区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Dブロック公民館 運動会情報交換会	地区費	新規	1	26	26	50	7月10日	龍江公民館
	目的 ブロック内の体育正副委員長・スポーツ推進委員及びスポーツ推進委員の交流会 ①各地区の運動会の概要やパンフレットを比較 ②情報交換会 ③懇親会							【総括と今後の方向付け】 各地区的運動会の困りごとや種目について情報交換を行った。 Dブロックは交流スポーツ大会などがあり、委員長同士が顔見知りなどもあって、多くの話し合いができた。	
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Dブロック小学生交流会	地区費	継続	1	19	19	200	7月26日	旧小笠原家書院ほか
	目的 Dブロック内6小学校の児童を対象に、中学校進学前の交流を図りつつ、地域の特色や施設を知る。							【総括と今後の方向付け】 毎年参加する児童にとっては、恒例の事業になっており、参加児童の感想を聞いても、また、この事業を通して友達ができたりと、目的に沿った事業となっている。来年も子ども達の様子に応じて目的をきちんと据えた上で工夫して実施したい。	
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Dブロックバドミントン大会	地区費	継続	1	50	50	9,225	9月30日	竜峡中学校体育館
	目的 Dブロック5地区で活動するバドミントンチームを対象に、地区を超えた交流と健康増進を図る							【総括と今後の方向付け】 5地区全てからチームが参加し、地区を超えた交流の機会となった。 次年度になってからチーム代表者を開催し、内容の検討や日程の決定等行っていく。	
区分	事業名	事業区分	事業区分	開催回数	のべ参加数	1回参加・登録数	対象数	開催期日	開催会場
ブロック事業	Dブロック交流スポーツ大会	地区費	継続	1	72	72	9,225	2月24日	龍江小体育館ほか
	目的 スポーツを通じてDブロック公民館委員及び住民同士の交流を行い、各地区的情報交換の場とする。							【総括と今後の方向付け】 昨年に引き続き館長・主事がコーラスグループ発表会のため不在の時間が多かったが、スポーツ推進委員と協力し、無事運営することができた。スポーツを通じて、地域を超えた親睦が図られており、貴重な機会となっている。来年度もスポーツ推進委員さんと協力して実施して行けると良い。	

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
昭和 22以前				21.7公民館設置次官通牒 憲法・教育基本法・自治法
23	飯田市公民館設置 (館長は市長兼務)	講演会等さかん ナトコ巡回映画 青年補習学校(7)	生活合理化展共催	教育委員会法
24	社会教育法公布		スクエアダンス普及	
25			青年演劇 コンクール(郡公)	図書館法 文化財保護法
26				博物館法(学芸員設置) 下伊那公民館主事会発足
27	市営球場建設			下伊那公運協脱会
28		青年学級(8) 天龍峡夏期大学	館建設基金 バレー公演	青年学級振興法施行
29	中央公民館落成	婦人学級始まる		
30		婦人文集活動興る		
31	地区公民館8館並立 (専任主事8人) 公民館条例制定			第1回町村合併1市7ヶ村 市図書館条例制定 市連合青年団結成 地方教育行政の組織及び運営 に関する法律制定
32	市公民館処務規則			市図書館分館規則
33		通信教育学級開設		体育施設条例
34	告示「公民館の設置運営 に関する基準」 社会教育法一部改正	ラジオ婦人学級 開設		
35	市民プール落成	政治学習興る		
36	公民館9館並立となる (社教主事1人公民館 主事9人) 使用料条例			4月川路村編入合併 6月梅雨前線集中豪雨災害 過疎地域の人口流出目立つ スポーツ振興法 テレビ普及
37			第1回公民館大会	農村部人口流出続く
38	松尾公民館使用料条例 社教主事設置1	商業青年学級開設 国庫補助事業で家庭教育学 級始まる	第2回公民館大会	地域開発の声おこる 文部省：進展する社会と公民 館
39	地区公民館12館並立 地区公民館使用規則	青年学級(6)	県公民館大会飯田開催 (市公大会合流)	上久堅、千代、龍江の3ヶ 村、市に合併
40		青年学級(11) 母親文庫(14グループ)	歩こう会始まる	下伊那テーゼ「公民館主事の 性格と役割」発表
41			母親バレーボールさかん	文化財保護条例制定 市、地財法準用
42	下久堅虎岩分館設置	松尾学童クラブ開設		全公連「公民館のあるべき 姿・今日的指標」発表
43	旧市、5地区館設置で 16館並立となる (公民館主事14人)	青年学級減少(5)	成人式8月実施 早起き野球、体操祭さ かん	体育指導委員設置規則
44			青年文化祭(市連青)	
45		文部省囑託で婦人学級		旧小笠原書院条例制定
46	公民館主事に社教主事 を補職1人 青年学級規則 松尾水城分館設置		文部省委嘱事業[公民館 運営基準研究]始まる 地区市民運動会さかん	社会教育審議会答申「急激な 社会構造の変化に対処する社 会教育のあり方について」

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
47	県民運動広場管理 社会教育指導員設置 松尾明分館設置	青年セミナー開設	公民館芸能祭始まる	飯田文化会館開所
48	飯田市公民館運営基準 研究報告書作成（4つ の運営原則を打ち出 す）	高齢者教室開設(2) 市民セミナー開始 主事会報創刊10月	県民体育飯伊大会	
49	山本公民館建設 松尾新井分館設置	市民セミナー全地区で実施 竜丘でモデル婦人学級	地区文化祭さかん	社会体育係長設置 社会教育課に青少年係設置 少年補導センター設置 考古資料館開所
50	市公民館改築工事始ま る 竜丘公民館建設	龍江でモデル婦人学級 高齢者教室(6)	青年スポーツ祭始まる 母親バレーボール大 会、社会教育課から公 民館へ	市財政悪化 夜間照明施設9ヶ所 学校夜間無人化 公民館支所直廃止 スポーツ主事設置 社会教育課に国体準備事務局 設置
51	飯田市公民館竣工 竜丘公民館竣工 公民館が社会教育機関 として独立（副館長制 となり、市公に管理 係、指導係を設置）	松尾でモデルセミナー 座光寺でモデル婦人学級 母と子の公民館活動はじま る（旧市5館）	趣味の教室さかん 市公民館開館記念行事 として郷土日本画家遺 作展及び遺作集刊行 OB野球大会	学校施設開放始まる
52	下久堅公民館竣工	セミナー学習活発となり、 各地で地域課題への取組み が広がる。 市民大学講座、乳幼児学級 始まる。	優良公民館として文部 大臣表彰受賞	市民憲章制定 第3次全国総合開発計画策定
53	旧市ではじめての単独 館羽場公民館竣工	健康学習広がる 運営委員会方式の学級運営	県公民館大会が飯田市 で開催	やまびこ国体 市制40周年 第2次基本構想・基本計画策 定 教育委員会に教育次長を設置
54	丸山公民館竣工 千代公民館竣工	地区公民館でも地域に根ざ した大学講座開設の動き	人形劇カーニバル始ま る	地方の時代、文化の時代 ビデオ機器が普及 社会教育委員設置 社会教育功労者表彰規定設置 飯伊がモデル定住圏に指定さ れる 中教審「地域社会と文化につ いて」答申
55	上久堅公民館竣工	セミナー学習が発展し、地 域計画づくりの動きも表わ れる	健康学習がブームに	
56	川路公民館竣工	福祉テーマの学習活動が始 まる	高齢者の文集づくりさ かん	中教審答申「生涯教育につ いて」 新飯田市立図書館竣工
57	龍江公民館竣工	天竜峡夏期大学30周年 成人男性を対象とした学習 も ビデオ利用の放送利用学習		
58	三穂公民館竣工	少年対象の学習始まる		国土庁定住構想推進調査 「地域文化の振興に関する調 査」が行なわれる
59	東野公民館竣工	「ふるさと再発見」をテーマ にいくつかのプロジェクト 事業を実施	人形劇グループの育成 飯田線教室 風越百景児童絵画展	鼎町と合併 風越山麓研修センター開所 飯田市が非核平和都市宣言

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
60	橋北、橋南公民館独立 市公主事配置 座光寺公民館竣工 公民館予算2億に	明日の親の学級をはじめ、 各地で家庭教育学級さかん 市民大学講座「伊那谷の自然と文化シリーズ」始まる 天文教室各地で実施	カーニバル事務局が公民館に 綱引き大会広がる	学校開放夜間照明有料化
61		親子対象の学習活動さかん 平和を考える婦人の集い開催 ハレー彗星観測会	放送利用中南地区研修会開催 ビデオ機器が充実 市民ギャラリー設置 郷土日本画家遺作展	
62	伊賀良公民館竣工 社会教育主事7人	主婦の再就職準備 セミナー、高校生講座始まる	松下財団の視聴覚教育研究事業 世界フェス事務局設置	第4次全国総合開発計画策定 第3次基本構想、基本計画策定 体育課設置 美術博物館建設始まる 人形劇場建設始まる
63		家庭教育地域交流事業を受けて全地区で家庭教育に取り組む 情報活用能力育成講座	世界フェス開催 主事全員がフェス事務局を兼務 フェス終了後カーニバル事務局が文化会館へ移行	人形劇場竣工 文化会館竣工 生涯学習モデル市町村の指定を受け「生涯学習のまちづくり推進本部」設置
平成元	松尾公民館竣工	魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業始まる (むこう3ヶ年)	郷土日本画家6人遺作展 成人式1月開催に変更	飯田市美術博物館が開館
2			地域文化フォーラム企画課から事務局移管 人形劇サークル創設育成事業 飯田市公民館大会学習交流都市構想の発表集会を兼ねて開催	生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律制定
3		マップづくりさかん	県主事総会飯田市で開催	婦人行動計画策定作業始まる
4	公民館使用料金改定	平和学習事業費が予算化され、平和学習の内容強化が図られる 主事会に事業別プロジェクト体制	県公民館大会、飯田市で開催	新市立病院竣工 信州飯田女性プラン策定 生涯学習審議会答申「今後の社会の動向に対応した生涯学習の振興方策について」
5	新山本公民館竣	補助事業で「青年塾」「男女共同参画塾」実施	成人式を青年塾の活動発表の場に模様替え 飯田市公民館活動史刊行 体制研究委員会で分館活動の研究	上郷町と合併 飯伊地域が地方拠点都市に指定される 浜松とのりんご交流始まる 女性室設置
6		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」 「青年塾」 「地域課題発見」 「学習グループネットワーク」で研究と実践が行なわれる	“はたち”のイメージソングづくり、成人式で発表	21飯田まちづくり会議、基本構想のたたき台がえられる シャルルヴィルメジュール市などへ主事2人視察研修参加 生涯学習審議会答申「地域における生涯学習機会の充実について」
7		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」「地域課題発見」「市民ネットワーク」「分館補助金制度」「委員報酬」「市民参加とワークショップ」「公民館建設」で実践と研究が行なわれる	戦後50年で、平和を祈念した一連の行事「満州移民の集い」「平和フォーラム」などを開催 青年塾韓国扶余へ	基本構想、基本計画策定 全庁業務革新(キックオフ)に基づき、機構改革論議に阪神大震災、主事からもボランティアに参加

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
8		主事会プロジェクト「条件整備」が加わる 人事課と共催し、地域活動家の話を聞く研修会実施(月1度ペース)	青年塾のテーマを国際交流とし、マレーシアに訪問。 異文化セミナー開講 郷土日本画家遺作展開催、遺作集発行	機構改革により生涯学習課市公に配置 基本計画スタート 女性室独立配置 起業家支援セミナー実施
9		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」に加え「中心市街地活性化」が行われる。 「情報研究」が始まる	異文化セミナー「わいわいサロン」開設 狭間壮「心のうたコンサート」(公民館発足50年記念) 青年塾マレーシア、三遠南信、飯田(りんご)の交流を体験	公民館制度発足50周年 多くの公民館で50周年記念事業やその準備が始まる 東大教育学部ゼミが飯田市の教育文化活動を調査
10		主事会プロジェクト 「人形劇カーニバル」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」「情報研究」で研究と実践が行われる	青年塾マレーシア、アウトドア体験(上久堅、大平)、こだわり体験(上久堅風土舎、下久堅大原さわやか 三穂生活改善グループ、浜松はたちの講座)	分館事業補助金を全分館に交付 人形劇カーニバルが20回で終了し「新たな人形劇の祭典」としてスタート
11		主事会プロジェクト「人形劇フェスタ」「青年塾」「市民ネットワーク」「条件整備」「情報研究」	新たな人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ」が盛大に開催。地区企画公演という新たな試みも	旧市公民館へiMAC配置 インターネットを活用した情報交換開始
12	社会教育法改正(公運審が任意設置制になるも飯田市は継続設置)	主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「青年塾」「市民ネットワーク」「地域課題」「情報研究」	学社連携・融合の推進が課題	国のIT政策 全国的に荒れた成人式が話題に
13	新竜丘公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「青年塾」「情報ネットワーク」「地域課題」	成人式地域開催	各公民館でIT講習会開催 社会教育法の一部改正
14		主事会プロジェクト 「人形劇フェスタ」「情報研究」「市民ネットワーク」「条件整備」「自然環境学習」「青年塾OB」 体制研究委員会で「分館事業補助金」「運営審議会のあり方」について見直し検討はじまる	第40回記念飯田市民館大会開催 天竜峡夏期大学講座開講50周年	完全学校週5日制スタート。 飯田市民館HPがリニューアルされ、(財)高度映像情報センターの公共HP運動でgoodsiteに選ばれる
15	公民館の設置及び運営に関する基準改正 勤労青少年ホーム公民館の組織内へ	主事会プロジェクト 「分館活動」「自治研究」「条件整備」「情報研究」 研究プロジェクト 「地域自治組織研究」	人形劇フェスタ5周年 今田人形発祥300周年	1市3村による任意合併協議会設立。併せて「地域自治組織」導入に伴う研究が行われる 飯田市歴史研究所開設 飯田市文化芸術振興基本方針策定準備会スタート
16	公民館条例改正 (運審任期2年、使用料改定) -4月施行- 公民館主事の支所職員兼務 -4月発令-	主事会プロジェクト 共通テーマ:「住民自治を前提としたこれからの公民館活動」 館長会 「飯田市民館の基本原則と今後の方向」についてまとめ教育委員会へ提出	県公民館大会、下伊那(阿智村)で開催。飯田市も実行委員会へ参画。 各地区で地域づくりフォーラム等開催し、自立への動き始まる	10/28牧野光朗市長就任。文化経済自立都市を目指す1市2村(上・南信濃村)による法定合併協議会設立、併せて「地域自治組織」導入に伴う研究が庁内プロジェクトで進められる わがまちの“憲法”を考える市民会議が発足

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
17	上村・南信濃合併に伴い、20地区公民館、106分館体制に体制研究委員会を中心に、地域自治組織発足に向けて集中的に検討し、新たな公民館ビジョンを方向付けする	主事会プロジェクト 「人形劇」 「社会教育ネットワーク」 「次世代支援」 「情報研究」	県公民館運営協議会主催公民館ステップアップ研修会を飯田市で開催	10/1上村、南信濃村と合併地育力向上連携システム整備事業PJ発足 「公民館は、地育力向上の主要な拠点として、まちづくり委員会の中で他の委員会の活動と積極的に連携して活動していく。」とする市の基本方針が出る
18	地域自治組織の発足に向けて、飯田市公民館条例を一部改正（地区公民館の運営審議会を廃止するとともに、同施行規則の一部を改正し、専門委員会の名称、委員の人数、役職、任期などは公民館長が定め、専門委員は公民館長の委嘱に）	主事会プロジェクト 「人形劇」 「総合教育支援」 「青年活動」 「情報研究」「食育」 館長会 定例館長会において、年間を通して、各地区の地域自治組織の検討状況や事例の研修、市長を始め関係機関との意見交換の場を設けた	「飯田の子どもを考える市民のつどい」を、市民の皆さんや専門知識のある方々による実行委員会を組織して開催	「地育力向上連携システム推進計画」を飯田市教育委員会が策定 教育基本法の改正
19	地域自治組織発足により、公民館がまちづくり委員会の公民館専門委員会として位置づけられる（飯田市教育委員会の社会教育機関としての位置づけも継続）	主事会プロジェクト 「人形劇」 「家庭教育」 「これからの公民館を考える」 「地域活性化」	原田泰治と子どものふれあい絵画教室 in 飯田、第5回郷土日本画家遺作展を開催、遺作集を発行	地域自治区、地域協議会、まちづくり委員会からなる新しい地域自治組織が発足
20	社会教育法の改正	主事会プロジェクト 「人形劇」 「家庭教育」 「公民館の旨味」	人形劇のまち30周年記念の世界人形劇フェスティバル、最後のアフィニス夏の音楽祭を開催	
21		主事会プロジェクト 「人形劇」 「社会教育関係団体」 「公民館の役割」	アフィニス夏の音楽祭に代わり、新たに「オーケストラと友に音楽祭」が開催する。	飯田市教育振興基本計画がスタート
22		主事会プロジェクト 「人形劇」 「PLSD」 「公民館の役割」 東京大学との共同学習 東京大学大学院牧野研究室と「これからの地域づくりのあり方と公民館の役割」に関する共同学習を実施する。また、各公民館の役員を対象に公民館の役割や主事に関する意識調査を実施	県公民館運営協議会主催「長野県公民館館報関係者研修会」が飯田市で開催	館長会及び主事会での検証、東京大学との共同学習などを踏まえ、「持続可能な地域づくりに向けた公民館の役割」についてまとめる 第1次飯田市教育振興基本計画がスタート
23		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域資源活用」 「多様な主体との連携」 東京大学との共同学習 東京大学大学院牧野研究室と「飯田市の公民館分館の役割と位置付け」に関する共同学習を実施する。川路、龍江、鼎、上郷、橋南地区の分館や団体の活動状況を調査	完全復元伊能図全国巡回フロア展in南信州 飯田を、第25回の節目を迎える「飯田やまびこマーチ」に併せた記念行事として開催	

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
24	地方分権一括法の施行により、公民館運営審議会の委員の任命委嘱基準を公民館条例に規定した。	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「青年活動」 東京大学との共同学習 分館活動のさらなる掘り下げのための調査と、昨年の調査でまとめられた報告書をもとに報告会（分館役員研修会）を実施		公民館貸館マニュアル改訂 日本公民館学会飯田集会開催 未来を拓く自治と協働のまちづくりを目指す飯田研究会開催
25		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「地域と学校を結ぶ」 東京大学との共同学習 東野、千代の2地区において住民アンケートを実施	小中連携・一貫教育が全中学校区で始まる アジア人形劇フェスティバル開催 第51回飯田市公民館大会記録的豪雪により中止	文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」が始まる フィリピンレガスピプロジェクト始まる（3年間）
26	新千代公民館竣工 新下久堅公民館竣工 丸山公民館耐震化工事竣工 上久堅公民館耐震化工事竣工	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域人教育」 「環境」 東京大学との共同学習 東野、千代の2地区において実施した住民アンケート結果報告会を実施	小中連携・一貫教育2年目	文部科学省「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」2年目の受託 解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会開催
27	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（教育委員会制度の改革）	主事会プロジェクト 「人形劇」 「新成人」 「役割研究」 「地域×高校生共育」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	県公民館運営協議会主催「長野県公民館主事会研修・総会」を飯田市で開催 戦後70年記念事業として市公及び各地区で展開	下伊那ターゼ50周年記念フォーラムを阿智村で開催 解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会を飯田市公民館大会に合わせて開催
28		主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「高齢者」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	第64回長野県公民館大会（飯田・下伊那）を飯田市で開催 市内全小中学校に学校運営協議会が設置され「飯田コミュニティスクール」となる	解体新書塾～公民館・地域自治のあり様を見なおす自治体間共同研究～飯田研究会を飯田市公民館大会に合わせて開催
29	社会教育法改正(地域学校協働活動の推進を位置づけ)	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「井戸端から地域課題を考える」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会教育と館長の役割」大人の学びと子どもの育ちをつなげる	地域学校協働活動の充実にに向けた取組が本格的にはじまる	市制施行80周年記念事業が開催される 「飯田未来デザイン2028」がスタート 「第2次飯田市教育振興基本計画」がスタート

飯田市の公民館略年表

年度	管理・令規	学習活動	行事的動向	一般的関係事項
30	新上郷公民館竣工	主事会プロジェクト 「人形劇」 「地域×高校生共育」 「井戸端から地域課題を考 える」 館長会研修テーマ 「これからの公民館・社会 教育と館長の役割」大人の 学びと子どもの育ちをつな げる	いいだ人形劇フェスタ 20周年（カーニバルか ら通算40周年） 世界人形劇フェスティ バル開催	民法の一部改正 2020.4.1より成人年齢が18歳 となる AVIAMA総会が飯田市で開催さ れる

飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ	講師
1	37年	11月13日	飯田市公民館	公民館と学習活動	立正大学 藤田秀雄
	主な内容： 公民館活動の充実のために地域の人たちの知恵を結集しよう。				
2	38年	12月1日	飯田市役所	暮らしにくさをどうきりぬけるか	生活科学調査会 田辺信一
	主な内容： 学習の相談相手になれる公民館にしよう。				
3	39年	8月7～8日	飯田東中学校	山と農村の問題	前都立大教授 戒能通孝
	主な内容： この年は飯田で開催の第13回長野県公民館大会に集中。				
4	40年	11月28日	飯田市役所	アジア情勢と日本	信大助教授 山岡利七
	主な内容： 生活に役立つ学習活動に答える公民館にしよう。				
5	41	12月11日	飯田市役所	公民館の現状と問題点	県社教主事 桜井彦郎
	主な内容： 地域課題の増加、活動の反省公民館の姿勢の確認のための事例交換。				
6	42	12月10日	市役所勤福センター	地域の変貌と公民館	信大助教授 玉井袈裟男
	主な内容： 生活課題の学習、施設の確保、市民の自主学習のために公民館の機能を活性化しよう。				
7	43	12月8日	市役所勤福センター	地域の文化活動	農文協 山田民雄
	主な内容： 前年と同じ				
8	44	12月14日	市役所勤福センター	地域開発と私たちの生活	農文協 浪江虎
	主な内容： 前年と同じ				
9	45	12月6日	市役所勤福センター	地域開発と私たちの生活	農協短大教授 美土路達雄
	主な内容： 学習活動、社会教育行政の確立、環境の浄化。				
10	46	12月5日	市役所勤福センター	社会教育行政と公民館活動	飯田女子短大 高坂詢
	主な内容： 前年と同じ				
11	47	12月3日	文化会館	これからの公民館活動	国立市公民館長 徳永功
	主な内容： 学習活動、社会教育行政の確立、環境の浄化、施設の充実公民館3階建論。				
12	48	12月2日	市役所勤福センター	学習文化活動をどう発展させるか	名大教授 小川利夫
	主な内容： 社会教育機関としての公民館職制の改善(体制の問題点)施設の充実。				
13	49	12月8日	市役所勤福センター	これからの公民館活動	信大助教授 玉井袈裟男
	主な内容： 社会教育機関としての公民館の体制の確立、地域と生活課題に根ざす学習活動の定着。				
14	50	12月7日	市役所勤福センター	公民館のあり方を考える	市議会代表 市老連代表 市連婦代表 市連青代表
	主な内容： 社会教育機関としての公民館の体制の確立。				
15	51	12月12日	飯田市公民館	公民館の歴史30年を反省する社会教育機関としての充実を図る	中大助教授 島田修一
	主な内容： 主体者である住民と、援助者である教育機関(公民館)の関わりあい。教育機関としての行財政充実。				
16	52	7月24日	飯田市公民館	住民要望と公民館の役割	名大教授 小川利夫
	主な内容： 公民館活動の見直し。住民の求める社会教育活動と公民館の関わり。				
17	53	12月10日	飯田市公民館	なし	なし
	主な内容： 教育機関として充実させていくためのリーダー養成県公民館大会が開催されたため半日で修了。				
18	54	7月29日	飯田市公民館	まちづくりと公民館	名大教授 室井力
	主な内容： 基本構想に基づく基本計画をどう進めていくか。住民参加の意義。				

飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ	講師
18	55	7月27日	飯田市公民館	民衆と学問	明治大学教授 後藤総一郎
	主な内容：地域づくりをする上での公民館の独自性。地方の時代、文化の時代といわれる中での公民館活動のあり方。				
19	56	7月26日	飯田市公民館	海外援助について考える ～ネパールで伝染病と闘った 20年の体験から～	神戸大医学部国際協力センター 専任教授 岩村昇
	主な内容：地域課題を解決していくためには諸団体バラバラでは解決できない。その連携の可能性についてと、行政の役割。				
20	57	7月25日	飯田市公民館	公民館発足当初の理念と これからの公民館のあり方	元文部省社会教育局長 寺中作雄
	主な内容：前年と同じ				
21	58	7月24日	飯田市公民館	伊那谷の民俗芸能	東京国立文化財研究所芸能部長 三隅治雄
	主な内容：芸能文化の歴史的意義と伝承の重要性。地域づくりとしての芸能。				
22	59	7月29日	飯田市公民館	教育・文化の側面から地域の活性化を図る公共施設の専門化類似化に公民館が教育機関としてどう対処していくか	静岡県掛川市長 榛村純一
	主な内容：ニューメディア(理念)の地域づくり人づくり。				
23	60	7月7日	飯田市公民館	教育活動の実践方策の研究討議 性的で魅力ある地域づくりのために	立教大学教授 室俊司
	主な内容：夜明け前の暮らしの文化。文化創造の学習の広場。地域の文化と自治体社会教育。				
24	61	9月7日	飯田市公民館	地域課題、生活課題を解決するために、自治能力の向上と共同体づくりに努める。私にとっての公民館	立命館大教授 木津川計
	主な内容：「地域を耕す、心を耕す」日本人ふるさと意識の再構築魅力ある地域とは。都市にとっての文化と人間にとっての文化。生きる喜びを何に求めるか。				
25	62	3月6日	飯田市公民館	「私にとっての公民館」「地域にとっての公民館」とは何か地方からの国際化を考える	国際化シンポジウム 五十嵐富英 竹田扇之助 本間俊太郎 横田盛廣 松澤太郎
	主な内容：行政の主催する、地域づくりを考える集いを併催し、ムトス飯田賞の表彰も行う「私にとって」「地域にとって」の公民館について、公民館委員、分館役員、講座受講生、地域代表、ムトス受賞者などの立場から実践発表を行う。				
26	63	3月5日	飯田市公民館	魅力ある地域づくりを考える家庭教育地域交流事業の実践発表	地域文化とまちづくり 国土庁地方振興局地方都市整備課長 一杉 喜朗
	主な内容：地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う「魅力ある地域づくり」にむけて公民館は何ができるか、分科会別に研究。別に家庭教育学級などの参加者の分科会も設営する。				
27	元年	3月4日	飯田市公民館	魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業について自然と人間を結ぶ	農工商が結びつく町調査報告 農文協 清水悟
	主な内容：公民館のプロジェクト事業としてはじめた魅力ある地域づくりのためのプロジェクト事業の発表。農文協の「農工商が結びつく町」を題材に分科会。助言者に調査に入った農文協職員を迎える。				
28	2	2月24日	飯田市公民館	学習交流の活性化と人づくり、まちづくり	シンポジスト： 玉井袈裟男、井上講四、 今牧英世、奥村頼人 司会：長谷部三弘
	主な内容：地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う学習交流都市構想の発表集会として位置付け、構想についてのシンポジウムと先進事例の発表会、地域の特色ある活動の展示発表を行う。				
29	3	3月1日	鼎公民館	生涯学習時代の公民館活動	愛知大学教授 小川利夫
	主な内容：地域づくりを考える集いを併催し、ムトス表彰も行う公民館委員、学級講座参加者グループ活動など公民館との関わり別の分科会を設ける。				

飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ	講師
30	4	3月7日	鼎公民館	足元から今日的課題を考える	元松川町社教主事 松下 拓
	主な内容： これからの公民館活動が、時代に即した活動になるために「環境」「国際化」「男女共生」「高齢化」「子ども」の5つの今日的課題をテーマとした分科会を設ける。				
31	5	2月27日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	動物写真家 宮崎学
	主な内容： 公民館活動が常に時代の流れを見据えたものとなるよう「高齢化」「国際化」「環境」の3つの今日的課題をテーマとした分科会を設ける。公民館活動の刊行を記念して公民館の歩みをスライド化して発表する。				
32	6	2月26日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	元日本モンキーセンター所長 河合雅雄
	主な内容： 今日の課題を学習する場と位置付けて3年目。分科会は地域での実践活動の紹介を中心に構成した「子育て」「国際化」「環境」の3つで構成した。				
33	7	2月25日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	地域計画プランナー 佐野章二
	主な内容： 今日の課題を学習する場と位置付けて4年目。分科会は「自然環境と人間」「知縁でつくる豊かな地域」という今日的課題の分科会を今井信五(しろま自然の会)岡田芳子(高山 PANTS)座光寺良子(和楽)を講師に行なったほか「委員会活動」「分館活動」の実践に基づく分科会に竜丘、下久堅鼎、上郷から事例を発表した。				
34	8	2月23日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	写真家 ジョニー・ハイマス
	主な内容： 置付けて5年目。分科会は「地域に生きるということ」「違いを楽しむ、地域を拓く」というテーマで地域での私たちに大切なのは何か開かれた地域のあり方は、について考え、また「分館活動」「委員会活動」の実践に基づく分科会に竜丘、東野、下久堅山本から事例を発表した。				
35	9	2月22日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	お茶の水女子大学教授 藤原 正彦
	主な内容： 昨年までの実績を尊重しながらも新しい視点で実施した。交流会を1部、2部として、活動の実践発表を行った。1部では、鼎名古熊演芸クラブ2部では、「食」に関する活動を取上げ、市公の「わいわいサロン」、伊賀良公民館の「食塾」、丸山公民館の「食のふれ あい工房」の発表。地区公民館報の掲示と感想の集約。				
36	10	2月21日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	登山家 田部井 淳子
	主な内容： 公民館活動の実践交流と地域課題についての学習、研究の場として位置付け。活動の実践発表は、千代不動太鼓。分科会は、市民に運営を任せ「新たな人形劇の祭典への地域の関わり方を考える」「歩くからはじまる地域づくり」「異文化交流、外国人から見た飯田市」「冬の街なか 自然体験」「ネットワークゆい いどばた会議」「暗くを共に歩む分館活動」の6つ。				
37	11	2月20日	飯田市公民館	21世紀を豊かなものに	哲学者 内山 節
	主な内容： 2000年という節目を迎え、地道な地域における活動、取り組みを通して、来るべく21世紀の地域活動、公民館活動の方向性を探る。分科会「地域住民による企画・運営から学ぶ公民館」「人形劇の能性を求めて」「学社融合連携」「五感を使って異文化交流」「風土に根ざした文化活動」				
38	12	2月28日	飯田市公民館	21世紀にどう入っていくか	国立民族学博物館教授 端 信行
	主な内容： 新世紀第1回の公民館大会としてこれからの公民館の在り方を研究 実践する場と開催。分科会「ウォーキング事業を通じた和の広がり」「地域子ども達を考える」「多文化共生を考える」「地域に在る文化の魅力を語り合う」「エコマネーって何？」				
39	13	2月17日	飯田市公民館	明日への展望 ～地域づくりの拠点公民館～	北海道大学教育学部 鈴木敏正、姉崎洋一 宮崎隆志
	主な内容： 社会教育学会のメンバーによる地域社会教育実践研究会の先生の飯田調査報告を兼ねたシンポジウムなど。分科会「これからの公民館を考える」「地区運動会を通して地域を考える」「分館活動のあり方を考える」「読者が創る情報誌・ネットワークゆいを考える」「子どもを健やかに」「地域における多文化共生の道」				

飯田市公民館大会の経過

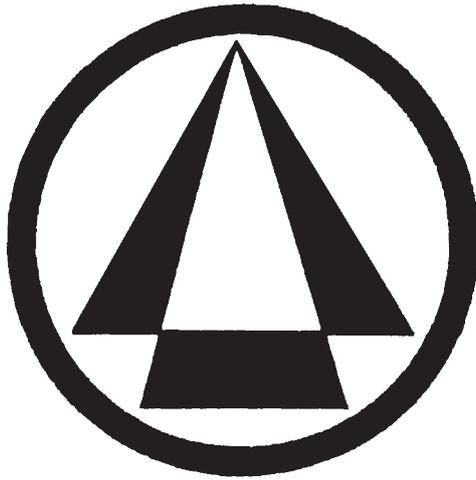
No.	年度	月日	会場	テーマ及び講師
40	14	2月16日	飯田市公民館	テーマ:「公民館活動と地域づくり」 講師:NPO法人自然環境アカデミー理事 伊東 静一 貝塚子育てネットワーク 梅原 直子 舞鶴市まちづくり新聞編集長 新治 徹 元松本市なんなん広場館長 手塚 英男
				主な内容:「飯田市公民館の歩み」を映像で振り返る。地域づくり実践者を招いた実践発表、地元の実践者による事例発表を通して、地域づくりに果たす公民館活動の姿を探る。分科会「環境と共生した豊かな地域づくりを考える」「子育てと地域ネットワーク」「広報活動と地域づくりを考える」「魅力ある分館活動をすすめる秘訣を考える」
41	15	2月15日	飯田市公民館	テーマ 今、心を結ぶふるさとづくりを 講師 全体会講師なし
				主な内容: これまでの公民館活動を振り返り、原点に立ち返って地域の未来やこれからの公民館活動を考える機会とする。全体会の記念講演は行わず、分科会のみとした。分科会「文化・体育事業を通して、これからの公民館活動を考える」「公民館報研修会」「住民自治を育てる公民館」「地域の自治活動と公民館」「足元を見つめ、地域の財産を知る」「里山の活用から地域ぐるみの環境学習へ」「子どもが伸びる地域の力」「ゲームや交流体験を通して異なる文化に生きる人たちとの共生について考える」
42	16	2月20日	飯田市公民館	テーマ:「新しい公民館の創造」 講師:市長講演 牧野 光朗 「地育力の向上と公民館」 基調講演: 東京大学大学院教育学研究科教授 佐藤 一子 「これからの公民館の果た役割」
				主な内容: 地域自治組織と公民館との関係が問われている状況をふまえてこれからの時代に対応した新しい公民館のあり方を議論する大会とした。市長講演、基調講演からつながる分科会を構成。分科会「住民自治力を培う公民館」「これからの子育て」「安全安心のまちづくり」「これからの文化事業を考える」「公民館報の意義と役割」「地域スポーツと公民館」
43	17	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「新たな公民館ビジョンの構築に向けて」 講師:和歌山大学生涯学習教育研究センター助教授 堀内秀雄 「地域自治組織とこれからの公民館の役割」
				主な内容: 地域自治組織の導入等を控えて時代の変化に対応した「新たな公民館ビジョン」づくりを進めており、これからの新たな役割を共に考える機会として実施。高坂詢氏をコーディネーターに迎え、新井優氏、増田綾子氏、柳澤竜太郎氏、山田安世氏によるパネルディスカッションを実施。
44	18	2月25日	飯田市公民館	テーマ:「新しい地域づくりの時代に向けて」 ～地域自治組織における公民館活動～ 講師:東京学芸大学名誉教授・日本公民館学会前会長 小林文人 「新しい自治の時代に」ー公民館創造の原点から学ぶものー
				主な内容: 地域自治組織のスタートに伴い、新しい自治の時代に公民館は何ができるのか、考えあう機会として、全体会を始め、基調提案、基調講演、各地区での実践を発表する分科会を開催した。分科会「考えよう地域の子育て」「多文化共生と公民館」「地域の芸術文化活動を考える」「地域に活かす郷土学習」「魅力あるスポーツ事業と健康づくりのこれから」「身近な取り組みから、みんなで考える環境」「館報から始まる情報発信」
45	19	2月24日	飯田市公民館	テーマ:「地域から求められる公民館活動のあり方」 ーまちづくり委員会における公民館の主体性と連携の立場からー コーディネーター:長谷部三弘(ひさかた風土舎代表)、 パネリスト:小市昭夫(信濃毎日新聞社編集局報道部次長) 下平隆司(前竜丘自治協議会長) 菅沼輝美(橋南地区主任児童委員)
				主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、課題を明確にすることにより、今後、より地域の中で役立つ公民館として、公民館が担うべき役割や方向性を明確にすることを目的としてパネルディスカッション及び分科会を実施した。分科会は、「子どもは地域で育てよう」「公民館報と地域広報の役割」「学社連携の取り組みについて」「自然・歴史・文化などの地域資源をどのように活用するか」「地域における分館活動の位置づけと実践」「高齢者の知恵や経験を地域に活かす～仲間づくりから始まる地域貢献とそれを支える公民館のあり方～」の6分科会を開催。
46	20	2月22日	飯田市公民館	テーマ:「地域から求められる公民館活動」 講師:基調講演「これからの公民館のあるべき姿」 飯田女子短期大学講師・元松川町社会教育主事 松下 拓 ※基調講演は、従来公民館が果たしてきた役割や大切にしてきた理念を再確認することにより、今後の公民館活動のあり方を考える礎とした。
				主な内容: 今後、公民館が担うべき役割や方向性を明確にすることを目的として基調講演及び分科会を実施した。分科会においては、実践事例をとりあげ、これからの公民館活動に活かしていけるように活発な意見交換を行った。分科会は「地域コミュニティを見直してみよう」「公民館報・広報等による情報の発信と共有」「地域と子どもがどう関わるか」「地域資源を地域づくりにどう活かすか」「住民にとって最も身近な分館や地区単位の活動をどう推進するか」の5分科会を開催。

飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ及び講師
47	21	2月22日	飯田市公民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「明日から何をするか」 講師: 松本大学総合経営学部観光 ホスピタリティー学科教授 白戸 洋 ※住民主体の地域自治が期待されるなか、公民館の活動が地域を担う人づくりにどの ように貢献しているのか確認し、今後の公民館活動のあり方を考える。
				主な内容: 公民館を取り巻く課題を明確にし、公民館が担うべき役割や方向性を確認することを目的に開催する。基調講演は、松本大学の白戸洋先生にご講演いただく。分科会では、各地区の実践事例をとりあげ、今後の公民館活動に活かすべく情報や意見交換を行った。なお分科会は、「活き活きとした地域における文化祭づくりに向けて」「心身の健康とスポーツで地域づくり・人づくり」「親しんで読んでもらえる、魅力ある広報・館報づくり」「連携して取り組む、子どもの健全育成」「地域を元気にする活動を考える」の5つのテーマで開催。
48	22	2月20日	飯田市公民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「分権と自治の時代の公民館の役割」 講師: 東京大学大学院教育学研究科教授 牧野 篤
				主な内容: 飯田市の公民館の1年間の活動成果を確認するとともに、東京大学との調査・学習の結果から見えてきた課題などを共有することで、今後の公民館活動をより有意義なものにすることを目的に開催する。基調講演は、東京大学大学院の牧野教授を講師に迎え、飯田市公民館との共同学習から見えてきたこれからの公民館の役割について、全国的な事例を交えながら提言いただく。分科会は「公民館とはどんなところ?」「歩くことを通じた地域の魅力再発見」「運動会が地域に果たす役割」「さまざまな情報媒体を生かした広報活動」「もともと身近な分館活動」の5つのテーマで開催。
49	23	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「心豊かで暮らしやすい地域づくりを目指して」 基調講演 「感動と感謝が紡ぐ地域・集落の絆」 講師: 豊重哲郎氏 (鹿児島県鹿屋市柳谷自治公民館長) パネルディスカッション 「学びと交流から活力ある地域にするには」 パネラー 豊重哲郎氏(基調講演講師) 牧野 篤氏(東京大学大学院教授) 長谷部三弘氏(ひさかた風土舎代表) コーディネーター 荻野亮吾氏(東京大学大学院特任助教)
				主な内容: 生活に一番身近なコミュニティとして「分館活動や分館が無い地区の分館的な活動」の重要性を再確認することで、公民館の学びと交流から地域の絆を育み、心豊かで暮らしやすい地域づくりの実践に結びつけることを目的に開催する。基調講演には、全国的に注目される鹿児島県鹿屋市の通称「やねだん」、柳谷自治公民館の館長(町内会長)である豊重哲郎氏をお招きして、自立した地域づくりの実践と人材育成の哲学に学んだ。パネルディスカッションは、基調講演への会場からの質問票と事前に設定する意見交換テーマで組み立てた。
50	24	2月17日	飯田市公民館	テーマ:「今、公民館を問い直す ～住民自治を育む公民館の新たな挑戦～」 実践発表会 ①「東日本大震災復興から学んだもの」 石井山竜平氏(東北大学大学院教育学研究科 准教授) ②「これからの地域と学校の連携」 長谷部豊子氏(東京都分寺市立本多公民館運営審議会 元委員長) 中森美都子氏(同 本多公民館 元館長) ③魅力ある分館活動の秘訣 三村伊津子氏(松本市町内公民館長会 元会長) ④公民館学習から始まる住民主体の地域づくり 井原岩江氏(阿智村伍和公民館 館長)
				主な内容: 第50回目の節目の大会で、初めてムス飯田交流会と併催で開催した。全体会では、これまでの公民館の歩みを振り返るDVDの上映と、各地の実践者による実践発表を行った。その後行われた分科会では、実践発表の講師が助言者等として関わり、実践発表の内容を深める組み立てのものも設定した。分科会は「震災復興を通じたまちづくりと公民館」「地域と学校をつなげる公民館の役割」「魅力ある分館活動」「地域づくりの意識を育む公民館」「公民館活動に込められた願い」「ムスで広がる市民活動」の6つのテーマで開催した。
51	25	2月16日	飯田市公民館	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地元学」による持続可能な地域づくり ～ないものねだりからあるもの探しへ～』 講師: 吉本哲郎氏(地元学ネットワーク主宰)
				主な内容: 第50回の昨年度に引き続き、ムス飯田学習会を併催。リニア中央新幹線ルート・駅位置確定や三遠南信自動車全線開通に向け地域が大きく変貌しようとするなか、持続可能な地域を創るために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有することを目的に計画した。基調講演は水俣市在住で地元学ネットワーク主宰の吉本哲郎氏を招聘し、分科会は「将来を見据えた地域づくり」「人形劇フェスタを通じた地域づくり」「地域で育てたい子どもの姿」「環境を学び、生かす」「次代を担う若者の地域参加」「ムスの心で、地域に活動の輪を広げよう!」の6つのテーマを計画した。

飯田市公民館大会の経過

No.	年度	月日	会場	テーマ及び講師
52	26	2月17日	飯田市公民館 りんご庁舎(分科会)	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地元学」による持続可能な地域づくり ～ないものねだりからあるもの探しへ～』 講師: 吉本哲郎氏(地元学ネットワーク主宰)
	<p>主な内容: 飯田市の公民館の1年間の活動成果を確認するとともに、公民館を取り巻く課題を整理しこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。リニア中央新幹線ルート・駅位置決定や三遠南信自動車道全線開通に向け地域が大きく変貌しようとするなか、持続可能な地域を確立する上で公民館が果たす役割や、これからの地域づくりに重要となる視点を共有した。基調講演は地元学を提唱した吉本哲郎氏を招聘し、分科会は「人」が支える地域づくり」「次世代につなげる地域文化」「子どもを育む地域の力」「環境を学び、守り、生かす」「明日の地域に若者の視点を!」「ムトス飯田30周年記念パネルディスカッション」の6つのテーマで開催した。</p>			
53	27	2月21日	飯田市公民館	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『「地域みがき」のすすめ ～これからの地域づくりを考える～』 講師: 小田切徳美氏(明治大学農学部 教授)
	<p>主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、公民館を取り巻く課題の整理とこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。今年度は、リニア中央新幹線・三遠南信自動車道の全線開通を見据えた地域の将来像を考える上で、持続可能な地域をめざすために公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「若いみなさん! 私たちと一緒にやろうよ!」「想いをつなぐ地域文化」「支え合う、心豊かな暮らしのスズメ」「誰もがお互いを大切にし合う地域に!」「身近な自然に目を向けよう」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。</p>			
54	28	2月19日	飯田市公民館	テーマ:「持続可能な地域をめざし、これからの公民館と地域づくりを考える」 基調講演 『地元を創り直す ～田園回帰の時代～』 講師: 藤山浩氏(島根県中山間地域研究センター研究統括監)
	<p>主な内容: 1年間の活動の成果を確認し、自分たちの暮らしや生き方を見つめる機会として、また現代社会を取り巻く課題の整理とこれからの公民館のあり方を考える機会として開催。今年度は、人口減少、リニア時代を迎え、大きな社会変貌が予想される中においても、心豊かな暮らしを実現できる持続可能な地域をめざすために、今公民館が果たす役割やこれからの地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「未来へのバトンパス」「育もう! いきいきとした子ども」「次世代に想いをつなぐ地域文化」「高齢期を支え合いと生きがいを持って」「私と地域にとっての公民館」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。</p>			
55	29	2月18日	飯田市公民館	テーマ:「地域づくりを担う人づくりの拠点としての公民館活動のあり方を考える」 ～人形劇による地域づくりと人づくり～ 全体会 内容・講師 実践発表 三穂伊豆木人形クラブ 実践報告 長谷部三弘氏(元飯田市公民館副館長) 渡邊義昭氏(上郷公民館館長) 基調講演 佐藤一子氏(東京大学名誉教授)
	<p>主な内容: 来年度人形劇カーニバルから通算40周年の節目を迎えるにあたり、飯田市の公民館のしくみと私たちの主体的な活動が支えてきた人形劇によるまちづくりについて、地域づくり・人づくりの視点から振り返り、これまでの成果とこれからの可能性について考えるとともに、そのことを通して心豊かな暮らしの実現をめざした地域づくりに重要となる視点を共有した。分科会は、「もっと楽しもう人形劇フェスタ」「地域の子供達について語ろう」「ふるさと学習」「公民館を見つめ直す」「地域課題に迫る館報・広報」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。</p>			
56	30	2月17日	飯田市公民館	テーマ:「“関わり つながり 学び合う” 心豊かな暮らし・地域をめざして」 ～これからの社会に求められる公民館とは～ 基調講演 『“関わり つながり 学び合う” 心豊かな暮らし・地域をめざして ～地域づくりというけれど～』 講師: 白戸洋氏(松本大学総合経営学部 観光ホスピタリティ学科教授)
	<p>主な内容: 1年間の活動の成果を確認するとともに、私たちの暮らしや生き方を見つめ直し、互いの考えを深め合う場として、また地域を取り巻く課題を共有し、公民館が担う役割や今後の活動の方向性について考える機会として開催。今年度は、この地域においてより良い暮らしや豊かな人生を実現するために求められるものは何かを考え、地域での日々の活動を改めて捉え直すための視点を共有した。分科会は、「人形劇フェスタの可能性」「成人式のあり方について考えてみよう」「スポーツが地域にもたらす力」「あなたにとって分館とは。」「いってみよう・やってみよう そこからつながる」「ムトスの心で地域に活動の輪を広げよう!」の6テーマで開催した。</p>			



平成30年度 飯田市公民館活動記録

発行 平成31年 3月31日

編集 飯田市公民館

〒395-0085 飯田市吾妻町139番地

☎ 22-1132 FAX 22-1022

E-mail: iccc01@city.iida.nagano.jp



再生紙を使用しています。